

令和4年度

酒田市歳入歳出決算
主要な施策の成果報告書

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、
令和4年度における主要な施策の成果について
次のとおり提出する。

令和5年9月

酒田市長 矢口 明子

目 次

第1部 主要な施策の実施状況

※事業名に続く【 】は令和5年度の予算所属

《総務費》

（市長公室）

- ・ 広報広聴活動推進事業 14

（総務課）

- ・ 文書管理システム導入事業 15

（人事課）

- ・ 派遣研修事業 16
- ・ 基本研修事業 17

（税務課）

- ・ 地方税電子化推進事業 18

（納税課）

- ・ 徴収管理業務事業 19
- ・ 特別滞納整理事業 20

（企画調整課）

- ・ 大学まちづくり推進事業 21
- ・ 東北公益文科大学生定住促進事業 22
- ・ 大学等受験生支援事業 23
- ・ 私学振興補助事業 24
- ・ 庄内空港振興事業 25

（都市デザイン課）

- ・ 駅周辺整備事業 26
- ・ （繰越明許費）駅周辺整備事業 27
- ・ 酒田商業高校跡地整備事業 28

（情報企画課）

- ・ デジタル変革事業 29

（交流観光課）

- ・ ふるさと納税推進事業 30

(地域共生課)

・ 生涯活躍のまち構想推進事業	31
・ 酒田移住交流推進事業	32
・ やまがた就職促進支援連携事業	33
・ 男女共同参画推進事業	34
・ 女性活躍推進事業	35
・ 結婚推進支援事業	36

(まちづくり推進課)

・ 安全・安心のまち酒田推進事業	37
・ 空き家等総合対策事業	38
・ 市民協働・公益活動推進事業	39
・ コミュニティ振興事業	40
・ とびしまマリンプラザ管理事業	41
・ 飛島活力再生推進事業	42
・ 飛島地区無線LAN環境整備事業	43

(八幡総合支所)

・ 八幡地域振興事業	44
・ 中山間地域活力向上事業	45

(松山総合支所)

・ 松山地域振興事業	46
------------	----

(平田総合支所)

・ 平田地域振興事業	47
------------	----

《 民生費 》

(福祉企画課)

・ (繰越明許費)住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	48
・ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	49
・ 社会福祉協議会運営費補助事業	50
・ 地域福祉推進事業	51
・ 生活困窮者自立支援事業	52
・ やさしいまちづくり除雪援助事業	53
・ 災害時要援護者避難支援事業	54
・ 障がい者ほっとふくしサービス事業	55

・ 障がい者地域福祉対策促進事業	56
・ 障がい児ほっとふくしサービス事業	57
・ 発達支援事業【健康福祉部こども未来課】	58
・ 相談支援事業	59
・ 意思疎通支援事業	60
・ 地域活動支援センター事業	61
・ 地域生活支援事業	62
(子育て支援課)	
・ 法人立保育所等補助事業【健康福祉部保育こども園課】	63
・ 保育士等人材確保事業【健康福祉部保育こども園課】	64
・ 子育て短期支援事業【健康福祉部こども未来課】	65
・ 放課後児童健全育成事業【健康福祉部保育こども園課】	66
・ 養育サポートママ派遣事業【健康福祉部こども未来課】	67
・ つどいの広場事業【健康福祉部保育こども園課】	68
・ 避難児童保育料等支援事業【健康福祉部保育こども園課】	69
・ 発達障がい児及び家族等支援事業【健康福祉部こども未来課】	70
・ 法人立保育所等施設整備事業【健康福祉部保育こども園課】	71
・ 保育サービス利用者負担軽減事業【健康福祉部保育こども園課】	72
・ 保育料負担軽減事業【健康福祉部保育こども園課】	73
・ さかた子育て応援臨時給付金事業【健康福祉部こども未来課】	74
・ 児童虐待防止対策事業【健康福祉部こども未来課】	75
・ 子どもの貧困対策推進事業【健康福祉部こども未来課】	76
・ 生理用品サポート事業【健康福祉部こども未来課】	77
・ 病児・病後児保育事業【健康福祉部保育こども園課】	78
(高齢者支援課)	
・ 老人クラブ助成事業	79
・ シルバー人材センター補助事業	80
・ 敬老寿賀事業	81
・ やさしい生活支援事業	82
・ ほっとふくし券事業	83
・ 軽度生活援助事業	84
・ 飛島高齢者生活支援事業	85

《衛生費》

（環境衛生課）

- ・ 環境対策事業 86
- ・ ごみ減量化推進事業 87
- ・ 不法投棄防止対策推進事業 88

（健康課）

- ・ 乳幼児健診事業 89
- ・ 妊婦健康管理事業 90
- ・ 妊娠・出産・子育て包括支援（ネウボラ）事業【健康福祉部こども未来課】 91
- ・ 特定不妊治療助成事業 92
- ・ 出産・子育て応援交付金給付事業【健康福祉部こども未来課】 93
- ・ 食習慣改善事業 94
- ・ 歯と口腔の健康づくり推進事業 95
- ・ 中町にぎわい健康プラザ管理運営事業 96
- ・ 健やかさかたヘルスケア推進事業 97
- ・ 心の健康づくり推進事業 98
- ・ 各種予防接種事業 99
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 100
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 101
- ・ 健康増進事業 102
- ・ 若年者健診事業 103
- ・ 後期高齢者健診事業 104
- ・ 女性特有のがん検診推進事業 105
- ・ ピロリ菌検査（胃がんリスク評価検査）事業 106
- ・ 高齢者保健・介護予防一体的実施事業 107
- ・ 夜間診療事業 108
- ・ 診療所管理運営事業 109
- ・ 私的二次救急医療対策助成事業 110

（酒田看護専門学校）

- ・ 看護専門学校管理運営事業 111

《労働費》

（商工港湾課）

- ・ 若者地元就職促進事業 112
- ・ 若者地元就職魅力発信事業 113

《農林水産業費》

（農政課）

・（繰越明許費）担い手確保・経営強化支援事業	114
・さかたでアグリ支援事業	115
・農業次世代人材投資事業	116
・新規就農者育成総合対策事業	117
・農地利用効率化等支援交付金事業	118
・経営改善総務管理事業	119
・生産組合支援事業	120
・都市農村交流事業	121
・さかた農産物販路・消費拡大事業	122
・畜産生産性向上支援事業	123
・豚熱ワクチン接種緊急支援事業	124
・耕畜連携推進事業	125
・畜産物価格差補てん事業	126
・畜産所得向上支援事業	127
・（繰越明許費）畜産飼料生産基盤農地耕作条件改善事業	128
・畜産飼料価格高騰対策支援事業	129
・農業振興地域整備促進事業	130
・中山間地域等直接支払事業	131
・環境保全型農業直接支払事業	132
・鳥海南麓畑地振興対策推進事業	133
・野生鳥獣農作物被害対策事業	134
・魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	135
・産地生産基盤パワーアップ事業	136
・農業経営緊急対策支援事業	137
・経営所得安定対策等運営事業	138
・スマート農業推進事業	139
・さかた農業生産性向上支援事業	140

（農林水産課）

・土地改良負担事業	141
・小規模土地改良補助事業	142
・多面的機能支払事業	143
・地籍調査事業	144

・ 森林経営管理推進事業	145
・ さかた型地域材利活用推進事業	146
・ 林道整備事業	147
・ 森林病虫害等対策事業	148
・ アメリカシロヒトリ駆除対策事業	149
・ 森林ボランティア育成事業	150
・ 漁業就業者確保・育成支援事業	151
・ 離島漁業再生支援事業	152
・ 水産多面的機能発揮対策推進事業	153
・ いか釣り漁業支援事業	154
・ 栽培漁業等推進事業	155
・ 水産業成長産業化支援事業	156
(農業委員会事務局)	
・ 農業委員会報「きらり」発行事業	157
・ 農地集積センター活動支援事業	158

《商工費》

(商工港湾課)

・ 中小企業融資資金貸付事業	159
・ 新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業	160
・ 飲食店等消費喚起事業	161
・ 元気な小規模事業者持続化特別助成事業	162
・ 産業振興まちづくり推進事業	163
・ 企業立地促進事業	164
・ 賃借型立地企業定着促進事業	165
・ 設備投資促進助成事業	166
・ サテライトオフィス等整備支援事業	167
・ 未来投資促進事業	168

(交流観光課)

・ 観光戦略・インバウンド推進事業	169
・ 観光戦略推進協議会負担事業	170
・ 秋田・酒田交流事業	171
・ 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業	172

《土木費》

（都市デザイン課）

- ・ 花と緑のまちづくり事業 173
- ・ さかたらしい景観づくり事業 174
- ・ 乗合バス運行事業 175
- ・ デマンドタクシー運行事業 176

（商工港湾課）

- ・ 港湾整備事業 177
- ・ 重要港湾酒田港活性化推進事業 178
- ・ 客船誘致事業 179

（土木課）

- ・ 側溝整備事業 180
- ・ 橋りょう延命化事業（繰越明許費を含む） 181
- ・ 排水施設改修事業 182
- ・ 除雪事業 183

（整備課）

- ・ 公園都市構想事業 184
- ・ 公園施設再整備事業 185
- ・ 公園施設長寿命化等整備事業 186

（建築課）

- ・ 市営住宅ストック改善事業 187
- ・ 住宅リフォーム総合支援事業 188
- ・ 新築住宅総合支援事業 189

《消防費》

（危機管理課）

- ・ 消防施設等整備事業 190
- ・ 消防庁舎及び総合防災センター整備事業（継続費・通次繰越分を含む） 191
- ・ （繰越明許費）防災対策強化事業 192
- ・ 防災対策強化事業 193
- ・ 水防活動事業 194
- ・ 自主防災組織等活動支援事業 195
- ・ 防災訓練事業 196

《教育費》

（企画管理課）

・ 施設整備事業（小学校）	197
・ 小学校給食事業	198
・ 平田地区給食施設整備事業	199
・ 学校施設長寿命化事業（小学校）	200
・ 学校空調設備整備事業（小学校）	201
・ 施設整備事業（中学校）	202
・ 中学校給食事業	203
・ 学校空調設備整備事業（中学校）	204
・ （繰越明許費）学校トイレ改修事業（中学校）	205

（学校教育課）

・ 教育相談事業	206
・ 子どもの命を守る安全対策事業	207
・ 教育支援員配置事業	208
・ 教育活動充実事業	209
・ 外国語指導助手招致事業	210
・ 理科教育推進事業	211
・ 小中一貫教育推進事業	212
・ 学校ICT環境整備事業	213
・ GIGAスクール推進事業	214
・ スポーツ活動等支援事業	215
・ キャリア教育推進事業	216
・ 自然体験学習事業	217
・ 中村ものづくり事業	218

（社会教育文化課）

・ 成人式開催事業【教育委員会社会教育課】	219
・ 生涯学習推進講座開催事業【教育委員会社会教育課】	220
・ 生涯学習施設整備事業【教育委員会社会教育課】	221
・ 市民会館施設整備事業【企画部文化政策課】	222
・ 土門拳文化賞顕彰事業【企画部文化政策課】	223
・ 文化芸術推進事業【企画部文化政策課】	224
・ スクールプログラム実施事業【企画部文化政策課】	225
・ 文化資料館（仮称）整備事業【企画部文化政策課】	226

・ 史跡旧鑑屋修復事業【企画部文化政策課】	227
・ 山居倉庫保存活用計画策定事業【企画部都市デザイン課】	228
・ 光丘文庫デジタルアーカイブ事業【企画部文化政策課】	229
・ ミライニ管理運営事業【教育委員会社会教育課】	230
・ (繰越明許費) 酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業【教育委員会社会教育課】	231

(スポーツ振興課)

・ 白崎資金スポーツ振興事業	232
・ 子どものスポーツチャレンジ支援事業	233
・ トップアスリート育成支援事業	234
・ 生涯スポーツ推進事業	235
・ スポーツツーリズム推進事業	236
・ スポーツによる地域コミュニティ活性化事業	237
・ 体育施設整備事業(継続費・通次繰越分を含む)	238
・ 体育施設照明設備改修事業	239
・ 国体記念体育館改修事業	240
・ (繰越明許費) 体育施設耐震改修事業	241

《特別会計》

・ 定期航路事業特別会計	242
・ 国民健康保険特別会計	244
・ 後期高齢者医療事業特別会計	246
・ 介護保険特別会計	248
・ 風力発電事業特別会計	250
・ 駐車場事業特別会計	251

第2部 決算の概要

1 令和4年度普通会計決算の概要

- (1) 決算規模 254
- (2) 決算収支 254
- (3) 当初予算と決算の比較（性質別） 255

2 財政資料（普通会計）

- (1) 歳入の状況 255
- (2) 歳出の状況 256
- (3) 公債費の状況 264
- (4) 入湯税充当事業一覧 268
- (5) 都市計画税充当事業一覧 268
- (6) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 268
- (7) 目的別性質別歳出内訳 268
- (8) 人件費の推移 269
- (9) 健全化判断比率及び資金不足比率 270

3 市税等資料

- (1) 税目別収納状況 272
- (2) 年度別収納状況 274

4 土地開発基金の状況

- (1) 令和4年度土地取得の状況 275
- (2) 土地の保有・売渡状況 275

5 職員配置の状況

- 276

第 1 部

主要な施策の実施状況

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	2 目 広報広聴費	所 属	R4 総務部市長公室 R3 総務部市長公室				
事 業 名	広報広聴活動推進事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	80,659,000	77,435,018	0	3,223,982	96.0%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	0	2,468,466	0	110,000	74,856,552				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	79,401,000	77,950,295	△515,277						
	目 的 ・ 趣 旨								
	<p>広報紙、市ホームページ、コミュニティFM、SNS、記者会見等を活用し、行政情報を的確にきめ細かく市民などに提供する。また、提言メールや市庁舎等に設置しているふれあいBOX等による広聴を実施する。</p>								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 広報事業</p> <p>① 広報紙の発行…月2回、42,000部を発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に関心を促したいテーマを中心に特集づくりに努めた。 ・広報に興味を持つきっかけづくりと、紙面へ読者の意見等を反映させるため、年1回、広報紙に意見投稿はがきと本市の風景写真を使った絵はがきを折り込んだ。 <p>② 市ホームページによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数 R2/7,518,352回、R3/18,783,656回、R4/15,239,525回 <p>③ コミュニティFM放送による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションさかた（月曜日～金曜日）、職員参加型放送（毎週金曜日）で行政情報を発信した。 <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信 フェイスブック、エックス（旧ツイッター）、インスタグラム、ライン、ユーチューブ ・視覚障がい者用音声広報の実施（対象者22人） ・インスタグラムによる酒田の魅力発信「#酒田みつけ」の募集 （投稿件数 R3/6,296件、R4/4,275件） <p>(2) 市政のPR及びその他の広報活動等</p> <p>① 定例記者会見（原則毎月第一月曜日）、定例プレスリリース（原則毎週月曜日）</p> <p>② WEBアプリ等による市広報紙の発信（マチイロ、山形イーブックス）</p> <p>③ 出前講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し込みを受けた各種団体等に市職員を派遣し、市政の状況や制度等を説明した（メニュー数 R3/70、R4/71）。 ・実績件数及び参加人数 R2/116件（2,651人）、R3/104件（2,909人）、R4/140件（3,239人） <p>④ 市庁舎1階情報掲示板における市関連の情報発信</p> <p>(3) 広聴活動</p> <p>① 提言メール、ふれあいBOXへの投書等による広聴活動（525件）</p> <p>② 広報特集と連携したWEBアンケートの実施（4回）</p> <p>③ 市長・副市長と市民グループとのグループミーティングの実施（22回）</p>								
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>県広報配布委託金（県）</td> <td>2,468,466円</td> </tr> <tr> <td>市ホームページバナー広告料</td> <td>110,000円</td> </tr> </table>					県広報配布委託金（県）	2,468,466円	市ホームページバナー広告料	110,000円
県広報配布委託金（県）	2,468,466円								
市ホームページバナー広告料	110,000円								

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	1 目 一般管理費	所 属	R4 総務部総務課 R3 —
事 業 名	文書管理システム導入事業				【 新規 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	21,591,000	20,575,500	0	1,015,500	95.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,575,500
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	文書管理システムの導入により、ペーパーレスの推進、公文書の適正で合理的な管理、職場環境の改善、テレワークにおける電子決裁の実現を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○文書管理システムの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書收受を電子化することにより、收受簿の管理、ファイルの印刷などの業務の省力化を実現する。 ・ 起案を電子化することにより、決裁に要する期間が短縮され、速やかな意思決定が可能となる。 ・ 文書收受と起案を電子化することにより、文書の検索性を高め、市民の情報公開請求に迅速に対応することが可能となる。 <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年7月～ 文書管理システムの構築 ・ 令和4年7月～ 文書管理システム運用ルールの方策 ・ 令和5年3月 既存ファイル基準表の文書管理システムへの取込み ・ 令和5年3月 既存内部業務系システムからの職員情報の取込み ・ 令和5年3月 文書管理システム操作職員研修の実施 ・ 令和5年3月 文書管理システム試験運用の実施 ・ 令和5年3月 文書管理システム本稼働 <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受託業者 株式会社管理システム ・ 契約日 令和4年8月17日 ・ システム本稼働日 令和5年3月27日 <p>○事業による効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書事務の電子化による紙使用の削減 ・ ファイリング用品経費の削減 ・ テレワーク決裁の実現 ・ 市民の情報公開請求の利便性の向上 				
備 考					

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	1 目 一般管理費	所 属	R4 総務部人事課 R3 総務部人事課	
事 業 名	派遣研修事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	2,993,000	2,802,089	0	190,911	93.6%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	753,756	2,048,333	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	1,922,000	1,612,267	1,189,822			
	目 的 ・ 趣 旨					
	職員を専門の研修機関等に派遣することにより、専門的な知識の習得とともに、研修参加者の相互交流や情報交換を通じての自己啓発を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 職員を各専門の研修機関等に派遣した。					
	○事業実績・説明					
	(1) 専門研修機関への派遣 (2,120千円) (単位：人)					
		研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度		
				R 2	R 3	R 4
		早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会	地域課題、組織課題の研究	3	-	3
		市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	専門実務研修課程	-	-	12
		東北自治研修所	政策課題研修課程 指導者養成研修	5	2	6
		山形県市町村職員研修所	階層別研修、専門研修、 指導者養成研修 など	28	49	47
		国土交通大学校	国土利用計画〔市町村計画〕	-	-	1
		計	36	51	69	
	(2) 庄内広域行政組合主催研修 (10千円) (単位：人)					
	研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度			
			R 2	R 3	R 4	
	庄内広域行政組合主催研修	新規採用職員・初任者研修、政策法務研修、メンタルヘルス・ハラスメント研修、政策課題研修	67	108	107	
	(3) 東北公益文科大学修学制度 (支出無し) ・ 修学制度利用者 2人					
	(4) 東北公益文科大学大学院への派遣 (673千円) ・ 修学研修 1人 ・ 地域共創コーディネーター養成プログラム 2人					
備 考	○主な特定財源 公益財団法人山形県市町村振興協会研修受講助成金 753,756円					

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	1 目 一般管理費	所 属	R4 総務部人事課 R3 総務部人事課
事 業 名	基本研修事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,880,000	2,649,027	0	230,973	92.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	264,014	2,385,013
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	3,108,000	2,903,849	△254,822		
	目 的 ・ 趣 旨				
	勤務年数や職責に応じて実施する一般研修（階層別研修）と、階層に関わらず職員として備えておきたい知識や技能を習得させるための特別研修を実施し、職員の資質向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 一般研修と特別研修をそれぞれの目的に応じて実施した。				
	○事業実績・説明				
	(1) 一般研修（階層別研修）内容及び修了者数（1,358千円） (単位：人)				
		研 修 内 容	年 度		
			R 2	R 3	R 4
		新規採用職員研修（第1期）	37	40	27
		新規採用職員研修（交通安全研修）	-	35	23
		新規採用職員研修（交通安全運転研修）	30	35	23
		新規採用職員研修（第2期）	21	22	23
		初級スタッフ研修	21	27	26
	中級スタッフ研修	24	39	22	
	主任級職員研修	24	25	20	
	係長級職員研修（JST研修）	24	31	19	
	課長補佐級職員・主査級職員研修（フォローシップ研修）	53	78	48	
	課長級職員・係長職員研修（マネジメント研修）	41	37	32	
	計	275	369	263	
	(2) 特別研修内容及び修了者数（主な研修）（1,292千円）				
	研 修 内 容	年 度			
		R 2	R 3	R 4	
	選択参加型研修（ラテラルシンキング、ワンパ-パ-資料作成、接客（動画）、クレーム対応（動画））	34	81	162	
	○J T研修（プリセプター研修）	27	30	25	
	政策法務研修	-	19	-	
	人事評価（評価者）研修	18	12	11	
	ダイバーシティ研修	-	83	84	
	メンタルヘルス研修	-	64	39	
	計	79	289	321	
	※その他（職場ストレス対策研修、応急手当講習会、派遣職員報告会など）				
備 考	○主な特定財源 総務管理費負担金 264,014円				

款 項 目	2 款 総務費	2 項 徴税費	2 目 賦課費	所 属	R4 総務部税務課 R3 総務部税務課																																																								
事 業 名	地方税電子化推進事業				【 継 続 事 業 】																																																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																								
	15,291,000	15,272,989	0	18,011	99.9%																																																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																								
	0	0	0	0	15,272,989																																																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																									
	4,749,000	4,731,083	10,541,906																																																										
	目 的 ・ 趣 旨																																																												
	e L T A X を活用し、申告手続きの簡素化を図るとともに、個人住民税の公的年金からの特別徴収など納税者の利便性向上を目的とする。また、所得税確定申告書のデータを国税庁と連携し業務の効率化を図る。																																																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>e L T A X による申告書等の電子化により、適正・公平かつ効率的な課税事務の執行に努めた。また、軽自動車関係手続きの電子化及び地方税統一QRコードを活用したスマートフォン決済アプリやクレジットカード等による固定資産税等の電子納付に対応するため、情報システムの改修を実施した。電子化推進のため、給与支払報告件数の多い事業所に対して、税額通知書にリーフレットを同封する、導入の意向調査をする等の広報活動を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 電子申告システムの運用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申告件数（申請、届出含む）</td> <td>8,300 件</td> <td>8,736 件</td> <td>9,195 件</td> </tr> <tr> <td> 法人市民税</td> <td>3,602 件</td> <td>3,766 件</td> <td>3,783 件</td> </tr> <tr> <td> 個人住民税</td> <td>3,736 件</td> <td>3,893 件</td> <td>4,213 件</td> </tr> <tr> <td> 償却資産</td> <td>962 件</td> <td>1,077 件</td> <td>1,199 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 公的年金等に係る特別徴収データシステムの運用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年金特徴に係る納税義務者</td> <td>10,579 件</td> <td>10,640 件</td> <td>10,633 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 所得税に係る国税データ受信システムの運用件数 ※各年度3月31日までの件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得税確定申告書等受信件数</td> <td>30,221 件</td> <td>28,905 件</td> <td>27,459 件</td> </tr> <tr> <td> 平成30年以前分</td> <td>762 件</td> <td>301 件</td> <td>152 件</td> </tr> <tr> <td> 令和元年分</td> <td>7,338 件</td> <td>310 件</td> <td>174 件</td> </tr> <tr> <td> 令和2年分</td> <td>22,121 件</td> <td>6,020 件</td> <td>333 件</td> </tr> <tr> <td> 令和3年分</td> <td>— 件</td> <td>22,274 件</td> <td>5,853 件</td> </tr> <tr> <td> 令和4年分</td> <td>— 件</td> <td>— 件</td> <td>20,947 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>電子申告システムの運用件数は、いずれの税目においても前年より増加しており、e L T A X の導入による納税者の利便性向上、賦課事務の効率化に寄与している。今後も e L T A X 未導入の納税義務者に対して、広く広報活動を行い、申告手続きの電子化を推進していく。</p>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	申告件数（申請、届出含む）	8,300 件	8,736 件	9,195 件	法人市民税	3,602 件	3,766 件	3,783 件	個人住民税	3,736 件	3,893 件	4,213 件	償却資産	962 件	1,077 件	1,199 件		令和2年度	令和3年度	令和4年度	年金特徴に係る納税義務者	10,579 件	10,640 件	10,633 件		令和2年度	令和3年度	令和4年度	所得税確定申告書等受信件数	30,221 件	28,905 件	27,459 件	平成30年以前分	762 件	301 件	152 件	令和元年分	7,338 件	310 件	174 件	令和2年分	22,121 件	6,020 件	333 件	令和3年分	— 件	22,274 件	5,853 件	令和4年分	— 件	— 件	20,947 件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
申告件数（申請、届出含む）	8,300 件	8,736 件	9,195 件																																																										
法人市民税	3,602 件	3,766 件	3,783 件																																																										
個人住民税	3,736 件	3,893 件	4,213 件																																																										
償却資産	962 件	1,077 件	1,199 件																																																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
年金特徴に係る納税義務者	10,579 件	10,640 件	10,633 件																																																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
所得税確定申告書等受信件数	30,221 件	28,905 件	27,459 件																																																										
平成30年以前分	762 件	301 件	152 件																																																										
令和元年分	7,338 件	310 件	174 件																																																										
令和2年分	22,121 件	6,020 件	333 件																																																										
令和3年分	— 件	22,274 件	5,853 件																																																										
令和4年分	— 件	— 件	20,947 件																																																										
備 考																																																													

款 項 目	2 款 総務費	2 項 徴税費	3 目 徴収費	所 属	R4 総務部納税課 R3 総務部納税課																																																																																																							
事 業 名	徴収管理業務事業				【 継 続 事 業 】																																																																																																							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																																							
	81,146,000	76,143,745	0	5,002,255	93.8%																																																																																																							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																																											
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																																							
	0	0	0	1,838,150	74,305,595																																																																																																							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																																								
	66,295,000	62,874,609	13,269,136																																																																																																									
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																																											
	収納率向上と収入未済額の縮減による税収の確保を図る。																																																																																																											
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 税収の確保</p> <p>(2) 市民のニーズに応じた納付環境の整備</p> <p>(3) 租税教育等の納税意識の向上</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 収納実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額 (円)</th> <th>収入済額 (円)</th> <th>R3収納率 (%)</th> <th>R4収納率 (%)</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市 税</td> <td>現年度分</td> <td>13,337,696,683</td> <td>13,251,414,658</td> <td>99.38</td> <td>99.35</td> <td>△ 0.03</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>292,839,695</td> <td>77,106,257</td> <td>33.77</td> <td>26.33</td> <td>△ 7.44</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13,630,536,378</td> <td>13,328,520,915</td> <td>97.62</td> <td>97.78</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">国 保 税</td> <td>現年度分</td> <td>1,519,256,000</td> <td>1,468,662,963</td> <td>96.30</td> <td>96.67</td> <td>0.37</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>301,824,633</td> <td>81,809,932</td> <td>25.49</td> <td>27.11</td> <td>1.62</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,821,080,633</td> <td>1,550,472,895</td> <td>84.30</td> <td>85.14</td> <td>0.84</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 納付方法別内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">税 目</th> <th rowspan="2">納付方法</th> <th rowspan="2">人数 (件)</th> <th rowspan="2">納付額 (円)</th> <th colspan="2">構成比 (%)</th> <th rowspan="2">対前年度比</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主な市税 ※1</td> <td>口座振替</td> <td>185,361</td> <td>4,118,180,087</td> <td>27.63</td> <td>28.29</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>87,090</td> <td>966,476,541</td> <td>6.18</td> <td>6.64</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>スマホ決済</td> <td>5,954</td> <td>81,466,202</td> <td>0.51</td> <td>0.56</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>窓口・特徴※2他</td> <td></td> <td>9,390,643,382</td> <td>65.68</td> <td>64.51</td> <td>△ 1.17</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">国民健康 保険税</td> <td>口座振替</td> <td>37,989</td> <td>687,935,200</td> <td>45.90</td> <td>44.37</td> <td>△ 1.53</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>22,438</td> <td>295,475,712</td> <td>17.53</td> <td>19.06</td> <td>1.53</td> </tr> <tr> <td>スマホ決済</td> <td>1,454</td> <td>20,945,040</td> <td>1.27</td> <td>1.35</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>窓口・特徴※2他</td> <td></td> <td>546,116,943</td> <td>35.30</td> <td>35.22</td> <td>△ 0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1…主な市税：市県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税の合計 ※2…特徴：給与、年金からの引き去り</p> <p>(3) 納税意識向上のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田税務署、酒田法人会等と連携し、租税教育や普及啓発を行った。 						調定額 (円)	収入済額 (円)	R3収納率 (%)	R4収納率 (%)	対前年度比	市 税	現年度分	13,337,696,683	13,251,414,658	99.38	99.35	△ 0.03	過年度分	292,839,695	77,106,257	33.77	26.33	△ 7.44	合 計	13,630,536,378	13,328,520,915	97.62	97.78	0.16	国 保 税	現年度分	1,519,256,000	1,468,662,963	96.30	96.67	0.37	過年度分	301,824,633	81,809,932	25.49	27.11	1.62	合 計	1,821,080,633	1,550,472,895	84.30	85.14	0.84	税 目	納付方法	人数 (件)	納付額 (円)	構成比 (%)		対前年度比	R3	R4	主な市税 ※1	口座振替	185,361	4,118,180,087	27.63	28.29	0.66	コンビニ納付	87,090	966,476,541	6.18	6.64	0.46	スマホ決済	5,954	81,466,202	0.51	0.56	0.05	窓口・特徴※2他		9,390,643,382	65.68	64.51	△ 1.17	国民健康 保険税	口座振替	37,989	687,935,200	45.90	44.37	△ 1.53	コンビニ納付	22,438	295,475,712	17.53	19.06	1.53	スマホ決済	1,454	20,945,040	1.27	1.35	0.08	窓口・特徴※2他		546,116,943	35.30	35.22	△ 0.08
	調定額 (円)	収入済額 (円)	R3収納率 (%)	R4収納率 (%)	対前年度比																																																																																																							
市 税	現年度分	13,337,696,683	13,251,414,658	99.38	99.35	△ 0.03																																																																																																						
	過年度分	292,839,695	77,106,257	33.77	26.33	△ 7.44																																																																																																						
	合 計	13,630,536,378	13,328,520,915	97.62	97.78	0.16																																																																																																						
国 保 税	現年度分	1,519,256,000	1,468,662,963	96.30	96.67	0.37																																																																																																						
	過年度分	301,824,633	81,809,932	25.49	27.11	1.62																																																																																																						
	合 計	1,821,080,633	1,550,472,895	84.30	85.14	0.84																																																																																																						
税 目	納付方法	人数 (件)	納付額 (円)	構成比 (%)		対前年度比																																																																																																						
				R3	R4																																																																																																							
主な市税 ※1	口座振替	185,361	4,118,180,087	27.63	28.29	0.66																																																																																																						
	コンビニ納付	87,090	966,476,541	6.18	6.64	0.46																																																																																																						
	スマホ決済	5,954	81,466,202	0.51	0.56	0.05																																																																																																						
	窓口・特徴※2他		9,390,643,382	65.68	64.51	△ 1.17																																																																																																						
国民健康 保険税	口座振替	37,989	687,935,200	45.90	44.37	△ 1.53																																																																																																						
	コンビニ納付	22,438	295,475,712	17.53	19.06	1.53																																																																																																						
	スマホ決済	1,454	20,945,040	1.27	1.35	0.08																																																																																																						
	窓口・特徴※2他		546,116,943	35.30	35.22	△ 0.08																																																																																																						
備 考	○主な特定財源 督促手数料 1,838,150円																																																																																																											

款 項 目	2 款 総務費	2 項 徴税費	3 目 徴収費	所 属	R4 総務部納税課 R3 総務部納税課																																																																					
事 業 名	特別滞納整理事業			【 継 続 事 業 】																																																																						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																					
	1,519,000	1,429,192	0	89,808	94.1%																																																																					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																					
	0	0	0	894,151	535,041																																																																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																						
	1,234,000	677,012	752,180																																																																							
	目 的 ・ 趣 旨																																																																									
	収納率向上と収入未済額の縮減による税収の確保を図る。																																																																									
概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) オンラインで行う預貯金等照会システム(DAIS)を主要3銀行へ拡大し、事務の効率化を推進するとともに、財産調査を迅速に進めた。</p> <p>(2) インターネット公売を実施した。</p> <p>(3) 徴収事務に携わる職員への実務研修を行い、スキルの向上を図った。</p> <p>○事業実績・説明(納税課全体の実績)</p> <p>(1) 差押実績 税負担の公平性を確保するため、債権等の差押えを実施した。 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>債権</th> <th>不動産</th> <th>動産</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>1,213</td> <td>1</td> <td>23</td> <td>1,237</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>833</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>849</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>853</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>856</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>649</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>660</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) インターネット公売等 差押えた物件を公売し、市税等に充当した。 (単位：件、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="2">出品延べ件数</th> <th colspan="2">落札件数</th> <th rowspan="2">落札額</th> <th rowspan="2">市税等充当額</th> </tr> <tr> <th>動産</th> <th>不動産</th> <th>動産</th> <th>不動産</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>11</td> <td>72</td> <td>6</td> <td>33</td> <td>0</td> <td>268,078</td> <td>247,198</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9</td> <td>40</td> <td>4</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>61,206</td> <td>60,206</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>6,132,027</td> <td>5,146,009</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 研修実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月14日～15日 東京税務協会主催「滞納整理セミナー(事例検討コース)」 (オンライン開催) 1名参加 ・ 8月4日 酒田市市税等収納率向上特別対策本部主催「債権管理研修会」 (庁内会場) 納税課9名、税外債権担当職員11名参加 ・ 6月と11月と2月 山形県主催「債権管理担当者研修会及び個別事例相談会」 (オンライン開催) 納税課24名、税外債権担当職員23名参加 					年度	債権	不動産	動産	計	R1	1,213	1	23	1,237	R2	833	0	16	849	R3	853	3	0	856	R4	649	8	3	660	年度	回数	出品延べ件数		落札件数		落札額	市税等充当額	動産	不動産	動産	不動産	R1	11	72	6	33	0	268,078	247,198	R2	9	40	4	25	0	61,206	60,206	R3	1	0	2	0	0	0	0	R4	6	3	6	3	2	6,132,027	5,146,009
年度	債権	不動産	動産	計																																																																						
R1	1,213	1	23	1,237																																																																						
R2	833	0	16	849																																																																						
R3	853	3	0	856																																																																						
R4	649	8	3	660																																																																						
年度	回数	出品延べ件数		落札件数		落札額	市税等充当額																																																																			
		動産	不動産	動産	不動産																																																																					
R1	11	72	6	33	0	268,078	247,198																																																																			
R2	9	40	4	25	0	61,206	60,206																																																																			
R3	1	0	2	0	0	0	0																																																																			
R4	6	3	6	3	2	6,132,027	5,146,009																																																																			
備 考	○主な特定財源 雑入(滞納処分費)		894,151円																																																																							

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 企画費	所 属 R4 企画部企画調整課 R3 企画部企画調整課
事 業 名	大学まちづくり推進事業			【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③
	11,872,000	11,776,336	0	95,664
	執行率②/①			
	99.2%			
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
	4,850,000	0	0	3,007,333
	一般財源			
	3,919,003			
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)
	11,807,000	11,661,465	114,871	
	目 的 ・ 趣 旨			
	東北公益文科大学（以下「公益大」という。）の有する知見・資源を市の施策に活かすとともに、地域で活躍できるデジタル人材等を育成する。また、市民が公益大の資源を活用できるよう、大学の「大人の学び場」としての機能充実に向けた連携を図る。			
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容及び実績・説明			
	(1) 会計年度任用職員報酬 524,336円 公益大生がまちづくり（市政や地域活動）に関心を持ち、まちづくりを「自分事」として考える契機とするため、会計年度任用職員として任用した。 ・延べ人数 125人（実人数 13人）、延べ時間 590.5時間			
	(2) 酒田市観光に関する調査研究業務委託料 400,000円 本市観光施策に活用するため、公益大に本市の観光に関するアンケートの調査・分析を委託し、市民所得の向上につながる地域振興政策の提言を受けた。			
	(3) 地域デジタル人材等育成業務委託料 9,700,000円 地域で活躍できるデジタル人材等の育成に取り組んだ。			
	内 容		受講者数	
	・履修証明プログラム			
	ビッグデータ解析・活用等に関する講座		53 人	
	空間情報処理に関する講座		59 人	
	情報セキュリティに関する講座		59 人	
	データサイエンスに関する講座		9 人	
	・「Sakata Tech Night」の開催（全7回）		100 人	
	・メディア情報コース学生と市内IT企業との交流事業		31 人	
	・高校生向けのメディア情報コース体験プログラムの実施		39 人	
	・ITを活用した地図コンテンツの作成		96 人	
	・市内高等学校との探究学習に関する勉強会		7 人	
			計 453 人	
	(4) リカレント教育促進補助金 98,000円 公益大で実施する「履修証明プログラム」や山形県立産業技術短期大学校庄内校で実施する社会人向け公開講座の受講料等の一部を支援した。 ・東北公益文科大学履修証明プログラム受講者への支援 2人 ・山形県立産業技術短期大学校庄内校公開講座受講者への支援 18人			
	(5) 東北公益文科大学学生街なか活動促進補助金 900,000円 公益大生の調査研究活動（フィールドワーク）や日常生活における街なか活動を促進するため、るんるんバス利用に対する支援を行った。 ・るんるんバス回数券1,500円×800セット×3/4（補助率）			
	(6) 東北公益文科大学学生留学等支援補助金 154,000円 公益大生が海外留学等をする際のパスポート取得を支援した。 ・1人当たり11,000円×14件			
備 考	○主な特定財源	地方創生推進交付金（国）	4,850,000円	
		企業版ふるさと納税寄附金	3,000,000円	
		人づくり基金利子	7,333円	

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 企画費	所 属	R4 企画部企画調整課 R3 —								
事 業 名	大学等受験生支援事業				【新規 事業】								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	1,500,000	1,432,000	0	68,000	95.5%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	0	0	0	0	1,432,000								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	—	—	—										
	目 的 ・ 趣 旨												
	経済的理由によって大学等の受験が困難な者に対し、教育の機会均等及び人材育成の観点から経済的支援を行う。												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>令和4年度に大学等を受験する高校生の保護者に対し、受験にかかる費用（受験料、交通費、宿泊費等）の一部を支援した。</p> <p>(1) 上限額 生徒一人につき10万円</p> <p>(2) 交付対象者の要件</p> <p>令和4年度に高等学校に在学している生徒の保護者で、本市に住所を有し住民税が非課税の世帯またはそれに準ずる世帯※の者</p> <p>※世帯収入380万円未満程度（両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安。基準を満たす世帯収入は家族構成により異なる。）</p> <p>(3) 交付対象となる大学等</p> <p>学校教育法（以下「法」という。）第83条に規定する大学、法第108条に規定する短期大学及び法第124条に規定する専修学校（専門課程を置き修学年限が2年以上のものに限る。）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 申請件数 25 件（内ひとり親世帯 15 件）</p> <p>(2) 交付件数 17 件（内ひとり親世帯 15 件）</p> <p>(3) 不交付件数 8 件（理由：保護者の所得が交付要件に該当しなかったため）</p> <p>※交付対象者の受験状況</p> <table border="0"> <tr> <td>大学入学共通テスト</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>（延べ件数） 大学</td> <td>33 件</td> </tr> <tr> <td>短期大学</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>3 件</td> </tr> </table> <p>※制度の周知については、各高等学校に依頼したほか、市広報及びホームページに掲載した。</p>					大学入学共通テスト	10 件	（延べ件数） 大学	33 件	短期大学	0 件	専修学校	3 件
大学入学共通テスト	10 件												
（延べ件数） 大学	33 件												
短期大学	0 件												
専修学校	3 件												
備 考													

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 企画費	所 属	R4 企画部企画調整課 R3 教育委員会企画管理課																								
事 業 名	私学振興補助事業				【 継 続 事 業 】																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																								
	1,750,000	1,750,000	0	0	100.0%																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																								
	0	0	0	0	1,750,000																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	2,100,000	2,100,000	△350,000																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	市内の私立高等学校の運営費に対して補助を行うことにより、学校運営の健全化が図られ、市内の私学教育の振興につなげる。																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 私立高等学校を設置する学校法人に対し、1校につき年額140万円以内（通信制課程のみを置く私立高等学校を設置する学校法人に対する補助金の額は、1校につき35万円以内）で補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田南高等学校運営費補助金 1,400千円 昭和37年度から継続交付 (2) 和順館高等学校運営費補助金 350千円 平成17年度から継続交付</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田南高等学校運営費補助金</td> <td>2,800</td> <td>2,450</td> <td>2,100</td> <td>1,750</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>和順館高等学校運営費補助金</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,150</td> <td>2,800</td> <td>2,450</td> <td>2,100</td> <td>1,750</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度に酒田南高等学校と天真学園高等学校が統合されたことから、令和元年度から令和4年度まで経過措置として減額調整を実施した。</p>					区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	酒田南高等学校運営費補助金	2,800	2,450	2,100	1,750	1,400	和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350	計	3,150	2,800	2,450	2,100	1,750
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																								
酒田南高等学校運営費補助金	2,800	2,450	2,100	1,750	1,400																								
和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350																								
計	3,150	2,800	2,450	2,100	1,750																								
備 考																													

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 企画費	所 属	R4 企画部企画調整課 R3 企画部企画調整課	
事 業 名	庄内空港振興事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	5,719,000	5,719,000	0	0	100.0%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	5,719,000	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	3,892,000	3,812,000	1,907,000			
	目 的 ・ 趣 旨					
	山形県、庄内2市3町、経済団体等で構成する庄内空港利用振興協議会の事業等の実施により、庄内空港の利用拡大を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 全国民間空港関係市町村協議会負担金					
	・ 地方財政としての航空機燃料譲与税の維持・確保について国土交通省、総務省に要望					
	・ 令和5年度空港整備関係予算確保について国土交通省に要望					
	(2) 庄内空港利用振興協議会負担金					
	・ 旅行商品造成支援助成 ・ 割引クーポン発行 ・ 近隣空港連携事業					
	・ チャーター便旅行商品造成支援助成 ・ 羽田線利用拡大PR事業					
	・ 「新しい旅のスタイル」促進事業 ・ 庄内空港利便性認知・利用拡大事業					
	・ 教育旅行支援助成事業 ・ 移住定住等促進助成事業					
	・ 新規需要創出二次交通実証事業					
○事業実績・説明						
(1) 全国民間空港関係市町村協議会負担金 10,000円						
・ 本市における年度別航空機燃料譲与税 (実績)						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入済額	16,392千円	16,157千円	3,820千円	9,728千円	11,575千円	
(2) 庄内空港利用振興協議会負担金 5,709,000円						
・ 庄内空港利用状況						
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
羽田線搭乗者数	385,477人	394,020人	126,497人	103,187人	228,815人	
羽田線搭乗率	72.7%	70.3%	44.0%	53.4%	54.5%	
羽田線欠航便数	85便	30便	36便	81便	74便	
成田線搭乗者数	—	35,422人	18,445人	—	—	
成田線搭乗率	—	66.0%	38.5%	—	—	
成田線欠航便数	—	8便	17便	—	—	
※令和2～4年の欠航便数には、コロナ禍による減便は欠航に含まない。						
・ チャーター便利用状況						
	国際チャーター便			国内チャーター便		
	令和2年	令和3年	令和4年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	0人	0人	0人	140人	69人	274人
便数	0便	0便	0便	4便	1便	4便
主な内訳				佐賀 2便 奄美 2便	庄内 1便 (遊覧飛行)	熊本 2便 広島 2便
備考						

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	6 目 都市デザイン費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課
事 業 名	駅周辺整備事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	337,201,000	234,953,473	100,760,000	1,487,527	69.7%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	222,000,000	0	12,953,473
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,521,578,000	107,112,448	127,841,025		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田駅前再開発及び酒田駅舎の工事完成に合わせ、酒田駅前広場（西口、東口）の整備を行うことで、本市玄関口の一つである酒田駅前の利便性及び街並み景観の向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田駅前広場の整備に向けてＪＲ東日本新潟支社と協議を行い、広場の造成に関する協定書を締結するとともに、駅舎正面部分の工事に着手した。 令和５年度に予定する酒田駅前駐輪場の整備に伴い、土地開発基金財産として先行取得していた整備用地の買戻しを行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(１) 駅前広場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事名 令和４年度酒田駅前広場整備工事 ・ 履行期間 令和５年２月１８日～令和５年１２月１５日（繰越） ・ 当初契約額 122,100,000円（うち前払金48,840,000円を令和４年度に執行済） ・ 補助事業名 都市構造再編集中支援事業 （補助率 1 / 2、前払金分の補助金は令和３年度歳入として受入済） <p>(２) 繰越明許</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰越理由 入札不調を受け発注方法や発注内容を見直したことにより着工が遅れたため。 ・ 繰越金額 100,760,000円（工事請負費） ・ 財源内訳 21,880,000円（都市構造再編集中支援事業補助金） 19,600,000円（公共事業等債） 54,100,000円（合併特例事業債） 5,180,000円（一般財源） <p>(３) 整備用地の買戻し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財産の種類 土地開発基金財産 ・ 土地の所在 酒田市幸町一丁目22-8ほか6筆 ・ 土地の面積 1,220.25㎡（実測面積） ・ 買戻し金額 184,921,037円 ・ 買戻し日 令和４年５月31日 ・ 補助事業名 都市構造再編集中支援事業 （補助率 1 / 2、補助対象事業費は買戻し日の不動産鑑定評価額、補助金は令和３年度歳入として受入済） 				
備 考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 222,000,000円				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	6 目 都市デザイン費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課						
事 業 名	(繰越明許費) 駅周辺整備事業				【 継 続 事 業 】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	1,413,680,000	1,405,634,752	0	8,045,248	99.4%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	661,224,000	121,513,000	485,200,000	0	137,697,752						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	—	—	—								
	目 的 ・ 趣 旨										
	酒田駅周辺地区の賑わいの創出と活性化を図り、本市の玄関口として相応しい持続可能なまちづくりを行うため、その中核となる駅前再開発事業の早期実現を図る。										
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 光の湊株式会社が行う酒田駅前地区第一種市街地再開発事業に対し、補助金の交付等を行い、平成29年1月の事業着手から6年間に及んだ駅前再開発事業が終了に至った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施行者名 光の湊株式会社 ・ 補助金名 酒田市市街地再開発事業費補助金 ・ 事業内容 工事監理業務、価額確定業務、施設建築物等新築工事等 ・ 補助金交付額 1,322,448,000円 ・ 内訳 (国) 661,224,000円 <li style="padding-left: 20px;">(県) 121,513,000円 <li style="padding-left: 20px;">(市) 539,711,000円 (うち公共事業等債 485,200,000円) <p>(2) 公共施設管理者負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 負担内容 バスベイ等道路整備関係費 ・ 負担金額 83,186,752円 <p>(3) 事業の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年4月29日 分譲マンション入居開始 ・ 令和4年4月30日 酒田駅前駐車場供用開始 ・ 令和4年5月5日 酒田市立中央図書館オープニングセレモニー ・ 令和4年7月31日 グランドオープン記念セレモニー ・ 令和4年8月1日 バスベイ供用開始 (バスダイヤ改編) ・ 令和5年1月18日 市街地再開発事業の終了認可 ・ 令和5年1月18日 光の湊株式会社解散総会 ・ 令和5年3月23日 光の湊株式会社清算結了 ・ 令和5年3月27日 光の湊株式会社清算登記 <p>(4) 光の湊株式会社の清算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資金額 500,000円 ・ 出資日 平成27年12月28日 (株式譲渡契約締結日) ・ 清算収入額 500,000円 (令和4年度雑入として受入) ・ 収入日 令和5年3月22日 (法人解散の官報公告終了後) 										
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">社会資本整備総合交付金 (国)</td> <td style="width: 50%;">661,224,000円</td> </tr> <tr> <td>市街地再開発事業等補助金 (県)</td> <td>121,513,000円</td> </tr> <tr> <td>公共事業等債 (市債)</td> <td>485,200,000円</td> </tr> </table>					社会資本整備総合交付金 (国)	661,224,000円	市街地再開発事業等補助金 (県)	121,513,000円	公共事業等債 (市債)	485,200,000円
社会資本整備総合交付金 (国)	661,224,000円										
市街地再開発事業等補助金 (県)	121,513,000円										
公共事業等債 (市債)	485,200,000円										

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	6 目 都市デザイン費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課
事 業 名	酒田商業高校跡地整備事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,132,000	1,794,154	0	337,846	84.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,794,154
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	435,686,000	434,879,730	△433,085,576		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田商業高校跡地において、中心市街地の活性化と未利用地の有効活用を図るため、民間資金やアイデアを活用し、山居倉庫周辺エリアに交流と日常的な賑わいを創出する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田商業高校跡地に交流と日常的な賑わいを創出する民間事業者の選定を行った。 また、酒田商業高校跡地の維持管理を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 事業の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年5月17日 第2回事業者選定委員会 ・ 令和4年5月31日 第3回事業者選定委員会、公開プレゼンテーション審査 ・ 令和4年6月10日 (株)丸高を代表とする企業グループを優先交渉権者に選定 ・ 令和4年8月10日 酒田商業高校跡地整備事業に関する基本協定書締結 ・ 令和4年8月26日 (株)丸高等の共同出資による新会社「いろは蔵パーク(株)」設立 <p>(2) 事業用地の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンボルツリーとして保全していく酒田商業高校跡地中央にあるケヤキの凍結、乾燥対策を行った。 (作業協力：酒田光陵高等学校ビジネス流通科 2年生 17名) <p>(3) 埋蔵文化財発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度実施の校舎解体工事において、埋蔵文化財試掘調査を行ったところ、近世、近代の遺構遺物が出土したため、上本町遺跡として新規登録を行った。 ・ 酒田商業高校跡地の整備に先立ち、上本町遺跡の埋蔵文化財発掘調査を実施し、記録保存、遺物採取、整理作業を行った。 				
備 考					

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	8 目 情報化推進費	所 属	R4 企画部情報企画課 R3 企画部情報企画課
事 業 名	デジタル変革事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	168,685,000	167,818,376	0	866,624	99.5%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	74,635,317	0	0	1,500,000	91,683,059
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	65,382,000	65,040,374	102,778,002		
	目 的 ・ 趣 旨				
	住民サービス、行政、地域のデジタル変革を進めることで地域課題の解決や地域における価値創造を行う。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 住民サービスのデジタル変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公式LINEを活用した情報発信、チャットボットによる自動応答の実施 実績：市公式LINE登録者数：36,499人（令和4年度末時点） ・ 使用料、手数料等のオンライン決済の実施 実績：やまがたe申請において、手続きに伴う手数料をオンライン上で決済できる基盤を構築した。（令和5年2月1日よりサービス開始） ・ オンライン受付による来庁不要な行政手続きの拡充 実績：オンライン受付可能な手続き数が194手続き（令和3年度末）から241手続き（令和4年度末）に増加した。 ・ 「さかたコンポ」の構築 実績：令和4年度末に構築を完了した。（令和5年4月12日リリース） <p>(2) 地域のデジタル変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田リビングラボの実施 実績：市民目線で地域の生活課題等を洗い出し、デジタル技術を活用した解決アイデアを検討するためワークショップを実施した。 ①課題抽出ワークショップ 2回 延べ参加者数 12人 ②アイデア創出ワークショップ 1回 参加者数 15人 ・ デジタルデバイド対策の実施 実績：地域のデジタルリテラシー向上を目的に、スマホ教室、市役所1階でのスマホ困りごと相談窓口、各種団体で開催するスマホ教室への講師紹介を実施した。 ①スマホ教室 29回 延べ参加者数 333人 ②困りごと相談窓口 延べ相談者数 1,167人 ③スマホ教室への講師紹介 6件 				
備 考	○主な特定財源	地方創生推進交付金（国）	74,635,317円		
		企業版ふるさと納税寄附金	1,500,000円		

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	12目 交流推進費	所 属	R4 地域創生部交流観光課 R3 地域創生部交流観光課																																																														
事 業 名	ふるさと納税推進事業				【 継 続 事 業 】																																																														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																														
	2,648,194,000	2,401,563,392	0	246,630,608	90.7%																																																														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																														
	0	0	0	0	2,401,563,392																																																														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																															
	2,708,343,000	2,384,703,546	16,859,846																																																																
	目 的 ・ 趣 旨																																																																		
	ふるさと納税を推進することにより市の財源確保を図り、併せて市の特産物のPRを行う。																																																																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 ふるさと納税により5,000円以上のご寄附をいただいた方（市外在住者に限る）に対し、寄附へのお礼として市の特産品を送付した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 寄附件数 168,603件（前年度179,860件） (2) 寄附金額 3,520,188,750円（前年度3,469,203,000円） (3) 申込が多かった返礼品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>返礼品名</th> <th>寄附件数</th> <th>寄附金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【定期便】無洗米はえぬき5kg×6回</td> <td>8,501件</td> <td>297,535,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【定期便】白米つや姫5kg×12回</td> <td>1,651件</td> <td>140,335,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>令和4年産 白米つや姫15kg</td> <td>6,988件</td> <td>125,784,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【定期便】白米つや姫10kg×12回</td> <td>602件</td> <td>96,320,000円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【定期便】無洗米ひとめぼれ5kg×12回</td> <td>1,199件</td> <td>83,930,000円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【定期便】無洗米はえぬき5kg×12回</td> <td>967件</td> <td>67,690,000円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>三元豚ロースしゃぶしゃぶギフト</td> <td>3,094件</td> <td>61,880,000円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>【定期便】無洗米つや姫5kg×12回</td> <td>657件</td> <td>59,130,000円</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>バブ 6種詰め合わせ</td> <td>4,564件</td> <td>45,640,000円</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>令和4年産 白米はえぬき10kg</td> <td>4,541件</td> <td>40,869,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 返礼品提供事業者登録数 150件（前年度143件） (5) 返礼品登録数（申し込みがあった返礼品のみ） 1,506品（前年度1,385品） (6) ガバメントクラウドファンディングの実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>プロジェクト名</th> <th>目標金額</th> <th>寄附件数</th> <th>寄附金額</th> <th>主管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イカ釣り船団応援</td> <td>1,000,000円</td> <td>616件</td> <td>14,458,000円</td> <td>農林水産課</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>旧燈屋修復支援※</td> <td>1,000,000円</td> <td>90件</td> <td>1,849,000円</td> <td>社会教育文化課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※旧燈屋修復支援プロジェクトは令和5年4月30日まで実施</p> <p>(7) 令和4年度に実施した新たな取組み ・新規サイト「JREMA LLふるさと納税」の利用を開始（令和5年3月） ・ワンストップ特例申請のオンライン受付を開始（令和4年10月）</p>						返礼品名	寄附件数	寄附金額	1	【定期便】無洗米はえぬき5kg×6回	8,501件	297,535,000円	2	【定期便】白米つや姫5kg×12回	1,651件	140,335,000円	3	令和4年産 白米つや姫15kg	6,988件	125,784,000円	4	【定期便】白米つや姫10kg×12回	602件	96,320,000円	5	【定期便】無洗米ひとめぼれ5kg×12回	1,199件	83,930,000円	6	【定期便】無洗米はえぬき5kg×12回	967件	67,690,000円	7	三元豚ロースしゃぶしゃぶギフト	3,094件	61,880,000円	8	【定期便】無洗米つや姫5kg×12回	657件	59,130,000円	9	バブ 6種詰め合わせ	4,564件	45,640,000円	10	令和4年産 白米はえぬき10kg	4,541件	40,869,000円		プロジェクト名	目標金額	寄附件数	寄附金額	主管課	1	イカ釣り船団応援	1,000,000円	616件	14,458,000円	農林水産課	2	旧燈屋修復支援※	1,000,000円	90件	1,849,000円	社会教育文化課
	返礼品名	寄附件数	寄附金額																																																																
1	【定期便】無洗米はえぬき5kg×6回	8,501件	297,535,000円																																																																
2	【定期便】白米つや姫5kg×12回	1,651件	140,335,000円																																																																
3	令和4年産 白米つや姫15kg	6,988件	125,784,000円																																																																
4	【定期便】白米つや姫10kg×12回	602件	96,320,000円																																																																
5	【定期便】無洗米ひとめぼれ5kg×12回	1,199件	83,930,000円																																																																
6	【定期便】無洗米はえぬき5kg×12回	967件	67,690,000円																																																																
7	三元豚ロースしゃぶしゃぶギフト	3,094件	61,880,000円																																																																
8	【定期便】無洗米つや姫5kg×12回	657件	59,130,000円																																																																
9	バブ 6種詰め合わせ	4,564件	45,640,000円																																																																
10	令和4年産 白米はえぬき10kg	4,541件	40,869,000円																																																																
	プロジェクト名	目標金額	寄附件数	寄附金額	主管課																																																														
1	イカ釣り船団応援	1,000,000円	616件	14,458,000円	農林水産課																																																														
2	旧燈屋修復支援※	1,000,000円	90件	1,849,000円	社会教育文化課																																																														
備 考																																																																			

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課
事 業 名	生涯活躍のまち構想推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	38,165,000	37,824,429	0	340,571	99.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	6,931,348	0	0	23,883,000	7,010,081
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	25,383,000	25,264,329	12,560,100		
	目 的 ・ 趣 旨				
	移住者向け住宅と地域交流拠点を整備運営する事業者や、関係機関等と連携し、参加意欲の高い人材の移住を促進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 情報発信と移住促進 移住者向け住宅と地域交流拠点「TOCHiTO」を整備運営する事業者と生活クラブ生協と連携し、そのネットワークを活かした本市移住情報の発信や、具体的な住替えの提案と相談支援を行うことで、本市への移住促進に取り組んだ。 また、移住前から本市での様々な活動や人材と関わりをつくる機会を創出することで、移住への動機付けを強めるとともに、本市との関係性を構築し、移住後のスムーズな活躍の機会へ繋げていく取組みを行った。</p> <p>(2) 運営推進委員会の開催 消防署跡地を活用した拠点の整備・運営を行う事業者や関係機関と協議を重ね、事業の推進を図るとともに移住の促進と拠点運営の仕組みづくりに取り組んだ。</p> <p>(3) 庄内自然エネルギー発電基金の活用 基金に関する協定を締結する4者と構成する協議会を通じて、地域交流拠点の再生可能エネルギー活用設備などへの支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 情報発信と移住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田での暮らしを具体的に検討する会：5回 延参加者61人 ・ 移住検討者と先輩移住者などとのオンライン交流会：4回 延参加者53人 ・ 来訪し関りをつくるプログラム：延参加者34人 ・ 入居申込者以外の個別相談対応：延べ68件 ・ 酒田への移住の関心を高めるためのオンラインセミナー：2回 延参加者58人 ・ 専用Webサイトでの情報発信：毎月関連情報更新 ・ 生活クラブ生協でのチラシ等による情報発信：5回 ・ TOCHiTO入居契約者：16世帯23人 <p>(2) 運営推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者と関係機関を交えた協議を実施：2回（その他関連会議3回） <p>(3) 庄内自然エネルギー発電基金の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOCHiTO地域交流拠点の再生可能エネルギー活用設備等への助成 				
備 考	○主な特定財源	地方創生推進交付金（国）	6,931,348円		
		庄内自然エネルギー発電基金繰入金	13,883,000円		
		株式会社庄内自然エネルギー発電寄附金	10,000,000円		

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課									
事 業 名	酒田移住交流推進事業				【 継 続 事 業 】									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①									
	21,175,000	18,608,501	0	2,566,499	87.9%									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源									
	4,246,523	5,027,000	0	3,500,000	5,834,978									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)										
	16,647,000	13,604,978	5,003,523											
	目 的 ・ 趣 旨													
	移住相談総合窓口を設置して相談対応及び情報提供を行うほか、各種支援策やPRなど総合的な施策を展開することで移住者の増加を促進する。													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規移住相談受付件数 174人 ・ ぐらすべ山形移住・交流フェア受付数 17組18人 ・ 東北U・Iターン大相談会受付数 7組11人 ・ ふるさと回帰フェア受付数 15組19人 ・ U I J ターン人材バンク求人数 (新規/令和4年度末) 84人/82社288人 ・ U I J ターン人材バンク求職者数 (新規/令和4年度末) 15人/6人 ・ U I J ターン人材バンクマッチング成立 (内定者) 数 8人 <p>(2) 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住ポータルサイトページビュー数 97,013PV ・ U I J ターン人材バンクメール配信登録者数 (新規/令和4年度末) 83人/198人 (うち学生52人) ・ やまがたハッピーライフカフェ参加者数 リアル12組15人・オンライン11人 ・ オンラインで酒田を楽しく知る情報交流会参加者数 延べ35人/全4回 <p>(3) 酒田を体験できる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住お試し住宅利用実績 延べ18組42人 ・ 島キャンプ参加者数 延べ21人/全2回 ・ 移住者拠点 (TOCHiTO) 現地見学会 延べ52人/全9回 <p>(4) 各種支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住者住宅支援費補助金実績 7件 2,200,000円 ・ お試し住宅利用促進補助金実績 5件 431,000円 ・ 移住者への米、味噌、醤油の支給実績 37世帯 605,128円 (山形県食の支援事業) ・ 移住支援金実績 (山形県移住支援事業) 8世帯 6,300,000円 <p>(5) 移住後のネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第19回移住者交流会参加者数 (さくらんぼ狩り) 27人 ・ 第20回移住者交流会参加者数 (芋煮会) 48人 ・ 第21回移住者交流会参加者数 (サカタントビンゴ大会) 23人 													
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">地方創生推進交付金 (国)</td> <td style="width: 30%;">4,246,523円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>移住支援事業費補助金 (県)</td> <td>4,725,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業版ふるさと納税寄附金</td> <td>3,500,000円</td> <td></td> </tr> </table>					地方創生推進交付金 (国)	4,246,523円		移住支援事業費補助金 (県)	4,725,000円		企業版ふるさと納税寄附金	3,500,000円	
地方創生推進交付金 (国)	4,246,523円													
移住支援事業費補助金 (県)	4,725,000円													
企業版ふるさと納税寄附金	3,500,000円													

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課																
事 業 名	やまがた就職促進支援連携事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	0	0	0	0	%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	0	0																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	480,000	480,000	△480,000																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	県と連携して、日本学生支援機構の第一種又は第二種奨学金の貸与を受ける大学生等及びUターンを希望する社会人を対象に、奨学金の返還を支援し、本市における将来の担い手となる若者の回帰及び定着を促進する。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>やまがた就職促進奨学金返還支援事業（旧名称：山形県若者定着奨学金返還支援事業）</p> <p>(1) 県と連携した助成候補者の募集・認定、奨学金返還支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがた若者定着枠 日本学生支援機構第一種又は第二種奨学金の貸与を受け、大学等を卒業後に本市に定住・就業することを希望する学生を助成候補者として認定し、卒業後13か月以内に本市に居住・就業し3年経過した時点で奨学金返還を支援する。 ・Uターン促進枠 大学等在学時に日本学生支援機構第一種又は第二種奨学金の貸与を受け、卒業後に県外に居住・就業している35歳以下の方で、本市へのUターンを希望する社会人を助成候補者として認定し、本市に居住・就業し3年経過した時点で奨学金返還を支援する。 <p>(2) 山形県若者定着支援基金への出捐</p> <p>例年、県が設置する山形県若者定着支援基金に、認定者への酒田市支援額を出捐しているが、令和4年度は過年度の出捐額のうち不用となった金額と酒田市分の支援額を相殺したことから出捐実績がなかった。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 助成候補者の認定状況</p> <table border="0"> <tr> <td>平成27年度認定者</td> <td>20人</td> <td>令和元年度認定者</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度認定者</td> <td>11人</td> <td>令和2年度認定者</td> <td>—（県の制度変更）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度認定者</td> <td>8人</td> <td>令和3年度認定者</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度認定者</td> <td>8人</td> <td>令和4年度認定者</td> <td>17人</td> </tr> </table> <p>(2) 山形県若者定着支援基金への出捐</p> <p>令和4年度出捐額 5,460,000円－5,460,000円（県基金充当額）＝0円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがた若者定着枠 17人分 26,000円×420月×1/2＝5,460,000円 ・Uターン促進枠は令和4年度応募なし <p>【参考】 令和4年度末現在山形県若者定着支援基金総額 32,148,000円（本市分） 令和4年度県取崩額 △312,000円（本市分）</p>					平成27年度認定者	20人	令和元年度認定者	21人	平成28年度認定者	11人	令和2年度認定者	—（県の制度変更）	平成29年度認定者	8人	令和3年度認定者	20人	平成30年度認定者	8人	令和4年度認定者	17人
平成27年度認定者	20人	令和元年度認定者	21人																		
平成28年度認定者	11人	令和2年度認定者	—（県の制度変更）																		
平成29年度認定者	8人	令和3年度認定者	20人																		
平成30年度認定者	8人	令和4年度認定者	17人																		
備 考																					

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課																				
事 業 名	男女共同参画推進事業				【 継 続 事 業 】																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																				
	1,775,000	1,668,131	0	106,869	94.0%																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																				
	0	200,000	0	1,000,000	468,131																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																					
	1,053,000	809,940	858,191																						
	目 的 ・ 趣 旨																								
	男女が互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現のため、市民の男女共同参画意識の啓発を図る。																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 男女共同参画推進センター「ウィズ」を拠点に、学習の場、相談の場、交流の場を提供し、地域・各種団体・学校等と共に、市民の男女共同参画意識の啓発を図った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 男女共同参画意識の啓発 ・男女共同参画に関する各種講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>23回</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>453人</td> <td>1,339人</td> <td>1,255人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳) ・ウィズ講座「大人のための今どきの家庭科」ほか 開催回数5回 参加者数133人 ・出前講座「男女共に暮らしやすい社会とは」ほか 開催回数7回 参加者数158人 ・学生向け「デートDV防止講座」及び「LGBT&SOGI講座」 開催回数5回 参加者数855人 ・ミニ講座「家事シェアのススメ」 開催回数5回 参加者数109人 ・県の人材育成プログラム「チェリア塾」への参加促進 修了者数 7人</p> <p>(2) 団体・グループ活動の支援と連携 ・男女共同参画推進サポーター11人と協働で講座等の企画・運営とサポーター研修会を実施した。 ・ウィズ登録団体の理解促進とネットワークづくりのため、研修会・情報交換会を開催した。 令和4年度登録団体数 12団体</p> <p>(3) 相談・サポートの実施 ・DV等の悩みを抱えた方の最初の相談窓口として、男女共同参画推進員を配置し関係機関等と連携を図りながら相談業務を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>25件</td> <td>19件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	開催回数	6回	23回	22回	参加者数	453人	1,339人	1,255人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	相談件数	25件	19件	21件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
開催回数	6回	23回	22回																						
参加者数	453人	1,339人	1,255人																						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
相談件数	25件	19件	21件																						
備 考	○主な特定財源 地域少子化対策重点推進交付金(県) 200,000円 企業版ふるさと納税寄附金 1,000,000円																								

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課
事 業 名	女性活躍推進事業				【 継続 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	7,136,000	5,438,834	0	1,697,166	76.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	1,936,000	0	0	3,000,000	502,834
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	4,502,000	2,683,410	2,755,424		
	目 的 ・ 趣 旨				
	働く女性又は働こうとする女性たちが、その個性と能力を十分に発揮しその思いが叶えられるように、誰もが働きやすい就業環境を実現する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 酒田市女性活躍推進懇話会</p> <p>(2) 日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会</p> <p>(3) メールマガジンの発行</p> <p>(4) 女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業(事業所)へ奨励金の交付</p> <p>(5) 酒田市自分らしくを応援するポータルサイト</p> <p>(6) 各種セミナーの開催</p> <p>(7) 女性活躍推進川柳</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田市女性活躍推進懇話会 女性活躍を全市的に推進するため、関係機関、企業、学識経験者等で構成する懇話会を2回、また委員有志によるオンライン座談会を1回開催した。本市の現状を共有・確認し、施策への提言等をいただいた。 ・懇話会開催日 7月29日、2月14日</p> <p>(2) 日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会 人口減少社会の中、市民一人一人の多様な力を合わせ、誰もが生き生きと暮らせるまちとなるように、社会的影響力のあるリーダーが自ら取り組みを進めることを表明することを目的に設置。 ・新規登録企業(事業所)数 26社 (通算73社)</p> <p>(3) メールマガジンの発行 日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会会員を対象に、企業(事業所)向けの補助金・助成金、セミナー等の情報を隔月発信した。</p> <p>(4) 女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業(事業所)へ奨励金の交付 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定と、女性管理職の登用、男性育休取得を促すため交付した。 ・支給件数 5件(前年度 1件)</p> <p>(5) 酒田市自分らしくを応援するポータルサイト 掲載内容の拡充と、より速やかな情報発信を目指し改修を行った。</p> <p>(6) 各種セミナーの開催 事業主向けセミナー 会場参加4人・オンライン参加者11人 女性応援セミナー 1回目 会場参加8人・オンライン参加21人 2回目 会場参加17人</p> <p>(7) 女性活躍推進川柳 意識啓発のため募集したところ全国から567句の応募があった。</p>				
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>地域女性活躍推進交付金(国) 1,936,000円</p> <p>さかた応援基金繰入金 1,500,000円</p> <p>企業版ふるさと納税寄附金 1,500,000円</p>				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	13目 地域共生費	所 属	R4 地域創生部地域共生課 R3 地域創生部地域共生課
事 業 名	結婚推進支援事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	18,431,000	9,883,926	0	8,547,074	53.6%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	6,208,000	0	0	3,675,926
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	10,522,000	9,996,578	△112,652		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市、企業及び団体等が連携して結婚を望む独身男女に出会いの機会を提供するとともに、結婚に伴う経済的負担軽減のため新生活開始時の住宅費用等を支援することで若い世代の結婚を後押しする。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	<p>(1) 酒田市結婚サポートセンターの運営 「酒田市結婚サポートセンター」を中心に、結婚サポーターによる仲介、婚活イベントの開催等により、結婚を望む独身男女に出会いの機会を提供した。</p> <p>(2) やまがたハッピーサポートセンターの運営参画 山形県と県内全市町村、関係団体等が、県民総ぐるみで結婚支援の充実・強化・少子化対策に取り組むため共同で設立した「やまがたハッピーサポートセンター」の運営に参画した。</p> <p>(3) 結婚新生活支援事業費補助金 新規婚姻世帯に対し住宅取得・リフォーム、賃借費用、引越費用を支援した。 ・対象：指定期間内に婚姻した39歳以下、かつ世帯所得が400万円未満の新婚世帯 ・補助上限額：夫婦とも29歳以下は60万円、39歳以下は30万円。</p>				
	○事業実績・説明				
	(1) 酒田市結婚サポートセンターの運営				
	項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	結婚推進員の相談対応件数※	129件	165件	146件	
	結婚サポーター数	30人	29人	29人	
	結婚サポーターの年間仲介件数	112件	73件	40件	
	上記仲介による成婚件数	1件	7件	2件	
	婚活イベント等開催数	4回	1回	2回	
	※相談件数は来所・電話の件数のみ（メール相談は多数のため集計から除外）				
	(2) やまがたハッピーサポートセンターの運営への参画				
	・ イベント情報の共有、センターの認知度向上と結婚応援の機運醸成のための周知活動を実施。				
	・ 新マッチングシステム(A iナビやまがた)の導入				
	(3) 結婚新生活支援事業費補助金				
	・ 交付実績33件（29歳以下17件、39歳以下10件、継続6件） 9,312,000円				
備 考	○主な特定財源 地域少子化対策重点推進交付金（県） 6,208,000円				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	9 目 市民安全対策費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 市民部まちづくり推進課																																			
事 業 名	安全・安心のまち酒田推進事業				【 継 続 事 業 】																																			
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
21,792,000	21,323,978	0	468,022	97.9%																																				
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
0	635,000	0	0	20,688,978																																				
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
22,214,000	20,626,709	697,269																																						
目 的 ・ 趣 旨																																								
交通安全啓発活動及び効果的な交通安全教育の推進と、防犯協会などの関係団体との連携、広報活動に取り組み、市民の安全意識向上を図る。																																								
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 関係機関等と連携した交通安全・防犯活動に関する各種啓発活動等																																							
	○事業実績・説明																																							
	(1) 交通安全教育の推進 10,347,567円 交通安全専門指導員による幼児、児童、高齢者等への交通安全教室を実施し、交通安全意識の向上を図った。また、34人の交通指導員が、14小学校の学区内通学路の危険箇所では早朝の街頭指導を行い、通学時の安全の確保に努めた。																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">交通安全専門指導員 実施事業</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児・児童等対象教室</td> <td>85</td> <td>4,810</td> <td>102</td> <td>4,685</td> <td>137</td> <td>5,760</td> </tr> <tr> <td>高齢者対象教室</td> <td>25</td> <td>424</td> <td>11</td> <td>204</td> <td>15</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>その他イベント等</td> <td>15</td> <td>2,167</td> <td>18</td> <td>2,548</td> <td>23</td> <td>3,558</td> </tr> </tbody> </table>						交通安全専門指導員 実施事業	令和2年度		令和3年度		令和4年度		回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	幼児・児童等対象教室	85	4,810	102	4,685	137	5,760	高齢者対象教室	25	424	11	204	15	223	その他イベント等	15	2,167	18	2,548	23	3,558
	交通安全専門指導員 実施事業	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																		
		回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数																																	
	幼児・児童等対象教室	85	4,810	102	4,685	137	5,760																																	
	高齢者対象教室	25	424	11	204	15	223																																	
	その他イベント等	15	2,167	18	2,548	23	3,558																																	
	(2) 交通安全啓発活動 3,654,462円 各交通安全関係団体等と連携し、毎月1日・15日の交通安全の日や、交通安全県民運動期間に街頭指導や交通安全家庭訪問指導などを実施した。																																							
(3) 酒田駅周辺駐輪場の整理と放置自転車撤去 2,211,049円 交通の安全確保と環境整備を図るため、酒田駅周辺自転車駐輪場の整理整頓や、放置自転車の撤去を実施した。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放置自転車撤去台数</td> <td>52台</td> <td>43台</td> <td>35台</td> </tr> </tbody> </table>							令和2年度	令和3年度	令和4年度	放置自転車撤去台数	52台	43台	35台																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
放置自転車撤去台数	52台	43台	35台																																					
(4) 運転免許自主返納の促進 3,933,800円 高齢者等による事故を防止するため、運転免許自主返納者に対するタクシー券の贈呈(5,000円相当額)、運転経歴証明書無料交付、運転経歴証明書提示によるバス、デマンドタクシーの100円割引を行い、自主返納を促した。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転免許自主返納者数</td> <td>562人</td> <td>524人</td> <td>457人</td> </tr> </tbody> </table>							令和2年度	令和3年度	令和4年度	運転免許自主返納者数	562人	524人	457人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
運転免許自主返納者数	562人	524人	457人																																					
(5) 防犯団体等との連携及び広報活動等の実施 1,177,100円 広報活動、研修会、合同パトロール、青色防犯パトロールを実施した。																																								
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金(交通安全専門指導事業)(県) 635,000円																																							

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	9 目 市民安全対策費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 市民部まちづくり推進課																																																											
事 業 名	空き家等総合対策事業				【 継 続 事 業 】																																																											
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																											
	2,234,000	1,645,452	0	588,548	73.7%																																																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																											
	292,500	0	0	1,228,000	124,952																																																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																												
	2,045,000	1,894,208	△248,756																																																													
	目 的 ・ 趣 旨																																																															
	市及び民間団体で組織する「空き家等ネットワーク協議会」と連携した空き家等の利活用及び自治会と連携した管理不全な空き家等の適正管理を促進する。																																																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 無料相談会の開催、空き家等情報サイトの運営等</p> <p>(2) 空家等対策の推進に関する特別措置法等に基づく助言・指導</p> <p>(3) 空き家等所有者のための啓発パンフレットの送付</p> <p>(4) 相続人不存在の危険老朽空き家に係る相続財産管理人選任の申立て</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 空き家所有者等を対象とした、空き家等ネットワーク協議会構成団体による無料相談会の開催（年3回）、空き家等情報サイトの運営 585,000円</p> <p>・協議会構成団体のうち、不動産業協会の契約件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不動産業 協会2団体</td> <td>相談件数</td> <td>23件</td> <td>31件</td> <td>61件</td> </tr> <tr> <td>契約件数</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・空き家等情報サイトの運営 掲載件数17件（令和5年3月31日現在）、契約件数14件（平成29年～累計）</p> <p>(2) 空家等対策の推進に関する特別措置法等に基づく措置による改善件数 31,248円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改善件数</td> <td>91件</td> <td>88件</td> <td>119件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・改善件数の改善内容別内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善内容</th> <th>建物の 解体処分</th> <th>屋根・外壁 等の飛散防 止措置</th> <th>ハチの巣の 除去</th> <th>雑草・樹木 の除去</th> <th>不法投棄の 除去・ その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">年 度</td> <td>R 2</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>11件</td> <td>30件</td> <td>28件</td> <td>91件</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>15件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>33件</td> <td>30件</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>18件</td> <td>12件</td> <td>7件</td> <td>43件</td> <td>39件</td> <td>119件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 空き家等所有者のための啓発パンフレットの送付 224,974円 約46,000人へ郵送（固定資産税納税通知書へ同封）し、啓発を図った。</p> <p>(4) 相続財産管理人選任の申立て 804,230円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申立て件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>					年 度		R 2	R 3	R 4	不動産業 協会2団体	相談件数	23件	31件	61件	契約件数	3件	5件	5件	年 度	R 2	R 3	R 4	改善件数	91件	88件	119件	改善内容	建物の 解体処分	屋根・外壁 等の飛散防 止措置	ハチの巣の 除去	雑草・樹木 の除去	不法投棄の 除去・ その他	合計	年 度	R 2	10件	12件	11件	30件	28件	91件	R 3	15件	5件	5件	33件	30件	88件	R 4	18件	12件	7件	43件	39件	119件	年 度	R 2	R 3	R 4	申立て件数	0件	1件	1件
年 度		R 2	R 3	R 4																																																												
不動産業 協会2団体	相談件数	23件	31件	61件																																																												
	契約件数	3件	5件	5件																																																												
年 度	R 2	R 3	R 4																																																													
改善件数	91件	88件	119件																																																													
改善内容	建物の 解体処分	屋根・外壁 等の飛散防 止措置	ハチの巣の 除去	雑草・樹木 の除去	不法投棄の 除去・ その他	合計																																																										
年 度	R 2	10件	12件	11件	30件	28件	91件																																																									
	R 3	15件	5件	5件	33件	30件	88件																																																									
	R 4	18件	12件	7件	43件	39件	119件																																																									
年 度	R 2	R 3	R 4																																																													
申立て件数	0件	1件	1件																																																													
備 考	<p>○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 292,500円</p> <p>相続財産管理人選任申立予納金戻入金 1,228,000円</p>																																																															

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	10目 地域活動推進費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 市民部まちづくり推進課
事 業 名	市民協働・公益活動推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	11,667,000	11,240,815	0	426,185	96.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	10,858,109	382,706
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	11,482,000	11,054,258	186,557		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市民等の自発的なボランティア・公益活動を支援するとともに、公益活動団体と市が協働し知恵を出し合うことで、多様化する地域課題の解決や新たな価値の創造を目指す。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 ボランティア・公益活動センター（ボラポートさかた）の運営、自発的に公益活動に取り組む市民および公益活動団体への活動支援				
	○事業実績・説明				
	(1) ボランティア・公益活動推進委員会の開催 145,906円 3回（4月、10月、2月）開催し、公益活動施策について協議・検討した。				
	(2) ボラポートさかたの運営 8,824,000円 ・公益活動に関する相談対応、コーディネート（推進員3人配置） ・研修会、団体交流会、ボランティア体験活動等の企画・実施 ・ボランティアコーディネーションカ3級検定の実施（地域共創センター共催） ・公益活動団体の登録及びHP、SNS、メール、おたより等での情報発信				
		R2年度	R3年度	R4年度	
	登録団体数	142団体	140団体	140団体	
	(3) 市民主体の公益活動を支援するための各種補助金の交付				
	・公益活動支援補助金 1,139,000円				
		R2年度	R3年度	R4年度	
	交付事業数	9事業	7事業	9事業	
交付金額	1,632,000円	1,036,000円	1,139,000円		
・飛島ボランティア活動支援補助金 219,800円					
	R2年度	R3年度	R4年度		
団体・人数	3団体・31人	9団体・170人	6団体・63人		
交付金額	112,030円	567,930円	219,800円		
・ボランティア連絡協議会運営補助金 94,000円					
(4) 市と公益活動団体による協働事業の調整					
・公益活動団体協働提案負担金（令和4年度が事業実施初年度） 784,000円 ①食品ロス削減啓発（サルベージクッキング、フードドライブ等） ②子育て支援（子育てについての講演会、親子体験活動等） ③アートを通じた共生社会づくり（おしゃべりなTシャツ作成ワークショップ等）					
(5) 公益活動支援基金の運営（基金利子の積み立て） 34,109円					
備 考	○主な特定財源 公益活動支援基金繰入金 10,824,000円 公益活動支援基金利子 34,109円				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	10目 地域活動推進費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 市民部まちづくり推進課
事 業 名	コミュニティ振興事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	162,771,000	162,682,309	0	88,691	99.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	43,800,000	100,000,000	18,882,309
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	163,076,000	162,924,582	△242,273		
	目 的 ・ 趣 旨				
	地域が育んできた力を活かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由に選択し実行できる交付金制度（ひとづくり・まちづくり総合交付金）により、各地域の住民主体の活動を支援する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 コミュニティ振興会に対する、ひとづくり・まちづくり総合交付金の交付</p> <p>○事業実績・説明 全36コミュニティ振興会に対し、それぞれの地域課題解決を図るための自主的に使える財源として交付金を交付した。 自治会等への交付金についてはコミュニティ振興会に一括交付した後、各振興会から各自治会等へ交付されている。</p> <p>(1) 用途を特定しない交付金 129,307,540 円 【内訳】 基礎交付額 88,386,000 円 敬老会事業加算 28,776,240 円 体育振興会事業加算 2,269,800 円 自主防災協議会事業加算 300,000 円 地域の教育力向上事業加算 7,275,000 円 東山利活用事業加算 48,500 円 廃棄物減量推進活動加算 1,552,000 円 地域計画加算 600,000 円 人材育成加算 100,000 円</p> <p>(2) 特定交付金 33,374,769 円 【内訳】 自治会運営交付金 20,909,200 円 空き家等見守り隊加算 1,908,000 円 町をきれいにする週間協力加算 1,045,000 円 民俗芸能保存会交付金 824,500 円 交通安全対策加算 1,258,000 円 集落支援員設置加算 7,430,069 円</p>				
備 考	○主な特定財源	過疎対策事業債（市債）	43,800,000円		
		地域づくり基金繰入金	100,000,000円		

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11 目 地域振興費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 地域創生部交流観光課								
事 業 名	とびしまマリンプラザ管理事業				【 継 続 事 業 】								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	5,618,000	5,421,219	0	196,781	96.5%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	0	0	0	214,450	5,206,769								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	2,502,000	1,945,809	3,475,410										
	目 的 ・ 趣 旨												
	とびしまマリンプラザに整備した小規模店舗と食堂・カフェを運営し、島民の日常生活の利便性向上と飛鳥観光産業の振興を図る。												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) とびしまマリンプラザの維持管理 清掃委託、自動ドア保守、浄化槽維持、避難器具保守、冷暖房設備保守などを行うとともに、塩害浸食に伴う小修繕を行い、適正な管理運営を行った。</p> <p>(2) 食堂・カフェスペース及び小規模店舗スペースの業務委託 とびしまマリンプラザ内の食堂・カフェスペースと小規模店舗スペースについて、事業者を募集し運営。採算性が低い小売店舗部分に対し、人件費相当分を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) とびしまマリンプラザの維持管理 4,427,219 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設修繕費 990,000 円 ・ 燃料費及び光熱水費 1,604,930 円 ・ 施設管理委託料 1,785,840 円 ・ その他管理費 46,449 円 <p>(2) 食堂・カフェスペース及び小規模店舗スペースの業務委託 994,000 円</p> <p>(3) とびしまマリンプラザ利用人数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>7,385</td> </tr> <tr> <td> 食堂・カフェ</td> <td>2,654</td> </tr> <tr> <td> 小規模店舗</td> <td>4,731</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和4年度	全体	7,385	食堂・カフェ	2,654	小規模店舗	4,731
年度	令和4年度												
全体	7,385												
食堂・カフェ	2,654												
小規模店舗	4,731												
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>とびしまマリンプラザ行政財産目的外使用料 9,000円 とびしまマリンプラザ電気・水道料 205,450円</p>												

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11 目 地域振興費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 市民部まちづくり推進課
事 業 名	飛島活力再生推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,104,000	1,049,300	0	54,700	95.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	125,000	0	0	0	924,300
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	864,000	731,399	317,901		
	目 的 ・ 趣 旨				
	将来にわたってコミュニティ機能を維持し、人々が安心して住み続けられる島とするため、島民・大学・NPO・県・市が一体となって事業を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) とびしま未来協議会の運営 島民・大学・NPO・県・市が一体となって協議会組織を運営し、島民座談会等を開催しながら、将来の飛島のあるべき姿に向けて、島民主体の事業を展開する。</p> <p>(2) 外部人材の活用 島外人材（地域おこし協力隊）のマンパワーを活用して、日常生活における諸課題の解決を図る。</p> <p>(3) 飛島漂着物ボランティア清掃への支援 NPO、東北公益文科大学、行政等が実行委員会を組織し、関係団体、一般公募者及び島民を含めたボランティアで行う島内の清掃活動（飛島クリーンアップ作戦）に対して支援を行う。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) とびしま未来協議会の運営 401,238 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とびしま未来協議会の開催 1 回（3 月） ・ 活動10年を経過し、事務局内で今後の在り方について検討。テーマを決めた意識共有のために話し合う場や、島民や島内外で活動する団体との情報交換会の場として存続していくこととした。 ・ 持続可能な飛島づくりを考える会（6 月、11 月）に参加し、新たな離島振興計画の策定に向け、島の課題やあるべき姿等、今後10年の飛島振興を島民や関係者と共に協議を行った。 ・ アイランダー2022への参加（池袋サンシャインシティにて飛島のPR） ・ スマートアイランド、テックアイランド事業へ協力し島の課題解決に寄与した。 <p>(2) 外部人材の活用 648,062 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊合同募集セミナーへの参加 ・ 隊員用ノートPC、自動車の借上げ、保険料、運賃など <p>(3) 飛島漂着物ボランティア清掃への支援 0 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月26日 悪天候により中止（一般参加取りやめ） ・ 9月19日 実行委員会のみで実施を検討するも悪天候により中止 				
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国）		125,000円		

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11 目 地域振興費	所 属	R4 市民部まちづくり推進課 R3 —
事 業 名	飛島地区無線 LAN 環境整備事業				【 新規 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,736,000	1,657,691	0	78,309	95.5%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	1,300,000	0	357,691
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	島内に敷設された光ファイバを活用して、島内の観光及び防災拠点に公衆無線 LAN 環境等を整備することにより、島民及び観光客の利便性と災害時等の情報収集力の向上を図る。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 島内主要 4 か所（とびしま総合センター、とびしまマリンプラザ、山グラウンド、海水浴場）への公衆無線 LAN 環境の整備</p> <p>(2) 宿泊施設等での無線 LAN 環境整備への補助金</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 島内主要 4 か所への公衆無線 LAN 環境の整備 1,468,091 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とびしま総合センター、とびしまマリンプラザ、山グラウンドに公衆無線 LAN 環境を整備した。 ・海水浴場は海水浴場のオープン時期に合わせてレンタルルーターを設置した。 <p>〈内訳〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島地区公衆無線 LAN アクセスポイント設置業務委託 1,328,800 円 ・飛島海水浴場向け公衆無線 LAN 機器賃貸借（3 か月分） 46,200 円 ・インターネット回線利用料・通信費 93,091 円 <p>(2) 飛島宿泊施設無線 LAN 環境整備補助金 189,600 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島内の宿泊施設が無線 LAN 機器を整備する場合に、その費用の 2 分の 1（上限 100 千円）を補助した。 ・交付件数 3 件 ・観光客等の利便性向上のため、整備された無線 LAN は宿泊客に開放した。 				
備 考	○主な特定財源 辺地対策事業債（市債） 1,300,000円				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11目 地域振興費	所 属	R4 八幡総合支所 R3 八幡総合支所
事 業 名	八幡地域振興事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	4,127,000	3,962,196	0	164,804	96.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	149,900	0	0	305,000	3,507,296
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	5,634,000	5,168,960	△1,206,764		
	目 的 ・ 趣 旨				
	地域の特色や資源を発信するイベント等を実施することで交流人口を拡大し、地域振興や産業振興を図る。また、地域おこし協力隊を配置し、外部の人材からの視点や隊員これまでの経験を生かした活動により、地域活性化を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	これまでの八幡地域振興事業、にぎわい創出事業、地域おこし協力隊活動推進事業、協議会運営事業、ジオパーク関連事業を一本化した。				
	八幡地域観光物産事業実行委員会、やわた産業まつり実行委員会が主体となり、八幡地域のにぎわい創出や芸術文化、体育祭等の地域振興イベントを実施した。				
	○事業実績・説明				
	(1) にぎわい創出				
		イベント等	開催日	入込数	
		八幡の夏まつり(やわたフードトラックフェスティバル)	9/10	400名	
		鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業	9/24、10/22、 11/5、1/21、2/18	89名	
		一ノ滝から三ノ滝トレッキング、紅葉の鶴間池と秋の恵み探し、紅葉の玉簾の滝と数河の池探訪、鳥海高原雪原トレッキング、鳳来山鳥海高原雪原トレッキング			
		やわた産業まつり	10/30	1,500名	
	(2) 芸術文化、スポーツ振興				
	イベント等	開催日	参加者		
	「ワタシノイキカタ」講演会	7/13	25名		
	やわたクラシックコンサート	10/ 3	144名		
	八幡体育祭	10/15、22、23	109名		
	やわた文化祭(展示部門、ステージ部門)	10/29~31、11/3	1,950名		
	やわた百人一首かるた大会	1/14	54名		
	※やわたロードレースは新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止				
	(3) 地域おこし協力隊定住促進起業化補助金 1名(日向地区 3年経過)				
	(4) 八幡地域協議会の開催 3回開催(6/22、8/29、1/10)				
	(5) 庄内やわた会との交流 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止				
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 149,900円				

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11目 地域振興費	所 属	R4 八幡総合支所 R3 八幡総合支所																				
事 業 名	中山間地域活力向上事業				【 継 続 事 業 】																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																				
	4,154,000	4,129,359	0	24,641	99.4%																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																				
	2,064,679	0	0	0	2,064,680																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																					
	4,160,000	4,129,359	0																						
	目 的 ・ 趣 旨																								
	民間事業者と連携し、八幡地域への交流・関係人口の拡大と地域経済への波及、コミュニティ活動における担い手の確保・育成、集いの場や居場所づくりによる住みよい地域環境を創出する。																								
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 中山間地域コミュニティビジネス創出・暮らしの支援調査 移動販売を通して、中山間地域が抱える課題等の調査や改善のための提案業務を実施した。</p> <p>(2) 鼠・昆虫等防除管理 日向里かふえ厨房のHACCP基準に対応するため防除事業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 中山間地域コミュニティビジネス創出・暮らしの支援調査（業務委託）</p> <p>①移動販売による調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所等 八幡地域では地域内50カ所でそれぞれ週2回程度実施の他、松山地域・平田地域・本楯地域・上田地域・南遊佐地域で活動を実施した。 平田地域では、前年までの販売拠点に加え、東陽・田沢コミュニティ地区で集落の巡回販売を開始した。 そのほか、山居バルやミライニオープン記念イベント等の各種イベントに出店、販売を実施した。（10件） <ul style="list-style-type: none"> ・来客者数 延べ4,704人（昨年度比△1,354人） <p>②地域の見守り人の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期の停留所以外に高齢者単独世帯、高齢者世帯宅にも停車、声掛けを実施、定期的なコミュニケーションにより、地域の安心安全のための重要な役割を担った。 <p>(2) 鼠・昆虫等防除管理（業務委託）</p> <p>目視、聞き取り、トラップ等による調査を実施し、発生等が確認された場合は、防除対策を実施した。</p> <p>(3) 『日向里かふえ』営業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業日数</td> <td>242日</td> <td>154日</td> <td>191日</td> <td>197日</td> </tr> <tr> <td>来客者数</td> <td>7,798人</td> <td>5,742人</td> <td>4,277人</td> <td>4,110人</td> </tr> <tr> <td>販 売 額</td> <td>5,049,305円</td> <td>5,053,117円</td> <td>4,650,035円</td> <td>5,267,064円</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	営業日数	242日	154日	191日	197日	来客者数	7,798人	5,742人	4,277人	4,110人	販 売 額	5,049,305円	5,053,117円	4,650,035円	5,267,064円
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																					
営業日数	242日	154日	191日	197日																					
来客者数	7,798人	5,742人	4,277人	4,110人																					
販 売 額	5,049,305円	5,053,117円	4,650,035円	5,267,064円																					
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 2,064,679円																								

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11目 地域振興費	所 属	R4 松山総合支所 R3 松山総合支所																																																				
事 業 名	松山地域振興事業				【 継 続 事 業 】																																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																				
	5,276,000	5,149,300	0	126,700	97.6%																																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																				
	1,569,469	0	0	0	3,579,831																																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																					
	3,860,000	3,138,380	2,010,920																																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																																								
	地域の特色や資源を発信するイベント等を実施することで交流人口を拡大し、地域振興や産業振興を図る。また、地域おこし協力隊を配置し、外部の人材からの視点や隊員これまでの経験を生かした活動により、地域活性化を推進する。																																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>これまでの松山地域振興事業に、にぎわい創出事業、地域おこし協力隊活動推進事業、協議会運営事業、松山の宝推進事業、観光物産支援事業を一本化した。</p> <p>松山にぎわい創出実行委員会、松山の宝推進協議会、松山地域観光物産事業実行委員会が主体となり城下町松山の魅力をPRする地域振興イベントを実施した。また、松山地域の内郷地区に地域おこし協力隊を配置し、住民とともに様々な取り組みを実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) にぎわい創出 3,256,045円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">イベント</th> <th>開催日</th> <th>入込数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">交 流 観 光</td> <td>まつやま大手門くらふとフェア</td> <td>9/23~24</td> <td>4,300人</td> </tr> <tr> <td>眺海の森音楽祭</td> <td>10/2</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>城下町松山秋まつり</td> <td>11/6</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>松山絵灯籠まつり</td> <td>8/11~20</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">地 域 資 源 活 用</td> <td>松山ホタルウィーク</td> <td>6/20~26</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>郷土史講演会</td> <td>12/17</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>松山の宝茶話会</td> <td>5/21, 8/6, 9/3</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>伝統文化体験事業</td> <td>2/18</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">いきいきくらぶ（高齢者の健康づくり事業）</td> <td>5月~2月(8回)</td> <td>265人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芸術文化、スポーツの振興 514,569円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">イベント</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">眺海の森ウォーキング事業の開催</td> <td>5/28, 9/3, 11/5</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">まつやまくまくん教室</td> <td>10/22~23</td> <td>39名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 内郷地区 1名配置 1,091,915円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域おこし事業の取り組み</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域住民活動の支援、コーディネート</td> <td>料理教室14回、料理菓子提供19回、出店販売3回、商品の共同開発、情報発信</td> </tr> <tr> <td>自らの定住に向けたスキル習得等</td> <td>研修会への参加等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 松山地域協議会の開催 3回開催（6/17、11/7、1/6） 286,771円</p> <p>(5) 東京松山会との交流は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 1,569,469円</p>					イベント		開催日	入込数	交 流 観 光	まつやま大手門くらふとフェア	9/23~24	4,300人	眺海の森音楽祭	10/2	100人	城下町松山秋まつり	11/6	1,500人	松山絵灯籠まつり	8/11~20	2,000人	地 域 資 源 活 用	松山ホタルウィーク	6/20~26	190人	郷土史講演会	12/17	45人	松山の宝茶話会	5/21, 8/6, 9/3	55人	伝統文化体験事業	2/18	6人	いきいきくらぶ（高齢者の健康づくり事業）		5月~2月(8回)	265人	イベント		開催日	参加者	眺海の森ウォーキング事業の開催		5/28, 9/3, 11/5	52名	まつやまくまくん教室		10/22~23	39名	地域おこし事業の取り組み	主な活動内容	地域住民活動の支援、コーディネート	料理教室14回、料理菓子提供19回、出店販売3回、商品の共同開発、情報発信	自らの定住に向けたスキル習得等	研修会への参加等
イベント		開催日	入込数																																																						
交 流 観 光	まつやま大手門くらふとフェア	9/23~24	4,300人																																																						
	眺海の森音楽祭	10/2	100人																																																						
	城下町松山秋まつり	11/6	1,500人																																																						
	松山絵灯籠まつり	8/11~20	2,000人																																																						
地 域 資 源 活 用	松山ホタルウィーク	6/20~26	190人																																																						
	郷土史講演会	12/17	45人																																																						
	松山の宝茶話会	5/21, 8/6, 9/3	55人																																																						
	伝統文化体験事業	2/18	6人																																																						
いきいきくらぶ（高齢者の健康づくり事業）		5月~2月(8回)	265人																																																						
イベント		開催日	参加者																																																						
眺海の森ウォーキング事業の開催		5/28, 9/3, 11/5	52名																																																						
まつやまくまくん教室		10/22~23	39名																																																						
地域おこし事業の取り組み	主な活動内容																																																								
地域住民活動の支援、コーディネート	料理教室14回、料理菓子提供19回、出店販売3回、商品の共同開発、情報発信																																																								
自らの定住に向けたスキル習得等	研修会への参加等																																																								
備 考																																																									

款 項 目	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11目 地域振興費	所 属	R4 平田総合支所 R3 平田総合支所																																									
事 業 名	平田地域振興事業				【 継 続 事 業 】																																									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																									
	5,640,000	5,465,690	0	174,310	96.9%																																									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																									
	659,578	0	0	0	4,806,112																																									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																										
	5,065,000	4,740,183	725,507																																											
	目 的 ・ 趣 旨																																													
	地域の特色や資源を発信するイベント等を実施することで交流人口を拡大し、地域振興や産業振興を図る。また、地域おこし協力隊を配置し、外部の人材からの視点や隊員のこれまでの経験を生かした活動により、地域活性化を推進する。																																													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>これまでの平田地域振興事業に、にぎわい創出事業、地域おこし協力隊活動推進事業、地域協議会運営事業、里山ひらた地域資源再発見事業を一本化した。</p> <p>平田地域観光物産事業実行委員会等が主体となり、平田地域の魅力を発信するイベントや、担い手の人材育成のための自然体験教室や芸術を活かしたイベントを実施した。また、平田地域の東陽地区に地域おこし協力隊を配置し、住民とともに様々な取り組みを実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) にぎわい創出 2,055,929円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント等</th> <th>開催日</th> <th>入込数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こばいちゃひらた（体験型ワークショップ）</td> <td>7/18</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>ひらた産業まつり</td> <td>11/3</td> <td>1,400人</td> </tr> <tr> <td>冬の十二滝と温泉ツアー</td> <td>1/29</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>庄内ひらた目ん玉夏まつりチャレンジ（花火）</td> <td>8/14</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>里山DAY in たざわ</td> <td>10/16</td> <td>1,100人</td> </tr> <tr> <td>自然体験教室</td> <td>6/9～10, 7/7, 7/8</td> <td>3校114人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芸術文化・スポーツ 2,265,530円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回）</td> <td>5/25～9/28</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>石黒光二彫刻作品を巡る平田バスツアー</td> <td>9/11</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>rikkoの楽しい音楽会2022</td> <td>11/19～11/28</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td>ひらた文化祭（ステージ発表、作品展示）</td> <td>10/7～11/28</td> <td>1,411名</td> </tr> <tr> <td>各種スポーツ大会、教室（6大会2教室）</td> <td>5/29～2/5</td> <td>410名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 東陽地区 1名配置 823,512円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放置柿の情報収集、柿渋仕込みワークショップ、柿渋染め体験の実施、柿渋の六次産業化模索、小学校・中学校の総合学習への参画、情報発信</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">320,719円</p> <p>(4) 平田地域協議会の開催 4回開催（5/24、6/23、7/28、9/13）</p> <p>(5) 首都圏ふるさと平田会との交流は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 659,578円</p>					イベント等	開催日	入込数	こばいちゃひらた（体験型ワークショップ）	7/18	1,000人	ひらた産業まつり	11/3	1,400人	冬の十二滝と温泉ツアー	1/29	23人	庄内ひらた目ん玉夏まつりチャレンジ（花火）	8/14	—	里山DAY in たざわ	10/16	1,100人	自然体験教室	6/9～10, 7/7, 7/8	3校114人	事業内容	開催日	参加者	平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回）	5/25～9/28	29名	石黒光二彫刻作品を巡る平田バスツアー	9/11	21名	rikkoの楽しい音楽会2022	11/19～11/28	167名	ひらた文化祭（ステージ発表、作品展示）	10/7～11/28	1,411名	各種スポーツ大会、教室（6大会2教室）	5/29～2/5	410名	主な活動内容	放置柿の情報収集、柿渋仕込みワークショップ、柿渋染め体験の実施、柿渋の六次産業化模索、小学校・中学校の総合学習への参画、情報発信
イベント等	開催日	入込数																																												
こばいちゃひらた（体験型ワークショップ）	7/18	1,000人																																												
ひらた産業まつり	11/3	1,400人																																												
冬の十二滝と温泉ツアー	1/29	23人																																												
庄内ひらた目ん玉夏まつりチャレンジ（花火）	8/14	—																																												
里山DAY in たざわ	10/16	1,100人																																												
自然体験教室	6/9～10, 7/7, 7/8	3校114人																																												
事業内容	開催日	参加者																																												
平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回）	5/25～9/28	29名																																												
石黒光二彫刻作品を巡る平田バスツアー	9/11	21名																																												
rikkoの楽しい音楽会2022	11/19～11/28	167名																																												
ひらた文化祭（ステージ発表、作品展示）	10/7～11/28	1,411名																																												
各種スポーツ大会、教室（6大会2教室）	5/29～2/5	410名																																												
主な活動内容																																														
放置柿の情報収集、柿渋仕込みワークショップ、柿渋染め体験の実施、柿渋の六次産業化模索、小学校・中学校の総合学習への参画、情報発信																																														
備 考																																														

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																																																
事 業 名	(繰越明許費) 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 【 継 続 事 業 】																																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																
	197,366,420	191,431,368	0	5,935,052	97.0%																																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																
	191,331,227	0	0	0	100,141																																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																	
	—	—	—																																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																																				
	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯等に対して、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を支給する。																																																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 支給対象者</p> <p>① 住民税非課税世帯分</p> <p>ア 令和3年度住民税非課税世帯分 令和3年12月10日において本市の住民基本台帳に記載されている世帯で、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯の世帯主</p> <p>イ 令和4年度住民税非課税世帯分 令和3年12月10日時点において、いずれかの市町村の住民基本台帳に記録され、かつ、令和4年6月1日時点において、酒田市の住民基本台帳に記録されており、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯（ただし、アの対象となる世帯は除く）</p> <p>② 家計急変世帯分</p> <p>①のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）の世帯主</p> <p>(2) 支給額</p> <p>1世帯あたり100,000円</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 令和3年度住民税非課税世帯等分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給済額</th> <th>発送世帯数※</th> <th>支給率※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 住民税非課税世帯分</td> <td>65,900,000円</td> <td>10,643世帯</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td> 確認書方式</td> <td>60,300,000円</td> <td>10,360世帯</td> <td>93.4%</td> </tr> <tr> <td> 申請書方式</td> <td>5,600,000円</td> <td>283世帯</td> <td>47.0%</td> </tr> <tr> <td>② 家計急変世帯分</td> <td>1,500,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>67,400,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※発送世帯数・支給率については、令和3年度支給分を含めたもの</p> <p>(2) 令和4年度住民税非課税世帯等分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給済額</th> <th>発送世帯数</th> <th>支給率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 住民税非課税世帯分</td> <td>121,700,000円</td> <td>1,516世帯</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td> 確認書方式</td> <td>113,400,000円</td> <td>1,220世帯</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td> 申請書方式</td> <td>8,300,000円</td> <td>296世帯</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>② 家計急変世帯分</td> <td>400,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>122,100,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	支給済額	発送世帯数※	支給率※	① 住民税非課税世帯分	65,900,000円	10,643世帯	92.2%	確認書方式	60,300,000円	10,360世帯	93.4%	申請書方式	5,600,000円	283世帯	47.0%	② 家計急変世帯分	1,500,000円	—	—	計	67,400,000円	—	—	区分	支給済額	発送世帯数	支給率	① 住民税非課税世帯分	121,700,000円	1,516世帯	80.3%	確認書方式	113,400,000円	1,220世帯	93.0%	申請書方式	8,300,000円	296世帯	28.0%	② 家計急変世帯分	400,000円	—	—	計	122,100,000円	—	—
区分	支給済額	発送世帯数※	支給率※																																																		
① 住民税非課税世帯分	65,900,000円	10,643世帯	92.2%																																																		
確認書方式	60,300,000円	10,360世帯	93.4%																																																		
申請書方式	5,600,000円	283世帯	47.0%																																																		
② 家計急変世帯分	1,500,000円	—	—																																																		
計	67,400,000円	—	—																																																		
区分	支給済額	発送世帯数	支給率																																																		
① 住民税非課税世帯分	121,700,000円	1,516世帯	80.3%																																																		
確認書方式	113,400,000円	1,220世帯	93.0%																																																		
申請書方式	8,300,000円	296世帯	28.0%																																																		
② 家計急変世帯分	400,000円	—	—																																																		
計	122,100,000円	—	—																																																		
備 考	○主な特定財源 子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金（国） 191,331,227円																																																				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 —																								
事 業 名	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業【新規事業】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																								
	538,191,000	520,594,460	0	17,596,540	96.7%																								
	支出済額②の財源内訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																								
	520,594,460	0	0	0	0																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	—	—	—																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を支給する。																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 支給対象者</p> <p>① 住民税非課税世帯分 令和4年9月30日において本市の住民基本台帳に記載されている世帯で、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯の世帯主</p> <p>② 家計急変世帯分 ①のほか、予期せず家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）の世帯主</p> <p>(2) 支給額 1世帯あたり50,000円</p> <p>(3) 申請等の方式</p> <p>① 住民税非課税世帯分 ア 確認書方式（提出締切：令和5年2月15日） 市民からの申請を待たずに、本市において、支給対象となる世帯を抽出することで、できるだけ簡素な手続きで迅速に支給を実施するプッシュ型の方式 イ 申請書方式（提出締切：令和5年2月15日） アのほか、住民税非課税世帯であるにも関わらず未申告者を含むなどの要因により、本市において、支給対象となるか確認できない際に申請書を提出する方式</p> <p>② 家計急変世帯分（提出締切：令和5年1月31日） 全て申請書方式</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給済額</th> <th>発送世帯数</th> <th>支給率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 住民税非課税世帯分</td> <td>508,600,000円</td> <td>11,051世帯</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td> 確認書方式</td> <td>504,250,000円</td> <td>10,886世帯</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td> 申請書方式</td> <td>4,350,000円</td> <td>165世帯</td> <td>52.7%</td> </tr> <tr> <td>② 家計急変世帯分</td> <td>1,850,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>510,450,000円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	支給済額	発送世帯数	支給率	① 住民税非課税世帯分	508,600,000円	11,051世帯	92.0%	確認書方式	504,250,000円	10,886世帯	92.6%	申請書方式	4,350,000円	165世帯	52.7%	② 家計急変世帯分	1,850,000円	—	—	計	510,450,000円	—	—
区分	支給済額	発送世帯数	支給率																										
① 住民税非課税世帯分	508,600,000円	11,051世帯	92.0%																										
確認書方式	504,250,000円	10,886世帯	92.6%																										
申請書方式	4,350,000円	165世帯	52.7%																										
② 家計急変世帯分	1,850,000円	—	—																										
計	510,450,000円	—	—																										
備 考	○主な特定財源 子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金（国） 520,594,460円																												

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	社会福祉協議会運営費補助事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	93,745,000	92,934,000	0	811,000	99.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	30,300,000	2,585,000	60,049,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	88,089,000	87,039,000	5,895,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田市社会福祉協議会に対し、円滑な事業運営と地域福祉の推進を図ることを目的に活動補助金を交付する。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 地域福祉の推進等に大きな役割を果たしている酒田市社会福祉協議会の円滑な事業運営を図り、併せて福祉拠点となる地域福祉センター及び酒田市社会福祉協議会各支部の施設運営を円滑に進めるために活動補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 人件費に対する補助 ・ 酒田市社会福祉協議会職員21人分 69,678千円</p> <p>(2) 事業の実施に対する補助 ・ 新・草の根事業 7,644千円 学区・地区社会福祉協議会が主体となり、ひとり暮らし高齢者等を地域で見守る「見守りネットワーク支援事業」や、地域住民との交流や見守りを目的として給食を提供する「ふれあい給食事業」を実施した。</p> <p>(3) 施設維持管理に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉センター運営事業 10,952千円 ・ 八幡支部管理運営事業 2,379千円 ・ 松山支部管理運営事業 682千円 ・ 平田支部管理運営事業 282千円 ・ 福祉バス管理運営事業（八幡支部配置分） 1,317千円 				
備 考	<p>○主な特定財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 過疎対策事業債（市債） 30,300,000円 社会福祉基金繰入金 2,585,000円 				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																																
事 業 名	地域福祉推進事業				【 継 続 事 業 】																																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																
	589,000	538,910	0	50,090	91.5%																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																
	0	0	0	0	538,910																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																	
	499,000	490,080	48,830																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																				
	高齢化の一層の進展や人口減少による核家族化、過疎化などに伴う地域社会の新たな課題に対応し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会を実現するため、幅広い市民参加による地域福祉活動を推進する。																																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 救急安心カード整備事業 98,910円 高齢者や障がい者等の安心を確保し、緊急時のスムーズな支援につなぐため、緊急時の必要事項を記入したカードを、専用の容器に入れて自宅の冷蔵庫等に保管する救急安心カードを配布した。</p> <p>(2) 福祉の担い手育成事業 440,000円 高齢者とのコミュニケーションの取り方や関わり方を学ぶため、後期高齢者の身体的変化を再現する用具を使用し、高齢者の身体的・心理的变化を擬似的に体験するプログラムを市内小中学生を対象に実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 救急安心カード整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容器</td> <td>310個</td> <td>196個</td> <td>138個</td> </tr> <tr> <td>ステッカー</td> <td>316枚</td> <td>197枚</td> <td>142枚</td> </tr> <tr> <td>カード</td> <td>543枚</td> <td>307枚</td> <td>227枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 福祉の担い手育成事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>14学級</td> <td>17学級</td> <td>18学級</td> </tr> <tr> <td>児童・生徒数</td> <td>237人</td> <td>410人</td> <td>288人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	容器	310個	196個	138個	ステッカー	316枚	197枚	142枚	カード	543枚	307枚	227枚		令和2年度	令和3年度	令和4年度	学校数	10校	10校	11校	学級数	14学級	17学級	18学級	児童・生徒数	237人	410人	288人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
容器	310個	196個	138個																																		
ステッカー	316枚	197枚	142枚																																		
カード	543枚	307枚	227枚																																		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
学校数	10校	10校	11校																																		
学級数	14学級	17学級	18学級																																		
児童・生徒数	237人	410人	288人																																		
備 考																																					

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	生活困窮者自立支援事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	14,880,000	14,042,307	0	837,693	94.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	11,245,982	0	0	0	2,796,325
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	15,450,000	15,129,102	△1,086,795		
	目 的 ・ 趣 旨				
	生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る可能性のある生活困窮者へ包括的な相談支援や就労支援等を行い、自立に向けた支援を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 自立相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護に至る可能性のある生活困窮者に対し、包括的な相談支援や就労支援等を酒田市社会福祉協議会に委託し、相談窓口を設置した。 相談者が抱えている課題を評価・分析（アセスメント）し、ニーズに応じた自立支援計画を策定し、計画に基づいた各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施した。 <p>(2) 住居確保給付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 離職等により経済的に困窮し、住居を失った者、又は失う恐れがある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と共に就労支援を実施した。 離職後2年以内の世帯の生計維持者に対し、収入要件及び資産要件が基準以下の場合に、原則3か月分（最長9か月分）の家賃を給付した。 上限月額は、単身世帯35,000円、2人世帯42,000円、3人以上世帯46,000円 <p>(3) 就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 困窮状態から早期に脱却することを支援するため、生活リズムが崩れているなどの理由により、就労準備が整っていない場合に、職場体験等を通じた訓練、生活習慣確立のための指導、地域活動への参加など、日常生活及び社会生活自立のための訓練を行い、就労意欲の喚起を図り、一般就労に繋げる支援を実施した。 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 自立相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規相談者数 191人 新規延べ相談件数 2,960件 新規支援プラン作成件数 36件 支援期間延長作成件数 0件 プラン終結件数（繰越含む） 24件 就職決定者数（繰越含む） 45人 支援調整会議開催回数 11回 <p>(2) 住居確保給付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用件数 25件 <p>(3) 就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用件数 1件 				
備 考	○主な特定財源	生活困窮者自立相談支援事業費負担金（国）	9,094,232円		
		生活困窮者住居確保給付金負担金（国）	1,383,750円		
		生活困窮者就労準備支援事業費補助金（国）	384,000円		

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課	
事 業 名	やさしいまちづくり除雪援助事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	9,634,000	7,235,433	0	2,398,567	75.1%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	137,000	0	162,960	6,935,473	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	12,734,000	12,692,755	△5,457,322			
	目 的 ・ 趣 旨					
	生活通路の除雪又は屋根の雪下ろしができない高齢者や障がい者に除雪協力者や除雪援助員を配置し、冬期間の生活の安全を確保する。また、積雪による被害を未然に防ぐため、居宅の屋根の雪下ろしを事業所に依頼する際に、その費用の一部を助成する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) おおむね10cmを超える降雪量があった日等に、高齢者世帯等の生活通路の除雪を行った地域の協力者に対して1日あたり1,000円の奨励金を交付した。					
	(2) 地域の協力者が見つからなかった場合、派遣事業所から除雪援助員を派遣して除雪を行った(利用者負担金有り)。					
	(3) 当該年度の住民税非課税の高齢者世帯等が、積雪による被害を防止するために雪下ろしを実施した場合、25,000円を上限に、要した費用の1/2以内の補助金を交付する(令和4年度交付実績無し)。					
	○事業実績・説明					
	(1) 除雪登録者(要援助者)等の状況					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		除雪登録者数	730人	760人	724人	
		除雪協力者数	787人	776人	785人	
		除雪協力団体数	13団体	13団体	15団体	
	奨励金支払金額	7,535,000円	11,980,000円	6,072,000円		
	除雪援助員利用登録者数	—	—	164人		
	(2) 雪下ろし支援活動実施状況					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	利用世帯数	7世帯	17世帯	0世帯		
	延べ実施回数	7回	18回	0回		
備 考	○主な特定財源		いきいき雪国やまがた推進交付金(県)	137,000円		
			やさしいまちづくり除雪事業援助員派遣負担金	162,960円		

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																				
事 業 名	災害時要援護者避難支援事業				【 継 続 事 業 】																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																				
	590,000	421,654	0	168,346	71.5%																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																				
	0	0	0	0	421,654																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																					
	585,000	433,771	△12,117																						
	目 的 ・ 趣 旨																								
	災害時の避難に支援が必要と思われる方の名簿等を整備し、災害発生時における避難誘導、安否確認等の支援活動に活用する。																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 平成20年度から整備している災害時要援護者台帳について、各自治会の協力を得て一斉更新を行い、災害時に避難支援が必要と思われる方の台帳登録を進めた。 災害時要援護者台帳は自治会の防災訓練等にも活用されている。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 台帳の登録状況 (年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要援護者</td> <td>1,119人</td> <td>1,055人</td> <td>1,037人</td> </tr> <tr> <td>避難支援者</td> <td>1,349人</td> <td>1,258人</td> <td>1,168人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 台帳の整備率 (年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備率</td> <td>76.59%</td> <td>78.99%</td> <td>81.4%</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	要援護者	1,119人	1,055人	1,037人	避難支援者	1,349人	1,258人	1,168人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	整備率	76.59%	78.99%	81.4%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
要援護者	1,119人	1,055人	1,037人																						
避難支援者	1,349人	1,258人	1,168人																						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
整備率	76.59%	78.99%	81.4%																						
備 考																									

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課	
事 業 名	障がい者ほっとふくしサービス事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	10,938,000	10,235,750	0	702,250	93.6%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	10,235,750	0	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	11,546,000	10,171,250	64,500			
	目 的 ・ 趣 旨					
	重度心身障がい者が本市指定の福祉サービスを利用する際、その負担金等の一部又は全部を助成することにより、障がい者の快適で安全な生活の確保、社会参加の促進を目的に、障がい者ほっとふくし券を交付する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	タクシーの利用、紙おむつ等の購入、乗合バス回数券購入、障がい福祉サービスの利用料等に使用できる障がい者ほっとふくし券を交付した。					
	(1) 交付対象者：①身体障害者手帳1・2級所持者 ②療育手帳A所持者 ③精神保健福祉手帳1級所持者					
	(2) 交付額：一人あたり年額12,000円					
	○事業実績・説明					
	(1) 交付状況					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	交付人数		1,072人	1,023人	1,025人	
	交付額		12,864,000円	12,276,000円	12,300,000円	
	使用額		10,072,000円	9,992,500円	10,046,000円	
(2) 使用状況 (上段：金額、下段：使用割合)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
訪問入浴・有償ヘルパー ・障がい福祉サービス		20,000円 0.19%	39,500円 0.4%	38,500円 0.38%		
配食サービス		1,308,000円 12.98%	1,192,500円 11.92%	1,063,500円 10.59%		
紙おむつ等購入		4,572,500円 45.4%	4,757,500円 47.61%	4,991,000円 49.68%		
乗合バス・乗合タクシー		377,500円 3.75%	359,500円 3.6%	320,500円 3.19%		
タクシー		3,408,000円 33.84%	3,284,500円 32.87%	3,307,500円 32.93%		
定期航路		2,000円 0.02%	— —	— —		
防災ラジオ		238,500円 2.37%	87,500円 0.88%	35,500円 0.35%		
障がい者就労支援カフェ		114,500円 1.14%	191,500円 1.92%	277,500円 2.76%		
住宅福祉機器		31,000円 0.31%	80,000円 0.8%	12,000円 0.12%		
備 考	○主な特定財源 社会福祉基金繰入金 10,235,750円					

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	障がい者地域福祉対策促進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	7,886,000	7,046,094	0	839,906	89.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	1,320,000	0	0	5,726,094
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	7,871,000	7,358,576	△312,482		
	目 的 ・ 趣 旨				
	在宅の重度身体障がい（児）者等に対し、紙おむつの支給、人工透析療法のための通院費助成、せきずい損傷者の介護者への介護手当の支給及び在宅酸素療法者への電気料金の助成等を行うことで、障がい（児）者の福祉の向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	<p>(1) せきずい損傷者介護手当支給事業 重度のせきずい損傷のため常時介護を必要とする場合に、介護者に月額 5,000 円を支給した。</p> <p>(2) 重度障がい者紙おむつ支給事業 常時失禁状態にある在宅の重度障がい者に対して、紙おむつを支給した。 ・ 所得税非課税世帯（A）@8,000円/月相当 ・ 所得税課税世帯（B）@6,000円/月相当</p> <p>(3) 人工透析患者通院交通費助成事業 人工透析療法による医療の給付を受ける際の通院に要する交通費の全部又は一部を助成した。</p> <p>(4) 在宅酸素療法者支援事業 呼吸器機能障害（1・2級を除く）で身体障害者手帳所持者に、酸素濃縮器の電気料を助成した。</p> <p>(5) 自動車運転免許取得・改造助成事業 身体障がい者が自動車の運転免許を取得するために要した経費の一部や、自動車の手動装置等を改造するために要した経費の一部に助成した。</p>				
	○事業実績・説明				
		令和4年度			
		対象者数	支給額		
	せきずい損傷者介護手当支給事業	21人	1,240,000円		
	重度障がい者紙おむつ支給事業	A：32人	4,389,300円		
		B：21人			
	人工透析患者通院交通費助成事業	52人	823,194円		
	在宅酸素療法者支援事業	25人	393,600円		
	自動車運転免許取得・改造助成事業	2人	200,000円		
備 考	○主な特定財源 市町村総合交付金（県）				
	心身障がい者地域福祉対策促進事業	1,134,000円			
	在宅酸素療法者支援事業	186,000円			

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																																																																																
事 業 名	障がい児ほっとふくしサービス事業				【 継 続 事 業 】																																																																																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																
	2,621,000	2,558,300	0	62,700	97.6%																																																																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																
	0	0	0	2,315,500	242,800																																																																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																	
	2,374,000	2,357,390	200,910																																																																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																				
	心身障がい児が本市指定の福祉サービスを利用する際、その負担金等の一部又は全部を助成することにより、障がい児の快適で安全な生活の確保、社会参加の促進を目的に、障がい児ほっとふくし券を交付する。																																																																																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>障がい児一人あたり18,000円（500円／枚×36枚）の障がい児ほっとふくし券を交付した。</p> <p>(1) 対象 身体障害者手帳1～6級、療育手帳A・B、精神障害者保健福祉手帳1～3級を所持する20歳未満の方（生活保護受給者を除く）。</p> <p>(2) 利用可能な福祉サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙おむつ等の購入 ・タクシー運賃 ・デマンドタクシー使用料 ・乗合バスの回数券 ・定期航路の個人旅客運賃 ・防災ラジオの購入 ・障がい者入浴サービス車の利用者負担金 ・放課後等デイサービス利用者負担金 ・有償ヘルパーサービス利用者負担金 ・配食サービス利用料 ・カフェ「え～る」の利用 ・住宅福祉機器の購入負担金 ・障がい児向け運動教室の利用 ・自家用燃料（ガソリン・軽油）の購入 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付人数</th> <th>交付額</th> <th>使用額</th> <th>使用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>138人</td> <td>2,484,000円</td> <td>2,198,000円</td> <td>88.5%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>139人</td> <td>2,502,000円</td> <td>2,395,500円</td> <td>95.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 使用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用サービス</th> <th>R3使用額</th> <th>R3割合</th> <th>R4使用額</th> <th>R4割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙おむつ等</td> <td>950,000円</td> <td>43.2%</td> <td>841,000円</td> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>放課後デイ</td> <td>791,000円</td> <td>36.0%</td> <td>905,000円</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>カフェ「え～る」</td> <td>169,000円</td> <td>7.7%</td> <td>112,500円</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>配食サービス</td> <td>112,500円</td> <td>5.1%</td> <td>109,000円</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>乗合バス</td> <td>58,500円</td> <td>2.7%</td> <td>33,500円</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td>90,000円</td> <td>4.1%</td> <td>80,000円</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>防災ラジオ</td> <td>13,500円</td> <td>0.6%</td> <td>4,000円</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>住宅福祉機器</td> <td>0円</td> <td>0.0%</td> <td>18,000円</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>有償ヘルパー</td> <td>13,500円</td> <td>0.6%</td> <td>2,000円</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>定期航路</td> <td>0円</td> <td>0.0%</td> <td>0円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>自家用燃料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>290,500円</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,198,000円</td> <td>100%</td> <td>2,395,500円</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	交付人数	交付額	使用額	使用率	令和3年度	138人	2,484,000円	2,198,000円	88.5%	令和4年度	139人	2,502,000円	2,395,500円	95.7%	利用サービス	R3使用額	R3割合	R4使用額	R4割合	紙おむつ等	950,000円	43.2%	841,000円	35.1%	放課後デイ	791,000円	36.0%	905,000円	37.8%	カフェ「え～る」	169,000円	7.7%	112,500円	4.7%	配食サービス	112,500円	5.1%	109,000円	4.5%	乗合バス	58,500円	2.7%	33,500円	1.4%	タクシー	90,000円	4.1%	80,000円	3.3%	防災ラジオ	13,500円	0.6%	4,000円	0.2%	住宅福祉機器	0円	0.0%	18,000円	0.8%	有償ヘルパー	13,500円	0.6%	2,000円	0.1%	定期航路	0円	0.0%	0円	0.0%	自家用燃料	—	—	290,500円	12.1%	合 計	2,198,000円	100%	2,395,500円	100%
年度	交付人数	交付額	使用額	使用率																																																																																	
令和3年度	138人	2,484,000円	2,198,000円	88.5%																																																																																	
令和4年度	139人	2,502,000円	2,395,500円	95.7%																																																																																	
利用サービス	R3使用額	R3割合	R4使用額	R4割合																																																																																	
紙おむつ等	950,000円	43.2%	841,000円	35.1%																																																																																	
放課後デイ	791,000円	36.0%	905,000円	37.8%																																																																																	
カフェ「え～る」	169,000円	7.7%	112,500円	4.7%																																																																																	
配食サービス	112,500円	5.1%	109,000円	4.5%																																																																																	
乗合バス	58,500円	2.7%	33,500円	1.4%																																																																																	
タクシー	90,000円	4.1%	80,000円	3.3%																																																																																	
防災ラジオ	13,500円	0.6%	4,000円	0.2%																																																																																	
住宅福祉機器	0円	0.0%	18,000円	0.8%																																																																																	
有償ヘルパー	13,500円	0.6%	2,000円	0.1%																																																																																	
定期航路	0円	0.0%	0円	0.0%																																																																																	
自家用燃料	—	—	290,500円	12.1%																																																																																	
合 計	2,198,000円	100%	2,395,500円	100%																																																																																	
備 考	○主な特定財源 社会福祉基金繰入金 2,315,500円																																																																																				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課	
事 業 名	発達支援事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	10,292,000	9,823,795	0	468,205	95.5%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	2,137,926	1,123,228	0	10,801	6,551,840	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	11,107,000	9,316,374	507,421			
	目 的 ・ 趣 旨					
	発達特性に応じて、早期から適切な発達支援を行うとともに、様々なライフステージに応じて適切な支援を一生涯に渡って継続させるため、相談窓口の一本化により発達支援の円滑な推進を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	発達支援係に臨床心理士等の資格を有する発達支援相談員を配置し、専門的な発達支援を乳幼児期、学齢期、成人期と各年代に幅広く実施した。					
	(1) 発達特性の気づきへの促し支援の定着					
	・ 育ちのサポート事業の実施（市内保育施設等に在園している子どもの巡回相談）					
	・ 相談会（おはなし相談会・遊びの教室）の実施					
	育ちのサポート事業					
		年度	訪問回数	訪問園数	相談者実数	相談者延数
		令和2年度	106回	38園	615人	715人
		令和3年度	97回	37園	465人	605人
		令和4年度	116回	36園	234人	359人
相談会（おはなし相談会・遊びの教室）						
	年度	訪問回数	相談者延数			
	令和2年度	12回	51人			
	令和3年度	0回	0人			
	令和4年度	8回	21人			
(2) 発達特性の理解と支援の拡充						
・ 保健・保育・教育・福祉など関係職員の資質向上のための研修会等の開催						
・ 特別支援コーディネーター養成講座・連絡会議（認定こども園・保育園関係）						
・ 療育指導・相談の実施						
・ 育ちのサポート事業の園内事例検討会などでの相談助言の実施						
育ちのサポート事業の事例検討会						
	年度	訪問回数	検討事例数	参加者数		
	令和2年度	23回	95件	118人		
	令和3年度	13回	60件	74人		
	令和4年度	38回	128件	147人		
(3) 保護者や当事者への支援						
・ 全年齢の相談希望者への随時相談の実施						
(4) 連携による切れ目のない発達支援の継続						
・ ネットワーク会議の開催（保健・医療・教育・福祉・その他関係機関との連携）						
・ 医療や療育、教育、就労等の外部機関との連携						
備 考	○主な特定財源		地域生活支援事業費補助金（国）	2,137,926円		
			地域生活支援事業費等補助金（県）	1,123,228円		

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																																																																																																									
事 業 名	相談支援事業				【 継 続 事 業 】																																																																																																									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																																									
	6,047,000	6,047,000	0	0	100.0%																																																																																																									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																																													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																																									
	0	0	0	0	6,047,000																																																																																																									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																																										
	6,714,000	6,714,000	△667,000																																																																																																											
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																																													
	障がい者の日常生活や障がい福祉サービス利用の相談窓口の設置、必要な情報の提供などにより、障がい者の地域での自立を支援する。																																																																																																													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置付けられている事業であり、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報提供等の支援を行い、障がい者の日常生活が向上するよう支援を行った。酒田市、遊佐町、三川町の1市2町で指定相談支援事業所「あおぞら」へ共同委託している。</p> <p>○事業実績・説明 福祉サービスの利用、障がいや症状の理解、健康・医療、家計・経済、就労、家族関係・人間関係、社会参加等の相談</p> <p>(1) 相談支援を利用している障がい者等の人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">障がい種別</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>障がい者</th> <th>障がい児</th> <th>障がい者</th> <th>障がい児</th> <th>障がい者</th> <th>障がい児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障がい</td> <td>19人</td> <td>2人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>16人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>重症心身障がい</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>27人</td> <td>5人</td> <td>34人</td> <td>7人</td> <td>25人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>33人</td> <td>0人</td> <td>39人</td> <td>0人</td> <td>43人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障がい</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>85人</td> <td>8人</td> <td>88人</td> <td>9人</td> <td>87人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 支援方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問</td> <td>80件</td> <td>52件</td> <td>79件</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td>29件</td> <td>25件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>同行</td> <td>16件</td> <td>27件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>電話・Eメール</td> <td>210件</td> <td>247件</td> <td>191件</td> </tr> <tr> <td>個別支援会議</td> <td>1件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>関係機関</td> <td>373件</td> <td>322件</td> <td>349件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>709件</td> <td>679件</td> <td>658件</td> </tr> </tbody> </table>					障がい種別	令和2年度		令和3年度		令和4年度		障がい者	障がい児	障がい者	障がい児	障がい者	障がい児	身体障がい	19人	2人	12人	0人	16人	2人	重症心身障がい	0人	0人	0人	0人	0人	1人	知的障がい	27人	5人	34人	7人	25人	3人	精神障がい	33人	0人	39人	0人	43人	0人	発達障がい	0人	1人	1人	1人	1人	3人	高次脳機能障がい	0人	0人	0人	0人	0人	0人	その他	6人	0人	2人	1人	2人	3人	合 計	85人	8人	88人	9人	87人	12人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	訪問	80件	52件	79件	来所相談	29件	25件	14件	同行	16件	27件	17件	電話・Eメール	210件	247件	191件	個別支援会議	1件	5件	8件	関係機関	373件	322件	349件	その他	0件	1件	0件	合 計	709件	679件	658件
障がい種別	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																																																																									
	障がい者	障がい児	障がい者	障がい児	障がい者	障がい児																																																																																																								
身体障がい	19人	2人	12人	0人	16人	2人																																																																																																								
重症心身障がい	0人	0人	0人	0人	0人	1人																																																																																																								
知的障がい	27人	5人	34人	7人	25人	3人																																																																																																								
精神障がい	33人	0人	39人	0人	43人	0人																																																																																																								
発達障がい	0人	1人	1人	1人	1人	3人																																																																																																								
高次脳機能障がい	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																								
その他	6人	0人	2人	1人	2人	3人																																																																																																								
合 計	85人	8人	88人	9人	87人	12人																																																																																																								
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																											
訪問	80件	52件	79件																																																																																																											
来所相談	29件	25件	14件																																																																																																											
同行	16件	27件	17件																																																																																																											
電話・Eメール	210件	247件	191件																																																																																																											
個別支援会議	1件	5件	8件																																																																																																											
関係機関	373件	322件	349件																																																																																																											
その他	0件	1件	0件																																																																																																											
合 計	709件	679件	658件																																																																																																											
備考																																																																																																														

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	意思疎通支援事業				【 継 続 事 業 】
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
1,846,400	1,846,100	0	300	99.9%	
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
502,932	264,232	0	0	1,078,936	
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
1,810,000	1,595,778	250,322			
目 的 ・ 趣 旨					
聴覚障がい者等が医療機関や事業所等に赴く場合に、手話奉仕員又は要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図る。また、手話教室を開催し、手話奉仕員の育成と聴覚障がいに関する理解と知識を高める。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	聴覚障がい者等が医療機関や事業所等に赴く場合に、手話奉仕員又は要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚障がい者等の円滑なコミュニケーションを支援した。また、手話教室（手話奉仕員養成講座40回、ステップアップ講座20回）を社会福祉法人酒田市社会福祉協議会（酒田市ボランティア・公益活動センター）へ委託し開催した。				
	○事業実績・説明				
	(1) 手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣実績				
	・手話奉仕員				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	手話奉仕員登録数	16人	14人	14人	15人
	延べ派遣回数	88回	75回	53回	76回
	延べ派遣人数	97人	78人	64人	84人
	延べ派遣時間	408時間	315時間	306時間	365時間
・要約筆記奉仕員					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
要約筆記奉仕員登録数	8人	8人	8人	10人	
延べ派遣回数	11回	9回	12回	10回	
延べ派遣人数	29人	17人	29人	24人	
延べ派遣時間	129時間	51時間	101時間	74時間	
(2) 手話教室開催実績					
	回数	受講者数	修了者数		
手話奉仕員養成講座	40回	20人	3人		
ステップアップ講座	20回	10人	-		
※ステップアップ講座は修了制としていない。					
備考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国）		502,932円		
	地域生活支援事業費等補助金（県）		264,232円		

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	地域活動支援センター事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	11,365,000	11,365,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	817,289	429,389	0	0	10,118,322
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	11,365,000	10,370,000	995,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律における地域活動支援センターとして、障がい者の創作活動又は生産活動等の機会提供などの支援を行う。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 障がい者の地域活動支援センター（小規模作業所型、教室型）の運営に対して助成を行った。				
	○事業実績・説明				
	(1) 小規模作業所型				
	名称	特定非営利活動法人 みつば			
	職員	施設長1名、指導員1名			
	通所利用者数	22人			
	延べ利用者数	1,587人			
	作業内容	貸衣装小物のアイロン掛け、段ボールの組立、リサイクル（分解）作業			
	生活指導	家庭生活学習、社会生活学習、ミーティング、レクリエーション			
	助成額	6,365,000円			
(2) 教室型					
名称	特定非営利活動法人 酒田市障がい者福祉会				
職員	施設長1名、指導員2名				
延べ利用者数	3,142人				
教室名	カラオケ、パソコン、詩吟、軽スポーツ、書道、趣味の会、手芸、グランドゴルフ、ゲートボール、カローリング、視覚障がい卓球、手話				
助成額	5,000,000円				
備 考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 817,289円 地域生活支援事業費等補助金（県） 429,389円				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	所 属	R4 健康福祉部福祉企画課 R3 健康福祉部福祉課																																																
事 業 名	地域生活支援事業				【 継 続 事 業 】																																																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																
	47,285,600	41,523,601	0	5,761,999	87.8%																																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																
	11,795,928	6,197,372	0	14,119,690	9,410,611																																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																	
	40,750,000	36,626,189	4,897,412																																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																																				
	障がい（児）者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種支援を行う。																																																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 障がい（児）者の外出のため移動を支援するほか、日常生活用具の給付、障がい（児）者同士の交流、障がい（児）者の日中における活動の場の確保など、自立した日常生活を営むための支援と社会参加への促進を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リフト付福祉車両移送型延利用回数</td> <td>525回</td> <td>589回</td> <td>880回</td> </tr> <tr> <td>ガイドヘルパー等個別支援型延利用人数</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>障がい児通所支援車両移送型延利用回数</td> <td>321回</td> <td>70回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>日常生活用具給付件数</td> <td>2,687件</td> <td>2,767件</td> <td>2,901件</td> </tr> <tr> <td>障がい者スポーツ大会参加者</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>障がい者軽スポーツ大会参加者</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>点字広報等発行利用者</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者職親委託事業</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>訪問入浴サービス利用者</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>日中一時支援利用者</td> <td>49人</td> <td>59人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度利用支援扶助</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	リフト付福祉車両移送型延利用回数	525回	589回	880回	ガイドヘルパー等個別支援型延利用人数	2人	2人	2人	障がい児通所支援車両移送型延利用回数	321回	70回	9回	日常生活用具給付件数	2,687件	2,767件	2,901件	障がい者スポーツ大会参加者	中止	中止	74人	障がい者軽スポーツ大会参加者	中止	中止	30人	点字広報等発行利用者	7人	7人	6人	知的障がい者職親委託事業	1人	2人	2人	訪問入浴サービス利用者	4人	4人	4人	日中一時支援利用者	49人	59人	47人	成年後見制度利用支援扶助	2人	4人	1人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																		
リフト付福祉車両移送型延利用回数	525回	589回	880回																																																		
ガイドヘルパー等個別支援型延利用人数	2人	2人	2人																																																		
障がい児通所支援車両移送型延利用回数	321回	70回	9回																																																		
日常生活用具給付件数	2,687件	2,767件	2,901件																																																		
障がい者スポーツ大会参加者	中止	中止	74人																																																		
障がい者軽スポーツ大会参加者	中止	中止	30人																																																		
点字広報等発行利用者	7人	7人	6人																																																		
知的障がい者職親委託事業	1人	2人	2人																																																		
訪問入浴サービス利用者	4人	4人	4人																																																		
日中一時支援利用者	49人	59人	47人																																																		
成年後見制度利用支援扶助	2人	4人	1人																																																		
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>地域生活支援事業費補助金（国）</td> <td>11,795,928円</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援事業費等補助金（県）</td> <td>6,197,372円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉基金繰入金</td> <td>13,984,000円</td> </tr> </table>					地域生活支援事業費補助金（国）	11,795,928円	地域生活支援事業費等補助金（県）	6,197,372円	社会福祉基金繰入金	13,984,000円																																										
地域生活支援事業費補助金（国）	11,795,928円																																																				
地域生活支援事業費等補助金（県）	6,197,372円																																																				
社会福祉基金繰入金	13,984,000円																																																				

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																										
事 業 名	法人立保育所等補助事業				【 継 続 事 業 】																																										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																										
	30,667,000	30,665,810	0	1,190	99.9%																																										
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																										
	17,184,560	0	0	0	13,481,250																																										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																											
	14,442,000	14,161,250	16,504,560																																												
	目 的 ・ 趣 旨																																														
	法人立保育所や認定こども園の職員の資質向上、運営の安定を図るために法人立保育所等を支援する。																																														
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 法人立保育所等運営費補助金</p> <p>・ 基準額</p> <table border="1"> <tr> <td>均等割</td> <td colspan="4">1 法人あたり 100,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定員割</td> <td>45人以下</td> <td>140,000円</td> <td>61人～90人</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td>46人～60人</td> <td>100,000円</td> <td>91人以上</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td>職員割</td> <td colspan="4">処遇改善等加算 適用職員数×10,000円</td> </tr> <tr> <td>事務費割</td> <td colspan="4">1 施設あたり 50,000円</td> </tr> </table> <p>(2) 法人立保育所借地料補助金 当該年度の相続税路線価×10/8×敷地面積×4/100または実支出額のうち、いずれか低い額を補助した。</p> <p>(3) 保育対策総合支援事業費補助金 保育所等における安全対策事業として、午睡中の事故防止対策器機の導入経費に補助した。 (基準額：1か所当たり500,000円が上限。補助率：国1/2、市1/4)</p> <p>(4) 原油価格・物価高騰対策支援事業費補助金 原油価格・物価高騰の影響を受けている法人立保育所等に対し、給食食材費及び光熱水費の物価高騰相当額を補助した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table> <tr> <td>(1) 法人立保育所運営費補助金</td> <td>21法人、30施設分</td> <td>12,030,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 法人立保育所借地料補助金</td> <td>2施設</td> <td>1,326,250円</td> </tr> <tr> <td>(3) 保育対策総合支援事業費補助金 (保育所環境改善等事業)</td> <td>1施設</td> <td>375,000円</td> </tr> <tr> <td>(4) 原油価格・物価高騰対策支援事業費補助金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 給食費支援事業費補助金</td> <td>34施設分</td> <td>10,078,560円</td> </tr> <tr> <td>・ 光熱水費支援事業費補助金</td> <td>35施設分</td> <td>6,856,000円</td> </tr> </table>					均等割	1 法人あたり 100,000円				定員割	45人以下	140,000円	61人～90人	80,000円	46人～60人	100,000円	91人以上	70,000円	職員割	処遇改善等加算 適用職員数×10,000円				事務費割	1 施設あたり 50,000円				(1) 法人立保育所運営費補助金	21法人、30施設分	12,030,000円	(2) 法人立保育所借地料補助金	2施設	1,326,250円	(3) 保育対策総合支援事業費補助金 (保育所環境改善等事業)	1施設	375,000円	(4) 原油価格・物価高騰対策支援事業費補助金			・ 給食費支援事業費補助金	34施設分	10,078,560円	・ 光熱水費支援事業費補助金	35施設分	6,856,000円
均等割	1 法人あたり 100,000円																																														
定員割	45人以下	140,000円	61人～90人	80,000円																																											
	46人～60人	100,000円	91人以上	70,000円																																											
職員割	処遇改善等加算 適用職員数×10,000円																																														
事務費割	1 施設あたり 50,000円																																														
(1) 法人立保育所運営費補助金	21法人、30施設分	12,030,000円																																													
(2) 法人立保育所借地料補助金	2施設	1,326,250円																																													
(3) 保育対策総合支援事業費補助金 (保育所環境改善等事業)	1施設	375,000円																																													
(4) 原油価格・物価高騰対策支援事業費補助金																																															
・ 給食費支援事業費補助金	34施設分	10,078,560円																																													
・ 光熱水費支援事業費補助金	35施設分	6,856,000円																																													
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>保育対策総合支援事業費補助金(国)</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)</td> <td>16,934,560円</td> </tr> </table>					保育対策総合支援事業費補助金(国)	250,000円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	16,934,560円																																						
保育対策総合支援事業費補助金(国)	250,000円																																														
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	16,934,560円																																														

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																									
事 業 名	保育士等人材確保事業				【 継 続 事 業 】																																									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																									
	335,000	334,212	0	788	99.8%																																									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																									
	167,000	0	0	0	167,212																																									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																										
	274,000	263,345	70,867																																											
	目 的 ・ 趣 旨																																													
	潜在保育士や保育士を目指す学生等へ保育の魅力を伝えるとともに、求人のある園の情報を提供する機会を設けることで、潜在保育士の現場復帰や市外流出学生の地元回帰を図り、保育需要に見合った保育士等の人材確保につなげる。																																													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士等就職ガイダンスの開催 保育士等として働きたいと思う高校生を増やし、保育士養成校の学生や潜在保育士が本市の保育園等に就職するきっかけを提供するため、就職ガイダンスを開催した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、予定していた「保育士等離職防止研修会」及び「保育士養成校への訪問」等は中止となった。 また、「保育補助者雇上強化事業」は、保育補助者の受入、学校側からの派遣が困難だったため実績がなかった。 <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士等就職ガイダンスの開催（保育の仕事まるわかりフェア） 日時：8月6日（土）午後1時～4時15分 場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田 内容：各園のメッセージ上映、相談ブース（6施設）、就学先紹介コーナー等 （単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>当日の状況</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td></td> <td>30</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(内訳)</td> <td>学生（卒業予定者）</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>学生（上記以外）</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>高校生（保護者含）</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>潜在保育士</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ相談等件数</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により中止</td> <td>39</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(相談等の内訳)</td> <td>園の説明</td> <td>39</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>施設見学の予約</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ボランティア等の予約</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>実習予約</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>面接相談</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度は、マッチングの結果、4名が保育施設の見学、2名がボランティア等体験、1名が保育実習を実施し、2名の採用に至った。</p>					当日の状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度	参加者数		30	16	(内訳)	学生（卒業予定者）	6	5	学生（上記以外）	7	3	高校生（保護者含）	16	8	潜在保育士	1	0	延べ相談等件数	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により中止	39	31	(相談等の内訳)	園の説明	39	31	施設見学の予約	0	2	ボランティア等の予約	0	1	実習予約	0	0	面接相談	0	0
当日の状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																											
参加者数		30	16																																											
(内訳)	学生（卒業予定者）	6	5																																											
	学生（上記以外）	7	3																																											
	高校生（保護者含）	16	8																																											
	潜在保育士	1	0																																											
延べ相談等件数	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により中止	39	31																																											
(相談等の内訳)	園の説明	39	31																																											
	施設見学の予約	0	2																																											
	ボランティア等の予約	0	1																																											
	実習予約	0	0																																											
	面接相談	0	0																																											
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（国）167,000円																																													

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																								
事 業 名	子育て短期支援事業				【 継 続 事 業 】																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																								
	133,000	42,000	0	91,000	31.6%																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																								
	11,000	11,000	0	6,600	13,400																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	199,000	38,100	3,900																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	児童の養育が一時的に困難になった場合や親子が緊急一時保護を必要とする場合に、親子が安心安全に過ごすため、児童福祉施設等で一定期間養育・保護をする。																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合等、下記対象事由に該当する場合に児童福祉施設等で一定期間養育・保護を行った。</p> <p>(1) 対象事由 ①保護者の疾病 ②育児疲れ、慢性疾病時の看病疲れ、育児不安など身体上、精神上的の事由 ③出産、看護、事故、災害、失踪など家庭養育上の事由 ④冠婚葬祭、転勤、出張や学校等の公的行事への参加など社会的な事由 ⑤経済的問題等により緊急一時的に母子保護を必要となる場合</p> <p>(2) 受入施設 鶴岡乳児院、七窪思恩園</p> <p>(3) 支援内容</p> <table border="1"> <tr> <th>保護対象</th> <th>日額</th> </tr> <tr> <td>2歳未満児</td> <td>10,700円</td> </tr> <tr> <td>2歳以上児</td> <td>6,000円</td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td>3,000円</td> </tr> </table> <p>(4) 利用実績</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>実利用人数</th> <th>延日数</th> <th>事業費</th> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1人</td> <td>8日</td> <td>48,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2人</td> <td>4日</td> <td>38,100円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3人</td> <td>8日</td> <td>42,000円</td> </tr> </table>					保護対象	日額	2歳未満児	10,700円	2歳以上児	6,000円	母親	3,000円	年度	実利用人数	延日数	事業費	令和2年度	1人	8日	48,000円	令和3年度	2人	4日	38,100円	令和4年度	3人	8日	42,000円
保護対象	日額																												
2歳未満児	10,700円																												
2歳以上児	6,000円																												
母親	3,000円																												
年度	実利用人数	延日数	事業費																										
令和2年度	1人	8日	48,000円																										
令和3年度	2人	4日	38,100円																										
令和4年度	3人	8日	42,000円																										
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金（国）</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>子育て短期支援負担金</td> <td>6,600円</td> </tr> </table>					子ども・子育て支援交付金（国）	11,000円	地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）	11,000円	子育て短期支援負担金	6,600円																		
子ども・子育て支援交付金（国）	11,000円																												
地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）	11,000円																												
子育て短期支援負担金	6,600円																												

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																																																															
事 業 名	放課後児童健全育成事業				【 継 続 事 業 】																																																																															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																															
	243,840,000	239,089,223	0	4,750,777	98.1%																																																																															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																															
	82,093,000	76,309,000	0	261,957	80,425,266																																																																															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																
	258,613,000	250,898,553	△11,809,330																																																																																	
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																			
	放課後児童クラブの安全的運営と必要な人材の確保を図る。また、本来放課後児童クラブの利用が必要な児童が利用料の負担等の経済的な理由で利用を控えることを防止する。																																																																																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市内25か所に学童保育所を開設し、運営を各事業主体に委託した。</p> <p>(2) 要保護・準要保護世帯又は多子世帯における児童の利用料の補助を実施した。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスによる自粛要請期間の利用料の補助を実施した。</p> <p>(4) 原油価格・物価高騰の影響を受けている学童保育所に対し、光熱水費の物価高騰相当額を補助した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 学童保育所の運営委託 (単位：人、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">在籍児童数 (年間平均)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数計</td> <td>1,200</td> <td>1,235</td> <td>1,245</td> </tr> <tr> <td>16学童保育所 (がくほれんwith酒田)</td> <td>919</td> <td>966</td> <td>975</td> </tr> <tr> <td>十坂学区学童保育所</td> <td>66</td> <td>63</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>4学童保育所 (酒田保育協会)</td> <td>88</td> <td>90</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>八幡学童保育所</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>西荒瀬学区学童保育所</td> <td>39</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>鳥海地区学童保育所</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>松山学童保育所</td> <td>28</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>208,697,308</td> <td>235,950,252</td> <td>227,214,891</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 保育料等支援事業 (単位：人、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護・準要保護補助対象児童数</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>4,020,416</td> <td>4,346,510</td> <td>4,322,710</td> </tr> <tr> <td>多子世帯補助対象児童数</td> <td>41</td> <td>28</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,572,249</td> <td>1,217,190</td> <td>1,694,710</td> </tr> <tr> <td>保育料臨時補助対象児童数 (延べ)</td> <td>2,325</td> <td>1,489</td> <td>1,310</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>6,369,633</td> <td>2,263,690</td> <td>1,347,790</td> </tr> <tr> <td>原油価格・物価高騰対策支援事業</td> <td></td> <td></td> <td>21学童</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td></td> <td></td> <td>462,000</td> </tr> </tbody> </table>						在籍児童数 (年間平均)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	児童数計	1,200	1,235	1,245	16学童保育所 (がくほれんwith酒田)	919	966	975	十坂学区学童保育所	66	63	52	4学童保育所 (酒田保育協会)	88	90	87	八幡学童保育所	34	32	34	西荒瀬学区学童保育所	39	27	27	鳥海地区学童保育所	26	26	37	松山学童保育所	28	31	33	事業費計	208,697,308	235,950,252	227,214,891		令和2年度	令和3年度	令和4年度	要保護・準要保護補助対象児童数	71	70	72	補助金額	4,020,416	4,346,510	4,322,710	多子世帯補助対象児童数	41	28	39	補助金額	1,572,249	1,217,190	1,694,710	保育料臨時補助対象児童数 (延べ)	2,325	1,489	1,310	補助金額	6,369,633	2,263,690	1,347,790	原油価格・物価高騰対策支援事業			21学童	補助金額			462,000
	在籍児童数 (年間平均)																																																																																			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																	
児童数計	1,200	1,235	1,245																																																																																	
16学童保育所 (がくほれんwith酒田)	919	966	975																																																																																	
十坂学区学童保育所	66	63	52																																																																																	
4学童保育所 (酒田保育協会)	88	90	87																																																																																	
八幡学童保育所	34	32	34																																																																																	
西荒瀬学区学童保育所	39	27	27																																																																																	
鳥海地区学童保育所	26	26	37																																																																																	
松山学童保育所	28	31	33																																																																																	
事業費計	208,697,308	235,950,252	227,214,891																																																																																	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																	
要保護・準要保護補助対象児童数	71	70	72																																																																																	
補助金額	4,020,416	4,346,510	4,322,710																																																																																	
多子世帯補助対象児童数	41	28	39																																																																																	
補助金額	1,572,249	1,217,190	1,694,710																																																																																	
保育料臨時補助対象児童数 (延べ)	2,325	1,489	1,310																																																																																	
補助金額	6,369,633	2,263,690	1,347,790																																																																																	
原油価格・物価高騰対策支援事業			21学童																																																																																	
補助金額			462,000																																																																																	
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>子ども・子育て支援交付金 (国) 81,631,000円</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (国) 462,000円</p> <p>放課後児童健全育成事業費等補助金 (県) 76,309,000円</p>																																																																																			

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																				
事 業 名	養育サポートママ派遣事業				【 継 続 事 業 】																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																				
	360,000	130,000	0	230,000	36.1%																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																				
	41,000	41,000	0	5,200	42,800																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																					
	115,000	46,200	83,800																						
	目 的 ・ 趣 旨																								
	多胎児を養育する保護者の心身の負担を軽減するため、多胎児養育支援員を派遣する。																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 多胎児を養育する保護者の心身の負担を軽減するために、育児や家事を行う養育支援員を派遣した。</p> <p>(1) 対象 多胎児を養育しており、育児の支援を必要とする保護者</p> <p>(2) 派遣時間 月曜～土曜の午前7時～午後8時で週6回以内 ①生後1年まで 1回あたり8時間以内 ②生後2年まで 1回あたり6時間以内 ③生後3年まで 1回あたり4時間以内</p> <p>(3) 支援内容 ①食事、授乳または入浴の支援 ②通院等の支援 ③洗濯、買い物または調理の支援 ④関係機関との連絡調整の支援 ⑤住居の掃除および室内の整理整頓の支援 ⑥その他必要な支援</p> <p>(4) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用世帯数</th> <th>利用日数</th> <th>利用時間</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2世帯</td> <td>7日</td> <td>21時間</td> <td>46,200円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3世帯</td> <td>29日</td> <td>52時間</td> <td>130,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度までは3人以上の多胎児を養育する保護者が対象</p>					年度	実利用世帯数	利用日数	利用時間	事業費	令和2年度	-	-	-	-	令和3年度	2世帯	7日	21時間	46,200円	令和4年度	3世帯	29日	52時間	130,000円
年度	実利用世帯数	利用日数	利用時間	事業費																					
令和2年度	-	-	-	-																					
令和3年度	2世帯	7日	21時間	46,200円																					
令和4年度	3世帯	29日	52時間	130,000円																					
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金（国）</td> <td>41,000円</td> </tr> <tr> <td>地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）</td> <td>41,000円</td> </tr> <tr> <td>養育サポートママ派遣事業利用者負担金</td> <td>5,200円</td> </tr> </table>					子ども・子育て支援交付金（国）	41,000円	地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）	41,000円	養育サポートママ派遣事業利用者負担金	5,200円														
子ども・子育て支援交付金（国）	41,000円																								
地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）	41,000円																								
養育サポートママ派遣事業利用者負担金	5,200円																								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																																
事 業 名	つどいの広場事業				【 継 続 事 業 】																																																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																
	23,695,000	23,671,731	0	23,269	99.9%																																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																
	7,778,000	7,773,000	0	0	8,120,731																																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																	
	23,531,000	23,529,951	141,780																																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																																				
	子育て家庭を支援するため、親子が自由に集うことのできる身近な場所である、地域の子育て支援拠点として、きめ細かく多様な子育て支援活動を実施する。																																																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容・実績</p> <p>(1) 就学前児童を子育てしている親子が気軽に集い、交流を深める場として、中心商店街の空き店舗を活用。運営をNPO法人に委託して、以下の事業を実施した。</p> <p>また、黒森コミュニティセンターを会場に、地域子育て支援拠点が利用しにくい地域に週1回出張して同様の事業(⑤、⑥を除く)を実施した。</p> <p>①子育て親子の交流、つどいの場を提供 ②子育てアドバイザーを配置し、育児の悩み相談に対応 ③子育て関連情報の提供 ④子育て支援などに関する講座の実施 ⑤一時預かり保育 ⑥ファミリー・サポート・センター事業</p> <p>令和3年度から小学生までの児童に対する預かりや送迎等の援助を希望する利用会員と、育児ボランティアである協力会員の連絡・調整(マッチング)を行うことで、仕事と家庭の両立を支援するファミリー・サポート・センター事業の委託を実施している。</p> <p>・つどいの広場事業実績(ファミリー・サポート・センター事業を除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>2,509人</td> <td>1,699人</td> <td>1,846人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>841件</td> <td>977件</td> <td>761件</td> </tr> <tr> <td>育児講座回数</td> <td>18回</td> <td>15回</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>一時預かり利用者数</td> <td>342人</td> <td>265人</td> <td>262人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ファミリー・サポート・センター事業実績 (単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育施設等の開始前の預かり・送迎</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保育施設等の終了後の預かり・送迎</td> <td>69</td> <td>92</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>子供の病気時の預かり・送迎</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>子供の習い事の送迎</td> <td>162</td> <td>150</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>保護者の仕事の時の預かり・送迎</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>その他(保護者の用事、体調不良)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 原油価格・物価高騰の影響を受けている光熱水費の物価高騰相当額を補助した。</p> <p>・原油価格・物価高騰対策支援事業費補助金 4,000円</p>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用者数	2,509人	1,699人	1,846人	相談件数	841件	977件	761件	育児講座回数	18回	15回	18回	一時預かり利用者数	342人	265人	262人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	保育施設等の開始前の預かり・送迎	8	6	0	保育施設等の終了後の預かり・送迎	69	92	36	子供の病気時の預かり・送迎	0	0	0	子供の習い事の送迎	162	150	120	保護者の仕事の時の預かり・送迎	20	35	26	その他(保護者の用事、体調不良)	20	20	47
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																		
利用者数	2,509人	1,699人	1,846人																																																		
相談件数	841件	977件	761件																																																		
育児講座回数	18回	15回	18回																																																		
一時預かり利用者数	342人	265人	262人																																																		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																		
保育施設等の開始前の預かり・送迎	8	6	0																																																		
保育施設等の終了後の預かり・送迎	69	92	36																																																		
子供の病気時の預かり・送迎	0	0	0																																																		
子供の習い事の送迎	162	150	120																																																		
保護者の仕事の時の預かり・送迎	20	35	26																																																		
その他(保護者の用事、体調不良)	20	20	47																																																		
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金(国)</td> <td>7,774,000円</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>保育対策等促進事業費補助金(県)</td> <td>7,773,000円</td> </tr> </table>					子ども・子育て支援交付金(国)	7,774,000円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	4,000円	保育対策等促進事業費補助金(県)	7,773,000円																																										
子ども・子育て支援交付金(国)	7,774,000円																																																				
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	4,000円																																																				
保育対策等促進事業費補助金(県)	7,773,000円																																																				

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課												
事 業 名	避難児童保育料等支援事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	105,000	45,590	0	59,410	43.4%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	0	0	0	45,590												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	155,000	90,930	△45,340														
	目 的 ・ 趣 旨																
	東日本大震災により本市に避難している乳幼児等を支援するために、学童保育所、ファミリー・サポート・センター等の保育料等を扶助するもの。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 避難児童の学童保育所利用料について、同額を扶助費として支給した。</p> <p>(1) 対象児童 ・ 東日本大震災による災害救助法の適正を受けた地域または原子力災害対策特別設置法の規定に基づく避難指示を受けた区域に、平成23年3月11月時点で住所を有し、当該被災地から本市に避難してきている乳幼児（胎児も対象）及び小学生</p> <p>(2) 支援経費 ・ 学童保育所の保育料、長期休業期間特別保育料</p> <p>(3) 支援実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>175,610円</td> <td>90,930円</td> <td>45,590円</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	対象者数	3人	2人	1人	補助金額	175,610円	90,930円	45,590円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度														
対象者数	3人	2人	1人														
補助金額	175,610円	90,930円	45,590円														
備 考																	

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課				
事 業 名	発達障がい児及び家族等支援事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	1,886,000	1,623,674	0	262,326	86.1%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	442,337	232,396	0	0	948,941				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	40,000	33,838	1,589,836						
	目 的 ・ 趣 旨								
	子どもの行動を客観的に理解し、肯定的に捉える考え方を学ぶことで、育児に臨む自信を身につけさせるペアレント・プログラムの研修を実施することにより、育てにくさや子どもとの関わりに悩む親の支援を行う。								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 事前研修（スタートアップセミナー）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時／令和4年5月14日（土）午後1時30分～3時 ・ 場所／酒田市民会館「希望ホール」小ホール ・ 講師／NPO法人アスペ・エルデの会理事長（中京大学現代社会学部教授） 辻井 正次氏 ・ 参加者／子どもの保護者25人、保育士等38人（保育士25人、保健師等13人） <p>(2) 研修型ペアレント・プログラム（全6回講座）の実施</p> <p>①春コース（土曜日の午前10時～11時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日／6月4日、6月18日、7月2日、7月16日、7月30日、8月6日 ・ 場所／平田子育て支援センター（平田保育園併設） ・ 講師／市立保育園保育士（資格認定者）※他コース（②③）も同じ。 ・ 参加者／子どもの保護者10人、保育士等9人 <p>②秋コース（土曜日の午後1時30分～2時30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日／10月15日、10月29日、11月12日、11月26日、12月10日、12月24日 ・ 場所／酒田子育て支援センター（みなと保育園併設） ・ 参加者／子どもの保護者11人、保育士等9人 <p>③はまなし学園コース（土曜日の午前10時～11時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日／5月28日、6月11日、6月25日、8月20日、9月3日、9月10日 ・ 場所／旧酒田子育て支援センター（松陵保育園併設） ・ 参加者／はまなし学園園児の保護者4人、保育士7人 <p>④子育て支援センターコース（金曜日の午前10時～11時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日／9月16日、9月30日、10月14日、10月28日、11月11日、11月25日 ・ 場所／酒田子育て支援センター（みなと保育園併設） ・ 参加者／子育て支援センター利用の保護者5人、保育士6人 <p>(3) 資格認定のためのアドバンスワークショップの受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時／1月14日（土）午前9時30分～12時30分 ・ 場所／市役所会議室（オンライン受講） ・ 参加者／3人（市立保育園保育士等） 								
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>地域生活支援事業費補助金（国）</td> <td>442,337円</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援事業費等補助金（県）</td> <td>232,396円</td> </tr> </table>					地域生活支援事業費補助金（国）	442,337円	地域生活支援事業費等補助金（県）	232,396円
地域生活支援事業費補助金（国）	442,337円								
地域生活支援事業費等補助金（県）	232,396円								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課												
事 業 名	法人立保育所等施設整備事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	171,006,000	171,006,000	0	0	100.0%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	105,742,000	8,263,000	0	56,451,000	550,000												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	77,948,000	77,948,000	93,058,000														
	目 的 ・ 趣 旨																
	国の制度を利用しながら法人立保育所及び認定こども園の施設整備を支援し、全ての利用希望者が安全・安心して利用できる環境の整備を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容・実績</p> <p>保育所及び認定こども園の施設整備に対して、国の制度を利用しながら法人の負担を軽減するため補助金を交付した。</p> <p>(1) 交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2事業</td> <td>33,681千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4事業</td> <td>77,948千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8事業</td> <td>171,006千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 令和4年度実績(詳細)</p> <p>①北新橋保育園(社会福祉法人双葉協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 乳児室、ウッドデッキ改修(大規模修繕等) ・市補助金額 10,308千円(うち国庫補助額6,872千円) <p>②酒田ふたば園(学校法人酒田双葉学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 園舎新築(改築) ・市補助金額 115,350千円(うち国庫補助額76,900千円) <p>③木の実こども園(社会福祉法人こどもの森協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 厨房、トイレ、遊戯室等フローリング改修(大規模修繕等) ・市補助金額 18,457千円(うち国庫補助額11,419千円、県補助額886千円) <p>④広野保育園(社会福祉法人酒田保育協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 防犯カメラ設置(防犯対策) ・市補助金額 577千円(うち国庫補助額385千円) <p>⑤アテネ認定こども園(学校法人アテネ学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 外壁塗装(大規模修繕等) ・市補助金額 3,990千円(うち国庫補助額2,426千円、県補助額234千円) <p>⑥アテネ認定こども園(学校法人アテネ学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 自動ドア、門扉、フェンス改修(防犯対策) ・市補助金額 4,800千円(うち国庫補助額3,200千円) <p>⑦天真幼稚園(学校法人天真林昌学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 外壁改修、保育室エアコン設置(大規模修繕等) ・市補助金額 16,174千円(うち国庫補助額4,540千円、県補助額6,243千円) <p>⑧天真幼稚園(学校法人天真林昌学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 防犯カメラ設置(防犯対策) ・市補助金額 1,350千円(うち県補助額900千円) 					年度	事業数	補助金額	令和2年度	2事業	33,681千円	令和3年度	4事業	77,948千円	令和4年度	8事業	171,006千円
年度	事業数	補助金額															
令和2年度	2事業	33,681千円															
令和3年度	4事業	77,948千円															
令和4年度	8事業	171,006千円															
備 考	○主な特定財源	保育所等整備交付金(国)	105,742,000円														
		認定こども園施設整備交付金(県)	8,263,000円														
		さかた応援基金繰入金	56,451,000円														

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																				
事 業 名	保育サービス利用者負担軽減事業				【 継続 事業】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	23,538,000	18,577,290	0	4,960,710	78.9%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	4,867,500	2,878,750	0	0	10,831,040																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	24,128,000	22,303,735	△3,726,445																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	幼児期の教育・保育を行う施設等の利用に関する給付等を行うことにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 幼児教育・保育の無償化による施設等利用費の給付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の必要性のある3歳以上児及び住民税非課税世帯の0～2歳児を対象に認定こども園の預かり保育や届出保育施設等の利用費を給付した。 <p>(2) 市基準による第3子以降の児童への副食費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市基準（多子カウント年齢制限なしの第3子以降）に該当する児童の副食費相当分を入所施設に補助した。 <p>(3) 届出保育施設等に入所している多子世帯への保育料の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園、届出保育施設等を含めた入所状況により多子世帯判定を行い、届出保育施設等に入所している第2子以降児童の保育料を補助した。 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 幼児教育・保育の無償化による施設等利用費の給付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付対象者</td> <td>138人</td> <td>182人</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>8,995,300円</td> <td>10,396,575円</td> <td>8,082,810円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市基準による第3子以降の児童への副食費の補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者</td> <td>212人</td> <td>220人</td> <td>196人</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>10,304,420円</td> <td>10,986,160円</td> <td>9,604,480円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 届出保育施設等に入所している多子世帯への保育料の補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者</td> <td>10人</td> <td>18人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>676,000円</td> <td>921,000円</td> <td>890,000円</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	給付対象者	138人	182人	139人	給付額	8,995,300円	10,396,575円	8,082,810円		令和2年度	令和3年度	令和4年度	補助対象者	212人	220人	196人	補助額	10,304,420円	10,986,160円	9,604,480円		令和2年度	令和3年度	令和4年度	補助対象者	10人	18人	8人	補助額	676,000円	921,000円	890,000円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																						
給付対象者	138人	182人	139人																																						
給付額	8,995,300円	10,396,575円	8,082,810円																																						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																						
補助対象者	212人	220人	196人																																						
補助額	10,304,420円	10,986,160円	9,604,480円																																						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																						
補助対象者	10人	18人	8人																																						
補助額	676,000円	921,000円	890,000円																																						
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>子育てのための施設等利用給付交付金（国）</td> <td>4,867,500円</td> </tr> <tr> <td>子育てのための施設等利用給付費負担金（県）</td> <td>2,433,750円</td> </tr> <tr> <td>届出保育施設すこやか保育事業費補助金（県）</td> <td>445,000円</td> </tr> </table>					子育てのための施設等利用給付交付金（国）	4,867,500円	子育てのための施設等利用給付費負担金（県）	2,433,750円	届出保育施設すこやか保育事業費補助金（県）	445,000円																														
子育てのための施設等利用給付交付金（国）	4,867,500円																																								
子育てのための施設等利用給付費負担金（県）	2,433,750円																																								
届出保育施設すこやか保育事業費補助金（県）	445,000円																																								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課									
事 業 名	保育料負担軽減事業				【 継 続 事 業 】									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①									
	4,771,000	4,356,497	0	414,503	91.3%									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源									
	0	2,367,405	0	800,000	1,189,092									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)										
	6,017,000	4,399,720	△43,223											
	目 的 ・ 趣 旨													
	「子育てするなら山形県」の実現に向け、国が実施する幼児教育・保育の無償化の対象とならない子どもについて、県と市が連携して保育料を無償化することで、子育て世帯の経済的負担を軽減する。													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>国の「幼児教育・保育の無償化」の対象とならない0歳児～2歳児の保育料について、県が国基準額の1/2を負担し、さらに市が1/2を負担することで無償化した。</p> <p>※令和3年9月分の保育料から対象</p> <p>(1) 対象者等</p> <p>①認可保育所に入所している子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で保育料を再計算し無償化（保育所入所負担金） <p>②認定こども園及び地域型保育施設に入園している子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で保育料を再計算し、無償化により減額となった保育料分を認定こども園等へ入所扶助費として給付（保育所等入所扶助事業） <p>③届出保育施設等に入所している子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの申請により認定し、無償化により減額となった保育料相当額を施設へ補助（保育料負担軽減事業） <p>(2) 要 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児～2歳児の保育の必要性が認められる子ども ・市町村民税所得割課税額9万7千円未満の世帯の子ども <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 届出保育施設等に入所している世帯への保育料補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分等</th> <th>補助対象者</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認可外保育施設</td> <td>2人</td> <td>480,000円</td> </tr> <tr> <td>企業主導型保育施設</td> <td>14人</td> <td>3,288,810円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 事務費 587,687円</p>					施設区分等	補助対象者	補助額	認可外保育施設	2人	480,000円	企業主導型保育施設	14人	3,288,810円
施設区分等	補助対象者	補助額												
認可外保育施設	2人	480,000円												
企業主導型保育施設	14人	3,288,810円												
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>保育料無償化に向けた段階的負担軽減交付金（県）2,367,405円</p> <p>企業版ふるさと納税寄附金 800,000円</p>													

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属 R4 健康福祉部子育て支援課 R3 —												
事 業 名	さかた子育て応援臨時給付金事業 【新規事業】															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③												
	266,530,000	232,758,437	32,127,400	1,644,163												
	執行率②/①															
	87.3%															
	支出済額②の財源内訳															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他												
	232,758,437	0	0	0												
	一般財源	0														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)												
	—	—	—													
	目 的 ・ 趣 旨															
	物価高騰の影響を受けている子育て世帯を応援するため、本市独自の支援策として、臨時給付金を支給するもの。															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 対象児童 平成16年4月2日から令和4年11月30日までに出生した子</p> <p>(2) 給付対象者 ①令和4年12月分の児童手当・特例給付（以下「児童手当」）を酒田市から支給された者（11月末時点の児童手当受給者） ②令和4年11月30日時点で、対象児童を養育し、かつ、酒田市に住民登録がある者（高校生のみを養育している者、公務員など）</p> <p>(3) 給付額 対象児童1人あたり2万円</p> <p>(4) 令和4年度末までの給付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象区分</th> <th>支給決定件数（件）</th> <th>支給対象児童数（人）</th> <th>支給額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童手当受給者（①）</td> <td>5,583</td> <td>10,034</td> <td>200,680,000</td> </tr> <tr> <td>対象児童養育者（②）</td> <td>1,056</td> <td>1,472</td> <td>29,440,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 令和5年度への繰越 給付対象者のうち、高校生のみを養育している者や公務員など申請が必要な場合について、令和4年度内の事業完了が困難なため、令和5年度に予算を繰り越した。 ①給付金分（扶助費）の繰越額 31,580,000円 ②事務費分（一般役務費等）の繰越額 547,400円</p>				対象区分	支給決定件数（件）	支給対象児童数（人）	支給額（円）	児童手当受給者（①）	5,583	10,034	200,680,000	対象児童養育者（②）	1,056	1,472	29,440,000
対象区分	支給決定件数（件）	支給対象児童数（人）	支給額（円）													
児童手当受給者（①）	5,583	10,034	200,680,000													
対象児童養育者（②）	1,056	1,472	29,440,000													
備 考	○主な特定財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国） 232,758,437円															

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課																																				
事 業 名	児童虐待防止対策事業				【 継 続 事 業 】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	7,526,000	7,056,984	0	469,016	93.8%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	1,874,000	54,000	0	0	5,128,984																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	371,000	139,445	6,917,539																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	酒田市要保護児童対策地域協議会を運営し、関係機関との情報の共有化、連携の強化を進める。また、地域全体で児童の健全育成を推進し、虐待の未然防止を図る。																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 要保護児童や特定妊婦等の情報交換、支援内容の協議を行うため、児童福祉法第25条の2に基づき設置される酒田市要保護児童対策地域協議会を運営した。</p> <p>・要保護児童地域対策協議会の開催、虐待通告・認定の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>代表者会議</th> <th>実務者会議</th> <th>ケース検討会</th> <th>通告件数</th> <th>虐待認定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>27件</td> <td>58件</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>48件</td> <td>21件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>40件</td> <td>25件</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 子どもへの暴力防止のための予防教育プログラムであるCAP (Child Assault Pravention) プログラムを、小学校等の児童及び保護者、教職員、学童指導員を対象に開催するもの。令和2年度から新型コロナの影響で、実施団体のCAP山形が活動中止している。</p> <p>(3) 子育て不安や軽度な虐待、引きこもり等の家庭養育上の問題を抱える家庭や家庭復帰のためのアフターケアが必要な家庭に対して、子ども家庭支援員を派遣し、適切な相談支援を行った。</p> <p>・子ども家庭支援員の派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>世帯数</th> <th>実務者会議</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1世帯</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3世帯</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1世帯</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>					年度	代表者会議	実務者会議	ケース検討会	通告件数	虐待認定	令和2年度	2回	6回	27件	58件	41件	令和3年度	2回	6回	48件	21件	12件	令和4年度	2回	6回	40件	25件	15件	年度	世帯数	実務者会議	令和2年度	1世帯	1回	令和3年度	3世帯	4回	令和4年度	1世帯	1回
年度	代表者会議	実務者会議	ケース検討会	通告件数	虐待認定																																				
令和2年度	2回	6回	27件	58件	41件																																				
令和3年度	2回	6回	48件	21件	12件																																				
令和4年度	2回	6回	40件	25件	15件																																				
年度	世帯数	実務者会議																																							
令和2年度	1世帯	1回																																							
令和3年度	3世帯	4回																																							
令和4年度	1世帯	1回																																							
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(国)</td> <td>1,820,000円</td> </tr> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金(国)</td> <td>54,000円</td> </tr> <tr> <td>地域子ども・子育て支援事業費補助金(県)</td> <td>54,000円</td> </tr> </table>					児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(国)	1,820,000円	子ども・子育て支援交付金(国)	54,000円	地域子ども・子育て支援事業費補助金(県)	54,000円																														
児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(国)	1,820,000円																																								
子ども・子育て支援交付金(国)	54,000円																																								
地域子ども・子育て支援事業費補助金(県)	54,000円																																								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課															
事 業 名	子どもの貧困対策推進事業				【 継 続 事 業 】															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①															
	1,495,000	1,494,900	0	100	99.9%															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源															
	0	1,121,000	0	0	373,900															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																
	1,495,000	1,494,900	0																	
	目 的 ・ 趣 旨																			
	相対的に世帯収入が低いとされるひとり親家庭の子どもを対象に学習支援を行うことにより、学習の機会が確保されるとともに、将来的な進学の可能性が高まることを目的とする。																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>ひとり親家庭及び生活困窮家庭の子どもを対象に、無料の学習支援教室を開設した。また、教室における子どもからの相談への対応などを通して、基本的な生活習慣の習得支援や生活指導を行った。</p> <p>(1) 定員人数 30人程度（市広報や市母子会の活動等により周知・募集） 登録人数 19人（中学生12人、小学生7人） 出席者数 1回あたり平均8.0人（延べ313人） ※対象児童は、小学3年生から中学3年生まで ※生活困窮家庭（就学援助受給世帯）も対象としているが、登録なし</p> <p>(2) 開催日時 毎週日曜日午前10時～正午 (3) 場 所 酒田市地域福祉センター (4) スタッフ 教員OB2人、大学生3人、市母子会1人 (5) 実施方法 業務委託（委託先 特定非営利活動法人山形県ひとり親家庭福祉会） (6) その他 子ども食堂として食事提供を実施（月1回程度） 食事提供 11回実施（酒田市母子福祉ねむの木会が県補助金を活用）</p> <p>(7) 過年度の実績（事業開始は令和元年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録人数</td> <td>19人</td> <td>22人</td> <td>18人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>37回</td> <td>32回</td> <td>27回</td> <td>39回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) その他</p> <p>①参加児童生徒の保護者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣が身につく、本人も喜んで参加しているようで大変助かっています。先生たちは分からないところを一緒に考えてくださり、家庭ではなかなか目の届かないところまで配慮してくださっているようで本当にありがたいです。 ・受験生で、みんなが塾に通う中、無料でこのような場所があること、すごくありがたいです。教え方も上手みたいで、分からないところが分かるようになったと喜んでいました。月1の子ども食堂もありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。 ・勉強以外にも、どのような仕事・職業があるのか、そのためにどんなことを学べばいいのかなどお話しただけの場があると、子どもの視野が広がると思います。 						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	登録人数	19人	22人	18人	19人	開催回数	37回	32回	27回	39回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																
登録人数	19人	22人	18人	19人																
開催回数	37回	32回	27回	39回																
備 考	○主な特定財源 ひとり親家庭等生活向上事業費補助金（県） 1,121,000円																			

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課												
事 業 名	生理用品サポート事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	888,000	679,800	0	208,200	76.6%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	0	0	679,800	0												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	940,000	856,850	△177,050														
	目 的 ・ 趣 旨																
	生理用品を無償で配布することにより、生理用品を準備することが困難な状況にある人の負担を軽減する。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 対象者 生理用品を準備することが困難な状況にある児童生徒及び成人女性</p> <p>(2) 配布する用品 ①生理用ナプキン 1,500パック（購入品）、446パック（防災備蓄品） ②生理用ショーツ 150枚 ※生理用ショーツの配布は小中学校及び高校のみ</p> <p>(3) 配布方法 児童生徒には学校の保健室等で配布、成人女性には市役所等の相談窓口で配布した。 ・市役所（市民健康センター、交流ひろば、各総合支所含む）での配布状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配布数（パック）</th> <th>配置数（パック）</th> <th>配布率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入品</td> <td>304</td> <td>894</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>防災備蓄品</td> <td>313</td> <td>407</td> <td>77%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配置数には令和3年度からの繰越分を含む。</p> <p>(4) 配布場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校 ・市内高等学校 ・東北公益文科大学 ・酒田調理師専門学校 ・酒田市母子福祉ねむの木会（酒田市地域福祉センター） ・市内子ども食堂 ・生活保護世帯、要保護児童等 ・福祉企画課、子育て支援課 ・健康課（子育て世代包括支援センターぎゅっと） ・地域共生課（交流ひろば） ・まちづくり推進課（市民生活相談） ・各総合支所 						配布数（パック）	配置数（パック）	配布率	購入品	304	894	34%	防災備蓄品	313	407	77%
	配布数（パック）	配置数（パック）	配布率														
購入品	304	894	34%														
防災備蓄品	313	407	77%														
備 考	○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 679,800円																

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	3 目 保育所費	所 属	R4 健康福祉部子育て支援課 R3 健康福祉部子育て支援課
事 業 名	病児・病後児保育事業				【 継 続 事 業 】
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
19,596,000	17,544,782	0	2,051,218	89.5%	
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,193,000	5,842,000	0	674,000	3,835,782	
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
17,073,000	15,926,838	1,146,162			
目 的 ・ 趣 旨					
病気または病気の回復期にある児童を保育することにより、児童の健全育成と保護者の就労支援を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	<p>保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健康回復を図るため、病気または病気の回復期で、生後3か月から小学3年生までの集団保育が困難な子どもを、あきほ病児・病後児保育所（専用施設）において一時預かりを実施した。</p> <p>また、急な体調不良に対応した看護師によるタクシーでの送迎サービス、および受診付添いサービスを実施した。（市内在住の満1歳以上の未就学児童対象）</p> <p>庄内北部定住自立圏協定により、遊佐町、庄内町、三川町との相互受け入れを行っている。</p>				
事 務 事 業 の 概 要	○事業実績・説明				
	(単位：人)				
	年度	登録人数	実利用人数	延べ利用人数	
令和2年度	酒田市	212	酒田市	271	
	(うち送迎・付添)	79	(うち送迎0、付添3)	(うち送迎0、付添3)	
	遊佐町	7	遊佐町	6	
	庄内町	7	庄内町	7	
	三川町	0	三川町	0	
	合計	226	合計	71	
令和3年度	酒田市	213	酒田市	461	
	(うち送迎・付添)	67	(うち送迎1、付添2)	(うち送迎1、付添2)	
	遊佐町	9	遊佐町	42	
	庄内町	10	庄内町	13	
	三川町	2	三川町	3	
	合計	234	合計	105	
令和4年度	酒田市	171	酒田市	349	
	(うち送迎・付添)	28	(うち送迎0、付添1)	(うち送迎0、付添1)	
	遊佐町	5	遊佐町	8	
	庄内町	3	庄内町	9	
	三川町	3	三川町	21	
	合計	182	合計	103	
※令和元年度から定員3人を9人に増員					
備 考	○主な特定財源	子ども子育て支援交付金（国）	7,193,000円		
		保育対策等促進事業費補助金（県）	5,842,000円		
		病児・病後児保育入所負担金	674,000円		

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課												
事 業 名	老人クラブ助成事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	3,296,000	3,130,154	0	165,846	95.0%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	1,354,000	0	0	1,776,154												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	3,396,000	3,327,241	△197,087														
	目 的 ・ 趣 旨																
	地域を基盤として、高齢者自らの生きがいと健康づくりを進める活動やボランティア活動、社会奉仕等の活動を促進するため、老人クラブに対して助成する。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市内の老人クラブ活動のうち、社会奉仕活動、教養講座開設活動、スポーツ振興活動の各事業に対して補助金を交付した。 また、酒田市老人クラブ連合会に対して、市内の老人クラブの活動を促進する事業、健康づくり・介護予防支援事業、地域支え合い事業などについて補助金を交付するとともに、老人クラブ活動支援員に係る人件費の一部を補助した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 補助金の内訳 ・老人クラブ連合会補助金 225,920円 ・老人クラブ活動費補助金 2,484,234円 ・老人クラブ活動指導員設置事業費補助金 420,000円</p> <p>(2) 老人クラブの状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老人クラブ数</td> <td>95団体</td> <td>89団体</td> <td>86団体</td> </tr> <tr> <td>老人クラブ会員数</td> <td>3,764人</td> <td>3,468人</td> <td>3,148人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	老人クラブ数	95団体	89団体	86団体	老人クラブ会員数	3,764人	3,468人	3,148人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度														
老人クラブ数	95団体	89団体	86団体														
老人クラブ会員数	3,764人	3,468人	3,148人														
備 考	○主な特定財源 老人クラブ活動助成費補助金（県） 1,354,000円																

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課																																																								
事 業 名	シルバー人材センター補助事業				【 継 続 事 業 】																																																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																								
	10,938,000	10,938,000	0	0	100.0%																																																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																								
	0	1,404,000	0	0	9,534,000																																																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																									
	10,938,000	10,938,000	0																																																										
	目 的 ・ 趣 旨																																																												
	高齢者の補助的・短期的な就労を通じ、自己能力の活用による社会参加を推進するとともに、生きがいを高めることを目的に、公益社団法人酒田市シルバー人材センターの運営等を支援する。																																																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田市シルバー人材センターの安定的な運営に資するため、国の基準に基づき運営費補助金を交付した。 また、国で認める企画提案方式事業（高齢者活用・現役世代雇用サポート事業）に事業費補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 請負受託事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>778人</td> <td>816人</td> <td>826人</td> </tr> <tr> <td>就業実人数</td> <td>579人</td> <td>566人</td> <td>566人</td> </tr> <tr> <td>就業率</td> <td>74.4%</td> <td>69.4%</td> <td>68.5%</td> </tr> <tr> <td>受託件数</td> <td>7,565件</td> <td>7,446件</td> <td>7,423件</td> </tr> <tr> <td>就業延人員</td> <td>65,210人日</td> <td>64,165人日</td> <td>62,677人日</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>307,930,088円</td> <td>310,180,018円</td> <td>314,424,189円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) シルバー派遣事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録会員数</td> <td>229人</td> <td>284人</td> <td>324人</td> </tr> <tr> <td>就業実人数</td> <td>189人</td> <td>236人</td> <td>258人</td> </tr> <tr> <td>就業率</td> <td>82.5%</td> <td>83.1%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>受託件数</td> <td>268件</td> <td>376件</td> <td>481件</td> </tr> <tr> <td>就業延人員</td> <td>26,628人日</td> <td>34,744人日</td> <td>38,853人日</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>119,261,804円</td> <td>164,972,949円</td> <td>190,328,349円</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	会員数	778人	816人	826人	就業実人数	579人	566人	566人	就業率	74.4%	69.4%	68.5%	受託件数	7,565件	7,446件	7,423件	就業延人員	65,210人日	64,165人日	62,677人日	契約金額	307,930,088円	310,180,018円	314,424,189円		令和2年度	令和3年度	令和4年度	登録会員数	229人	284人	324人	就業実人数	189人	236人	258人	就業率	82.5%	83.1%	79.6%	受託件数	268件	376件	481件	就業延人員	26,628人日	34,744人日	38,853人日	契約金額	119,261,804円	164,972,949円	190,328,349円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
会員数	778人	816人	826人																																																										
就業実人数	579人	566人	566人																																																										
就業率	74.4%	69.4%	68.5%																																																										
受託件数	7,565件	7,446件	7,423件																																																										
就業延人員	65,210人日	64,165人日	62,677人日																																																										
契約金額	307,930,088円	310,180,018円	314,424,189円																																																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																										
登録会員数	229人	284人	324人																																																										
就業実人数	189人	236人	258人																																																										
就業率	82.5%	83.1%	79.6%																																																										
受託件数	268件	376件	481件																																																										
就業延人員	26,628人日	34,744人日	38,853人日																																																										
契約金額	119,261,804円	164,972,949円	190,328,349円																																																										
備 考	○主な特定財源 市町村総合交付金（高齢者労働能力活用事業）（県） 1,404,000円																																																												

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課																
事 業 名	敬老寿賀事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	2,051,000	2,002,601	0	48,399	97.6%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	0	2,002,601																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	1,803,000	1,760,350	242,251																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	市内に在住する長寿・米寿該当者の長寿を祝うことで、高齢者をねぎらい、今後の生活の励みとしてもらう。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 米寿及び百寿の方に賀詞と記念品を贈呈したほか、数え年101歳以上の長寿の方に賀詞を贈呈した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 贈呈内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米寿 (数え年88歳) 賀詞、風呂敷 ・ 百寿 (数え年100歳) 賀詞、花かご ・ 数え年101歳以上の長寿 賀詞 <p>(2) 対象者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米寿 (88歳)</td> <td>858人</td> <td>859人</td> <td>971人</td> </tr> <tr> <td>百寿 (100歳)</td> <td>58人</td> <td>59人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>101歳以上</td> <td>91人</td> <td>88人</td> <td>96人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	米寿 (88歳)	858人	859人	971人	百寿 (100歳)	58人	59人	64人	101歳以上	91人	88人	96人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																		
米寿 (88歳)	858人	859人	971人																		
百寿 (100歳)	58人	59人	64人																		
101歳以上	91人	88人	96人																		
備 考																					

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課																																				
事 業 名	やさしい生活支援事業				【 継 続 事 業 】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	1,544,000	1,437,000	0	107,000	93.1%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	0	0	0	0	1,437,000																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	4,202,000	3,896,000	△2,459,000																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	高齢者の在宅生活における転倒防止や外出支援を行うことで介護状態になることを防ぎ、より長く安全な在宅生活を送ることを目的に、高齢者が福祉機器を設置または購入する際の費用の一部を助成する。																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 在宅で生活する65歳以上の高齢者が新たに福祉機器を設置または購入する際の費用に対して補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 補助金名称 やさしい生活支援事業補助金</p> <p>(2) 補助対象機器 手すり、シルバーカー、つえ</p> <p>(3) 補助率 市民税非課税の方は、購入費用の1/2 市民税課税の方は、購入費用の1/4</p> <p>(4) 補助上限額 1回8万円（過去の交付分と合わせて15万円まで）</p> <p>(5) 交付件数・金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手すり</td> <td>44件</td> <td>31件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>シルバーカー</td> <td>99件</td> <td>107件</td> <td>73件</td> </tr> <tr> <td>つえ</td> <td>16件</td> <td>55件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>電動アシスト自転車</td> <td>37件</td> <td>24件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入浴補助用具</td> <td>5件</td> <td>13件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>玄関ステップ</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計件数</td> <td>204件</td> <td>232件</td> <td>109件</td> </tr> <tr> <td>交付金額</td> <td>4,197,000円</td> <td>3,896,000円</td> <td>1,437,000円</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	手すり	44件	31件	18件	シルバーカー	99件	107件	73件	つえ	16件	55件	18件	電動アシスト自転車	37件	24件		入浴補助用具	5件	13件		玄関ステップ	3件	2件		合計件数	204件	232件	109件	交付金額	4,197,000円	3,896,000円	1,437,000円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																						
手すり	44件	31件	18件																																						
シルバーカー	99件	107件	73件																																						
つえ	16件	55件	18件																																						
電動アシスト自転車	37件	24件																																							
入浴補助用具	5件	13件																																							
玄関ステップ	3件	2件																																							
合計件数	204件	232件	109件																																						
交付金額	4,197,000円	3,896,000円	1,437,000円																																						
備 考																																									

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課
事 業 名	ほっとふくし券事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	26,070,000	25,989,050	0	80,950	99.7%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	12,825,000	13,164,050
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	26,454,000	25,663,310	325,740		
	目 的 ・ 趣 旨				
	在宅での介護を必要とする方の経済的な負担を軽減し、安心した生活を送ることができるよう、介護に係る費用の一部を助成する。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 在宅で介護を受けている要支援または要介護認定の方に対し、市の指定する福祉等のサービス利用やリハビリパンツ等の購入時に利用できるほっとふくし券を交付した。 また、高齢者の健康保持及び心身の安らぎを図るため、70歳以上の方に鍼・灸・マッサージ等の施術を受ける際に利用できる助成券を交付した。				
	○事業実績・説明 (1) ほっとふくし券				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般券	交付人数	1,342人	1,382人	1,390人
		交付額	24,880,000円	25,615,000円	25,710,000円
		利用額	20,640,000円	20,817,500円	21,174,000円
		利用率	83.0%	81.3%	82.4%
	ストレッチャー車 専用券	交付人数	31人	30人	23人
		交付額	684,000円	624,000円	504,000円
		利用額	98,000円	78,000円	103,000円
利用率		14.3%	12.7%	20.4%	
訪問理容・美容 サービス専用券	交付人数	139人	150人	183人	
	交付額	695,000円	750,000円	915,000円	
	利用額	206,000円	218,000円	202,000円	
	利用率	29.6%	29.1%	22.1%	
寝具洗濯乾燥消毒 サービス専用券	交付人数	22人	38人	41人	
	交付額	110,000円	190,000円	205,000円	
	利用額	50,000円	97,000円	110,000円	
	利用率	45.5%	51.1%	53.7%	
	(2) 鍼・灸・マッサージ等利用助成券				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
交付人数	1,053人	995人	1,053人		
交付額	5,901,000円	5,631,000円	5,865,000円		
利用額	3,828,000円	3,587,000円	3,503,000円		
利用率	64.9%	63.7%	59.7%		
備 考	○主な特定財源 社会福祉基金繰入金 12,825,000円				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課																																	
事 業 名	軽度生活援助事業				【 継 続 事 業 】																																	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																	
	793,000	721,160	0	71,840	90.9%																																	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																	
	0	0	0	143,040	578,120																																	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																		
	2,872,000	2,850,760	△2,129,600																																			
	目 的 ・ 趣 旨																																					
	在宅で生活する一人暮らし高齢者等に対して日常生活上の軽易な作業を援助することにより、自立した在宅生活の継続と要介護状態への進行防止を図る。																																					
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者に対して、疾病・認知症・虚弱等の理由で自ら行うことのできない日常生活上の軽易な作業を援助する生活援助員の派遣を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 対象作業 買い物、ゴミ出し、灯油つめ (2) 利用者負担額 30分以内 120円 30分を超え1時間以内 240円 (3) 利用回数 週1回まで（灯油つめを除く）飛島に居住する方は週2回まで (4) 派遣世帯数及び回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣世帯数</td> <td>198世帯</td> <td>164世帯</td> <td>37世帯</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>3,903回</td> <td>3,939回</td> <td>1,163回</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">派遣内訳</td> <td>住居内の掃除</td> <td>609回</td> <td>273回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>買い物</td> <td>1,125回</td> <td>1,112回</td> <td>917回</td> </tr> <tr> <td>ゴミ出し</td> <td>482回</td> <td>505回</td> <td>195回</td> </tr> <tr> <td>灯油つめ</td> <td>136回</td> <td>68回</td> <td>51回</td> </tr> <tr> <td>除雪</td> <td>1,551回</td> <td>1,981回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	派遣世帯数	198世帯	164世帯	37世帯	派遣回数	3,903回	3,939回	1,163回	派遣内訳	住居内の掃除	609回	273回		買い物	1,125回	1,112回	917回	ゴミ出し	482回	505回	195回	灯油つめ	136回	68回	51回	除雪	1,551回	1,981回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
派遣世帯数	198世帯	164世帯	37世帯																																			
派遣回数	3,903回	3,939回	1,163回																																			
派遣内訳	住居内の掃除	609回	273回																																			
	買い物	1,125回	1,112回	917回																																		
	ゴミ出し	482回	505回	195回																																		
	灯油つめ	136回	68回	51回																																		
	除雪	1,551回	1,981回																																			
備 考	○主な特定財源 軽度生活援助事業利用者負担金 143,040円																																					

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部福祉課																
事 業 名	飛島高齢者生活支援事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	1,350,000	1,322,720	0	27,280	98.0%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	0	1,322,720																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	1,429,000	1,282,670	40,050																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	飛島に居住する高齢者の経済的負担を軽減し、飛島での生活を支援するため、定期航路運賃の一部を助成する。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 飛島に居住する65歳以上の方を対象に、定期航路運賃のうち復路分の島民運賃の助成券を交付した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 助成内容 復路の島民運賃 (1,720円) 10回分 (2) 交付人数及び交付額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付人数</td> <td>136人</td> <td>127人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>2,339,200円</td> <td>2,184,400円</td> <td>2,218,800円</td> </tr> <tr> <td>利用額</td> <td>1,202,280円</td> <td>1,231,520円</td> <td>1,264,200円</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	交付人数	136人	127人	129人	交付額	2,339,200円	2,184,400円	2,218,800円	利用額	1,202,280円	1,231,520円	1,264,200円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																		
交付人数	136人	127人	129人																		
交付額	2,339,200円	2,184,400円	2,218,800円																		
利用額	1,202,280円	1,231,520円	1,264,200円																		
備 考																					

款 項 目	4 款 衛生費	2 項 環境衛生費	2 目 環境保全費	所 属	R4 市民部環境衛生課 R3 市民部環境衛生課						
事 業 名	環境対策事業				【 継 続 事 業 】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	7,233,000	6,343,954	0	889,046	87.7%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	951,000	0	0	5,392,954						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	7,177,000	5,960,122	383,832								
	目 的 ・ 趣 旨										
	環境基本計画策定、環境審議会開催、鳥獣被害対策、公害対策、国・県・本市で構成する「猛禽類保護センター活用協議会」の運営により、環境問題、豊かな自然の保護など環境保全を推進する。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 環境基本計画の進捗管理 環境基本計画の進捗管理を行うと共に、次期計画について検討する。</p> <p>(2) 環境審議会の開催 本市の環境保全のため調査及び審議を行うため、環境審議会を開催、運営する。</p> <p>(3) 鳥獣被害対策 近年増大傾向にある鳥獣被害に対して適切に対応する。</p> <p>(4) 公害対策 本市の環境保全のため水質汚濁、土壌汚染等について調査、分析する。</p> <p>(5) 猛禽類保護センター活用協議会の運営 国、県、本市で運営する協議会により、猛禽類保護センター（イヌワシみらい館）での展示、観察会の開催等により生態系保全の啓発を行う。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 環境基本計画の進捗管理 173,890円 環境基本計画で掲げた目標等について現状把握・分析を行い、市HPで周知した。</p> <p>(2) 環境審議会の開催 94,047円 令和4年度は、2回開催した。 R4.4.14 JRE酒田風力発電所更新計画に係る環境影響評価準備書に関する審議 R5.1.24 役員選任</p> <p>(3) 鳥獣被害対策 112,671円 ツキノワグマの目撃情報等の通報内容に応じて、関係機関と連携し、近隣住民への周知、パトロール、わな設置など適切に対応した。</p> <p>(4) 公害対策 1,185,250円 本市の環境保全のために水質汚濁、土壌汚染等について調査、分析した。 (調査結果は市HPに掲載)</p> <p>(5) 猛禽類保護センター活用協議会の運営 4,778,096円 センターでの展示、観察会の開催等で生態系保全の大切さを啓発した。令和4年度は特別企画展示「世界一おもしろい絶滅したい生きもの展」が盛況だったため入館者は増えた。</p> <p>○猛禽類保護センター来館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>6,007人</td> <td>6,217人</td> <td>7,274人</td> </tr> </table>					令和2年度	令和3年度	令和4年度	6,007人	6,217人	7,274人
令和2年度	令和3年度	令和4年度									
6,007人	6,217人	7,274人									
備 考	○主な特定財源 地下水観測井管理及び観測委託金（県）		60,000円								
	湯の台園地管理委託金（県）		891,000円								

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	所 属	R4 市民部環境衛生課 R3 市民部環境衛生課
事 業 名	ごみ減量化推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	24,468,000	20,574,822	0	3,893,178	84.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	190,417	20,384,405
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	25,239,000	22,434,300	△1,859,478		
	目 的 ・ 趣 旨				
	集団資源回収等に対し報償金を交付し、廃棄物の資源化及び減量化を推進する。 また、ごみ出し情報の発行やごみ減量等に係る研修会を実施し、環境保全や廃棄物の資源化及び減量化の意識向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 (1) 資源回収運動の奨励 12,191,483円 (2) 生ごみ処理機等購入助成 119,300円 (3) 紙類資源回収の奨励 6,979,464円 (4) ごみ出し情報の発行 814,770円 (5) 廃棄物減量等推進員の設置 194,000円 (6) ごみ減量化に係る研修会の実施(年7回) (7) 使用済み小型家電・古着の回収(年4回) (8) 事業系ごみ減量啓発チラシの配布 56,000円 (9) その他 ごみ減量化のPR(広報年4回掲載、学校・保育園等を通した普及活動、市役所1階の表示盤を使った普及等、消耗品、通信運搬費等) 219,805円				
	○事業実績・説明				
	事業内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	家庭系ごみ及び事業系ごみの総排出量 (t)		36,596	35,991	35,297
	家庭系ごみの排出量 (t)		25,009	23,990	23,437
	事業系ごみの排出量 (t)		11,587	12,000	11,861
	資源回収運動	参加団体数 (団体)	247	240	230
		回収量 (t)	1,976	1,892	1,745
	生ごみ処理機等購入助成	電動処理機 (基)	10	6	6
		コンポスト (基)	15	16	16
	紙類資源回収	ごみステーション回収量 (t)	663	694	691
		資源ステーション回収量 (t)	593	618	620
	ごみ出し情報	発行回数 (回)	4	2	2
	廃棄物減量等推進員	設置地区数 (地区)	36	36	36
	研修会の開催(出前講座他)	実施回数 (回)	15	12	7
		参加人数 (人)	291	231	177
	小型家電回収	回収量 (kg)	13,589	10,617	8,608
	古着回収	回収量 (kg)	中止	10,060	9,460
備 考	○主な特定財源 古着売払代 1,041円 小型家電リサイクル売払代 189,376円				

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	所 属	R4 市民部環境衛生課 R3 市民部環境衛生課		
事 業 名	不法投棄防止対策推進事業				【 継 続 事 業 】		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①		
	2,885,000	2,804,054	0	80,946	97.2%		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
	0	0	0	18,784	2,785,270		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)			
	2,846,000	2,801,054	3,000				
	目 的 ・ 趣 旨						
	不法投棄監視員によるパトロール活動等の実施により、不法投棄の未然防止を図ること で、美観を保護し、市民の清潔で快適な生活環境を維持する。						
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 不法投棄防止の啓発と不法投棄監視員によるパトロールを実施した。						
	○事業実績・説明						
	(1) 不法投棄監視員活動回数 672回 (28名×2回/月×12か月)						
	(2) 使用済自動車等海上輸送費報償金交付件数 2件 (飛鳥～酒田)						
	(3) 不法投棄の回収実績						
	・ 件数 (単位：件)						
		年 度	家電5品目	自転車	タイヤ	その他	合 計
		令和2年度	14	2	6	51	73
		令和3年度	5	4	5	60	74
		令和4年度	11	2	10	38	61
	※家電5品目：テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン、衣類乾燥機のことを指す。 ※その他の不法投棄物として、畳、テーブル、布団、衣装ケース等があった。						
	・ 数量 (単位：台、本)						
	年 度	家電5品目	自転車	タイヤ			
	令和2年度	23	2	22			
	令和3年度	9	4	11			
	令和4年度	11	2	17			
	○主な活動実績 不法投棄監視員のパトロールにより、畳やテーブル等を発見・回収し、美観の保護と 生活環境の維持につなげた。						
備 考	○主な特定財源 自動車リサイクル法「離島対策支援事業」出えん金 18,784円						

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課	
事 業 名	乳幼児健診事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	13,022,000	12,843,979	0	178,021	98.6%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	667,000	0	0	0	12,176,979	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	11,781,000	10,641,902	2,202,077			
	目 的 ・ 趣 旨					
	母子保健法に基づき、乳幼児の疾病の早期発見、発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する不安や悩みに対して適切な相談や支援を行う。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 各月年齢の乳幼児に対する健康診査や健康相談、歯科健康診査等を行った。 また、令和4年度より3歳児健康診査に屈折検査（弱視疑い等を判定する機器を利用した目の検査）を導入した。					
	○事業実績・説明					
	項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
健康診査	3か月児健康診査	回数	24回	24回	24回	
		受診数	529人	490人	473人	
		受診率	99.4%	99.8%	99.4%	
	1歳6か月児健康診査	回数	20回	20回	24回	
		受診数	503人	473人	553人	
		受診率	100.0%	99.4%	99.6%	
	3歳児健康診査※	回数	21回	21回	24回	
		受診数	563人	559人	605人	
		受診率	99.8%	99.5%	100.0%	
	健康相談	9か月児健康相談	回数	15回	15回	19回
			受診数	444人	404人	496人
			受診率	100.0%	97.6%	99.2%
歯科健康診査	2歳児歯科健診（希望者のみ）	回数	5回	5回	6回	
		受診数	146人	168人	215人	
		受診率	31.6%	37.8%	41.7%	
健診フォロー教室	1歳6か月児健診フォロー教室	回数	8回	9回	10回	
		人数	65人	72人	73人	
	外国籍妊産婦等の通訳配置		派遣回数	0回	1回	0回
	※令和4年7月より屈折検査導入。受診者455人の内、41人が屈折検査で要精密検査					
備 考	○主な特定財源 母子衛生費補助金（国）		667,000円			

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課	
事 業 名	妊婦健康管理事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	45,674,000	43,511,700	0	2,162,300	95.3%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	43,511,700	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	48,359,000	44,683,445	△1,171,745			
	目 的 ・ 趣 旨					
	妊婦健康診査に対して助成を行うことにより、妊娠から出産までの期間を安全に過ごし、安心して出産に臨めるように支援する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 妊婦に対して妊婦健康診査の受診票を交付し、母体と胎児の健康管理を行うことで、安心して出産できるように支援した。					
	○事業実績・説明					
			助成上限額	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般健診 (14回)	初回受診者数	10,000円	482人	485人	459人
		2回目以降延受診者数	5,000円	5,509人	5,393人	5,247人
	H T L V - 1 抗体検査		2,290円	489人	458人	463人
	子宮頸がん検診		3,400円	472人	483人	455人
	クラミジア抗原検査		2,100円	484人	463人	457人
	超音波検査 (4回)	初回受診者数	5,300円	487人	481人	474人
		2回目以降延受診者数	4,770円	1,400人	1,381人	1,366人
備 考						

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課
事 業 名	妊娠・出産・子育て包括支援（ネウボラ）事業【継続事業】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	10,074,000	9,164,258		909,742	91.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	5,461,000	2,347,000	0	45,000	1,311,258
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	10,480,000	8,888,967	275,291		
	目 的 ・ 趣 旨				
	妊娠期から出産、子育て期までに切れ目のない子育て支援を行うため子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」を開設し、各種相談を行うとともに、関係機関とのネットワークを強化し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。				
事 務	○事業内容 妊娠期から出産、子育て期まで母子保健や育児に関する総合相談、支援を必要とする方に対し支援計画の作成、母子保健サービス等の提供及び関係機関との連絡調整、各種事業を行った。				
概 要	○事業実績・説明				
	項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
各 種 相 談 ・ 教 育	母子健康手帳交付 (各総合支所対応分含む)	妊娠届出数	474件	487件	449件
		手帳交付数	478件	490件	452件
	随時相談(母乳ミルク相談含む)	件数	3,308件	2,801件	3,142件
	さかたすくすくベビーギフト	配布者数	484人	475人	494人
	マタニティ教室 未来デザイン講座	回数	11回	10回	13回
		参加者数	216人	134人	217人
産 前 産 後 サ ポ ー ト	ぎゅっとサロン	回数	8回	8回	11回
		参加者数	妊婦 0人 親子31組	妊婦 2人 親子38組	妊婦 0人 親子58組
	訪問型産前・産後サポート	訪問者数	0人	6人	10人
	母乳ミルク相談室(再掲)月2回	相談件数	143件	150件	173件
	産後の骨盤ケア教室	回数	9回	9回	12回
		参加者数	77人	72人	87人
	産後ケア(宿泊型)	利用者数	5組	2組	3組
	妊婦健康診査助成	助成券交付人数	492人	507人	482人
	妊産婦支援会議	開催数	47回	48回	48回
	ネットワーク会議	開催数	1回	1回	1回
	新生児訪問	訪問件数	526件	489件	460件
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金(国) 4,751,000円 母子衛生費補助金(国) 710,000円 ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業費補助金(県) 511,000円				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																																		
事 業 名	特定不妊治療助成事業				【 継 続 事 業 】																																																		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																		
	15,696,000	10,208,632	0	5,487,368	65.0%																																																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																		
	0	0	0	0	10,208,632																																																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																			
	21,574,000	21,199,664	△10,991,032																																																				
	目 的 ・ 趣 旨																																																						
	不妊に悩む夫婦への支援及び少子化対策の一環として、不妊治療に要する経済的負担を軽減し子どもを産みやすい環境づくりを図る。																																																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 特定不妊治療助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定不妊治療（男性不妊治療含む）を令和4年3月末日までに開始し、令和4年度中に終了し、山形県特定不妊治療費助成制度の助成を受けた方へ、治療費と県の助成額の差額に対して1回のみ上限30万円を助成した。 ・ 市への申請は山形県特定不妊治療費助成金給付決定通知日の属する月の翌月末日までとしている。 <p>(2) 生殖補助医療助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度から不妊治療が医療保険適用されたことに伴い、医療保険適用の1回の生殖補助医療（体外受精・顕微授精）、男性不妊治療、併用して実施する先進医療の自己負担（山形県助成と高額療養費控除後）に対し上限9万円の助成を開始した。 ・ 市への申請は1回の治療終了ごとに治療終了日より1年以内としている。 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 女性不妊治療</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">申請数</th> <th rowspan="2">妊娠数</th> <th rowspan="2">妊娠した割合</th> </tr> <tr> <th>助成項目</th> <th>実人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>特定不妊治療</td> <td>63人</td> <td>94人</td> <td>24人</td> <td>38.1%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>特定不妊治療</td> <td>89人</td> <td>139人</td> <td>37人</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和4年度</td> <td>特定不妊治療</td> <td>47人</td> <td>65人</td> <td>29人</td> <td>61.7%</td> </tr> <tr> <td>生殖補助医療</td> <td>14人</td> <td>19人</td> <td>7人</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 男性不妊治療</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">申請数</th> <th rowspan="2">妊娠数</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>						申請数			妊娠数	妊娠した割合	助成項目	実人数	延人数	令和2年度	特定不妊治療	63人	94人	24人	38.1%	令和3年度	特定不妊治療	89人	139人	37人	41.6%	令和4年度	特定不妊治療	47人	65人	29人	61.7%	生殖補助医療	14人	19人	7人	50.0%		申請数		妊娠数	実人数	延人数	令和2年度	1人	1人	0人	令和3年度	0人	0人	0人	令和4年度	0人	0人	0人
	申請数			妊娠数	妊娠した割合																																																		
	助成項目	実人数	延人数																																																				
令和2年度	特定不妊治療	63人	94人	24人	38.1%																																																		
令和3年度	特定不妊治療	89人	139人	37人	41.6%																																																		
令和4年度	特定不妊治療	47人	65人	29人	61.7%																																																		
	生殖補助医療	14人	19人	7人	50.0%																																																		
	申請数		妊娠数																																																				
	実人数	延人数																																																					
令和2年度	1人	1人	0人																																																				
令和3年度	0人	0人	0人																																																				
令和4年度	0人	0人	0人																																																				
備考																																																							

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 —													
事 業 名	出産・子育て応援交付金給付事業				【新規事業】													
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①													
	62,315,000	57,171,591	0	5,143,409	91.7%													
	支出済額②の財源内訳																	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源													
	47,928,591	9,243,000	0	0	0													
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)														
	—	—	—															
	目 的 ・ 趣 旨																	
	<p>妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく相談に応じる「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施することにより、妊婦・子育て家庭の不安の軽減を図り、子どもを産み育てやすい地域環境を整える。</p>																	
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 令和5年2月1日より事業を開始した。</p> <p>(1) 伴走型相談支援</p> <p>①妊娠届出時より妊婦や主に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行い、医療機関、相談支援機関等関係機関と情報を共有しながら必要な支援につなぐ。</p> <p>②妊産婦に対して、アンケートに基づき、面談と相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出（母子健康手帳交付）時 60件 ・妊娠8か月前後 68件 ・出生後（令和5年2月出生以降）の新生児訪問時 43件 <p>(2) 経済的支援</p> <p>妊娠届出や出生届出の後に面談を行った妊婦・子育て世帯に対し、出産育児関連用品の購入等の費用負担の軽減を図るため、出産・子育て応援交付金を支給した。なお遡及対象者はアンケートのみ実施した。</p> <p>①対象者 ・妊婦（令和4年4月1日～令和5年1月31日に出生した産婦も含む） ・出生児を養育する者</p> <p>②給付額 ・妊婦1人につき5万円 ・出生児1人につき5万円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>給付額</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">妊娠届出</td> <td>令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦</td> <td rowspan="2">5万円</td> <td rowspan="2">693名</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月1日～令和5年1月31日に出生した産婦</td> </tr> <tr> <td>出生届出</td> <td>令和4年4月1日以降に出生した児の養育者</td> <td>5万円</td> <td>416名</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	給付額	人数	妊娠届出	令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦	5万円	693名	令和4年4月1日～令和5年1月31日に出生した産婦	出生届出	令和4年4月1日以降に出生した児の養育者	5万円	416名
	対象者	給付額	人数															
妊娠届出	令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦	5万円	693名															
	令和4年4月1日～令和5年1月31日に出生した産婦																	
出生届出	令和4年4月1日以降に出生した児の養育者	5万円	416名															
備 考	<p>○主な特定財源 出産・子育て応援交付金（国） 38,960,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）8,968,591円 出産・子育て応援事業費補助金（県） 9,243,000円</p>																	

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課
事 業 名	食習慣改善事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,914,000	2,778,721	0	135,279	95.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	1,181,900	1,596,821
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,273,000	1,101,017	1,677,704		
	目 的 ・ 趣 旨				
	さかた健康づくりビジョン【健康さかた21（第3期）】（計画期間：平成29年度～令和5年度）を推進するため、栄養改善教室や各種食育教室を開催し、市民の健康増進を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	食生活改善推進員が地域で食育活動・健康づくり活動を行えるように講習を実施し、食生活改善推進員と行政が連携を図りながら市民に対して栄養改善の普及を行った。また、食生活改善推進員の養成講習会を行った。				
	○事業実績・説明				
	(1) 減塩及び野菜摂取についての指導人数				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	中央研修会参加者	155人	179人	178人	
	中央研修会の伝達講習会参加者	2,179人	2,152人	1,756人	
	出前講座参加者	253人	90人	210人	
	リーフレット配布	395人	357人	354人	
	合計	2,982人	2,778人	2,498人	
(2) 食生活改善推進員養成講習会					
	年 度	回 数	受講者数	修了者数	
	令和2年度 ※	0回	0人	0人	
	令和3年度	10回	15人	12人	
	令和4年度	10回	11人	11人	
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止					
備 考	○主な特定財源 酒田ごはん売払代		1,115,400円		
	栄養改善各種講習会参加負担金		66,500円		

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																																																																																																				
事 業 名	歯と口腔の健康づくり推進事業				【 継 続 事 業 】																																																																																																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																																																				
	1,903,000	1,730,769	0	172,231	91.0%																																																																																																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																																																				
	835,500	0	0	0	895,269																																																																																																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																																																					
	1,652,000	1,420,271	310,498																																																																																																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																																																								
	酒田市歯と口腔の健康づくり推進条例等に基づき、市民の生涯にわたる予防歯科（口腔衛生）に関する意識の向上を図るとともに、歯と口腔の健康づくりを推進することにより、全身の健康維持に繋げ、健康寿命の延伸を図る。																																																																																																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 障がい児（者）へ歯科健診等助成券を送付し、口腔ケア意識の向上を図った。</p> <p>(2) 母子手帳交付時に妊産婦歯科健診受診票を交付し、母のセルフケア向上や生まれてくる子どもの健全な口腔機能の発育につなげる意識の向上を図った。</p> <p>(3) 若年者健診受診者の希望者に対し、歯周疾患簡易検査・陽性者には歯周疾患検診を実施し、予防歯科の意識づけを行った。</p> <p>(4) 歯科保健に関わる専門職の研修会や市民への啓発を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 障がい児（者）歯科健診等助成券</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科健診</td> <td rowspan="3">230人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> <td rowspan="3">229人</td> <td>3人</td> <td>1.3%</td> <td rowspan="3">234人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>フッ素塗布</td> <td>3人</td> <td>1.3%</td> <td>4人</td> <td>1.8%</td> <td>2人</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>歯科グッズ</td> <td>68人</td> <td>29.6%</td> <td>80人</td> <td>34.9%</td> <td>81人</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>230人</td> <td>71人</td> <td>30.9%</td> <td>229人</td> <td>87人</td> <td>38.0%</td> <td>234人</td> <td>83人</td> <td>35.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 妊産婦歯科健診（令和3年度より対象を産婦にも拡大した）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>492人</td> <td>507人</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>182人</td> <td>160人</td> <td>156人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>36.9%</td> <td>31.6%</td> <td>32.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 若年者健診歯周疾患簡易検査、歯周疾患検診</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>352人</td> <td>329人</td> <td>378人</td> </tr> <tr> <td>簡易検査実施者</td> <td>182人</td> <td>181人</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診受診者</td> <td>65人</td> <td>109人</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 歯科保健健康教育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人（歯周疾患予防）</td> <td>24回</td> <td>442人</td> <td>13回</td> <td>290人</td> <td>11回</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児・保護者（う蝕予防）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>6回</td> <td>66人</td> <td>20回</td> <td>137人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度			令和3年度			令和4年度			対象	実績	割合	対象	実績	割合	対象	実績	割合	歯科健診	230人	0人	0.0%	229人	3人	1.3%	234人	0人	0.0%	フッ素塗布	3人	1.3%	4人	1.8%	2人	0.9%	歯科グッズ	68人	29.6%	80人	34.9%	81人	34.6%	計	230人	71人	30.9%	229人	87人	38.0%	234人	83人	35.5%		令和2年度	令和3年度	令和4年度	対象者数	492人	507人	482人	受診者数	182人	160人	156人	受診率	36.9%	31.6%	32.4%		令和2年度	令和3年度	令和4年度	回数	6回	6回	10回	対象者	352人	329人	378人	簡易検査実施者	182人	181人	231人	歯周疾患検診受診者	65人	109人	94人	対象	令和2年度		令和3年度		令和4年度		回数	人数	回数	人数	回数	人数	成人（歯周疾患予防）	24回	442人	13回	290人	11回	134人	乳幼児・保護者（う蝕予防）	—	—	6回	66人	20回	137人
	令和2年度			令和3年度			令和4年度																																																																																																																		
	対象	実績	割合	対象	実績	割合	対象	実績	割合																																																																																																																
歯科健診	230人	0人	0.0%	229人	3人	1.3%	234人	0人	0.0%																																																																																																																
フッ素塗布		3人	1.3%		4人	1.8%		2人	0.9%																																																																																																																
歯科グッズ		68人	29.6%		80人	34.9%		81人	34.6%																																																																																																																
計	230人	71人	30.9%	229人	87人	38.0%	234人	83人	35.5%																																																																																																																
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																						
対象者数	492人	507人	482人																																																																																																																						
受診者数	182人	160人	156人																																																																																																																						
受診率	36.9%	31.6%	32.4%																																																																																																																						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																						
回数	6回	6回	10回																																																																																																																						
対象者	352人	329人	378人																																																																																																																						
簡易検査実施者	182人	181人	231人																																																																																																																						
歯周疾患検診受診者	65人	109人	94人																																																																																																																						
対象	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																																																																																				
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																																																																			
成人（歯周疾患予防）	24回	442人	13回	290人	11回	134人																																																																																																																			
乳幼児・保護者（う蝕予防）	—	—	6回	66人	20回	137人																																																																																																																			
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 835,500円																																																																																																																								

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																			
事 業 名	中町にぎわい健康プラザ管理運営事業				【 継 続 事 業 】																																			
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																			
	54,395,000	52,618,524	0	1,776,476	96.7%																																			
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																							
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																			
	0	0	0	6,058,033	46,560,491																																			
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																				
	53,505,000	51,077,922	1,540,602																																					
	目 的 ・ 趣 旨																																							
	市民の健康増進及び交流を図り、中心市街地の活性化に寄与するため、中町にぎわい健康プラザの管理運営を行う。																																							
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市民の健康の増進 各種トレーニングマシンや多目的スペースは、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を図りながら、市民が気軽に運動できる場を提供するとともに、希望者には管理受託団体のスタッフによる運動指導を行い、市民の健康づくりに取り組む環境を整備した。</p> <p>(2) 中心市街地のにぎわいの創出 集いのスペースは、感染予防対策を実施しながら、施設利用者や周辺の買い物客が気軽に休憩できる場を提供するとともに、各種団体やイベントに提供した。</p> <p>○事業実績・説明 ・各エリアの利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">エリア名</th> <th colspan="3">利用者数 (人)</th> <th rowspan="2">主な利用内容</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マシンスペース</td> <td>13,151</td> <td>13,722</td> <td>15,020</td> <td>各種マシンによる個人トレーニング利用</td> </tr> <tr> <td>多目的スペース</td> <td>6,467</td> <td>6,913</td> <td>8,191</td> <td>市保健事業及び各種市民サークルでの利用</td> </tr> <tr> <td>集いのスペース</td> <td>12,422</td> <td>12,196</td> <td>10,232</td> <td>休憩、待ち合わせなど市民の憩いの場や各種イベント等で利用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※集いのスペースの利用者は、酒田まつり等の大きなイベントを除く概数値</p> <p>・ 休館日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月日等</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年4月30日～5月12日</td> <td>13日間</td> </tr> <tr> <td>令和4年5月18日</td> <td>1日間</td> </tr> <tr> <td>奇数月最終月曜日</td> <td>6日間</td> </tr> <tr> <td>年末年始 (12月28日～1月3日)</td> <td>6日間</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26日間</td> </tr> </tbody> </table>					エリア名	利用者数 (人)			主な利用内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	マシンスペース	13,151	13,722	15,020	各種マシンによる個人トレーニング利用	多目的スペース	6,467	6,913	8,191	市保健事業及び各種市民サークルでの利用	集いのスペース	12,422	12,196	10,232	休憩、待ち合わせなど市民の憩いの場や各種イベント等で利用	年月日等	日数	令和4年4月30日～5月12日	13日間	令和4年5月18日	1日間	奇数月最終月曜日	6日間	年末年始 (12月28日～1月3日)	6日間	合計	26日間
エリア名	利用者数 (人)			主な利用内容																																				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
マシンスペース	13,151	13,722	15,020	各種マシンによる個人トレーニング利用																																				
多目的スペース	6,467	6,913	8,191	市保健事業及び各種市民サークルでの利用																																				
集いのスペース	12,422	12,196	10,232	休憩、待ち合わせなど市民の憩いの場や各種イベント等で利用																																				
年月日等	日数																																							
令和4年4月30日～5月12日	13日間																																							
令和4年5月18日	1日間																																							
奇数月最終月曜日	6日間																																							
年末年始 (12月28日～1月3日)	6日間																																							
合計	26日間																																							
備 考	○主な特定財源 中町にぎわい健康プラザ使用料				5,370,240円																																			
	雑入 (電気・水道料、損益保証金)				302,511円																																			
	行政財産建物貸付収入				385,282円																																			

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																								
事 業 名	健やかさかたヘルスケア推進事業				【 継 続 事 業 】																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																								
	2,285,000	2,271,607	0	13,393	99.4%																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																								
	0	0	0	0	2,271,607																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	7,226,000	7,157,453	△4,885,846																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	さかた健康づくりビジョンに掲げる「健やかさかた のぼそう健康寿命！」の実現に向け、運動と食事による生活習慣の改善や、市民一人ひとりの状態に合わせた健康づくりのための環境を整備する。																												
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 事業参加者が活動量計を身に着け、歩数や消費カロリーを計測し各自の健康づくりに生かしてもらうもの。そのために、体組成計等の機器設置、歩数イベントの開催等の健康づくり促進の動機づけおよび環境整備を行った。令和4年6月末をもって事業を終了した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 市内各所への機器設置 ・体組成計、血圧計、データ送信機設置（4か所） 市民健康センター、市役所、中町にぎわい健康プラザ、光ヶ丘プール ・データ送信機のみ設置（6か所） 交流ひろば、総合文化センター、八幡タウンセンター、松山総合支所、平田B&G海洋センター、国体記念体育館</p> <p>(2) 歩数イベント インターネット上で歩数や順位を競うもの。令和4年度は1か月間の開催で369名、チーム戦に53チーム参加。順位上位者や歩行習慣定着者に景品を提供した。</p> <p>(3) 事業終了に伴う啓発 事業終了に伴い、参加者には他のウォーキングイベント等の紹介や健康マイレージ事業の参加を勧奨する等、健康増進の取り組みを継続できるよう啓発を行った。</p> <p>【事業参加者数実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>累計数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規参加者数</td> <td>349人</td> <td>288人</td> <td>244人</td> <td>263人</td> <td>78人</td> <td>—</td> <td>1,222人</td> </tr> <tr> <td>平均歩数</td> <td>5,643歩</td> <td>6,091歩</td> <td>6,378歩</td> <td>6,638歩</td> <td>6,855歩</td> <td>7,834歩</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加可能人数上限があるため、参加募集を令和3年6月で停止 ※「平均歩数」は全参加者のうち、歩数計の稼働がある人の月間歩数の平均</p>					年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計数	新規参加者数	349人	288人	244人	263人	78人	—	1,222人	平均歩数	5,643歩	6,091歩	6,378歩	6,638歩	6,855歩	7,834歩	—
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計数																						
新規参加者数	349人	288人	244人	263人	78人	—	1,222人																						
平均歩数	5,643歩	6,091歩	6,378歩	6,638歩	6,855歩	7,834歩	—																						
備 考																													

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																																																						
事 業 名	心の健康づくり推進事業				【 継 続 事 業 】																																																																						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																						
	738,000	708,700	0	29,300	96.0%																																																																						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																						
	0	372,000	0	0	336,700																																																																						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																							
	712,000	525,339	183,361																																																																								
	目 的 ・ 趣 旨																																																																										
	市民がこころの健康に関心を持ち、自殺対策をより身近な問題と捉えられるよう普及啓発を図る。また、困難を抱えた方を、必要な支援につなげられるように自殺対策を支える人材の養成を図る。																																																																										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 「酒田市自殺対策計画～支えあい 自分の命も みんなの命も 大切にすまち酒田～」に基づき、市民を対象にしたこころの健康相談や健康講座等を実施した。</p> <p>○啓発事業等の実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころの健康相談の実施</td> <td>11回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>学区・地区でのこころの研修会の開催</td> <td>33回</td> <td>延べ1,313人</td> </tr> <tr> <td>若年層への啓発</td> <td>1回</td> <td>中学3年生</td> </tr> <tr> <td>市民健康講演会・支援者研修会（合同開催）</td> <td>1回</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>看板設置による普及啓発</td> <td>通年</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>乗合バスの広告を利用した普及啓発</td> <td>通年</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>自殺予防週間、自殺対策強化月間における普及啓発</td> <td>2回</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域別自殺者数・自殺死亡率の推移（人口動態統計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">酒田市</td> <td>自殺者数</td> <td>23人</td> <td>19人</td> <td>24人</td> <td>21人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>22.1人</td> <td>18.6人</td> <td>23.8人</td> <td>21.1人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山形県</td> <td>自殺者数</td> <td>210人</td> <td>196人</td> <td>195人</td> <td>180人</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>19.2人</td> <td>18.1人</td> <td>18.2人</td> <td>17.0人</td> <td>20.1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全国</td> <td>自殺者数</td> <td>20,465人</td> <td>20,031人</td> <td>19,425人</td> <td>20,243人</td> <td>20,291人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>16.4人</td> <td>16.1人</td> <td>15.7人</td> <td>16.4人</td> <td>16.5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自殺死亡率とは、人口10万人あたりの自殺者数 ※令和3年の自殺死亡率は、令和5年12月頃に公表予定</p>					項目	回数	参加者数	こころの健康相談の実施	11回	16人	学区・地区でのこころの研修会の開催	33回	延べ1,313人	若年層への啓発	1回	中学3年生	市民健康講演会・支援者研修会（合同開催）	1回	141人	看板設置による普及啓発	通年	-	乗合バスの広告を利用した普及啓発	通年	-	自殺予防週間、自殺対策強化月間における普及啓発	2回	-			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	酒田市	自殺者数	23人	19人	24人	21人	23人	自殺死亡率	22.1人	18.6人	23.8人	21.1人	-	山形県	自殺者数	210人	196人	195人	180人	211人	自殺死亡率	19.2人	18.1人	18.2人	17.0人	20.1人	全国	自殺者数	20,465人	20,031人	19,425人	20,243人	20,291人	自殺死亡率	16.4人	16.1人	15.7人	16.4人	16.5人
項目	回数	参加者数																																																																									
こころの健康相談の実施	11回	16人																																																																									
学区・地区でのこころの研修会の開催	33回	延べ1,313人																																																																									
若年層への啓発	1回	中学3年生																																																																									
市民健康講演会・支援者研修会（合同開催）	1回	141人																																																																									
看板設置による普及啓発	通年	-																																																																									
乗合バスの広告を利用した普及啓発	通年	-																																																																									
自殺予防週間、自殺対策強化月間における普及啓発	2回	-																																																																									
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年																																																																					
酒田市	自殺者数	23人	19人	24人	21人	23人																																																																					
	自殺死亡率	22.1人	18.6人	23.8人	21.1人	-																																																																					
山形県	自殺者数	210人	196人	195人	180人	211人																																																																					
	自殺死亡率	19.2人	18.1人	18.2人	17.0人	20.1人																																																																					
全国	自殺者数	20,465人	20,031人	19,425人	20,243人	20,291人																																																																					
	自殺死亡率	16.4人	16.1人	15.7人	16.4人	16.5人																																																																					
備 考	○主な特定財源 地域自殺対策強化交付金（県）		372,000円																																																																								

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	2 目 予防費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課	
事 業 名	各種予防接種事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	224,192,000	209,922,228	0	14,269,772	93.6%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	3,603,000	578,730	0	20,000,000	185,740,498	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	205,315,000	188,185,566	21,736,662			
	目 的 ・ 趣 旨					
	予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、感染症の罹患と発病防止を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 定期接種 (単位：人)					
		種目	対象者	実施者	接種率	
	ロ タ ウ イ ル ス	1回目	472	450	95.3%	
		2回目	472	451	95.6%	
		3回目	472	337	71.4%	
	B 型 肝 炎	1回目	472	452	95.8%	
		2回目	472	459	97.2%	
		3回目	472	456	96.6%	
	ヒ ブ ワ ク チ ン	1回目	472	453	96.0%	
2回目		472	460	97.5%		
3回目		472	463	98.1%		
追加		485	457	94.2%		
小 児 用 肺 炎 球 菌	1回目	472	453	96.0%		
	2回目	472	460	97.5%		
	3回目	472	463	98.1%		
	追加	485	461	95.1%		
四 種 混 合	1回目	472	455	96.4%		
	2回目	472	463	98.1%		
	3回目	472	467	98.9%		
	追加	485	432	89.1%		
B C G		472	463	98.1%		
	種目	対象者	実施者	接種率		
麻 し ん 風 し ん 混 合	1期	476	465	97.7%		
	2期	649	601	92.6%		
水 痘	1回目	485	464	95.7%		
	2回目	547	411	75.1%		
日 本 脳 炎	1期	1回目	522	686	131.4%	
		2回目	522	631	120.9%	
	追加	609	760	124.8%		
2期		699	1,170	167.4%		
二種混合2期		782	640	81.8%		
H P V ワ ク チ ン 【 小 6 ～ 高 1 】	1回目	1,897	272	14.3%		
	2回目	1,897	224	11.8%		
	3回目	1,897	163	8.6%		
H P V ワ ク チ ン 【 キ ャ ッ チ ア ッ プ 】	1回目	2,414	246	10.2%		
	2回目	2,414	210	8.7%		
	3回目	2,414	153	6.3%		
高齢者インフルエンザ		36,552	22,337	61.1%		
高齢者肺炎球菌		5,003	1,112	22.2%		
風 し ん	抗体検査	6,477	779	12.0%		
	5期 予防接種※	169	144	85.2%		

※予防接種対象者は抗体検査で基準値より低い方

	(2) 任意接種				
	・ 風しん予防接種等費用緊急助成事業				
	種目	実施者数			
	風しん抗体検査	38			
	風しん予防接種	31			
	麻しん風しん混合予防接種	22			
	・ 季節性インフルエンザ予防接種				
		人数	接種率		
	対象者数	12,754			
	実施者数 (実数)	4,958	38.9%		
	実施者数 (延数)	8,103			
備 考	○主な特定財源 感染症予防事業費等補助金 (国) 3,603,000円 風しん予防接種促進事業費補助金 (県) 246,000円 さかた応援基金繰入金 20,000,000円				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	2 目 予防費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課
事 業 名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 【 継続 事業】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	211,585,000	178,368,690	0	33,216,310	84.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	149,359,690	0	0	0	29,009,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	115,688,000	86,807,490	91,561,200		
	目 的 ・ 趣 旨				
	予防接種法（昭和23年法律第68号）の規定に基づき、厚生労働大臣から新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種を行うことの指示を受けて実施し、市民への感染拡大防止や重症化予防に努めた。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 新型コロナウイルスワクチンの市民への接種を進めるため、酒田地区医師会十全堂、日本海総合病院、酒田地区歯科医師会、酒田地区薬剤師会など関係機関と連携を図りながら、安全かつ円滑な実施体制を構築した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）予防接種台帳システムの改修 生後6か月～4歳の初回接種及び5歳以上の追加接種の接種券の出力や接種履歴の登録ができるようにするため、予防接種台帳システムの改修を行った。</p> <p>（2）予約システムの構築・運用 使用するワクチンの追加や対象年齢の拡大などの各種制度改正に随時対応しながら、市民が利用しやすい予約システムの構築・運用を図った。</p> <p>（3）コールセンターの設置・運営 ワクチン接種の予約や各種相談を受け付けるため、コールセンターを設置・運営した。</p> <p>（4）国庫補助金の返還（一般財源） 過年度に概算で交付された国庫補助金について、事業費確定後に超過交付分を返還した。</p>				
備 考	○主な特定財源 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（国）149,359,690円				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	2 目 予防費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課	
事 業 名	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 【 継続 事業】					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	484,218,000	443,502,835	0	40,715,165	91.6%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	379,642,113	0	0	0	63,860,722	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	545,277,000	508,801,277	△65,298,442			
	目 的 ・ 趣 旨					
	予防接種法（昭和23年法律第68号）の規定に基づき、厚生労働大臣から新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種を行うことの指示を受けて実施し、市民への感染拡大防止や重症化予防に努めた。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 接種対象者					
	・ 12歳以上：初回接種（1・2回目）、3～5回目接種					
	・ 5歳～11歳：初回接種（1・2回目）、3回目接種					
	・ 生後6か月～4歳：初回接種（1～3回目）					
	(2) 接種場所					
	・ 個別接種：協力医療機関（市内58か所）					
	・ 集団接種：平田農村環境改善センター					
	(3) 接種予約方法					
	・ インターネット、コールセンター、予約代行（集団接種と協力医療機関の一部）					
・ 協力医療機関への来院及び電話						
(4) 接種費用 無料（全額公費）						
○事業実績・説明						
(1) これまでの接種人数 (単位：人)						
	区分	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
	65歳以上	36,826	36,587	34,590	31,595	25,672
	12歳～64歳	49,392	49,222	39,829	25,798	6,597
	5歳～11歳	1,970	1,924	984	-	-
	6か月～4歳	154	147	115	-	-
	計	88,342	87,880	75,518	57,393	32,269
※令和5年3月29日までに国ワクチン接種記録システム（VRS）に登録した数値を集計						
(2) 国庫負担金の返還（一般財源）						
過年度に概算で交付された国庫負担金について、事業費確定後に超過交付分を返還した。						
備 考	○主な特定財源					
	新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金（国）	365,225,774円				
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（国）	14,396,539円				
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	19,800円				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																																																																											
事 業 名	健康増進事業				【 継 続 事 業 】																																																																																											
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																											
	152,866,570	145,690,054	0	7,176,516	95.3%																																																																																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																											
	0	4,217,000	0	24,300	141,448,754																																																																																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																												
	149,495,000	139,701,341	5,988,713																																																																																													
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																															
	健康増進法に基づく住民への保健事業として、4つの保健事業を実施するもので、生活習慣病予防とがん検診受診率（受診者数の増加）の向上を図る。																																																																																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 40歳以上の中高年者を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 健康教育 ・各地区の健康教室で生活習慣病の予防や健康増進に関する知識の普及を図った。</p> <p>(2) 健康相談 ・心身の健康に関し、個別の相談に応じ、その指導と助言を行った。</p> <p>(3) 健康診査 ・集団健診、個別健診、人間ドック等を実施した。</p> <p>(4) 訪問指導 ・療養上の保健指導が必要な方に家庭訪問を実施した。</p> <p>(5) 受診者数等の実績と推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・健康教育</td> <td>113回</td> <td>2,314人</td> <td>99回</td> <td>1,685人</td> <td>103回</td> <td>2,830人</td> </tr> <tr> <td>・健康相談</td> <td>125回</td> <td>1,087人</td> <td>122回</td> <td>1,015人</td> <td>149回</td> <td>1,432人</td> </tr> <tr> <td>・健康診査</td> <td>受診者数</td> <td>受診率</td> <td>受診者数</td> <td>受診率</td> <td>受診者数</td> <td>受診率</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>6,726人</td> <td>24.9%</td> <td>6,883人</td> <td>25.4%</td> <td>6,577人</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>12,478人</td> <td>46.2%</td> <td>12,907人</td> <td>47.6%</td> <td>12,854人</td> <td>47.9%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>6,691人</td> <td>39.3%</td> <td>7,028人</td> <td>41.3%</td> <td>6,886人</td> <td>41.3%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>3,407人</td> <td>21.5%</td> <td>3,596人</td> <td>22.6%</td> <td>3,440人</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>14,997人</td> <td>55.5%</td> <td>15,412人</td> <td>56.9%</td> <td>15,315人</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>3,991人</td> <td>35.7%</td> <td>3,916人</td> <td>34.9%</td> <td>3,932人</td> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウィルス検診</td> <td>1,059人</td> <td>-</td> <td>843人</td> <td>-</td> <td>911人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診</td> <td>234人</td> <td>4.2%</td> <td>187人</td> <td>3.4%</td> <td>189人</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>・訪問指導</td> <td colspan="2">158人</td> <td colspan="2">129人</td> <td colspan="2">199人</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度		令和3年度		令和4年度		・健康教育	113回	2,314人	99回	1,685人	103回	2,830人	・健康相談	125回	1,087人	122回	1,015人	149回	1,432人	・健康診査	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	胃がん検診	6,726人	24.9%	6,883人	25.4%	6,577人	24.5%	大腸がん検診	12,478人	46.2%	12,907人	47.6%	12,854人	47.9%	子宮頸がん検診	6,691人	39.3%	7,028人	41.3%	6,886人	41.3%	乳がん検診	3,407人	21.5%	3,596人	22.6%	3,440人	22.0%	肺がん検診	14,997人	55.5%	15,412人	56.9%	15,315人	57.1%	前立腺がん検診	3,991人	35.7%	3,916人	34.9%	3,932人	35.1%	肝炎ウィルス検診	1,059人	-	843人	-	911人	-	歯周疾患検診	234人	4.2%	187人	3.4%	189人	3.4%	・訪問指導	158人		129人		199人	
	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																																																											
・健康教育	113回	2,314人	99回	1,685人	103回	2,830人																																																																																										
・健康相談	125回	1,087人	122回	1,015人	149回	1,432人																																																																																										
・健康診査	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率																																																																																										
胃がん検診	6,726人	24.9%	6,883人	25.4%	6,577人	24.5%																																																																																										
大腸がん検診	12,478人	46.2%	12,907人	47.6%	12,854人	47.9%																																																																																										
子宮頸がん検診	6,691人	39.3%	7,028人	41.3%	6,886人	41.3%																																																																																										
乳がん検診	3,407人	21.5%	3,596人	22.6%	3,440人	22.0%																																																																																										
肺がん検診	14,997人	55.5%	15,412人	56.9%	15,315人	57.1%																																																																																										
前立腺がん検診	3,991人	35.7%	3,916人	34.9%	3,932人	35.1%																																																																																										
肝炎ウィルス検診	1,059人	-	843人	-	911人	-																																																																																										
歯周疾患検診	234人	4.2%	187人	3.4%	189人	3.4%																																																																																										
・訪問指導	158人		129人		199人																																																																																											
備 考	○主な特定財源 健康増進事業費補助金（県） 4,217,000円																																																																																															

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																
事 業 名	若年者健診事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	4,029,100	4,029,100	0	0	100.0%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	0	4,029,100																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	4,145,000	3,466,897	562,203																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	若年者に対して健診機会を提供することにより、若年期からの健康維持及び健康増進への関心が高まり、生活習慣病等の予防が図られる。また、疾病の早期発見・早期治療により医療費の削減に寄与する。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 16歳以上40歳未満の市民で、職場等で健診のない若年者を対象に、年14回の基本健康診査を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 健診内容 問診、腹囲測定、身体計測、内科診察、血圧、尿検査、代謝系検査（ヘモグロビンA1c、尿糖）脂質検査、肝機能検査、貧血検査、心電図、眼底検査、骨粗しょう症検査（女性のみオプシオン）</p> <p>(2) 受診者数等の実績と推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,346人</td> <td>749人</td> <td>31.9%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,201人</td> <td>761人</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,079人</td> <td>717人</td> <td>34.5%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者数	受診者数	受診率	令和2年度	2,346人	749人	31.9%	令和3年度	2,201人	761人	34.6%	令和4年度	2,079人	717人	34.5%
	対象者数	受診者数	受診率																		
令和2年度	2,346人	749人	31.9%																		
令和3年度	2,201人	761人	34.6%																		
令和4年度	2,079人	717人	34.5%																		
備 考																					

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																
事 業 名	後期高齢者健診事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	56,271,000	56,269,242	0	1,758	99.9%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	56,269,242	0																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	48,345,000	46,472,421	9,796,821																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	後期高齢者（75歳以上）の健康診査を実施することで、生活習慣病の早期発見や、健康の保持・増進を図る。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 75歳以上の高齢者を対象とする健康診査を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 健診内容 問診、身体計測、内科診察、血圧、尿検査、代謝系検査（ヘモグロビンA1c、血糖）脂質検査、肝機能検査、貧血検査、心電図、眼底検査、腎機能検査</p> <p>(2) 受診者数等の実績と推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>18,944人</td> <td>5,314人</td> <td>28.1%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>18,739人</td> <td>5,425人</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>18,914人</td> <td>5,899人</td> <td>31.2%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者数	受診者数	受診率	令和2年度	18,944人	5,314人	28.1%	令和3年度	18,739人	5,425人	29.0%	令和4年度	18,914人	5,899人	31.2%
	対象者数	受診者数	受診率																		
令和2年度	18,944人	5,314人	28.1%																		
令和3年度	18,739人	5,425人	29.0%																		
令和4年度	18,914人	5,899人	31.2%																		
備 考	○主な特定財源 後期高齢者健診委託金 56,269,242円																				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課					
事 業 名	女性特有のがん検診推進事業				【 継 続 事 業 】					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①					
	3,695,000	3,048,760	0	646,240	82.5%					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源					
	417,000	0	0	0	2,631,760					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)						
	3,839,000	3,369,277	△320,517							
	目 的 ・ 趣 旨									
	特定の年齢に達した女性に子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を送付し、検診受診の促進、がんの早期発見・早期治療を図る。									
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容									
	子宮頸がん検診については21歳、26歳、31歳の女性に、乳がん検診については41歳の女性に、がん検診無料クーポン券を送付し、検診受診の促進を図った。									
	○事業実績・説明									
	(1) 子宮頸がん検診受診者数の推移 (単位：人、%)									
		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	年齢	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
	21歳	365	48	13.2	350	46	13.1	410	55	13.4
	26歳	348	81	23.3	330	73	22.1	303	59	19.5
	31歳	385	96	24.9	346	85	24.6	343	85	24.8
	合計	1,098	225	20.5	1,026	204	19.9	1,056	199	18.8
	(2) 乳がん検診受診者数の推移 (単位：人、%)									
	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
年齢	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	
41歳	543	147	27.1	559	150	26.8	510	150	29.4	
備 考	○主な特定財源 女性特有のがん検診推進事業費補助金（国） 417,000円									

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																													
事 業 名	ピロリ菌検査（胃がんリスク評価検査）事業【継続事業】																																	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																													
	704,000	514,268	0	189,732	73.0%																													
	支出済額②の財源内訳																																	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																													
	0	0	0	0	514,268																													
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																														
	744,000	620,676	△106,408																															
	目 的 ・ 趣 旨																																	
	胃がんの主な原因であるピロリ菌の有無を検査し、その除菌を促進することで胃がんや胃潰瘍等の予防につなげ、市民の健康増進及び医療費の抑制を図る。																																	
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 酒田市のがん検診事業の胃がん検診（胃バリウム検査）にピロリ菌検査を加え、セット検診として実施した。</p> <p>(2) 41歳の方に無料クーポン券を送付し、胃バリウム検査とセットでの受診を促した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 胃がん検診とセットで実施したピロリ菌検査受診者数 158人</p> <p>(2) 41歳のピロリ菌検査受診者数の実績と推移 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41歳</td> <td>1,136</td> <td>73</td> <td>6.4</td> <td>1,123</td> <td>70</td> <td>6.2</td> <td>1,059</td> <td>57</td> <td>5.4</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	令和2年度			令和3年度			令和4年度			対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	41歳	1,136	73	6.4	1,123	70	6.2	1,059	57	5.4
年齢	令和2年度			令和3年度			令和4年度																											
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率																									
41歳	1,136	73	6.4	1,123	70	6.2	1,059	57	5.4																									
備 考																																		

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 健康増進費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 —
事 業 名	高齢者保健・介護予防一体的実施事業				【新規事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	244,330	195,227	0	49,103	79.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	195,227	0
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	生活習慣病等の重症化予防と、生活機能低下を予防する取り組みを一体的に実施することにより、高齢者が自立した生活を送り、健康寿命の延伸、QOL（生活の質）の維持向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）</p> <p>(2) 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ポピュレーションアプローチ 高血圧予防や糖尿病予防等について、寸劇や管理栄養士、歯科衛生士の講話、運動の体験等を取り入れ、健康教育を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若浜地区 5回実施 参加者数 延べ91人 ・ 南遊佐地区 5回実施 参加者数 延べ146人 <p>(2) ハイリスクアプローチ 生活習慣病重症化予防対象者にアプローチして、保健師が受診勧奨と生活習慣の見直しの指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 包括にいだ圏域7名 うち6名に電話（1名は介護認定ありのため除外） ・ 包括ほくぶ圏域3名 うち3名に訪問 				
備 考	○主な特定財源 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務委託料 195,227円				

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	4 目 地域医療費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																																				
事 業 名	夜間診療事業				【 継 続 事 業 】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	11,729,000	11,553,000	0	176,000	98.5%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	0	0	0	0	11,553,000																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	13,840,000	10,978,000	575,000																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	市民の初期救急医療の確保・充実を図るため、平日夜間診療は酒田地区医師会十全堂が医師を派遣することに対して、また休日夜間診療は、日本海総合病院が直接行う初期救急医療に対してその経費の一部を負担する。																																								
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 日本海総合病院と酒田地区医師会十全堂の協力により、日本海総合病院救急外来で実施する夜間の初期救急医療に対する経費の一部を負担した。																																								
	○事業実績・説明																																								
	(1) 医師会の協力による平日夜間診療																																								
	・ 診療日 月曜日～金曜日（祝日及び12月31日～1月3日を除く）																																								
	・ 診療時間 午後7時～午後10時																																								
	・ 平日夜間診療患者数																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">診療実日数</td> <td>297日</td> <td>245日</td> <td>243日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人系</td> <td>診療実日数</td> <td>248日</td> <td>221日</td> <td>227日</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>199人</td> <td>145人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">小児系</td> <td>診療実日数</td> <td>148日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち応援医師による診療</td> <td>28日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち病院医師による診療</td> <td>120日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>22人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	診療実日数		297日	245日	243日	成人系	診療実日数	248日	221日	227日	患者数	199人	145人	98人	小児系	診療実日数	148日			うち応援医師による診療	28日			うち病院医師による診療	120日			患者数	22人		
	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
	診療実日数		297日	245日	243日																																				
	成人系	診療実日数	248日	221日	227日																																				
患者数		199人	145人	98人																																					
小児系	診療実日数	148日																																							
	うち応援医師による診療	28日																																							
	うち病院医師による診療	120日																																							
	患者数	22人																																							
※応援医師・・・酒田地区医師会十全堂の応援医師（成人系は応援医師のみ）																																									
※病院医師・・・日本海総合病院医師																																									
・ 日本海総合病院及び酒田地区医師会十全堂との協議により、小児科診療は令和2年10月1日より、土曜診療は令和3年4月24日より休止している。																																									
(2) 日本海総合病院が行う休日夜間診療																																									
・ 診療日 休日（日曜日、祝日及び12月31日～1月3日）																																									
・ 診療時間 午後6時～午後9時																																									
・ 休日夜間診療の患者数は、終日の救急外来患者数に含まれるため集計できない。																																									
備 考																																									

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	4 目 地域医療費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課																		
事 業 名	診療所管理運営事業				【 継 続 事 業 】																		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	29,325,000	22,234,731	0	7,090,269	75.8%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	0	0	0	28,756,752	△6,522,021																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	31,731,000	24,008,267	△1,773,536																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	酒田市休日診療所を運営し、地域の一次医療機関としての役割を果たすことで、市民の初期救急医療の確保を図る。また、日本海八幡クリニック、飛鳥診療所及び松山診療所の施設管理に係る経費の一部を負担する。																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 酒田地区医師会十全堂及び酒田地区薬剤師会の協力を得て、酒田市休日診療所の運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療科目 小児科、内科、外科 ・ 医師等 医師 2 名（小児科 1 名、内科・外科 1 名）、薬剤師 2 名、看護師 3 名、事務員 2 名 ・ 調剤 院内処方 ・ 診療日 日曜日、祝日、12月31日から 1 月 3 日 ・ 診療時間 午前 9 時～午後 5 時（令和 4 年 3 月 6 日より午後休診） <p>(2) 日本海八幡クリニック、飛鳥診療所及び松山診療所における市所有部分の施設管理に伴う経費を負担した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日診療所利用状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">患者数</th> <th rowspan="2">診療日数</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1 日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>1,457人</td> <td>20.8人</td> <td>70日</td> </tr> <tr> <td>令和 3 年度</td> <td>1,933人</td> <td>27.6人</td> <td>70日</td> </tr> <tr> <td>令和 4 年度</td> <td>1,872人</td> <td>26.7人</td> <td>70日</td> </tr> </tbody> </table>					年度	患者数		診療日数	延べ人数	1 日平均	令和 2 年度	1,457人	20.8人	70日	令和 3 年度	1,933人	27.6人	70日	令和 4 年度	1,872人	26.7人	70日
年度	患者数		診療日数																				
	延べ人数	1 日平均																					
令和 2 年度	1,457人	20.8人	70日																				
令和 3 年度	1,933人	27.6人	70日																				
令和 4 年度	1,872人	26.7人	70日																				
備 考	○主な特定財源 診療所使用料 28,753,392円																						

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	4 目 地域医療費	所 属	R4 健康福祉部健康課 R3 健康福祉部健康課												
事 業 名	私的二次救急医療対策助成事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	5,000,000	5,000,000	0	0	100.0%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	0	0	0	5,000,000												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	5,000,000	5,000,000	0														
	目 的 ・ 趣 旨																
	本市に開設している私的二次救急医療機関に対して、救急搬送の受け入れ経費の一部を助成することにより、本市の救急医療体制の維持及び地域医療体制の構築を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 本市において唯一の私的二次救急医療機関である医療法人健友会本間病院が行う救急搬送患者受入れに対して助成を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 補助対象医療機関 以下の全ての要件を満たすこと。 ・ 救急告示医療機関であること。 ・ 私的医療機関であること。 ・ 県の「傷病者の搬送及び受入れに関する基準」において公表されている医療機関であること。 ・ 県医療計画により二次医療機関として位置付けされていること。</p> <p>(2) 補助金の額 以下のいずれか低い金額とする。 ・ 一医療機関あたり当該年度の救急搬送受入れ傷病者数 × 13千円 ・ 一医療機関あたり5,000千円 ・ 医療法人健友会本間病院の救急搬送受入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>診療日数</th> <th>受け入れ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>365日</td> <td>669人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>365日</td> <td>561人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>365日</td> <td>459人</td> </tr> </tbody> </table>						診療日数	受け入れ数	令和2年度	365日	669人	令和3年度	365日	561人	令和4年度	365日	459人
	診療日数	受け入れ数															
令和2年度	365日	669人															
令和3年度	365日	561人															
令和4年度	365日	459人															
備 考																	

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	5 目 看護学校費	所 属	R4 健康福祉部酒田看護専門学校 R3 健康福祉部酒田看護専門学校										
事 業 名	看護専門学校管理運営事業				【 継 続 事 業 】										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①										
	111,905,000	110,037,351	0	1,867,649	98.3%										
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源										
	0	127,000	0	19,638,479	90,271,872										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)											
	113,730,000	111,375,748	△1,338,397												
	目 的 ・ 趣 旨														
	開校13年目となる市立酒田看護専門学校の管理運営を行い、地域医療の担い手となる看護人材を持続的に育成・輩出し、安定かつ持続可能な地域医療提供体制に寄与する。														
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 専門職業人として自立した看護人材の育成と確保をめざし、教育の質に向上、教育環境の整備、入学生の定員確保及び国家試験全員合格に向けての対策事業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 適正な教育環境整備を図りながら、1年生23名、2年生28名、3年生27名の看護師養成教育を行った。</p> <p>(2) 年次計画に基づき教材備品等を購入し、円滑な学校管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入費 559,130円 ・図書購入費 743,359円 <p>(3) 庄内地区・新庄地区高等学校訪問、学校行事でのPR等の活動を行い、学生募集に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6～7月 市広報紙及びホームページに学生募集要項を掲載 山形県61校及び秋田県12校計73校に募集要項を送付 ・7～8月 オープンキャンパスの開催(3回) 参加者 99名 <p>(4) 令和5年度入学者選考試験の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数 44名 (内推薦入試 12名 一般入試 32名) ・入学者数 32名 (内推薦入試 12名 一般入試 20名) <p>(5) 令和4年度卒業生の看護師国家試験の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数 26名 ・合格者数 26名 (合格率 100.0% 全国90.8%) <p>(6) 令和4年度卒業生の進路状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">山形県内</td> <td rowspan="2">県外</td> <td rowspan="2">進学</td> </tr> <tr> <td>酒田市内</td> <td>市外</td> </tr> <tr> <td>15名</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>0名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市外6名のうち4名が庄内地区の医療機関へ就職 					山形県内		県外	進学	酒田市内	市外	15名	6名	5名	0名
山形県内		県外	進学												
酒田市内	市外														
15名	6名	5名	0名												
備 考	<p>○主な特定財源 看護師等学校養成所地域医療体験セミナー実施事業費補助金(県) 127,000円</p> <p>授業料 17,440,000円 受験料 450,000円 入学金 1,649,800円</p>														

款 項 目	5 款 労働費	1 項 労働諸費	1 目 労働諸費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課	
事 業 名	若者地元就職促進事業				【 継 続 事 業 】	
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①		
4,102,000	3,470,289	0	631,711	84.6%		
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳						
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,398,918	0	0	0	2,071,371		
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)			
1,586,000	843,478	2,626,811				
目 的 ・ 趣 旨						
高校生、教諭及び保護者を対象とした地元企業の見学や若手社員との意見交換等を通して地元企業への理解を深める企業見学ツアーの実施や「ジョブナビ in 酒田」の開催などにより、若者の地元定着促進と雇用のミスマッチ解消を図る。						
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 企業見学ツアーの実施					
	高校生等の地元就職を促進するため、生徒、教諭及び保護者等を対象とした企業見学バスツアーを実施した。					
		学校名	実施日	学科・学年	人数	企業数
	1	酒田光陵高等学校	令和4年7月15日	普通科・商業科2年生	103	15
	2		令和4年10月31日	情報科2年生	34	3
	3		令和4年11月8日	環境技術科2年生	20	3
	4		令和4年11月8日	機械制御科2年生	25	3
	5		令和4年11月30日	電気電子科1年生	28	3
	6	酒田南高等学校	令和4年10月21日	普通科1年生	129	12
	7	産業技術 短期大学校 庄内校	令和4年9月29日	生産エンジニア リング科1年生	12	2
	8		令和4年9月30日	情報通信システム科 1年生	11	2
	9		令和4年11月10日	IT会計ビジネス科1年生	12	2
10	各高等学校等 (一般募集)	令和4年11月4日	保護者・教諭	6	2	
11	酒田西高等学校	令和4年11月15日	普通科1年生	120	12	
合計				500	59	
(2) 地元企業個別訪問の支援						
高校生が個別に訪問可能な企業115社をリスト化し、庄内北部定住自立圏内の各高校に対して情報提供を行った。また、市ホームページでリストを公開した。						
(3) 高校生のための「ジョブナビ in 酒田」						
令和5年3月3日に高校生や保護者向けに仕事や地域の魅力を紹介するガイダンスを行った。また、Web版企業紹介として41社を掲載した。						
・高校生等参加人数 75名、参加企業・団体数 18事業所						
(4) 採用応援助成金						
地元定着の促進や雇用のミスマッチ防止のため、地域の求人サイトを活用して採用活動を行う市内事業者に対して助成金を交付した。						
・交付件数 6件 交付額 1,075,000円						
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 1,398,918円					

款 項 目	5 款 労働費	1 項 労働諸費	1 目 労働諸費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	若者地元就職魅力発信事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,746,000	1,442,800	0	303,200	82.6%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	721,400	0	0	0	721,400
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	782,000	781,400	661,400		
	目 的 ・ 趣 旨				
	高校生や大学生が、酒田の魅力や酒田で働き暮らすことの良さを再発見することができる動画を制作し、企業説明会等での活用及びSNS等での発信により、若者の地元就職への意識を醸成し、地元定着を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 若者地元就職魅力PR動画の制作 若者の地元定着を図るため、若者が酒田の魅力を感じるPR動画を制作した。動画の作成にあたっては、東北公益文科大学学生と意見交換会を行い、動画内容に係るアイデアの掘り起こしを行った。 動画はYouTube上で公開し、あわせて広告配信を行うことにより、広く発信した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 東北公益文科大学学生との意見交換会（令和4年10月18日開催） (2) 若者地元就職魅力PR動画「Living in SAKATA」 本編（4分）1本、ダイジェスト版（1分）1本の計2本の動画を制作した。 公開期間：令和5年2月15日～ 公開方法：・市公式YouTubeでの配信。 ・10代から30代を対象にしたYouTube上での動画広告の配信。 ・市役所1階ロビーにて公開。 ・「ジョブナビ in 酒田」での放映。 再生回数：YouTube再生回数（令和5年3月末時点） ・本編 1,338回</p>				
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 721,400円				

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課								
事 業 名	(繰越明許費) 担い手確保・経営強化支援事業 【 継続 事業】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	9,670,000	7,644,000	0	2,026,000	79.0%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	0	7,644,000	0	0	0								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	—	—	—										
	目 的 ・ 趣 旨												
	地域の担い手が経営発展に意欲的に取組む際に必要となる農業用機械の導入等について支援することで、地域における担い手の育成・確保の取組みと農地の集積・集約化の取組みの一体的かつ積極的な推進を図る。												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 経営規模の拡大等経営発展を図る中心経営体等が融資を活用して農業用機械の導入等を行った際の融資残額の一部を支援した。</p> <p>対象者 地域の中心となる農業経営体等 補助率 1/2以内 上限額 法人3,000万円、個人1,500万円</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>整 備 内 容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 経営体</td> <td>コンバイン 6条刈 1台 ブームプレイヤー 500ℓ 1台</td> <td>16,817,900円</td> <td>7,644,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業主体	整 備 内 容	事業費	補助金額	1 経営体	コンバイン 6条刈 1台 ブームプレイヤー 500ℓ 1台	16,817,900円	7,644,000円
事業主体	整 備 内 容	事業費	補助金額										
1 経営体	コンバイン 6条刈 1台 ブームプレイヤー 500ℓ 1台	16,817,900円	7,644,000円										
備 考	○主な特定財源 担い手確保・経営強化支援事業費補助金（県） 7,644,000円												

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課								
事 業 名	さかたでアグリ支援事業				【 継 続 事 業 】								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	1,432,000	1,432,000	0	0	100.0%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	716,000	0	0	0	716,000								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	2,574,000	2,527,400	△1,095,400										
	目 的 ・ 趣 旨												
	新規就農者の確保を図るための総合的な対策として本市での就農に関する情報提供、大学生等への就農宣伝活動、農業の基礎と経営感覚、販売ノウハウを学ぶ「食と農のビジネス塾」へ支援を行うことにより、円滑な就農の促進と就農者の定着を図る。												
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 地域定住農業者育成コンソーシアム負担金 本市での就農を希望する者等が、農業の基礎と経営感覚、販売ノウハウを学べるよう、山形大学農学部を中心とするコンソーシアムが開催する「食と農のビジネス塾」を支援した。</p> <p>(2) さかたで独立就農支援事業費補助金 新規独立・自営就農者の円滑な就農の促進を図るため、農地及び農業用機械の借上料、資材の購入費等の初期投資に必要な経費を支援した。 ・補助率 定額（上限500千円）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 地域定住農業者育成コンソーシアム負担金 432,000円 ・「食と農のビジネス塾」への酒田市からの参加者数 1名</p> <p>(2) さかたで独立就農支援事業費補助金 1,000,000円 ・交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付対象者</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2名</td> <td>トラクター、自走ラジコン動噴・切替畦畔CPPSノズル</td> <td>1,423,680円</td> <td>1,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>					交付対象者	事業内容	事業費	交付額	2名	トラクター、自走ラジコン動噴・切替畦畔CPPSノズル	1,423,680円	1,000,000円
交付対象者	事業内容	事業費	交付額										
2名	トラクター、自走ラジコン動噴・切替畦畔CPPSノズル	1,423,680円	1,000,000円										
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 716,000円												

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課												
事 業 名	農業次世代人材投資事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	21,159,000	17,320,344	0	3,838,656	81.9%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	17,320,344	0	0	0												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	19,647,000	18,992,118	△1,671,774														
	目 的 ・ 趣 旨																
	新規就農者が安心して農業を始めることができるよう、経営が不安定となりがちな就農開始直後の農業経営を支援し、新規就農者の定着を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 農業次世代人材投資資金交付金推進事業 本資金交付対象者の就農定着に向け、税理士による個別の経営相談を実施した。</p> <p>(2) 農業次世代人材投資資金交付事業 令和3年度までに新規で経営を開始し、事業採択された農業者に資金を交付した。</p> <p>○交付額</p> <p>令和2年度以前の採択者 : 1,500,000円/年 (最大5年間で所得に応じた変動交付)</p> <p>令和3年度採択者 : 経営開始1年目～3年目 1,500,000円/年(定額制) 経営開始4年目～5年目 1,200,000円/年(定額制)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 農業次世代人材投資資金交付金推進事業 124,300円 ・税理士による個別相談会開催数 6回(相談者11名)</p> <p>(2) 農業次世代人材投資資金交付事業 17,196,044円 ・交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象者</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>16,863,574円</td> <td>18,856,518円</td> <td>17,196,044円</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	交付対象者	14名	15名	13名	交付額	16,863,574円	18,856,518円	17,196,044円
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度														
交付対象者	14名	15名	13名														
交付額	16,863,574円	18,856,518円	17,196,044円														
備 考	○主な特定財源 農業次世代人材投資事業費補助金(県) 17,320,344円																

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 —												
事 業 名	新規就農者育成総合対策事業				【新規 事業】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	10,329,000	5,829,000	0	4,500,000	56.4%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	5,829,000	0	0	0												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	—	—	—														
	目 的 ・ 趣 旨																
	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のための機械・施設等の導入費用、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を助成し、本市への人材の呼び込みと定着を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 経営発展支援事業 次世代を担う農業者に対し就農後の経営発展のために必要な機械・施設等の導入を支援した。 支援額：補助対象事業費上限1,000万円 補助率：国1/2、県1/4、本人1/4</p> <p>(2) 経営開始資金 新たに経営を開始する農業者に対して資金を助成した。 支援額：12.5万円/月(150万円/年)×最長3年間 補助率：国10/10</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 経営発展支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 件</td> <td>乾燥調製施設一式</td> <td>5,775,000円</td> <td>4,329,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 経営開始資金</p> <p>・ 交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付対象者</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 名</td> <td>1,500,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業主体	事業内容	事業費	補助金額	1 件	乾燥調製施設一式	5,775,000円	4,329,000円	交付対象者	交付額	1 名	1,500,000円
事業主体	事業内容	事業費	補助金額														
1 件	乾燥調製施設一式	5,775,000円	4,329,000円														
交付対象者	交付額																
1 名	1,500,000円																
備 考	○主な特定財源 新規就農者育成総合対策事業交付金(県) 5,829,000円																

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課															
事 業 名	農地利用効率化等支援交付金事業				【 継 続 事 業 】															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①															
	26,879,000	22,849,000	0	4,030,000	85.0%															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源															
	0	22,849,000	0	0	0															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																
	30,483,000	29,041,547	△6,192,547																	
	目 的 ・ 趣 旨																			
	産地の収益力強化と担い手の経営発展を推進するため、産地・担い手の発展の状況に応じて、必要の農業用機械、施設等の導入を切れ目なく支援し、経営規模の拡大等経営発展を図る。																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 融資主体支援タイプ 融資を受けて、生産の効率化の取組等を行おうとする農業経営体に対して、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 地域の中心となる農業経営体等 ・ 補助率 3/10以内 ・ 上限額 300万円 <p>(2) 先進的農業経営確立支援タイプ より高い目標をもって、農業経営体の主体性を発揮した取組、農業経営体と地域との相乗的発展を目指す取組、より規模拡大を図るための取組等を行おうとする農業経営体に対して、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 地域の中心となる農業経営体等 ・ 補助率 3/10以内 ・ 上限額 法人1,500万円、個人1,000万円 <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ名</th> <th>事業主体</th> <th>整備内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>融資主体支援タイプ</td> <td>6 経営体</td> <td>農業用ドローン、コンバイン、トラクター等</td> <td>23,738,550円</td> <td>8,537,000円</td> </tr> <tr> <td>先進的農業経営確立支援タイプ</td> <td>3 経営体</td> <td>パイプハウス、コンバイン、トラクター等</td> <td>52,486,500円</td> <td>14,312,000円</td> </tr> </tbody> </table>					タイプ名	事業主体	整備内容	事業費	補助金額	融資主体支援タイプ	6 経営体	農業用ドローン、コンバイン、トラクター等	23,738,550円	8,537,000円	先進的農業経営確立支援タイプ	3 経営体	パイプハウス、コンバイン、トラクター等	52,486,500円	14,312,000円
タイプ名	事業主体	整備内容	事業費	補助金額																
融資主体支援タイプ	6 経営体	農業用ドローン、コンバイン、トラクター等	23,738,550円	8,537,000円																
先進的農業経営確立支援タイプ	3 経営体	パイプハウス、コンバイン、トラクター等	52,486,500円	14,312,000円																
備 考	○主な特定財源 農地利用効率化等支援事業費交付金（県）		22,849,000円																	

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課
事 業 名	経営改善総務管理事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,737,000	1,601,805	0	135,195	92.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	170,873	0	702,000	728,932
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,025,000	815,440	786,365		
	目 的 ・ 趣 旨				
	農業経営体の経営基盤確保のため必要な助成措置を講ずることにより、担い手の育成・確保を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 人・農地プラン検討会の開催 ・各地域において検討された人・農地プランの見直し及び修正等の内容を「酒田市人・農地プラン検討会」に諮った。</p> <p>(2) 酒田地区農業士会負担金 ・担い手の育成、管内農業の発展に貢献するとともに、農業士相互の連絡協調、親睦を図ることを目的とする酒田地区農業士会の活動を支援した。</p> <p>(3) 経営開始支援資金利子助成事業費補助金 ・集落営農法人について、経営開始初期段階の経営を支援し経営安定を図るため、集落営農法人が借り入れた運転資金に係る資金の利子助成を行った。</p> <p>(4) 農業競争力強化利子助成事業費補助金 ・経営環境変化に対応できる経営体質、競争力の高い農業経営体を育成、支援していくため、生産効率の向上、コスト削減等に意欲的に取り組む農業者に対し利子助成を行った。</p> <p>(5) 農業経営基盤強化資金利子助成金 ・規模の拡大及び経営の効率化を図る認定農業者を支援し、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な経営体の育成を図った。</p> <p>(6) 異常気象農作物被害対策資金利子補給金 ・異常気象等各種災害によって被害を受けた農業者に対して融資した金融機関に利子補給を行うことにより、被害農業者の負担軽減を図った。</p> <p>(7) 機構集積協力金償還金 ・機構集積協力金交付事業に係る耕作者集積協力金の返還事由が生じたため償還を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 人・農地プラン検討会の開催 (5,700円×5人×1回=28,500円)</p> <p>(2) 酒田地区農業士会負担金 (80,000円)</p> <p>(3) 経営開始支援資金利子助成金 (交付件数6件 交付額35,792円)</p> <p>(4) 農業競争力強化利子助成金 (交付件数1件 交付額10,908円)</p> <p>(5) 農業経営基盤強化資金利子助成金 (交付件数21件 交付額293,914円)</p> <p>(6) 異常気象農作物被害対策資金利子補給金 (交付件数4件 交付額450,691円)</p> <p>(7) 機構集積協力金償還金 (償還件数2件 償還額702,000円)</p>				
備 考	○主な特定財源	農業経営基盤強化資金利子助成補助金 (県)	146,949円	災害・経営安定対策資金利子補給事業費補助金 (県)	16,671円
		機構集積協力金過年度返還金	702,000円		

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																																																																								
事 業 名	生産組合支援事業				【 継 続 事 業 】																																																																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																								
	3,000,000	2,999,984	0	16	99.9%																																																																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																								
	0	0	0	0	2,999,984																																																																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																									
	3,440,000	3,439,985	△440,001																																																																										
	目 的 ・ 趣 旨																																																																												
	市内16地区の生産組合により構成されている酒田市生産組合協議会と本市及び農業者団体が連携し、米の「生産の目安」に基づく作付けの推進や営農計画書作成を通じた合意形成により、米の需給バランスによる米価安定と米の販売額の増加を図る。																																																																												
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 生産組合交付金を交付し、各地区生産組合の活動を通じて生産者に対する需給バランスの重要性の意識向上、需要に応じた米生産を図ると同時に、米のみに依存しない生産への取組みに向けた生産活動を支援した。</p> <p>○事業実績・説明 ・生産組合交付金 (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>対象組合数</th> <th>対象水田面積</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>西荒瀬</td><td>12 組合</td><td>4,477,400 m²</td><td>135,604 円</td></tr> <tr><td>鳥海</td><td>8 組合</td><td>4,527,030 m²</td><td>112,602 円</td></tr> <tr><td>本楯</td><td>19 組合</td><td>7,115,240 m²</td><td>215,081 円</td></tr> <tr><td>上田</td><td>10 組合</td><td>6,121,130 m²</td><td>147,410 円</td></tr> <tr><td>酒田北部</td><td>9 組合</td><td>1,388,410 m²</td><td>73,347 円</td></tr> <tr><td>北平田</td><td>14 組合</td><td>6,134,700 m²</td><td>171,320 円</td></tr> <tr><td>東平田</td><td>10 組合</td><td>6,336,140 m²</td><td>150,505 円</td></tr> <tr><td>中平田</td><td>16 組合</td><td>9,237,750 m²</td><td>227,851 円</td></tr> <tr><td>酒田南部</td><td>5 組合</td><td>4,815,900 m²</td><td>98,975 円</td></tr> <tr><td>広野</td><td>12 組合</td><td>6,080,060 m²</td><td>158,676 円</td></tr> <tr><td>新堀</td><td>8 組合</td><td>6,694,910 m²</td><td>143,812 円</td></tr> <tr><td>浜中</td><td>8 組合</td><td>2,729,290 m²</td><td>86,721 円</td></tr> <tr><td>八幡</td><td>39 組合</td><td>12,038,790 m²</td><td>404,540 円</td></tr> <tr><td>松山</td><td>31 組合</td><td>9,385,440 m²</td><td>318,910 円</td></tr> <tr><td>平田</td><td>46 組合</td><td>12,404,180 m²</td><td>451,302 円</td></tr> <tr><td>袖浦</td><td>6 組合</td><td>4,706,390 m²</td><td>103,328 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>253 組合</td><td>104,192,760 m²</td><td>2,999,984 円</td></tr> </tbody> </table>					地区名	対象組合数	対象水田面積	交付額	西荒瀬	12 組合	4,477,400 m ²	135,604 円	鳥海	8 組合	4,527,030 m ²	112,602 円	本楯	19 組合	7,115,240 m ²	215,081 円	上田	10 組合	6,121,130 m ²	147,410 円	酒田北部	9 組合	1,388,410 m ²	73,347 円	北平田	14 組合	6,134,700 m ²	171,320 円	東平田	10 組合	6,336,140 m ²	150,505 円	中平田	16 組合	9,237,750 m ²	227,851 円	酒田南部	5 組合	4,815,900 m ²	98,975 円	広野	12 組合	6,080,060 m ²	158,676 円	新堀	8 組合	6,694,910 m ²	143,812 円	浜中	8 組合	2,729,290 m ²	86,721 円	八幡	39 組合	12,038,790 m ²	404,540 円	松山	31 組合	9,385,440 m ²	318,910 円	平田	46 組合	12,404,180 m ²	451,302 円	袖浦	6 組合	4,706,390 m ²	103,328 円	計	253 組合	104,192,760 m ²	2,999,984 円
地区名	対象組合数	対象水田面積	交付額																																																																										
西荒瀬	12 組合	4,477,400 m ²	135,604 円																																																																										
鳥海	8 組合	4,527,030 m ²	112,602 円																																																																										
本楯	19 組合	7,115,240 m ²	215,081 円																																																																										
上田	10 組合	6,121,130 m ²	147,410 円																																																																										
酒田北部	9 組合	1,388,410 m ²	73,347 円																																																																										
北平田	14 組合	6,134,700 m ²	171,320 円																																																																										
東平田	10 組合	6,336,140 m ²	150,505 円																																																																										
中平田	16 組合	9,237,750 m ²	227,851 円																																																																										
酒田南部	5 組合	4,815,900 m ²	98,975 円																																																																										
広野	12 組合	6,080,060 m ²	158,676 円																																																																										
新堀	8 組合	6,694,910 m ²	143,812 円																																																																										
浜中	8 組合	2,729,290 m ²	86,721 円																																																																										
八幡	39 組合	12,038,790 m ²	404,540 円																																																																										
松山	31 組合	9,385,440 m ²	318,910 円																																																																										
平田	46 組合	12,404,180 m ²	451,302 円																																																																										
袖浦	6 組合	4,706,390 m ²	103,328 円																																																																										
計	253 組合	104,192,760 m ²	2,999,984 円																																																																										
備考																																																																													

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課
事 業 名	都市農村交流事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	699,000	677,338	0	21,662	96.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	677,338
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	624,000	595,355	81,983		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田産農産物のPRのほか、酒田ファームステイやグリーン・ツーリズムによる都市住民との交流を通じて、酒田産農産物ファンを獲得する。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 東京都武蔵野市のアンテナショップ「麦わら帽子」での販売促進活動による酒田産農産物のPRのほか、田園調布学園とのファームステイ事業やグリーン・ツーリズムの推進により、酒田ファンの獲得と拡大を図る取り組みを行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 首都圏での酒田産農産物のPR 204,258円 ・酒田産農林水産物の通年販売をするアンテナショップ「麦わら帽子」での酒田フェア開催に合わせた販促品の提供や酒田市のパンフレットを送付 酒田フェア：毎月第4土・日曜日。うち6月～10月、12月に販促品を提供。</p> <p>(2) 酒田ファームステイ事業 293,080円 ・酒田ファームステイ実行委員会負担金を支出し、8月23日～26日に酒田ファームステイ（新型コロナウイルスの影響によりホテル泊方式）としての田園調布学園中等部2年生200名の受け入れ及び農業体験等の実施を支援した。 ・保護者向け郷土料理教室の実施や全校に向けたふるさと納税のPRを行い、首都圏への酒田産農産物等PR及び酒田ファンの獲得に向けた取り組みを行った。</p> <p>(3) グリーン・ツーリズム推進事業負担金 180,000円 ・グリーン・ツーリズムの推進を図る山形県グリーン・ツーリズム推進協議会及び農業体験プログラムを提供する酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会に対し、負担金を支出して活動を支援した。 酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会会員による農業体験活動実績 ※参考として、（）内は令和3年度の実績 協議会会員数：19名（20名） 体験プログラム：25種類（29種類） 体験者総数：1,223名（1,082名）</p>				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課
事 業 名	さかた農産物販路・消費拡大事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	522,000	521,077	0	923	99.8%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	521,077
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	5,493,000	5,424,679	△4,903,602		
	目 的 ・ 趣 旨				
	食育の取り組みやPRなどを通じて酒田産農産物の消費拡大を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 食育・地産地消推進委員会の開催や食育交流活動の支援により地産地消を推進し、消費拡大を図った。また、農業者自らが行う販路・消費拡大への取組を支援し、農業所得の向上を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 食育・地産地消推進委員会の開催 59,604円 ・計画の進捗状況の確認や情報交換を通じて、今後の取組を協議（8月、1月）。</p> <p>(2) メロンの日PRイベントの開催 23,473円 ・開催日／7月1日～8日 会場／市役所フリースペース 内容／パネル展示等</p> <p>(3) 酒田の花づくり応援事業負担金（再生協） 388,000円 ・市庁舎（本庁及び各総合支所）やNHK情報番組「やままる」スタジオ内で酒田産花きを使用したフラワーアレンジメントを定期的に展示した。 実施回数：庁舎展示／24回、NHK情報番組展示／12回 ・圃場見学及び生け花体験による花育授業を実施した。 開催日／9月28日 対象／酒田市立八幡小学校5年生児童20名 ・市役所フリースペースでのJAフラワーショー開催に合わせ、酒田産の花きを使用したアレンジメントを設置した。 開催期間／9月14日～16日</p> <p>(4) 食育交流活動補助金 50,000円 ・補助金上限額25,000円／件、交付件数実績／2件</p>				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課	
事 業 名	畜産生産性向上支援事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	2,500,000	2,386,000	0	114,000	95.4%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	2,386,000	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	2,850,000	2,700,300	△314,300			
	目 的 ・ 趣 旨					
	畜産経営者等が実施する畜舎の修繕工事や繁殖雌牛の導入取組に対して支援することで、生産性の向上を図り、足腰の強い畜産経営を確立する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 畜産飼養環境整備支援事業 家畜の健康管理・堆肥処理の適正化等を目的として行う畜舎等の修繕工事・設備設置に対して支援した。					
	・ 補助率 事業費の1/3以内または500千円のいずれか低い額 (1申請あたりの事業費の下限額150千円)					
	(2) 繁殖雌牛導入支援事業 優良種雄牛を父に持つ繁殖向け雌子牛の市場導入に対して支援した。					
	・ 補助率 1頭当たりの導入経費の1/6以内の額又は100千円のいずれか低い額					
	○事業実績・説明					
	(1) 畜産飼養環境整備支援事業					
		事業主体	事業内容	事業費	補助金額	
		1 件	施設整備 (肥育舎の修繕)	447,032円	135,000円	
			施設整備 (屋根の修繕)	1,416,745円	429,000円	
	施設整備 (給餌器の更新)		871,200円	264,000円		
	施設整備 (施設内通路の修繕)		440,000円	133,000円		
	堆肥適正処理のための機械整備		1,848,000円	500,000円		
	(2) 繁殖雌牛導入支援事業					
	事業主体	事業内容	導入頭数	補助金額		
	1 件	優良雌牛の導入	10頭	925,000円		
備 考						

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課														
事 業 名	豚熱ワクチン接種緊急支援事業				【 継 続 事 業 】														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①														
	1,083,000	1,043,010	0	39,990	96.3%														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源														
	0	0	0	1,013,223	29,787														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)															
	2,400,000	1,972,950	△929,940																
	目 的 ・ 趣 旨																		
	豚熱のまん延防止のために実施するワクチン接種にかかる経費の一部を補助することで、養豚農家の負担を軽減するとともに、豚熱ワクチン接種の確実な接種を後押しし、畜産経営の安定化を図り、複合経営を推進する。																		
概 要	<p>○事業内容 管内養豚農家の豚熱ワクチン接種費用に対して支援した。</p> <p>(対象) 豚熱ワクチン接種が必要な市内で飼育されている豚 ・子豚は生後1か月ほどで接種 ・母豚、種豚は初回接種後、半年後に2回目、3回目以降は1年おき</p> <p>(補助金額) 豚熱ワクチン接種費用一頭あたりワクチン代50円に対し、15円</p> <p>(接種費用内訳)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">ワクチン代</td> <td rowspan="3">50円</td> <td>15円</td> <td>酒田市補助</td> </tr> <tr> <td>5円</td> <td>庄内地区家畜畜産物衛生指導協会補助</td> </tr> <tr> <td>30円</td> <td>養豚農家負担</td> </tr> </table> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <tr> <td>接種頭数</td> <td>豚熱ワクチン接種率</td> <td>補助金額</td> </tr> <tr> <td>69,534頭</td> <td>100%</td> <td>1,043,010円</td> </tr> </table>					ワクチン代	50円	15円	酒田市補助	5円	庄内地区家畜畜産物衛生指導協会補助	30円	養豚農家負担	接種頭数	豚熱ワクチン接種率	補助金額	69,534頭	100%	1,043,010円
ワクチン代	50円	15円	酒田市補助																
		5円	庄内地区家畜畜産物衛生指導協会補助																
		30円	養豚農家負担																
接種頭数	豚熱ワクチン接種率	補助金額																	
69,534頭	100%	1,043,010円																	
備 考	○主な特定財源 農林水産振興基金繰入金 1,013,223円																		

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 —												
事 業 名	耕畜連携推進事業				【新規 事業】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	4,234,000	3,829,991	0	404,009	90.5%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	1,914,995	0	0	0	1,914,996												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	—	—	—														
	目 的 ・ 趣 旨																
	堆肥の利用推進や糞殻の適正処理など、耕種農家、畜産農家双方が抱える課題を解消するため、耕種農家が畜産農家へ飼料や糞殻を提供し、畜産農家が耕種農家へ堆肥を供給するといった耕畜連携の循環の仕組みを作り、本市農畜産業の振興を図る。																
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 牛尿液肥の水田施用に係る実証の実施 飼料用作物を栽培する水田を実証圃とし、牛尿液肥の施用量の比較等によって堆肥効果やコスト、臭気、施用方法等を検証した。</p> <p>(2) 堆肥散布啓発研修会の開催 カントリーエレベーター利用組合等への堆肥散布組織の立上げに係る意識付けや耕種農家の堆肥散布による土づくりの意識醸成を目的として研修会を開催した。</p> <p>(3) 堆肥散布組織等への活動支援金 畜産農家や散布組織を対象に、堆肥散布に必要な機械の導入やリース、人員確保など散布経費に補助金を交付した。(補助金額：2,000円以内/10a)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 牛尿液肥の水田施用に係る実証の実施 771,991円 ・ 施用期日 令和4年6月21日～22日 ・ 施用ほ場 上黒川地内、福山地内 ・ 実証内容 施肥効果、施用方法、作業時間、臭気等</p> <p>(2) 堆肥散布啓発研修会の開催 401,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>開催時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17回</td> <td>令和4年7月～令和4年12月</td> <td>125名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 堆肥散布組織等への活動支援金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請件数</th> <th>堆肥散布面積</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8件</td> <td>15,241 a</td> <td>2,657,000円</td> </tr> </tbody> </table>					開催回数	開催時期	参加人数	17回	令和4年7月～令和4年12月	125名	申請件数	堆肥散布面積	補助金額	8件	15,241 a	2,657,000円
開催回数	開催時期	参加人数															
17回	令和4年7月～令和4年12月	125名															
申請件数	堆肥散布面積	補助金額															
8件	15,241 a	2,657,000円															
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 1,914,995円																

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																
事 業 名	畜産物価格差補てん事業				【 継 続 事 業 】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																
	1,590,000	1,166,250	0	423,750	73.3%																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																
	0	0	0	0	1,166,250																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																	
	1,590,000	1,282,350	△116,100																		
	目 的 ・ 趣 旨																				
	畜産業における不測の価格変動による損失を緩和し、生産者が不安定な価格に影響されることなく、安定生産に取り組み、計画に沿った経営を実施できる環境を整えることで畜産経営の長期安定化を図る。																				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 肉用牛枝肉価格差補てん事業負担金 肉用牛枝肉の標準取引単価が補てん基準単価を下回った際、全農山形県本部では、その差額を補てんするため、価格差補てん事業を実施しており、当該事業のために、生産者、農協及び市の三者での積立金について負担金を支出した。</p> <p>(2) 養豚経営安定対策事業負担金 肉豚標準販売価格が標準的生産費を下回った際に、独立行政法人農畜産業振興機構は、販売価格と生産コストの差額の9割を補てんする肉豚経営安定対策事業を実施しており、当該事業について、農協系統の生産者が負担する積立金の一部について負担金を支出した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 肉用牛枝肉価格差補てん事業負担金 744,000円 (248頭×3,000円)</p> <p>(積立金内訳)</p> <table border="1"> <tr><td>生産者</td><td>6,000円</td></tr> <tr><td>農協</td><td>3,000円</td></tr> <tr><td>酒田市</td><td>3,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>12,000円</td></tr> </table> <p>(2) 養豚経営安定対策事業負担金 422,250円 (8,445頭×50円)</p> <p>(積立金内訳)</p> <table border="1"> <tr><td>生産者</td><td>354円</td></tr> <tr><td>うち、酒田市</td><td>50円</td></tr> <tr><td>農協</td><td>46円</td></tr> <tr><td>計</td><td>400円</td></tr> </table>					生産者	6,000円	農協	3,000円	酒田市	3,000円	計	12,000円	生産者	354円	うち、酒田市	50円	農協	46円	計	400円
生産者	6,000円																				
農協	3,000円																				
酒田市	3,000円																				
計	12,000円																				
生産者	354円																				
うち、酒田市	50円																				
農協	46円																				
計	400円																				
備考																					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課								
事 業 名	畜産所得向上支援事業				【 継 続 事 業 】								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	1,920,000	1,920,000	0	0	100.0%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	0	1,600,000	0	0	320,000								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	5,906,000	5,853,000	△3,933,000										
	目 的 ・ 趣 旨												
	意欲ある畜産経営者が行う規模拡大や、経営の効率化の取組を支援することで、生産性やブランド力の向上を図り、畜産業の競争力を強化する。												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易畜舎等整備支援事業（衛生対策支援事業） 飼養衛生管理基準に沿った家畜の飼養管理をするために必要な施設、機械整備に対して支援した。（補助率：事業費の1/2以内） <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易畜舎等整備支援事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体 1件</td> <td>畜舎用カーテン設置工事 牛舎用カメラ設置工事 施設内通路改修工事</td> <td>4,224,600円</td> <td>1,920,000円</td> </tr> </tbody> </table>					実施主体	事業内容	事業費	補助金額	団体 1件	畜舎用カーテン設置工事 牛舎用カメラ設置工事 施設内通路改修工事	4,224,600円	1,920,000円
実施主体	事業内容	事業費	補助金額										
団体 1件	畜舎用カーテン設置工事 牛舎用カメラ設置工事 施設内通路改修工事	4,224,600円	1,920,000円										
備 考	○主な特定財源 畜産所得向上支援事業費補助金（県） 1,600,000円												

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課
事 業 名	(繰越明許費) 畜産飼料生産基盤農地耕作条件改善事業 【 継続 事業】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	68,000,000	68,000,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	55,000,000	0	0	13,000,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	遊休農地の解消、土地資源の有効活用を図るとともに、飼料生産基盤の整備を進めることにより、畜産経営の安定化を図り、複合経営を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 既に区画が整備されている農地の畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水整備等、耕作条件の改善を図り、飼料生産基盤の整備に対して支援した。				
	(対象) 人・農地プランの中心経営体に位置づけられること、又は位置づけられることが確実と見込まれる農業法人等				
	(補助率) 補助対象経費の63%以内、ただし中山間地において実施する場合は68%				
	○事業実績・説明				
	事業内容	受益面積	事業費	補助金額	
	農地造成工事	10.31ha	100,000,000円	68,000,000円	
備 考	○主な特定財源 畜産飼料生産基盤農地耕作条件改善事業費補助金 (県) 55,000,000円				

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 —				
事 業 名	畜産飼料価格高騰対策支援事業 【新規 事業】							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③				
	12,600,000	11,704,000	0	896,000				
	執行率②/①							
	92.9%							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳							
	国庫支出金	県支出金	市債	その他				
	11,704,000	0	0	0				
	一般財源							
	0							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)				
	—	—	—					
	目 的 ・ 趣 旨							
	原油高等の国際情勢の影響から畜産飼料の価格が高騰したことにより経営に影響を受けた畜産経営者に対して、購入する配合飼料価格の一部を支援し、畜産経営への影響を緩和し、安定経営を図る。							
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 本市に所在する畜産経営者が、令和4年7月から12月に購入した配合飼料の購入費用に対して支援した。(補助金額：2,000円/t)</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請件数 (畜産経営者数)</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42件</td> <td>11,704,000円</td> </tr> </tbody> </table>				申請件数 (畜産経営者数)	補助金額	42件	11,704,000円
申請件数 (畜産経営者数)	補助金額							
42件	11,704,000円							
備 考	○主な特定財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) 11,704,000円							

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	6 目 農村基盤整備対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課
事 業 名	農業振興地域整備促進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	5,750,000	5,700,183	0	49,817	99.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,700,183
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,422,000	2,321,173	3,379,010		
	目 的 ・ 趣 旨				
	農業振興地域の土地の合理的利用及び農業生産基盤の整備、農業近代化施設の整備、生活環境施設の整備等に関する各種計画の策定及びその運用を通じて、総合的な農業の振興を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田農業振興地域整備計画等について協議を行うため酒田農業振興協議会の総会や土地利用調整委員会を開催した。また、酒田農業振興地域整備計画の見直しにともなう付属図面を作成し、この図面を「さかたマップ」に取り込み図面のデジタル管理を実現した。他に、酒田農業振興地域整備計画の計画的実施の促進するため16地区農業振興協議会に交付金を交付し、取組みへの支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田農業振興協議会等の開催 14,183円 ・ 農業振興地域の土地利用に関する個別の案件について協議する土地利用調整委員会を6月、12月に開催した。</p> <p>(2) 農業振興地域整備計画付図の作成 4,345,000円 ・ 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、酒田農業振興地域整備計画の見直しを行い、それに伴って付属する図面を令和4年6月に完成させた。 ・ 完成した図面については令和4年度中に「さかたマップ」に実装済み。</p> <p>(3) 地域農業振興協議会交付金 1,341,000円 ・ 酒田農業振興地域整備計画の計画的実施を促進するために、本市に16地区ある地区農業振興協議会への支援として交付金を交付した。</p>				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	6 目 農村基盤整備対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																																																																					
事 業 名	中山間地域等直接支払事業				【 継 続 事 業 】																																																																					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																					
	39,509,000	39,443,427	0	65,573	99.8%																																																																					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																					
	0	29,503,430	0	0	9,939,997																																																																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																						
	39,319,000	39,260,735	182,692																																																																							
	目 的 ・ 趣 旨																																																																									
	山間部の農地は傾斜が多く、遊休農地の発生により、国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念されるため、集落協定に基づく協定農用地の維持に取り組み、中山間地域農業の維持と活性化を目指す。																																																																									
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払交付金 酒田市内各地域における傾斜等の条件不利な農用地で、本市と農業者が締結した集落協定に基づき、5年以上農業生産活動等を行う農業者等に交付金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象農用地 以下の基準等に該当する1ha以上の農用地 急傾斜地：水田 勾配1/20以上 畑 勾配15度以上 緩傾斜地：水田 勾配1/100以上 畑 勾配8度以上 ・交付単価 急傾斜地：水田 21,000円/10a 畑 11,500円/10a 緩傾斜地：水田 8,000円/10a 畑 3,500円/10a <p>※緩傾斜農用地は急傾斜農用地に連坦していること ※集落戦略を作成していない集落の交付額は8割</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払推進交付金 同交付金に係る事務費を支出した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払交付金</p> <p style="text-align: right;">(単位：協定数、ha、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>協定</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> <th>協定</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> <th>協定</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八幡</td> <td>8</td> <td>83.0</td> <td>15,462,405</td> <td>8</td> <td>83.0</td> <td>15,462,405</td> <td>8</td> <td>83.9</td> <td>15,640,023</td> </tr> <tr> <td>松山</td> <td>4</td> <td>66.4</td> <td>8,793,484</td> <td>4</td> <td>66.6</td> <td>8,811,300</td> <td>4</td> <td>65.4</td> <td>8,705,638</td> </tr> <tr> <td>平田</td> <td>9</td> <td>125.2</td> <td>14,529,085</td> <td>9</td> <td>125.2</td> <td>13,412,230</td> <td>9</td> <td>125.2</td> <td>13,412,230</td> </tr> <tr> <td>酒田</td> <td>1</td> <td>17.3</td> <td>1,382,800</td> <td>1</td> <td>17.3</td> <td>1,382,800</td> <td>1</td> <td>18.8</td> <td>1,501,536</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>291.9</td> <td>40,167,774</td> <td>22</td> <td>292.1</td> <td>39,068,735</td> <td>22</td> <td>293.3</td> <td>39,259,427</td> </tr> </tbody> </table> <p>※負担割合：国2/4、県・市1/4、酒田地域のみそれぞれ1/3ずつ負担 ※令和4年度から、八幡地域で田急傾斜面積0.9ha増、松山地域で畑急傾斜面積1.2ha減、酒田地域で田緩傾斜面積1.5ha増 ※令和2年度に平田地区で活用した加算措置が単年度のものであったために、令和3年度は交付金額が減少</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払推進交付金 184,000円</p>					地区名	令和2年度			令和3年度			令和4年度			協定	面積	交付金額	協定	面積	交付金額	協定	面積	交付金額	八幡	8	83.0	15,462,405	8	83.0	15,462,405	8	83.9	15,640,023	松山	4	66.4	8,793,484	4	66.6	8,811,300	4	65.4	8,705,638	平田	9	125.2	14,529,085	9	125.2	13,412,230	9	125.2	13,412,230	酒田	1	17.3	1,382,800	1	17.3	1,382,800	1	18.8	1,501,536	合計	22	291.9	40,167,774	22	292.1	39,068,735	22	293.3	39,259,427
地区名	令和2年度			令和3年度			令和4年度																																																																			
	協定	面積	交付金額	協定	面積	交付金額	協定	面積	交付金額																																																																	
八幡	8	83.0	15,462,405	8	83.0	15,462,405	8	83.9	15,640,023																																																																	
松山	4	66.4	8,793,484	4	66.6	8,811,300	4	65.4	8,705,638																																																																	
平田	9	125.2	14,529,085	9	125.2	13,412,230	9	125.2	13,412,230																																																																	
酒田	1	17.3	1,382,800	1	17.3	1,382,800	1	18.8	1,501,536																																																																	
合計	22	291.9	40,167,774	22	292.1	39,068,735	22	293.3	39,259,427																																																																	
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>中山間地域等直接支払交付金(県)</td> <td>29,319,430円</td> </tr> <tr> <td>中山間地域等直接支払市町村推進交付金(県)</td> <td>184,000円</td> </tr> </table>					中山間地域等直接支払交付金(県)	29,319,430円	中山間地域等直接支払市町村推進交付金(県)	184,000円																																																																	
中山間地域等直接支払交付金(県)	29,319,430円																																																																									
中山間地域等直接支払市町村推進交付金(県)	184,000円																																																																									

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	6 目 農村基盤整備対策費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																																												
事 業 名	環境保全型農業直接支払事業 【 継続 事業】																																															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																											
	25,572,000	25,304,660	0	267,340	99.0%																																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																											
	0	18,988,495	0	0	6,316,165																																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																												
	23,816,000	23,600,520	1,704,140																																													
	目 的 ・ 趣 旨																																															
	環境保全を重視した農業生産の推進、意欲のある農業者の活動を継続できるようにするために交付金を交付し、農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図る。																																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金 有機農業（化学肥料及び化学合成農薬を使用しない取組）及び特別栽培（慣行栽培の基準より化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組）に地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を組み合わせて実施した農業者団体に対して、交付金を交付した。</p> <p>(2) 環境保全型農業直接支払交付金推進交付金 環境保全型農業直接支払事業の推進を行うための事務費関連の支出を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金 ・直近3年間の交付対象面積・交付額等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象面積（a）</td> <td>48,579</td> <td>53,124</td> <td>57,265</td> </tr> <tr> <td>交付対象件数（件）</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>交付額（円）</td> <td>21,655,840</td> <td>23,560,520</td> <td>25,264,660</td> </tr> </tbody> </table> <p>・交付額は国県及び市の合計金額 ・負担割合：国2/4、県1/4、市1/4 ・交付対象取組及び取組面積（内訳）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付対象取組</th> <th>取組面積</th> <th>交付単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機農業（炭素貯留効果の高い有機農業）</td> <td>1,006 a</td> <td>14,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>有機農業</td> <td>3,272 a</td> <td>12,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と窒素分の低い堆肥施用</td> <td>4,820 a</td> <td>4,400円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と窒素分の高い堆肥施用</td> <td>3,070 a</td> <td>2,200円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入あり、畦補強あり）</td> <td>1,027 a</td> <td>8,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入なし、畦補強なし）</td> <td>561 a</td> <td>4,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 秋耕</td> <td>30,563 a</td> <td>3,400円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 稲わら腐熟促進資剤投入</td> <td>12,946 a</td> <td>4,400円/10 a</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 環境保全型農業直接支払交付金推進交付金（事務費） 40,000円</p>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	交付対象面積（a）	48,579	53,124	57,265	交付対象件数（件）	18	20	19	交付額（円）	21,655,840	23,560,520	25,264,660	交付対象取組	取組面積	交付単価	有機農業（炭素貯留効果の高い有機農業）	1,006 a	14,000円/10 a	有機農業	3,272 a	12,000円/10 a	特別栽培と窒素分の低い堆肥施用	4,820 a	4,400円/10 a	特別栽培と窒素分の高い堆肥施用	3,070 a	2,200円/10 a	特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入あり、畦補強あり）	1,027 a	8,000円/10 a	特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入なし、畦補強なし）	561 a	4,000円/10 a	特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 秋耕	30,563 a	3,400円/10 a	特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 稲わら腐熟促進資剤投入	12,946 a	4,400円/10 a
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																													
交付対象面積（a）	48,579	53,124	57,265																																													
交付対象件数（件）	18	20	19																																													
交付額（円）	21,655,840	23,560,520	25,264,660																																													
交付対象取組	取組面積	交付単価																																														
有機農業（炭素貯留効果の高い有機農業）	1,006 a	14,000円/10 a																																														
有機農業	3,272 a	12,000円/10 a																																														
特別栽培と窒素分の低い堆肥施用	4,820 a	4,400円/10 a																																														
特別栽培と窒素分の高い堆肥施用	3,070 a	2,200円/10 a																																														
特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入あり、畦補強あり）	1,027 a	8,000円/10 a																																														
特別栽培と冬季湛水管理（有機肥料投入なし、畦補強なし）	561 a	4,000円/10 a																																														
特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 秋耕	30,563 a	3,400円/10 a																																														
特別栽培と水稲 I P M + 高刈 + 稲わら腐熟促進資剤投入	12,946 a	4,400円/10 a																																														
備 考	○主な特定財源 環境保全型農業直接支払交付金（県）		18,948,495円																																													
	環境保全型農業直接支払市町村推進交付金（県）		40,000円																																													

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課								
事 業 名	鳥海南麓畑地振興対策推進事業				【 継 続 事 業 】								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①								
	1,481,000	1,183,812	0	297,188	79.9%								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
	0	0	0	0	1,183,812								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)									
	2,636,000	2,569,849	△1,386,037										
	目 的 ・ 趣 旨												
	国営造成事業で整備した鳥海南麓畑地にかかる営農施設の維持管理や、同地区農地の熟畑化を支援することで、同地区の特色を活かした経営の展開を図り、農業所得の向上につなげる。												
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 鳥海南麓団地内の用水設備や管理休養施設等営農施設の維持管理を行った。また、同団地内の生産組織が行った堆肥等導入及び農業用機械を使用した深耕による土壌改良に対して支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 鳥海南麓団地内の営農施設管理 483,812円 鳥海南麓管理休養施設の施設維持管理、重倉団地揚水機場小配管修繕等</p> <p>(2) 鳥海南麓土壌改良支援事業費補助金 ・補助内容 国営鳥海南麓地区農地開発事業で造成された農地において、営農活動の推進に向け、堆肥等の導入及び農業用機械を使用した深耕による土壌改良に対して支援を行った。</p> <p>・補助率 堆肥等の導入による土壌改良事業 1/2以内 農業用機械を使用しての土壌改良事業 1/3以内</p> <p>・事業実績 堆肥等の導入による土壌改良事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>受益面積</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 団体</td> <td>26.5ha</td> <td>1,420,221円</td> <td>700,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業主体	受益面積	事業費	補助金額	1 団体	26.5ha	1,420,221円	700,000円
事業主体	受益面積	事業費	補助金額										
1 団体	26.5ha	1,420,221円	700,000円										
備 考													

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																																				
事 業 名	野生鳥獣農作物被害対策事業				【 継 続 事 業 】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	3,380,000	3,032,983	0	347,017	89.7%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	0	0	0	0	3,032,983																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	2,210,000	2,118,935	914,048																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	「市鳥獣被害防止計画」における農作物被害の軽減目標達成のため、市鳥獣被害対策実施隊を設置し、地域における農作物の被害対策を的確かつ効果的に実施し、被害の減少により農業の生産性を高める。																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 山形県猟友会酒田支部より推薦のあった40名を「酒田市鳥獣被害対策実施隊員」として委嘱し、生産者団体等からの要請に応じて、有害鳥獣の駆除活動を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 有害鳥獣被害対策実施隊の活動報酬 3,030,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲用わな設置、巡視作業、鳥類の追払い等 ・ 捕獲参加実施隊延べ人数 943人 ・ 有害鳥獣捕獲数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>鳥獣</th> <th>捕獲地域</th> <th>捕獲数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ツキノワグマ</td> <td>酒田</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>八幡</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>平田</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ハシブトガラス</td> <td>袖浦</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>平田</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ハシボソガラス</td> <td>刈屋</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ムクドリ</td> <td>刈屋</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>カワウ</td> <td>穂積</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>カモ類</td> <td>穂積</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鳥獣被害対策研修会参加に係る費用弁償 2,183円</p>					鳥獣	捕獲地域	捕獲数	ツキノワグマ	酒田	1	八幡	7	平田	2	小計		10	ハシブトガラス	袖浦	15	平田	19	ハシボソガラス	刈屋	1	ムクドリ	刈屋	113	カワウ	穂積	5	カモ類	穂積	68	小計		221	合計		231
鳥獣	捕獲地域	捕獲数																																							
ツキノワグマ	酒田	1																																							
	八幡	7																																							
	平田	2																																							
小計		10																																							
ハシブトガラス	袖浦	15																																							
	平田	19																																							
ハシボソガラス	刈屋	1																																							
ムクドリ	刈屋	113																																							
カワウ	穂積	5																																							
カモ類	穂積	68																																							
小計		221																																							
合計		231																																							
備 考																																									

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																									
事 業 名	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業 【継続 事業】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③																									
	30,176,000	28,507,000	0	1,669,000																									
	執行率②/①																												
	94.5%																												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他																									
	4,522,000	19,004,000	0	0																									
	一般財源																												
	4,981,000																												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	25,168,000	22,559,000	5,948,000																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	山形県が策定した「第4次農林水産業元気創造戦略」に基づき、魅力ある稼げる園芸農業 追及に向け、生産者の所得向上と園芸産地をリードする競争力の高い経営体の育成を図る。																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田産農産物の産地化を図るため、農業者団体などが実施する栽培施設の整備、耐用 年数が経過したパイプハウスの再整備・改修等に対し支援を行った。</p> <p>(補助対象) 農業者団体、農業法人、農業協同組合</p> <p>(補助要件) 生産コスト10%以上削減や販売額の10%以上増加等、成果目標を設定し、その実現 が見込まれること。</p> <p>(補助率) ・ 1/2以内 (県1/3、市1/6)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 収益性向上支援事業 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">3 団体</td> <td>(シャインマスカット) パイプハウス 6 棟 (1,341㎡)、灌水設備等</td> <td>13,519,000</td> <td>6,145,000</td> </tr> <tr> <td>(ケイトウ) パイプハウス 1 棟 (243㎡)、 灌水資材、防虫資材等</td> <td>1,655,500</td> <td>827,000</td> </tr> <tr> <td>(メロン・ストック・アスパラガス・里 芋・赤かぶ) パイプハウス 8 棟 (2,133 ㎡)、循環扇資材、里芋毛羽取り機等</td> <td>16,066,870</td> <td>7,967,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 野菜花き用ハウス資材価格高騰対策支援事業 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2 団体</td> <td>(メロン) ①再整備：パイプハウス 8 棟 灌水設備 4 棟 ②改修：パイプハウス 17 棟</td> <td>18,777,000</td> <td>9,388,000</td> </tr> <tr> <td>(ナス・メロン・アスパラガス・いちご・ ランキュラス・ケイトウ) ①再整備：パイプハウス 4 棟 ②改修：パイプハウス 26 棟</td> <td>9,053,000</td> <td>4,180,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	3 団体	(シャインマスカット) パイプハウス 6 棟 (1,341㎡)、灌水設備等	13,519,000	6,145,000	(ケイトウ) パイプハウス 1 棟 (243㎡)、 灌水資材、防虫資材等	1,655,500	827,000	(メロン・ストック・アスパラガス・里 芋・赤かぶ) パイプハウス 8 棟 (2,133 ㎡)、循環扇資材、里芋毛羽取り機等	16,066,870	7,967,000	事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	2 団体	(メロン) ①再整備：パイプハウス 8 棟 灌水設備 4 棟 ②改修：パイプハウス 17 棟	18,777,000	9,388,000	(ナス・メロン・アスパラガス・いちご・ ランキュラス・ケイトウ) ①再整備：パイプハウス 4 棟 ②改修：パイプハウス 26 棟	9,053,000	4,180,000
事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額																										
3 団体	(シャインマスカット) パイプハウス 6 棟 (1,341㎡)、灌水設備等	13,519,000	6,145,000																										
	(ケイトウ) パイプハウス 1 棟 (243㎡)、 灌水資材、防虫資材等	1,655,500	827,000																										
	(メロン・ストック・アスパラガス・里 芋・赤かぶ) パイプハウス 8 棟 (2,133 ㎡)、循環扇資材、里芋毛羽取り機等	16,066,870	7,967,000																										
事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額																										
2 団体	(メロン) ①再整備：パイプハウス 8 棟 灌水設備 4 棟 ②改修：パイプハウス 17 棟	18,777,000	9,388,000																										
	(ナス・メロン・アスパラガス・いちご・ ランキュラス・ケイトウ) ①再整備：パイプハウス 4 棟 ②改修：パイプハウス 26 棟	9,053,000	4,180,000																										
備 考	<p>○主な特定財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (国) 4,522,000円 魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金 (県) 19,004,000円</p>																												

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課												
事 業 名	産地生産基盤パワーアップ事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	7,288,000	7,272,000	0	16,000	99.8%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	7,272,000	0	0	0												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	23,850,000	21,984,000	△14,712,000														
	目 的 ・ 趣 旨																
	堆肥の実証的な活用による土づくりを支援することで、産地の生産基盤を強化し作物の収量・品質を向上させて高収益化と複合経営の推進を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 産地生産基盤パワーアップ事業（生産基盤強化対策事業） 地力を増進させることにより、収量や品質の向上を図ることを目的として堆肥の実証的な活用による土づくりへ支援を行った。</p> <p>(補助対象) ・ 農業者、農業者の組織する団体等</p> <p>(補助要件) ・ 堆肥施用前後に土壌分析を行うこと ・ 家畜排せつ物を原料とする堆肥またはペレット堆肥を使用すること</p> <p>(補助対象経費) ・ 堆肥等の購入・運搬・散布等に係る経費 ・ 堆肥施用前後の土壌及び作物体の分析に係る費用</p> <p>(補助率) ・ 対象経費の所要額 ただし実施面積に単価（堆肥：30,000円/10a、ペレット堆肥：35,000円/10a）を乗じた額を上限とする。</p> <p>○事業実績・説明 ・ 生産基盤強化対策事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作物</th> <th>主な実施内容</th> <th>対象面積（a）</th> <th>補助金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稲</td> <td>・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析</td> <td>2570.6</td> <td>6,756,000</td> </tr> <tr> <td>園芸作物（メロン・アスパラガス等）</td> <td>・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析</td> <td>725.4</td> <td>516,000</td> </tr> </tbody> </table>					作物	主な実施内容	対象面積（a）	補助金額（円）	水稲	・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析	2570.6	6,756,000	園芸作物（メロン・アスパラガス等）	・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析	725.4	516,000
作物	主な実施内容	対象面積（a）	補助金額（円）														
水稲	・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析	2570.6	6,756,000														
園芸作物（メロン・アスパラガス等）	・ 家畜ふん堆肥等の施用 ・ 堆肥施用前後の土壌分析	725.4	516,000														
備 考	○主な特定財源 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（県）				7,272,000円												

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 —
事 業 名	農業経営緊急対策支援事業 【新規 事業】			
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③
	222,256,000	182,342,479	0	39,913,521
	執行率②/①			
	82.0%			
	支出済額②の財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
	178,730,846	1,747,637	0	0
	一般財源			
	1,863,996			
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)
	—	—	—	
	目 的 ・ 趣 旨			
	原油や農業資材の高騰、米価下落による影響を受けた農業者に対して、米・大豆等の価格差を補てんする積立金への支援や、農業経営収入保険への加入及び水稲や園芸作物に係る生産資材相当費への支援を行い、農業経営への影響を緩和し、安定経営を図る。			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 農業経営緊急対策負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 原油価格・物価高騰等により、農業経営が逼迫していることから、農業経営のセーフティネットであるナラシ対策積立金の一部を助成するため、酒田市農業再生協議会に負担金を支払った。 補助率等：令和4年度ナラシ対策加入時積立額の1/3 申請件数：631件 負担金額：72,112,834円（事務経費含む） <p>(2) 肥料高騰対策負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 原油価格・物価高騰等により肥料価格も高騰しており、営農継続に不安を抱える状況となっていることから、肥料費の一部を助成するため、酒田市農業再生協議会に負担金を支払った。 補助率等：1,000円/10aを上限に支援 申請件数：1,345件 負担金額：82,837,133円（事務経費含む） <p>(3) 収入保険加入支援緊急対策補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 米価下落や資材高騰による農業経営のひっ迫を理由に保険加入が停滞しないよう保険料の掛捨て部分について支援した。 補助率等：新規加入者…50,000円または掛捨て保険料実費のいずれか低い方 継続加入者…30,000円または掛捨て保険料実費のいずれか低い方 新規加入者…96人 3,667,580円 継続加入者…164人 4,670,932円 合計 260人 8,338,512円 <p>(4) 農業生産資材価格高騰対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産資材価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、農業生産資材相当費の一部を支援した。 補助率等：農業生産資材相当費の10% 申請者数：584件 補助金額：19,054,000円 			
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）178,730,846円 収入保険新規加入緊急奨励金（県）1,747,637円</p>			

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課																																						
事 業 名	経営所得安定対策等運営事業 【継続 事業】																																									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																					
	20,548,000	20,548,000	0	0	100.0%																																					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																					
	0	20,548,000	0	0	0																																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																						
	20,409,000	20,409,000	139,000																																							
	目 的 ・ 趣 旨																																									
	米の「生産の目安」に基づく作付推進を図るため県の補助金を活用し、状況確認や周知徹底等の実効性を確保する。また、産地交付金の設定・作付確認等を展開し、国から直接支払われる交付金の活用により新規需要米や高収益作物への転換を促進する。																																									
事 務 概 要	<p>○事業内容 酒田市農業再生協議会が行う、米の「生産の目安」（米需給調整）の算定・提示に関する事務及び経営所得安定対策等の実施に必要な地域段階での推進活動や要件確認等に要する以下の活動を支援した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 米需給調整事務 2,406,000円 ・米の「生産の目安」の算定・提示及び地域全体への周知徹底 ・生産の目安の達成状況確認 ・水稻生産実施計画書の電算処理等 (2) 経営所得安定対策等事務 18,142,000円 ・経営所得安定対策等の普及・推進活動 ・「水田収益力強化ビジョン」の作成 ・産地交付金の要件設定・確認等</p> <p>【経営所得安定対策等の申請状況】 ・交付申請件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>経営形態</th> <th>個人</th> <th>法人</th> <th>団体</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,540件</td> <td>56件</td> <td>10件</td> <td>1,606件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,475件</td> <td>55件</td> <td>10件</td> <td>1,540件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,412件</td> <td>58件</td> <td>8件</td> <td>1,478件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,333件</td> <td>58件</td> <td>9件</td> <td>1,400件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各交付金の交付対象面積及び交付額（国から農家へ直接支払われる推定額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付金区分</th> <th>対象面積 (ha)</th> <th>交付額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田活用の直接支払交付金</td> <td>6,644.6</td> <td>1,914,821</td> </tr> <tr> <td>畑作物の直接支払交付金</td> <td>725.6</td> <td>138,159</td> </tr> <tr> <td>収入減少影響緩和対策交付金</td> <td>—</td> <td>477,270</td> </tr> </tbody> </table>					経営形態	個人	法人	団体	合計	令和元年度	1,540件	56件	10件	1,606件	令和2年度	1,475件	55件	10件	1,540件	令和3年度	1,412件	58件	8件	1,478件	令和4年度	1,333件	58件	9件	1,400件	交付金区分	対象面積 (ha)	交付額 (千円)	水田活用の直接支払交付金	6,644.6	1,914,821	畑作物の直接支払交付金	725.6	138,159	収入減少影響緩和対策交付金	—	477,270
経営形態	個人	法人	団体	合計																																						
令和元年度	1,540件	56件	10件	1,606件																																						
令和2年度	1,475件	55件	10件	1,540件																																						
令和3年度	1,412件	58件	8件	1,478件																																						
令和4年度	1,333件	58件	9件	1,400件																																						
交付金区分	対象面積 (ha)	交付額 (千円)																																								
水田活用の直接支払交付金	6,644.6	1,914,821																																								
畑作物の直接支払交付金	725.6	138,159																																								
収入減少影響緩和対策交付金	—	477,270																																								
備 考	○主な特定財源 経営所得安定対策等推進事業費補助金（県） 18,142,000円 米需給調整推進費補助金（県） 2,406,000円																																									

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属	R4 農林水産部農政課 R3 農林水産部農政課						
事 業 名	スマート農業推進事業				【 継 続 事 業 】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	9,336,000	9,253,800	0	82,200	99.1%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	4,626,900	0	0	2,500,000	2,126,900						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	9,238,000	8,847,400	406,400								
	目 的 ・ 趣 旨										
	勘や経験による技術継承ではなく、水稻作業のすべての工程について、必要性・効果を実証し、知識や科学的根拠に基づいた農業を実践できる人材を育成する。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業実績</p> <p>(1) 新規就農者育成プログラム実施委託料 7,466,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者や農業に興味のある方を対象に水稻栽培の基礎知識の習得や目的に応じたカリキュラムを通して米作りの担い手を育成する「もっけ田農学校」を運営した。 令和3年10月から受講を開始した第1期生11名が、1年半の研修期間を終了した。 <ul style="list-style-type: none"> 受講生 : 11人 (うち女性1人) 研修内容 : 令和3年度 (10月～3月) 座学24回 令和4年度 (4月～9月) 座学12回、実習12回、現地視察3回 令和4年度 (10月～3月) 座学25回、実習10回 <p>(2) スマート農業推進事業委託料 1,089,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業及び土づくりの必要性や、本市がこれまで行ってきた実証事業の成果等を農業者に直接伝えることにより普及・啓発を加速させるための研修会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 開催数 : 17回 受講者数 : 125人 <p>(3) スマート農業推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業活用支援 98,000円 ほ場に係るリモートセンシングの活用並びに土壌の調査及び分析を支援した。 交付件数 : 3件 (土壌分析のみ) 補助率 : 4,000円/10a (土壌分析のみの場合は2,000円/1ほ場) 産業用無人ヘリコプターオペレーター養成支援 600,000円 市内農地における病害虫防除を目的に稼働する産業用無人ヘリコプターのオペレーター資格の取得を支援した。 交付件数 : 2件 補助率 : 事業費の1/2 										
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>地方創生推進交付金 (国)</td> <td>4,626,900円</td> </tr> <tr> <td>さかた応援基金繰入金</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>企業版ふるさと納税寄附金</td> <td>1,900,000円</td> </tr> </table>					地方創生推進交付金 (国)	4,626,900円	さかた応援基金繰入金	600,000円	企業版ふるさと納税寄附金	1,900,000円
地方創生推進交付金 (国)	4,626,900円										
さかた応援基金繰入金	600,000円										
企業版ふるさと納税寄附金	1,900,000円										

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	7 目 地域農業生産対策費	所 属 R4 農林水産部農政課 R3 —																		
事 業 名	さかた農業生産性向上支援事業 【新規 事業】																					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③																		
	15,000,000	14,509,180	0	490,820																		
	執行率②/①																					
	96.7%																					
	支出済額②の財源内訳																					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他																		
	7,214,475	0	0	0																		
	一般財源																					
	7,294,705																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																		
	—	—	—																			
	目 的 ・ 趣 旨																					
	土づくりを通じた売れる米づくりの推進及び生産性向上を図ることで複合経営の推進を目的とした交付金を酒田市農業再生協議会に交付し、同協議会の実施する支援事業により、農業経営の安定化を図る。																					
事 務 概 要	<p>○事業内容 農業産出額を増加させ、農業経営の安定化を図るため、地域農業の振興を目的とした関連団体で構成された酒田市農業再生協議会に本負担金を支出し、各構成団体の知見と協力を得て、より実践的な支援を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田型土づくり特別対策事業費補助金 酒田市農業再生協議会が提示している「生産の目安」に協力していることを要件として、主食用米の作付を予定している圃場において、ケイ酸質を含む肥料の施用に対して、予算の範囲内で面積あたりの単価による支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 農業者（販売農家）、農業協同組合、農業者の組織する団体等 補助金額 1,000円/10a を上限に交付 交付実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請者数</th> <th>申請面積</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>296人</td> <td>842ha</td> <td>8,427,300円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 園芸生産性向上支援事業 生産性向上を図るための施設整備や機械導入に係る経費に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 認定農業者及び農業者団体等 補助金額 ①重点品目の取組 事業費（300千円以上）の1/3以内、上限額500千円 ②重点品目以外の取組 事業費（300千円以上）の1/4以内、上限額300千円 要件等 重点品目は本市で特に生産振興、産地化を図る品目とする。 交付実績 <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(重点品目) 6個人8団体</td> <td>パイプハウス、動カマルチ張り機、重量選別機、土壌消毒機、防霜スプリンクラー、肥料散布機、灌水設備、防虫資材、遮光資材等</td> <td>15,289,699</td> <td>5,065,000</td> </tr> <tr> <td>(重点品目以外) 1個人3団体</td> <td>遮光資材、防寒資材、防虫資材、スピードスプレイヤー</td> <td>8,177,842</td> <td>1,005,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補助金交付に係る振込手数料 計11,880円</p>				申請者数	申請面積	補助金額	296人	842ha	8,427,300円	事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	(重点品目) 6個人8団体	パイプハウス、動カマルチ張り機、重量選別機、土壌消毒機、防霜スプリンクラー、肥料散布機、灌水設備、防虫資材、遮光資材等	15,289,699	5,065,000	(重点品目以外) 1個人3団体	遮光資材、防寒資材、防虫資材、スピードスプレイヤー	8,177,842	1,005,000
申請者数	申請面積	補助金額																				
296人	842ha	8,427,300円																				
事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額																			
(重点品目) 6個人8団体	パイプハウス、動カマルチ張り機、重量選別機、土壌消毒機、防霜スプリンクラー、肥料散布機、灌水設備、防虫資材、遮光資材等	15,289,699	5,065,000																			
(重点品目以外) 1個人3団体	遮光資材、防寒資材、防虫資材、スピードスプレイヤー	8,177,842	1,005,000																			
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 7,214,475円																					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課
事 業 名	土地改良負担事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	298,685,317	298,627,666	0	57,651	99.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	272,500,000	4,480,516	21,647,150
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	429,513,000	429,333,152	△130,705,486		
	目 的 ・ 趣 旨				
	農地や用排水施設などを整備することにより米生産の効率化や省力化、高収益な園芸作物などを取り入れた複合経営が促進され、農業算出額の増加に寄与する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 県営、国営及び団体営で実施される土地改良事業に要する経費について、県、国、市及び農家で応分の負担をした。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>1. 県営事業分担金 288,082千円</p> <p>(1) 坂野辺地区 経営体育成基盤整備事業 (2) 円能寺・沖地区 経営体育成基盤整備事業 (3) 日向中部地区 経営体育成基盤整備事業 (4) 広野地区 農業水利施設保全合理化事業 (5) 町堰地区 県営かんがい排水事業 (6) 北平田地区 県営かんがい排水事業 (7) 上郷地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業 (8) 日向川北部地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業 (9) 庄内砂丘地区 農村地域防災減災事業 (10) 京田川地区 農村地域防災減災事業 (11) 本溝地区 農村地域防災減災事業 (12) 柳沢地区 農村地域防災減災事業 (13) 金谷地区 農村地域防災減災事業 (14) 茨野地区 農村地域防災減災事業 (15) 赤川地区 国営造成施設県管理費補助事業 (赤川頭首工) (16) 最上川下流右岸地区 基幹水利施設管理事業 (平沢揚水機場) (17) 最上川下流右岸2地区 基幹水利施設管理事業 (導水幹線用水路) (18) 最上川下流地区 基幹水利施設管理事業 (北楯頭首工) (19) 赤川2地区 基幹水利施設管理事業 (赤川幹線用水路) (20) 最上川下流右岸地区 基幹水利施設管理事業 (整備補修) (21) 最上川下流右岸2地区 基幹水利施設管理事業 (整備補修) (22) 最上川下流地区 基幹水利施設管理事業 (整備補修)</p> <p>2. 団体営事業分担金 5,586千円</p> <p>(23) 最上川2地区 農地耕作条件改善事業・水利施設ストックマネジメント事業 (24) 日向川3地区 農業水路等長寿命化・防災減災事業 (25) 日向川4地区 農地耕作条件改善事業 (26) 上堰第一地区 水利施設ストックマネジメント事業</p> <p>3. 国営事業分担金 4,936千円</p> <p>(27) 国営赤川二期地区かんがい排水事業</p>				
備 考	<p>○主な特定財源 受益者分担金 4,474,327円、公共事業等債(市債) 150,000,000円 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(市債) 64,200,000円 一般補助施設整備等事業債(市債) 58,300,000円</p>				

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																										
事 業 名	小規模土地改良補助事業				【 継 続 事 業 】																										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																										
	6,000,000	5,996,000	0	4,000	99.9%																										
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																										
	0	0	0	0	5,996,000																										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																											
	6,000,000	6,000,000	△4,000																												
	目 的 ・ 趣 旨																														
	国又は県の補助採択基準に満たない、農村地域の土地及び水利と地域住民の生活環境等の整備を推進することで、農業の生産性の向上と農村環境の改善に資する。																														
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容																														
	(1) 酒田市（単独）小規模土地改良事業費補助金																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助事業名</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・かんがい排水事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> <tr><td>・排水対策特別事業</td><td>事業費の4/10</td></tr> <tr><td>・農村環境整備事業</td><td>事業費の4/10</td></tr> <tr><td>・農道整備事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> <tr><td>・ほ場整備事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> <tr><td>・暗渠排水事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> <tr><td>・ため池改修事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> <tr><td>・災害復旧事業</td><td>事業費の2/3</td></tr> <tr><td>・その他の事業</td><td>事業費の1/3</td></tr> </tbody> </table>		補助事業名	補助率	・かんがい排水事業	事業費の1/3	・排水対策特別事業	事業費の4/10	・農村環境整備事業	事業費の4/10	・農道整備事業	事業費の1/3	・ほ場整備事業	事業費の1/3	・暗渠排水事業	事業費の1/3	・ため池改修事業	事業費の1/3	・災害復旧事業	事業費の2/3	・その他の事業	事業費の1/3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・土地改良区</td></tr> <tr><td>・農業協同組合</td></tr> <tr><td>・集落自治会</td></tr> <tr><td>・生産組合</td></tr> <tr><td>・その他適当と認めるもの</td></tr> </tbody> </table>			事業主体	・土地改良区	・農業協同組合	・集落自治会	・生産組合	・その他適当と認めるもの
補助事業名	補助率																														
・かんがい排水事業	事業費の1/3																														
・排水対策特別事業	事業費の4/10																														
・農村環境整備事業	事業費の4/10																														
・農道整備事業	事業費の1/3																														
・ほ場整備事業	事業費の1/3																														
・暗渠排水事業	事業費の1/3																														
・ため池改修事業	事業費の1/3																														
・災害復旧事業	事業費の2/3																														
・その他の事業	事業費の1/3																														
事業主体																															
・土地改良区																															
・農業協同組合																															
・集落自治会																															
・生産組合																															
・その他適当と認めるもの																															
	○事業実績・説明																														
	かんがい排水施設の新設又は更新などの事業に対し補助を行った。																														
	<ul style="list-style-type: none"> ・日向川土地改良区 かんがい排水事業 8 箇所、農村環境整備事業 2 箇所、災害復旧事業 1 箇所 その他の事業 2 箇所 ・庄内赤川土地改良区 かんがい排水事業 1 箇所 ・浜中広岡土地改良区 その他の事業 1 箇所 ・大町溝土地改良区 かんがい排水事業 2 箇所、農村環境整備事業 1 箇所 ・最上川土地改良区 かんがい排水事業 2 箇所、その他の事業 1 箇所 																														
備 考																															

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課	
事 業 名	多面的機能支払事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	564,477,000	564,475,869	0	1,131	99.9%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	423,881,888	0	0	140,593,981	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	552,922,000	552,920,784	11,555,085			
	目 的 ・ 趣 旨					
	水路、農道及びため池等の地域資源の保安全管理を行うための共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 水路、農道及びため池等の地域資源の保安全管理を行うための共同活動を支援する措置として、多面的機能発揮促進事業に関する計画の認定を受けた組織に対して、活動の実施を図るために交付金を交付し、活動組織に指導や助言を行った。					
	○事業実績・説明					
	(1) 多面的機能支払支援交付金 (活動組織への交付) 562,375,869円					
	・ 農地維持支払 水路・農道等の草刈りや泥上げ等の基礎的保全活動					
	・ 資源向上支払 (共同活動) 水路・農道等の初期補修や農村環境美化活動 (清掃、植栽) 等					
	・ 資源向上支払 (長寿命化) 老朽化した水路・農道等の計画的な補修					
	・ 取組面積 1,035,896 a					
	(農地維持支払交付に係る面積 田999,460 a、畑36,436 a)					
	・ 取組実績					
				多面的機能支払交付金単価 (単位：円/10a)		
	事 業	組織数	交付金 (円)	田	畑	草地
	農地維持支払	49	306,672,200	3,000	2,000	250
	資源向上支払 (共同活動)	47	153,257,394	1,500	900	150
	資源向上支払 (長寿命化)	19	102,446,275	4,400	2,000	400
	合 計		562,375,869			
	負担割合 国1/2 県1/4 市1/4					
	※資源向上支払 (共同活動) の単価は、5年継続組織の場合					
	※資源向上支払 (長寿命化) の単価は、広域活動組織の要件を満たす場合					
	(2) 多面的機能支払推進交付金					
	活動組織に対する指導や助言に関する費用の支出 2,100,000円					
備 考	○主な特定財源		多面的機能支払事業交付金 (県)	423,881,888円		

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																																																																
事 業 名	地籍調査事業				【 継 続 事 業 】																																																																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																
	25,570,000	25,104,862	0	465,138	98.2%																																																																
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																
	0	16,930,500	0	0	8,174,362																																																																
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																	
	22,198,000	21,892,191	3,212,671																																																																		
	目 的 ・ 趣 旨																																																																				
	国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図り、土地に関する最も基礎的な情報を整備する。																																																																				
事 務 概 要	<p>○事業内容 本事業は対象地区ごとに2年工程で実施しているが、1年目工程地区は、一筆ごとの土地調査（所有者・地番・地目・境界・面積等）と測量などを実施し確定した境界・面積等の情報を地図（地籍図）・簿冊（地籍簿）に取りまとめた。 2年目工程地区では、その成果を法務局に送付し、地図・登記簿の改訂を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">地区名</th> <th rowspan="2">字名</th> <th rowspan="2">調査面積 (km²)</th> <th colspan="2">筆数</th> <th rowspan="2">所有者数</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> <tr> <th>調査前</th> <th>調査後</th> <th>1年目 工程</th> <th>2年目 工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>北俣</td> <td>西沢</td> <td>0.39</td> <td>128</td> <td>137</td> <td>103</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生石</td> <td>二ツ山 十二ノ木 大森山</td> <td>0.35</td> <td>642</td> <td>249</td> <td>61</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>生石</td> <td>大森山 奥山</td> <td>0.28</td> <td>678</td> <td>185</td> <td>58</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北俣</td> <td>西沢</td> <td>0.38</td> <td>128</td> <td>137</td> <td>103</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>北俣</td> <td>土沢</td> <td>0.44</td> <td>193</td> <td>185</td> <td>66</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生石</td> <td>大森山 奥山</td> <td>0.28</td> <td>678</td> <td>185</td> <td>58</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※便宜上、所有者数は共有地でも1人としている。 ※1年目工程では、三角測量、一筆地調査、細部測量、一筆地測量等を実施した。 ※2年目工程では、地積測定、地籍図（複図）・地籍簿の作成作業等を実施した。</p>					年度	地区名	字名	調査面積 (km ²)	筆数		所有者数	内容		調査前	調査後	1年目 工程	2年目 工程	R2	北俣	西沢	0.39	128	137	103	○		生石	二ツ山 十二ノ木 大森山	0.35	642	249	61		○	R3	生石	大森山 奥山	0.28	678	185	58	○		北俣	西沢	0.38	128	137	103		○	R4	北俣	土沢	0.44	193	185	66	○		生石	大森山 奥山	0.28	678	185	58		○
年度	地区名	字名	調査面積 (km ²)	筆数						所有者数	内容																																																										
				調査前	調査後	1年目 工程	2年目 工程																																																														
R2	北俣	西沢	0.39	128	137	103	○																																																														
	生石	二ツ山 十二ノ木 大森山	0.35	642	249	61		○																																																													
R3	生石	大森山 奥山	0.28	678	185	58	○																																																														
	北俣	西沢	0.38	128	137	103		○																																																													
R4	北俣	土沢	0.44	193	185	66	○																																																														
	生石	大森山 奥山	0.28	678	185	58		○																																																													
備 考	○主な特定財源 地籍調査事業費県補助金（県） 16,930,500円																																																																				

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課
事 業 名	森林経営管理推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	107,111,000	105,853,743	0	1,257,257	98.8%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	48,408,852	57,444,891
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	46,152,000	44,388,815	61,464,928		
	目 的 ・ 趣 旨				
	林業経営の効率化と森林管理の適正化の促進を一体的に図り、森林の経営や管理が適切に行われていない森林について、森林所有者と民間事業者をつなぐことで、林業の持続的発展及び森林の多面的機能の発揮に資する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>森林の適切な管理は、災害防止や地球温暖化防止に貢献するが、所有者不明や境界不明確な森林も多く、その管理に多くの労力が必要となる。</p> <p>このため、森林環境譲与税を活用し、森林の経営や管理が適切に行われていない森林について、森林所有者と民間事業者をつなぐこととし、まずは、意向調査準備のためのアンケート調査及び事業説明会を行った。あわせて、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発の検討を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 森林経営管理意識調査 10,076,000円 森林管理の実態・森林経営に対する所有者の意識について調査を行い、計画的な事業の推進を図ることを目的に、アンケート調査及び事業説明会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査アンケート実施 対象者1,319人 回答者950人 回答率72% 調査面積882ha ・事業説明会 2日(3回実施) <p>(2) 森林経営管理推進事業 32,205,852円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林地台帳情報更新 ・森林クラウド使用料 ・航空レーザ測量共同実施 対象面積13,836ha ・森林経営管理推進協議会の開催 <p>(3) 林業就業者支援補助金 63,000円 林業従事者が安全に作業できるよう環境整備を行った。また、林業新規就業者の確保と専門的な知識・技術の取得など人材育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規林業就業者2名への林業機械、安全装備等購入経費を補助 <p>(4) 森林整備推進事業補助金 5,433,000円 小規模の間伐及び作業道開設を行った場合に支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐面積7.37ha ・作業道679.89m <p>(5) 森林づくり促進事業 631,000円 皆伐後の下刈りに対する支援</p> <p>(6) 森林経営管理推進基金積立 57,444,891円 森林整備事業等を実施するため、森林環境譲与税を基金に積み立てた。</p>				
備 考	○主な特定財源 森林経営管理推進基金繰入金 48,408,852円				

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課					
事 業 名	さかた型地域材利活用推進事業				【 継 続 事 業 】					
予算現額①	9,436,000	支出済額②	9,252,783	翌年度繰越額③	0	不用額①-②-③	183,217	執行率②/①	98.1%	
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
国庫支出金	0	県支出金	2,020,000	市債	0	その他	0	一般財源	7,232,783	
前年度予算現額	10,012,000	前年度支出済額④	9,440,610	差額②-④	△187,827	(単位：円)				
目 的 ・ 趣 旨										
森林の有する公益的機能の発揮と地域経済の活性化のため、川上（素材生産業者等）から川中（製材）及び川下（建築関係者等）がネットワークを組織し、市民への酒田産木材の認知度向上を図るなどし、酒田産木材の利用促進を図る。										
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容									
	(1) さかたの家づくり利子補給 新築住宅に地域材を使用した場合、住宅ローン（固定金利）に利子補給を実施した。									
	(2) さかた木づかいネットワーク事業 川上から川下までのネットワーク組織（構成団体：17団体）による、市民向けの家づくり相談会等の実施に支援した。									
	(3) 地域産材を活用した額縁作成 地域材を使用して額縁を作成し、敬老寿賀表彰において積極的に使用しPRを行った。									
	○事業実績・説明									
	年度	事業名	事業費 (円)	特定財源	件数 (件)	使用材積 (㎡)				
	R 1	さかたの家づくり利子補給	3,132,130	-	5	65.7				
		地域材利活用普及事業	1,500,000	-	15	201.0				
		さかた木づかいネットワーク事業	2,355,000	県支出金	-	-				
		地域材を活用した額縁	6,048,432	繰入金	1,436	-				
地域材を活用した記念品		0	-	16	-					
R 2	さかたの家づくり利子補給	3,096,992	-	0	0					
	地域材利活用普及事業	4,089,000	国庫支出金	21	164.1					
	さかた木づかいネットワーク事業	2,000,000	県支出金	-	-					
	地域材を活用した額縁作成	5,019,300	-	1,170	-					
R 3	さかたの家づくり利子補給（既存のみ）	2,931,810	-	-	-					
	さかた木づかいネットワーク事業	1,536,000	県支出金	-	-					
	地域材を活用した額縁作成	4,590,300	-	1,070	-					
	試作品の製作（木製カゴ）	82,500	-	3	-					
R 4	さかたの家づくり利子補給（既存のみ）	2,732,573	-	-	-					
	さかた木づかいネットワーク事業	2,020,000	県支出金	-	-					
	地域材を活用した額縁作成	4,500,210	-	1,049	-					
備 考	○主な特定財源 みどり豊かな森林環境づくり推進事業交付金（県） 2,020,000円									

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課														
事 業 名	林道整備事業				【 継 続 事 業 】														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①														
	57,022,000	56,819,400	0	202,600	99.6%														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源														
	0	0	56,800,000	0	19,400														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)															
	32,940,000	32,938,400	23,881,000																
	目 的 ・ 趣 旨																		
	大型の林業機械の通行に支障があるなど木材搬出等が困難または非効率な林道において改良整備を実施し、森林事業の効率化及び生産性の向上を図る。																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 通行に支障があり木材搬出が困難な林道において改良工事を実施し整備した。</p> <p>林道改良整備工事 4路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林道大蕨赤剥線 L = 148m ・ 林道相掛沢線 L = 63m ・ 林道沢山線 L = 18m ・ 林道内山線 L = 223m <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業箇所</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和4年度林道整備事業 大蕨赤剥線ほか改良整備 工事</td> <td rowspan="3">赤剥地内ほか</td> <td>【林道大蕨赤剥線】 法面工 A=408.9㎡ 擁壁工 一式 排水構造物工 一式 舗装工 A=130.1㎡</td> <td rowspan="3">24,351,800円</td> </tr> <tr> <td>【林道相掛沢線】 法面工 A=158.0㎡ 擁壁工かご工 L=38.0m 排水構造物工 一式</td> </tr> <tr> <td>【林道沢山線】 法面工 A=135.8㎡ 護岸工かご工 L=100.0m 舗装工 A=63.2㎡</td> </tr> <tr> <td>令和4年度林道整備事業 林道内山線改良整備工事</td> <td>山寺地内</td> <td>【林道内山線】 法面工 A=65.0㎡ 擁壁工 L=98.0m 排水構造物工 一式 舗装工 A=973.9㎡</td> <td>32,467,600円</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	事業箇所	事業内容	事業費	令和4年度林道整備事業 大蕨赤剥線ほか改良整備 工事	赤剥地内ほか	【林道大蕨赤剥線】 法面工 A=408.9㎡ 擁壁工 一式 排水構造物工 一式 舗装工 A=130.1㎡	24,351,800円	【林道相掛沢線】 法面工 A=158.0㎡ 擁壁工かご工 L=38.0m 排水構造物工 一式	【林道沢山線】 法面工 A=135.8㎡ 護岸工かご工 L=100.0m 舗装工 A=63.2㎡	令和4年度林道整備事業 林道内山線改良整備工事	山寺地内	【林道内山線】 法面工 A=65.0㎡ 擁壁工 L=98.0m 排水構造物工 一式 舗装工 A=973.9㎡	32,467,600円
事業名	事業箇所	事業内容	事業費																
令和4年度林道整備事業 大蕨赤剥線ほか改良整備 工事	赤剥地内ほか	【林道大蕨赤剥線】 法面工 A=408.9㎡ 擁壁工 一式 排水構造物工 一式 舗装工 A=130.1㎡	24,351,800円																
		【林道相掛沢線】 法面工 A=158.0㎡ 擁壁工かご工 L=38.0m 排水構造物工 一式																	
		【林道沢山線】 法面工 A=135.8㎡ 護岸工かご工 L=100.0m 舗装工 A=63.2㎡																	
令和4年度林道整備事業 林道内山線改良整備工事	山寺地内	【林道内山線】 法面工 A=65.0㎡ 擁壁工 L=98.0m 排水構造物工 一式 舗装工 A=973.9㎡	32,467,600円																
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 56,800,000円																		

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課
事 業 名	森林病虫害等対策事業				【 継 続 事 業 】
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
78,401,000	77,746,626	0	654,374	99.2%	
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0	50,492,266	0	27,119,395	134,965	
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
23,175,000	23,165,720	54,580,906			
目 的 ・ 趣 旨					
防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂防林と出羽丘陵地帯の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県と連携しながら松くい虫防除と被害木の伐倒駆除を行う。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林と出羽丘陵地帯の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県と連携しながら松くい虫防除と被害木の伐倒駆除を行った。				
	○事業実績・説明				
	事業名 (事業箇所)	事業箇所	事業量	事業費	
	森林病虫害等防除事業 (海岸林地上散布)	宮海地内ほか	93ha	10,989,000円	
	松くい虫防除事業 (地上散布)	山寺地内ほか	12ha	1,232,000円	
	保全松林健全化整備事業 (衛生伐)	浜中地内ほか	3,657本 2,632m ³	60,879,500円	
	松くい虫防除事業 (秋季特別伐倒駆除)	市条地内ほか	85本 129m ³	3,245,000円	
	松くい虫被害木活用事業 (森林区域外)	高砂地内	14本 20m ³	427,900円	
計		105ha 2,781m ³	76,773,400円		
備考	○主な特定財源 森林施業支援事業費補助金(県) 42,250,516円 森林病虫害等防除事業補助金(県) 8,241,750円 風力発電事業地域未来創造基金繰入金 27,119,395円				

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課
事 業 名	アメリカシロヒトリ駆除対策事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	5,659,000	5,085,260	0	573,740	89.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,085,260
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	6,504,000	6,190,034	△1,104,774		
	目 的 ・ 趣 旨				
	昭和47年に本市で発生以来、緑の大敵であるアメリカシロヒトリの蔓延を防止し、対応を図るため駆除対策を行う。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 発生樹木の所有者（管理者）の「自主駆除」の徹底を基本としながら、駆除事業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地本部開設期間 令和4年5月24日～9月30日 ・ 電話相談件数 307件 ・ 現地確認箇所 183箇所 <p>(2) 市街地地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除作業期間 令和4年5月24日～7月30日 ・ 駆除作業実績 244件 ・ 電話相談期間 令和4年8月1日～9月30日 ・ 電話相談受付 63件 <p>(3) 旧公民館地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防除・駆除作業期間 令和4年5月28日～7月3日 ・ 稼働箇所 132箇所 <p>(4) 総合支所地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤使用箇所 2総合支所（20本） 				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																																																																					
事 業 名	森林ボランティア育成事業				【 継 続 事 業 】																																																																					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																					
	1,222,000	639,200	0	582,800	52.3%																																																																					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																					
	0	596,300	0	0	42,900																																																																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																						
	1,260,000	855,979	△216,779																																																																							
	目 的 ・ 趣 旨																																																																									
	万里の松原や砂防林など、市民に身近な森林を守るボランティア活動を支援する。市民の森林の多面的機能への関心を高め、森林環境教育を推進するとともに、森林環境の保全に寄与する。																																																																									
事 務 概 要	<p>○事業内容 市民自らの手で森林を守ることの大切さを普及、浸透していくため、ボランティアによる森林整備や清掃活動を推進し、学校や地域団体等の行う森林・自然環境学習について支援した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 酒田市主催事業 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>実施箇所</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山をきれいにしてウォーキング</td> <td>4月16日</td> <td>万里の松原</td> <td>ゴミ拾い、清掃活動</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">光ヶ丘松林整備ボランティア</td> <td>6月25日</td> <td>万里の松原</td> <td>下刈、清掃活動</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>9月24日</td> <td>万里の松原</td> <td>下刈、清掃活動</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>砂防林を育てよう</td> <td>11月12日</td> <td>飯森山西地区</td> <td>枝打ち、つる切り</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>662</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 森林整備活動状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動組織名</th> <th>実施日</th> <th>実施箇所</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立酒田光陵高等学校</td> <td>6月16日</td> <td>万里の松原・光ヶ丘公園</td> <td>ゴミ拾い、清掃活動</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td>花王(絆の森)</td> <td>6月25日</td> <td>花王の森おおはま</td> <td>ゴミ拾い・下刈り</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>浜中小学校</td> <td>9月21日</td> <td>浜中地内</td> <td>除伐・枝打ち</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>酒田第一中学校</td> <td>9月30日</td> <td>大浜地内</td> <td>除伐・つる切り</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>花王(絆の森)</td> <td>10月15日</td> <td>花王の森おおはま</td> <td>ゴミ拾い・下刈り</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>松陵小学校</td> <td>11月14日</td> <td>大浜地内</td> <td>除伐・つる切り</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>1,068</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数	山をきれいにしてウォーキング	4月16日	万里の松原	ゴミ拾い、清掃活動	123	光ヶ丘松林整備ボランティア	6月25日	万里の松原	下刈、清掃活動	260	9月24日	万里の松原	下刈、清掃活動	122	砂防林を育てよう	11月12日	飯森山西地区	枝打ち、つる切り	157	計				662	活動組織名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数	県立酒田光陵高等学校	6月16日	万里の松原・光ヶ丘公園	ゴミ拾い、清掃活動	787	花王(絆の森)	6月25日	花王の森おおはま	ゴミ拾い・下刈り	42	浜中小学校	9月21日	浜中地内	除伐・枝打ち	23	酒田第一中学校	9月30日	大浜地内	除伐・つる切り	119	花王(絆の森)	10月15日	花王の森おおはま	ゴミ拾い・下刈り	27	松陵小学校	11月14日	大浜地内	除伐・つる切り	70	計				1,068
事業名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数																																																																						
山をきれいにしてウォーキング	4月16日	万里の松原	ゴミ拾い、清掃活動	123																																																																						
光ヶ丘松林整備ボランティア	6月25日	万里の松原	下刈、清掃活動	260																																																																						
	9月24日	万里の松原	下刈、清掃活動	122																																																																						
砂防林を育てよう	11月12日	飯森山西地区	枝打ち、つる切り	157																																																																						
計				662																																																																						
活動組織名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数																																																																						
県立酒田光陵高等学校	6月16日	万里の松原・光ヶ丘公園	ゴミ拾い、清掃活動	787																																																																						
花王(絆の森)	6月25日	花王の森おおはま	ゴミ拾い・下刈り	42																																																																						
浜中小学校	9月21日	浜中地内	除伐・枝打ち	23																																																																						
酒田第一中学校	9月30日	大浜地内	除伐・つる切り	119																																																																						
花王(絆の森)	10月15日	花王の森おおはま	ゴミ拾い・下刈り	27																																																																						
松陵小学校	11月14日	大浜地内	除伐・つる切り	70																																																																						
計				1,068																																																																						
備 考	○主な特定財源 みどり豊かな森林環境づくり推進事業交付金(県) 596,300円																																																																									

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課
事 業 名	漁業就業者確保・育成支援事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	580,000	0	0	580,000	0.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,581,000	1,321,000	△1,321,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	独立経営を開始する者の漁船取得や新規漁業就業を目指し漁業研修を受講する者の転居費用や家賃に対する支援を実施し、経営や研修開始時の経済的負担の軽減を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 独立経営を開始する漁業者の漁業就業を目指し漁業研修を受講する者の転居費用及び研修期間中の家賃補助を行うものだが、令和4年度は希望者がなかった。</p> <p>(1) 転居費用に対する支援 (上限100千円/人) (2) 家賃に対する支援 (上限月20千円/人)</p> <p>○事業実績・説明 (1) 転居費用に対する支援 実績なし (2) 家賃に対する支援 実績なし</p>				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																																								
事 業 名	離島漁業再生支援事業				【 継 続 事 業 】																																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																								
	7,460,000	6,454,430	0	1,005,570	86.5%																																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																								
	0	5,382,430	0	0	1,072,000																																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																									
	7,560,000	6,278,290	176,140																																										
	目 的 ・ 趣 旨																																												
	離島は、輸送や生産資材の調達・販売面で条件不利な状況にあり、漁業者の減少や高齢化も特に進んでいることから、島の基幹産業である漁業の再生を通じて、漁業生産額の維持・向上を図る。																																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 飛島の基幹産業である漁業の再生を図るため、地域の創意工夫による漁場の生産力の向上等に関する取組みに対し支援した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 交付対象 飛島地区漁業集落（勝浦地区、中村地区、法木地区） (2) 事業費 交付金 5,272,000円 ※ 推進交付金 110,430円 一般財源 1,072,000円 ※交付金の内訳は、国の交付金4,200,000円 県費1,072,000円である。</p> <p>(3) 取組内容 ①種苗放流：4,817,240円 放流実績 (単位：尾)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アワビ</td> <td>30,000</td> <td>39,000</td> <td>39,000</td> </tr> <tr> <td>サザエ</td> <td>24,000</td> <td>24,000</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>6,000</td> <td>6000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>キジハタ</td> <td>2,100</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>②漁場の管理・改善：13,376円 ・密漁防止を啓発するのぼり旗等の購入 ③鮮度保持・ブランド化：1,031,894円 ・アワビやキジハタの活出荷、イベントでの販売促進、とびしま応援店のPRなど ④漁協委託料、役員報酬、定期船運賃等：481,490円 (参考) 漁獲量の推移 (単位：kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アワビ</td> <td>521</td> <td>172</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>サザエ</td> <td>11,592</td> <td>14,939</td> <td>16,064</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>244</td> <td>259</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>キジハタ</td> <td>206</td> <td>272</td> <td>206</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤旅費・事務費：110,430円 ・現場確認のための出張、トナー代 ※(3)①～④は再生支援交付金対象、⑤は推進交付金対象</p>					魚種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	アワビ	30,000	39,000	39,000	サザエ	24,000	24,000	24,000	ヒラメ	6,000	6000	6,000	キジハタ	2,100	3,000	3,000	魚種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	アワビ	521	172	495	サザエ	11,592	14,939	16,064	ヒラメ	244	259	197	キジハタ	206	272	206
魚種	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																										
アワビ	30,000	39,000	39,000																																										
サザエ	24,000	24,000	24,000																																										
ヒラメ	6,000	6000	6,000																																										
キジハタ	2,100	3,000	3,000																																										
魚種	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																										
アワビ	521	172	495																																										
サザエ	11,592	14,939	16,064																																										
ヒラメ	244	259	197																																										
キジハタ	206	272	206																																										
備 考	<p>○主な特定財源 離島漁業再生支援交付金(県) 5,272,000円 離島漁業再生支援推進交付金(県) 110,430円</p>																																												

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課												
事 業 名	水産多面的機能発揮対策推進事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	618,000	611,364	0	6,636	98.9%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	143,364	0	0	468,000												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	618,000	618,000	△6,636														
	目 的 ・ 趣 旨																
	環境・生態系の維持・回復など、漁業者が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援し、水産資源の維持・増大を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市と協定を締結し、水産多面的機能発揮対策事業を実施する活動組織に対し、目的達成を支援するため、活動内容や書類の確認、現地確認、事業の指導及び助言を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 酒田港藻場づくりの会 協定期間：令和3年3月18日～令和8年3月31日 酒田港大浜地区に存する藻場(6.5ha)の維持・増殖を図るため保全活動を実施。 市負担金：468,000円 事務経費：150,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>取組効果</th> <th>地域連携</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 海藻の母藻設置(22地点) 食害生物駆除(5回) (小型巻貝、ウニ) 定期モニタリング(16回) 効果調査(4回) </td> <td>22地点の内、海藻が減少した5地点を除く17地点で良好な状態を維持することができた。</td> <td>加茂水産高校、酒田光陵高校と連携し、モニタリングや、ドローンによる海岸地形の測量等を実施した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 山形県海の監視活動組織 協定期間：平成30年7月5日～令和8年3月31日 山形県沖での操業時に海上を監視し、漂流船等の異常を確認した際に、関係機関や漁業者に対し速やかに情報提供を行う体制の整備により注意喚起が図られた。 市負担金は無し。事務局は山形県漁業協同組合。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>取組効果</th> <th>地域連携</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 監視ネットワーク強化による海上監視・情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 海上の監視活動 陸上の取りまとめ </td> <td>1年を通じ操業中に延べ528回の監視活動を行い、異常の確認はなく、安全操業に貢献した。</td> <td>日報報告により漁協と漁船の連携が図られた。海上保安部、県警、自治体との連絡体制の構築が図られた。</td> </tr> </tbody> </table>					取組内容	取組効果	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 海藻の母藻設置(22地点) 食害生物駆除(5回) (小型巻貝、ウニ) 定期モニタリング(16回) 効果調査(4回) 	22地点の内、海藻が減少した5地点を除く17地点で良好な状態を維持することができた。	加茂水産高校、酒田光陵高校と連携し、モニタリングや、ドローンによる海岸地形の測量等を実施した。	取組内容	取組効果	地域連携	監視ネットワーク強化による海上監視・情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 海上の監視活動 陸上の取りまとめ 	1年を通じ操業中に延べ528回の監視活動を行い、異常の確認はなく、安全操業に貢献した。	日報報告により漁協と漁船の連携が図られた。海上保安部、県警、自治体との連絡体制の構築が図られた。
取組内容	取組効果	地域連携															
<ul style="list-style-type: none"> 海藻の母藻設置(22地点) 食害生物駆除(5回) (小型巻貝、ウニ) 定期モニタリング(16回) 効果調査(4回) 	22地点の内、海藻が減少した5地点を除く17地点で良好な状態を維持することができた。	加茂水産高校、酒田光陵高校と連携し、モニタリングや、ドローンによる海岸地形の測量等を実施した。															
取組内容	取組効果	地域連携															
監視ネットワーク強化による海上監視・情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 海上の監視活動 陸上の取りまとめ 	1年を通じ操業中に延べ528回の監視活動を行い、異常の確認はなく、安全操業に貢献した。	日報報告により漁協と漁船の連携が図られた。海上保安部、県警、自治体との連絡体制の構築が図られた。															
備 考	○主な特定財源 水産多面的機能発揮対策推進事業費補助金(県) 143,364円																

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課									
事 業 名	いか釣り漁業支援事業				【 継 続 事 業 】									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①									
	10,000,000	7,984,003	0	2,015,997	79.8%									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源									
	2,881,515	0	0	3,000,000	2,102,488									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)										
	10,000,000	9,325,670	△1,341,667											
	目 的 ・ 趣 旨													
	スルメイカは酒田港全体の漁獲の約7割を占める重要な水産物であり、安定した水揚げを確保するため、中型いか釣り船をはじめ県外船誘致も含めいか釣り漁業の振興を図る。また、いかのまち酒田の認知度向上による消費拡大を推進する。													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田港のスルメイカ水揚量を確保するため、県外船誘致も含め、いか釣り漁船に対する支援を行った。 また、いかのまち酒田の発信と酒田産食材の認知度を向上させるために立ち上げた、「いかのまち酒田戦略会議」に負担金を拠出して事業展開を図った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) いか釣り漁船への支援 ①酒田港漁業振興支援補助金 1,919,020円 交付対象：山形県漁業協同組合（段ボール箱購入補助以外の補助率は1/2） ・船凍いか収納段ボール箱購入補助 756,640円（37,832箱）</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>段ボール入</td> <td>ブロック</td> <td>水揚合計</td> <td rowspan="2">※段ボール1箱につき、 市20円、漁協10円の補助</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>37,832個</td> <td>13,753個</td> <td>51,585個</td> </tr> </table> <p>・乗組員生活環境支援（屋外風呂シャワー設置） 797,430円 ・県外船誘致対策支援（ベルトコンベア修繕） 364,950円</p> <p>(2) いかのまち酒田戦略会議実施事業 ①出航式事業 775,932円 3年ぶりに出店を伴った出航式を実施した。会場設営の委託、花束や記念品の購入、出航式PRのための広告掲載等を行った。 ②首都圏プロモーション事業 4,351,932円 いかのまち酒田をPRするため、出航式開催に合わせて料理長やバイヤー、著名人等を招聘し、産地見学会や料理講座を開催した。料理講座では地元の学生や料理人を対象にスルメイカや金華豚など地元食材の魅力の発見への気づき、産地見学会では酒田産品の販路拡大を目的とした水産物加工場や魚市場の視察と地元企業との商談を実施した。また、首都圏のスーパーマーケットであるスズキヤにて6月、8月、9月に酒田フェアを開催した。 ③いかまつり事業 196,019円 12月4日、東京で開催された「酒田ふるさと会」の総会にブース出店を行い、スルメイカ加工品を販売したほか、クラウドファンディングのPRを行った。 ④船団支援・消費拡大事業 721,934円 中型いか釣り船に対し、水揚げ回数や水揚量に応じて酒田産米つや姫を進呈した。また、商品PRのため、ポスターやのぼりを作成し、地元への周知を図った。 ⑤活イカ調査事業 6,328円 市内飲食店に活イカを活用してもらうため、講師を招き、講習会を開催した。 ⑥事務費 12,838円</p>					年度	段ボール入	ブロック	水揚合計	※段ボール1箱につき、 市20円、漁協10円の補助	R4	37,832個	13,753個	51,585個
年度	段ボール入	ブロック	水揚合計	※段ボール1箱につき、 市20円、漁協10円の補助										
R4	37,832個	13,753個	51,585個											
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国）		2,881,515円											
	さかた応援基金繰入金		3,000,000円											

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																																																							
事 業 名	栽培漁業等推進事業				【 継 続 事 業 】																																																							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																							
	2,377,000	2,069,922	0	307,078	87.1%																																																							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																											
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																							
	307,827	897,500	0	0	864,595																																																							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																								
	2,323,000	2,012,155	57,767																																																									
	目 的 ・ 趣 旨																																																											
	つくり育てる漁業を推進するため、海面及び内水面の漁業者が行う種苗放流に支援する。また、放流の際は、小学校と連携して児童が放流体験を行い、漁業を身近に感じてもらうことで、河川環境の保全意識の啓発を図る。																																																											
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 山形県漁業協同組合が行うヒラメ、トラフグの種苗放流、各内水面漁協が行うサクラマス、イワナ、モクズガニの種苗放流に支援した。小学校との連携による児童の放流体験を、新堀小学校、黒森小学校及び鳥海小学校と各内水面漁協により行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 栽培漁業地域展開促進事業 1,249,267円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種名</th> <th>放流尾数 (尾)</th> <th>平均全長 (mm)</th> <th>放流日</th> <th>放流場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ヒラメ</td> <td>25,500</td> <td>60.0</td> <td>7月26日</td> <td>十里塚</td> </tr> <tr> <td>3,000</td> <td>60.0</td> <td>7月28日</td> <td>飛島中村</td> </tr> <tr> <td>4,000</td> <td>80.0</td> <td>8月8日</td> <td>浜中</td> </tr> <tr> <td>6,000</td> <td>80.0</td> <td>9月16日</td> <td>酒田北港</td> </tr> <tr> <td>トラフグ</td> <td>9,500</td> <td>40.0</td> <td>8月10日</td> <td>酒田港</td> </tr> </tbody> </table> <p>・負担割合：県漁協 6/15、県 5/15、市 4/15</p> <p>(2) 漁業資源増殖種苗購入事業 820,655円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種名</th> <th>実施漁業協同組合</th> <th>放流尾数 (尾)</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サクラマス</td> <td>赤川漁業協同組合</td> <td>3,000</td> <td>30.0g</td> </tr> <tr> <td>両羽漁業協同組合</td> <td>3,000</td> <td>30.0g</td> </tr> <tr> <td>両羽漁業協同組合</td> <td>11,000</td> <td>2.3g</td> </tr> <tr> <td>日向荒瀬漁業協同組合</td> <td>9,500</td> <td>2.3g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イワナ</td> <td>日向荒瀬漁業協同組合</td> <td>6,500</td> <td>2.5g</td> </tr> <tr> <td>最上川第八漁業協同組合</td> <td>8,300</td> <td>3.0g</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>最上川第八漁業協同組合</td> <td>1,000</td> <td>甲幅 7.0mm</td> </tr> </tbody> </table>					魚種名	放流尾数 (尾)	平均全長 (mm)	放流日	放流場所	ヒラメ	25,500	60.0	7月26日	十里塚	3,000	60.0	7月28日	飛島中村	4,000	80.0	8月8日	浜中	6,000	80.0	9月16日	酒田北港	トラフグ	9,500	40.0	8月10日	酒田港	魚種名	実施漁業協同組合	放流尾数 (尾)	規格	サクラマス	赤川漁業協同組合	3,000	30.0g	両羽漁業協同組合	3,000	30.0g	両羽漁業協同組合	11,000	2.3g	日向荒瀬漁業協同組合	9,500	2.3g	イワナ	日向荒瀬漁業協同組合	6,500	2.5g	最上川第八漁業協同組合	8,300	3.0g	モクズガニ	最上川第八漁業協同組合	1,000	甲幅 7.0mm
魚種名	放流尾数 (尾)	平均全長 (mm)	放流日	放流場所																																																								
ヒラメ	25,500	60.0	7月26日	十里塚																																																								
	3,000	60.0	7月28日	飛島中村																																																								
	4,000	80.0	8月8日	浜中																																																								
	6,000	80.0	9月16日	酒田北港																																																								
トラフグ	9,500	40.0	8月10日	酒田港																																																								
魚種名	実施漁業協同組合	放流尾数 (尾)	規格																																																									
サクラマス	赤川漁業協同組合	3,000	30.0g																																																									
	両羽漁業協同組合	3,000	30.0g																																																									
	両羽漁業協同組合	11,000	2.3g																																																									
	日向荒瀬漁業協同組合	9,500	2.3g																																																									
イワナ	日向荒瀬漁業協同組合	6,500	2.5g																																																									
	最上川第八漁業協同組合	8,300	3.0g																																																									
モクズガニ	最上川第八漁業協同組合	1,000	甲幅 7.0mm																																																									
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>地方創生推進交付金（国）</td> <td>307,827円</td> </tr> <tr> <td>栽培漁業地域展開促進事業費補助金（県）</td> <td>692,500円</td> </tr> <tr> <td>川と海の環境保全支援事業費補助金（県）</td> <td>205,000円</td> </tr> </table>					地方創生推進交付金（国）	307,827円	栽培漁業地域展開促進事業費補助金（県）	692,500円	川と海の環境保全支援事業費補助金（県）	205,000円																																																	
地方創生推進交付金（国）	307,827円																																																											
栽培漁業地域展開促進事業費補助金（県）	692,500円																																																											
川と海の環境保全支援事業費補助金（県）	205,000円																																																											

款 項 目	6 款 農林水産業費	3 項 水産業費	2 目 水産振興費	所 属	R4 農林水産部農林水産課 R3 農林水産部農林水産課																				
事 業 名	水産業成長産業化支援事業				【 継 続 事 業 】																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																				
	12,265,000	12,135,000	0	130,000	98.9%																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																				
	2,023,500	8,088,000	0	0	2,023,500																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																					
	12,000,000	11,492,000	643,000																						
	目 的 ・ 趣 旨																								
	本市の水産業を持続し魅力ある産業にしていくとともに、漁村や内水面漁業地域の振興を図るため、漁業者等が自ら考案した多様な取組みが実施されることで漁業所得の向上を図る。																								
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>県が策定した「山形県水産振興計画」に掲げる基本的な方針に沿う、水産振興に効果が高い取組みを支援した。補助対象にする事業やメニューを詳細に規定することなく、漁業者等が行う水産振興に資する効果的な取組みを支援の対象としている（オーダーメイド型補助金）。</p> <p>(1) 補助率</p> <p>①国庫補助制度を活用できる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者団体、漁業者等：県2/10、市1/10 <p>②国庫補助制度を活用できない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者団体、漁業者等：県1/3、市1/6 ・加工流通業者等：県2/10、市1/10 <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施件数、補助金額：3件、12,135,000円（全て補助率②を適用） <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田漁業者グループA（5名）</td> <td>機関換装、集魚灯、ソナー等の購入と更新</td> <td>11,899,865円</td> <td>5,950,000円</td> </tr> <tr> <td>酒田漁業者グループB（5名）</td> <td>機関換装、水中灯、液晶魚探等の購入と更新</td> <td>11,516,430円</td> <td>5,758,000円</td> </tr> <tr> <td>新町施設利用者組合</td> <td>高圧洗浄機の購入</td> <td>854,120円</td> <td>427,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>24,270,415円</td> <td>12,135,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	酒田漁業者グループA（5名）	機関換装、集魚灯、ソナー等の購入と更新	11,899,865円	5,950,000円	酒田漁業者グループB（5名）	機関換装、水中灯、液晶魚探等の購入と更新	11,516,430円	5,758,000円	新町施設利用者組合	高圧洗浄機の購入	854,120円	427,000円	合計		24,270,415円	12,135,000円
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額																						
酒田漁業者グループA（5名）	機関換装、集魚灯、ソナー等の購入と更新	11,899,865円	5,950,000円																						
酒田漁業者グループB（5名）	機関換装、水中灯、液晶魚探等の購入と更新	11,516,430円	5,758,000円																						
新町施設利用者組合	高圧洗浄機の購入	854,120円	427,000円																						
合計		24,270,415円	12,135,000円																						
備 考	○主な特定財源		地方創生推進交付金（国）	2,023,500円																					
			水産業成長産業化支援事業費補助金（県）	8,088,000円																					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	1 目 農業委員会費	所 属	R4 農業委員会事務局 R3 農業委員会事務局
事 業 名	農業委員会報「きらり」発行事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,677,000	1,662,003	0	14,997	99.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,662,003
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,580,000	1,568,272	93,731		
	目 的 ・ 趣 旨				
	本市の農業者や消費者に対して、農業委員会活動や農業情勢・農業政策、地域の特色ある農業活動等を広く情報提供することで、酒田農業の振興と活性化を図る。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 農業委員による会報委員会を設置し、農業委員会活動や地域の特色ある農業活動等を掲載した会報を年3回発行した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 発行回数 3回(5月、9月、1月) (2) 発行部数 41,300部/1回 ・内訳(概数) 酒田 36,100部 八幡 1,800部 松山 1,300部 平田 1,900部 その他 200部 (3) 会報委員会 5回開催</p>				
備 考					

款 項 目	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	1 目 農業委員会費	所 属	R4 農業委員会事務局 R3 農業委員会事務局																																							
事 業 名	農地集積センター活動支援事業				【 継 続 事 業 】																																							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																							
	1,172,000	1,147,633	0	24,367	97.9%																																							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																											
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																							
	0	0	0	0	1,147,633																																							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																								
	1,080,000	1,067,081	80,552																																									
	目 的 ・ 趣 旨																																											
	農地集積の総合的な窓口及び農地の賃貸借に伴う参考賃借料の決定機関として設置された酒田市農地集積センターの活動を支援し、担い手への農地集積と集約化等を図る。																																											
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>酒田市農地集積センターは、本店、支店及び参考賃借料検討協議会から構成され、次の取り組みを行った。</p> <p>(1) 本店 酒田市全体の農地中間管理事業等における農地の出し手と受け手のマッチング案をまとめた。</p> <p>(2) 支店 支店の中に16の地区会議を設置し、地区単位に農地中間管理事業等における農地の出し手と受け手のマッチング案をまとめた。</p> <p>(3) 参考賃借料検討協議会 農地の賃貸借の際の指標となる参考賃借料を提供した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 本店会議 2回開催(9月、1月)</p> <p>(2) 支店地区会議 延べ30地区で開催(協議案件のある地区で開催)</p> <p>(3) 参考賃借料検討協議会 1回開催(11月)</p> <p>(4) 農地中間管理事業に係る集積(マッチング)実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">受け手登録者</th> <th colspan="3">出し手申請者</th> <th colspan="2">集積</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>累計</th> <th>人数</th> <th>筆数</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>筆数</th> <th>面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>47</td> <td>651</td> <td>180</td> <td>600</td> <td>1,334,640</td> <td>595</td> <td>1,315,199</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>34</td> <td>675</td> <td>244</td> <td>961</td> <td>2,129,666</td> <td>1,062</td> <td>2,383,502</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>675</td> <td>424</td> <td>1,561</td> <td>3,464,306</td> <td>1,657</td> <td>3,698,701</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受け手登録者数は希望地区(複数選択可)ごとの延べ数で求めていたものを、経営体の実数での算出に変更</p>						受け手登録者		出し手申請者			集積		新規	累計	人数	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	1回目	47	651	180	600	1,334,640	595	1,315,199	2回目	34	675	244	961	2,129,666	1,062	2,383,502	合計		675	424	1,561	3,464,306	1,657	3,698,701
	受け手登録者		出し手申請者				集積																																					
	新規	累計	人数	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)																																					
1回目	47	651	180	600	1,334,640	595	1,315,199																																					
2回目	34	675	244	961	2,129,666	1,062	2,383,502																																					
合計		675	424	1,561	3,464,306	1,657	3,698,701																																					
備 考																																												

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	2 目 商工振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	中小企業融資資金貸付事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,817,300,000	1,817,183,970	0	116,030	99.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	1,817,170,000	13,970
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,069,980,000	2,024,790,000	△207,606,030		
	目 的 ・ 趣 旨				
	中小企業者等の資金調達を支援することにより、地域経済の活性化、本市産業の育成・発展を図る。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 事業拡張及び事業の高度化、魅力向上のための店舗改装、工業団地等への立地資金（土地取得資金を含む）など、多角的に中小企業者等の資金調達を支援することにより、地域経済の活性化、本市産業の育成・発展を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 中心市街地活性化店舗改装資金利子補給金 13,970円 ・ 中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地の区域内において、店舗改装資金を利用したものに対し、利子補給を行った。 ・ 令和4年度新規融資分1件</p> <p>(2) 商工組合中央金庫貸付金 80,000,000円 ・ 中小企業金融の円滑化を図るため、公金預託制度融資の原資として商工組合中央金庫に対し貸付した。</p> <p>(3) 店舗改装資金貸付金 2,000,000円 ・ 中小企業者が個店の魅力を高めるために行う店舗改装等に対し貸付した。 ・ 令和4年度新規融資分1件</p> <p>(4) 産業立地促進資金貸付金 1,735,170,000円 ・ 市内工業団地等へ立地しようとする法人等で市内産業の高度化に資することが期待できる案件に対し、県と協調して貸付した。 ・ 過年度分29件、令和4年度新規融資分1件</p>				
備 考	○主な特定財源 中小企業融資資金貸付金元利収入 1,817,170,000円				

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	2 目 商工振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課																		
事 業 名	新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業【継続事業】																						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	388,570,000	335,473,026	0	53,096,974	86.3%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	239,046,000	66,343,426	0	30,083,149	451																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	294,614,000	274,931,322	60,541,704																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の拡大に伴う地域経済へ与える影響を最小限に止めるため、経済的な影響を受けている事業者に対して支援を行った。																						
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容・実績</p> <p>(1) 中小企業緊急災害等対策利子補給補助金 553件 132,686,853円 新型コロナの拡大により、年度内のある3か月の売上高が前年同期に比して30%以上減少した中小企業者に対し、令和2年度に融資を受けた際の利子が実質無利子となるよう、県、市、金融機関がそれぞれ負担して利子補給を行った。</p> <p>(2) セーフティネット保証料・危機関連保証料補給金 552件 48,553,024円 中小企業者が融資を受ける際に信用保証協会に対して支払う保証料について、県、市、信用保証協会がそれぞれ補給することで、中小企業者が保証料を負担することなく保証制度を利用できるように事業者の負担軽減を図った。</p> <p>(3) 新型コロナ対策交通事業者等運行継続補助金（県の支援金に対する上乗せ補助） 新型コロナの拡大により業況に影響を受けた交通事業者等に対し、台数に応じた補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付内容</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗合バス業100千円/台、貸切バス業50千円/台、タクシー業30千円/台、運転代行業80千円/台</td> <td>49件</td> <td>25,060,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 新型コロナ対策運送事業者等事業継続補助金（県の給付金に対する上乗せ補助） 新型コロナの拡大により業況に影響を受けた運送事業者等に対し、台数に応じた補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付内容</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般貨物自動車30千円/台、貨物軽自動車10千円/台</td> <td>160件</td> <td>68,540,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 原油価格・物価高騰緊急支援補助金（県の給付金に対する上乗せ補助） 新型コロナの拡大、原油価格や物価の高騰により売上等が減少している事業者に対して補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付内容</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人100千円、個人事業主50千円（定額交付）</td> <td>806件</td> <td>60,550,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 新型コロナ対応地域創生臨時基金積立金 83,149円 新型コロナ関連融資事業への充当を目的に創設した基金から得た利子収入を当該基金に積立。令和4年度末現在の基金残高：245,193,583円</p>					交付内容	交付件数	交付額	乗合バス業100千円/台、貸切バス業50千円/台、タクシー業30千円/台、運転代行業80千円/台	49件	25,060,000円	交付内容	交付件数	交付額	一般貨物自動車30千円/台、貨物軽自動車10千円/台	160件	68,540,000円	交付内容	交付件数	交付額	法人100千円、個人事業主50千円（定額交付）	806件	60,550,000円
交付内容	交付件数	交付額																					
乗合バス業100千円/台、貸切バス業50千円/台、タクシー業30千円/台、運転代行業80千円/台	49件	25,060,000円																					
交付内容	交付件数	交付額																					
一般貨物自動車30千円/台、貨物軽自動車10千円/台	160件	68,540,000円																					
交付内容	交付件数	交付額																					
法人100千円、個人事業主50千円（定額交付）	806件	60,550,000円																					
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）</td> <td>239,046,000円</td> </tr> <tr> <td>中小企業緊急災害等対策利子補給補助金（県）</td> <td>66,343,426円</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金繰入金</td> <td>30,000,000円</td> </tr> </table>					新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	239,046,000円	中小企業緊急災害等対策利子補給補助金（県）	66,343,426円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金繰入金	30,000,000円												
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	239,046,000円																						
中小企業緊急災害等対策利子補給補助金（県）	66,343,426円																						
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金繰入金	30,000,000円																						

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	2 目 商工振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 —												
事 業 名	飲食店等消費喚起事業				【 新規 事業】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	238,535,000	238,534,310	0	690	99.9%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	124,043,000	114,491,000	0	0	310												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	—	—	—														
	目 的 ・ 趣 旨																
	新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染拡大を受け、落ち込んだ地域経済の回復を図ることを目的に、PayPay株式会社と連携したキャンペーンを実施した。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) キャンペーン名称 酒田を元気に！対象飲食店などで最大30%戻ってくるキャンペーン</p> <p>(2) キャンペーン期間 令和4年7月1日 ～ 令和4年8月31日</p> <p>(3) 対象店舗 酒田市内の中小規模のPayPay加盟店のうち、特に新型コロナの影響があった飲食店、交通、宿泊、旅行代理業の事業者 448店舗（大手チェーン店等を除く）</p> <p>(4) キャンペーン内容 キャンペーン期間中に、対象店舗にてPayPayで支払をした消費者を対象に、支払額の最大30%をPayPayポイントにて付与する。 ・付与率：最大30%（例：30,000円の支払で9,000ポイントを付与） ・付与上限：10,000ポイント/回、10,000ポイント/月 ・付与日：支払日の翌日から起算して30日後</p> <p>(5) キャンペーン実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決済額</th> <th>還元額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>370,770,461円</td> <td>107,570,358円</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>418,718,566円</td> <td>121,412,397円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>789,489,027円</td> <td>228,982,755円</td> </tr> </tbody> </table>						決済額	還元額	7月	370,770,461円	107,570,358円	8月	418,718,566円	121,412,397円	合計	789,489,027円	228,982,755円
	決済額	還元額															
7月	370,770,461円	107,570,358円															
8月	418,718,566円	121,412,397円															
合計	789,489,027円	228,982,755円															
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）</td> <td>124,043,000円</td> </tr> <tr> <td>地域消費喚起推進事業費補助金（県）</td> <td>114,491,000円</td> </tr> </table>					新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	124,043,000円	地域消費喚起推進事業費補助金（県）	114,491,000円								
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	124,043,000円																
地域消費喚起推進事業費補助金（県）	114,491,000円																

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	2 目 商工振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課															
事 業 名	元気な小規模事業者持続化特別助成事業 【継続 事業】																			
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①															
	6,748,000	3,338,000	0	3,410,000	49.5%															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源															
	0	0	0	0	3,338,000															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																
	8,073,000	6,296,000	△2,958,000																	
	目 的 ・ 趣 旨																			
	国の小規模事業者持続化補助金（以下「補助金（国）」という。）に市が上乗せして助成金を交付することにより、応募者数の増加及び販路開拓や設備投資を促進し、本市小規模事業者における年間商品販売額等の増加を図る。																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>市内の小規模事業者が補助金（国）※1を活用して取り組む販路拡大等の取組みについて、対象経費に対する補助率が原則として8割となるよう、その差分について元気な小規模事業者持続化特別助成金（以下「助成金（市）」という。）を交付した。</p> <p>※1 補助率 2/3、上限額 500,000円</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 対象者 市内に主たる事業所を置く小規模事業者であり、補助金（国）の交付決定を受けた者</p> <p>(2) 対象経費 小規模事業者が酒田商工会議所又は酒田ふれあい商工会の助言等を受けて経営計画を作成し、計画に沿って販路開拓等（創意工夫による売り方や商品開発、パッケージデザイン変更など）に取り組み、かつ、補助金（国）の対象経費として認められたもの</p> <p>(3) 上限額 300,000円（1事業者当たり1会計年度）</p> <p>(4) 交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度／項目</th> <th>補助金（国） 応募件数</th> <th>補助金（国） 採択件数※2</th> <th>助成金（市） 交付件数</th> <th>助成金（市） 交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>35件</td> <td>27件</td> <td>48件</td> <td>6,296,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>32件</td> <td>29件</td> <td>25件</td> <td>3,338,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 補助金（国）の採択件数は、採択年度と額確定通知が通知された年度に相違があるため、助成金（市）の交付件数と一致しない。また、補助金（国）は採択されたが、助成金（市）の交付申請をしない事例がある。</p>					年度／項目	補助金（国） 応募件数	補助金（国） 採択件数※2	助成金（市） 交付件数	助成金（市） 交付額	令和3年度	35件	27件	48件	6,296,000円	令和4年度	32件	29件	25件	3,338,000円
年度／項目	補助金（国） 応募件数	補助金（国） 採択件数※2	助成金（市） 交付件数	助成金（市） 交付額																
令和3年度	35件	27件	48件	6,296,000円																
令和4年度	32件	29件	25件	3,338,000円																
備 考																				

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	2 目 商工振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課																																										
事 業 名	産業振興まちづくり推進事業				【 継 続 事 業 】																																										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																										
	79,773,000	53,713,979	0	26,059,021	67.3%																																										
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																										
	21,133,213	0	0	32,580,766	0																																										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																											
	85,663,000	70,524,302	△16,810,323																																												
	目 的 ・ 趣 旨																																														
	商工業事業者、農林水産事業者等のニーズとシーズをつなぐマッチングにより様々なプロジェクトを組成するとともに、販路拡大、DX化、創業、女性活躍などの伴走型支援を実施することにより、新たな産業やビジネスの創出及び地域経済の活性化を図る。																																														
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>酒田市産業振興まちづくりセンター運営協議会に負担金を支出し、コワーキングスペースの運営及びコンシェルジュ・専門家を活用した新産業やビジネスの創出につながる共創コミュニティの活動を支援した。また、産業振興補助金を交付し、創業や販路開拓、新商品・新サービスの開発、デジタル化による業務効率化等を行う事業者を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 産業振興まちづくりセンター（サンロク）の運営支援 43,089,979円 コンシェルジュの配置や専門家による伴走型支援など、新たな産業やビジネス創出につながる人や情報が集まるコワーキング機能等を活かしたサンロクの運営を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクト組成件数（進捗中含む）</td> <td>88件</td> <td>77件</td> </tr> <tr> <td>新規創業支援件数</td> <td>34件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>コワーキング会員数（総数）</td> <td>297人</td> <td>339人</td> </tr> <tr> <td>コワーキング年間利用者数（延べ人数）</td> <td>5,859人</td> <td>6,941人</td> </tr> <tr> <td>セミナー・セッション開催数</td> <td>32回</td> <td>42回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 産業振興補助金 10,624,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金名称 補助金概要</th> <th>補助率 上限額</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・つなぐプロジェクト支援補助金 2事業者以上の連携のもとに実施する農商工連携等の新たな事業実施に要する経費を支援</td> <td>1/2 500千円</td> <td>4件 1,695,000円</td> <td>4件 1,212,000円</td> </tr> <tr> <td>・販路拡大支援補助金 見本市・商談会出店等、企業の国内外の販路開拓に要する経費を支援</td> <td>1/2 300千円</td> <td>12件 1,814,000円</td> <td>14件 2,316,000円</td> </tr> <tr> <td>・開業支援補助金 開業前後の改装費用、備品購入、広告宣伝等に要する経費を支援</td> <td>1/2 1,000千円</td> <td>25件 18,818,000円</td> <td>14件 5,623,000円</td> </tr> <tr> <td>・創業支援促進事業費補助金 創業支援等事業者（酒田商工会議所）が実施する創業塾の開催への支援</td> <td>1/2 —</td> <td>— 317,000円</td> <td>— 328,000円</td> </tr> <tr> <td>・DX化推進補助金 デジタル技術を活用した新規事業や生産性の質的向上に係る事業に要する経費を支援</td> <td>1/2 500千円</td> <td>— —</td> <td>5件 1,145,000円</td> </tr> </tbody> </table>					項目	令和3年度	令和4年度	プロジェクト組成件数（進捗中含む）	88件	77件	新規創業支援件数	34件	32件	コワーキング会員数（総数）	297人	339人	コワーキング年間利用者数（延べ人数）	5,859人	6,941人	セミナー・セッション開催数	32回	42回	補助金名称 補助金概要	補助率 上限額	令和3年度	令和4年度	・つなぐプロジェクト支援補助金 2事業者以上の連携のもとに実施する農商工連携等の新たな事業実施に要する経費を支援	1/2 500千円	4件 1,695,000円	4件 1,212,000円	・販路拡大支援補助金 見本市・商談会出店等、企業の国内外の販路開拓に要する経費を支援	1/2 300千円	12件 1,814,000円	14件 2,316,000円	・開業支援補助金 開業前後の改装費用、備品購入、広告宣伝等に要する経費を支援	1/2 1,000千円	25件 18,818,000円	14件 5,623,000円	・創業支援促進事業費補助金 創業支援等事業者（酒田商工会議所）が実施する創業塾の開催への支援	1/2 —	— 317,000円	— 328,000円	・DX化推進補助金 デジタル技術を活用した新規事業や生産性の質的向上に係る事業に要する経費を支援	1/2 500千円	— —	5件 1,145,000円
項目	令和3年度	令和4年度																																													
プロジェクト組成件数（進捗中含む）	88件	77件																																													
新規創業支援件数	34件	32件																																													
コワーキング会員数（総数）	297人	339人																																													
コワーキング年間利用者数（延べ人数）	5,859人	6,941人																																													
セミナー・セッション開催数	32回	42回																																													
補助金名称 補助金概要	補助率 上限額	令和3年度	令和4年度																																												
・つなぐプロジェクト支援補助金 2事業者以上の連携のもとに実施する農商工連携等の新たな事業実施に要する経費を支援	1/2 500千円	4件 1,695,000円	4件 1,212,000円																																												
・販路拡大支援補助金 見本市・商談会出店等、企業の国内外の販路開拓に要する経費を支援	1/2 300千円	12件 1,814,000円	14件 2,316,000円																																												
・開業支援補助金 開業前後の改装費用、備品購入、広告宣伝等に要する経費を支援	1/2 1,000千円	25件 18,818,000円	14件 5,623,000円																																												
・創業支援促進事業費補助金 創業支援等事業者（酒田商工会議所）が実施する創業塾の開催への支援	1/2 —	— 317,000円	— 328,000円																																												
・DX化推進補助金 デジタル技術を活用した新規事業や生産性の質的向上に係る事業に要する経費を支援	1/2 500千円	— —	5件 1,145,000円																																												
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>地方創生推進交付金（国） 21,133,213円</p> <p>さかた応援基金繰入金 28,486,475円</p> <p>企業版ふるさと納税寄附金 10,000,000円</p>																																														

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	4 目 企業開発費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課																					
事 業 名	企業立地促進事業				【 継 続 事 業 】																					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																					
	30,127,000	29,837,490	0	289,510	99.0%																					
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																									
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																					
	0	0	0	29,837,490	0																					
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																						
	5,175,000	4,603,755	25,233,735																							
	目 的 ・ 趣 旨																									
	本市の工業団地及び優遇措置など立地環境を紹介する。また、工場等を新設、拡充又は移設するために用地を取得した企業者に対し、用地取得費の一部を助成し、企業立地及び雇用機会の拡大を図る。																									
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 本市の企業誘致に関連した情報や助成制度など企業立地情報のPR活動を行うとともに、特定の地域内において工場や事業所を新設、拡充又は移設するために用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成金として交付した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 企業誘致に関するセミナーへの参加出展及びPR活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セミナー等名称</th> <th>参加企業数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまがたビジネスセミナー (東京都:令和5年2月)</td> <td>78 社/団体</td> <td>133 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 用地取得助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付実績 29,030千円 ・ 交付件数 2 件 ・ 対象経費 用地取得費 ・ 助成率 雇用者数等により、20%、30%又は50% ・ 限度額 業種、市内・市外企業により、1企業につき1億円、2億円又は3億円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地場所</th> <th>用地取得費</th> <th>助成率</th> <th>助成金額</th> <th>雇用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田京田西工業団地</td> <td>34,300 千円</td> <td>50 %</td> <td>17,150 千円</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td>酒田京田西工業団地</td> <td>59,400 千円</td> <td>20 %</td> <td>11,880 千円</td> <td>16 人</td> </tr> </tbody> </table>					セミナー等名称	参加企業数	参加人数	やまがたビジネスセミナー (東京都:令和5年2月)	78 社/団体	133 人	立地場所	用地取得費	助成率	助成金額	雇用者数	酒田京田西工業団地	34,300 千円	50 %	17,150 千円	10 人	酒田京田西工業団地	59,400 千円	20 %	11,880 千円	16 人
セミナー等名称	参加企業数	参加人数																								
やまがたビジネスセミナー (東京都:令和5年2月)	78 社/団体	133 人																								
立地場所	用地取得費	助成率	助成金額	雇用者数																						
酒田京田西工業団地	34,300 千円	50 %	17,150 千円	10 人																						
酒田京田西工業団地	59,400 千円	20 %	11,880 千円	16 人																						
備 考	○主な特定財源 地域づくり基金繰入金 29,837,490円																									

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	4 目 企業開発費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課												
事 業 名	賃借型立地企業定着促進事業				【 継 続 事 業 】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	3,520,000	3,501,950	0	18,050	99.5%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	0	0	0	0	3,501,950												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	2,400,000	2,399,133	1,102,817														
	目 的 ・ 趣 旨																
	市の誘致により市内の賃借物件において操業を開始した市外企業に対し、その賃借料及び 改装費用の一部を助成し、設備投資及び新規雇用の拡大を図る。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市の誘致により市内の賃借物件において操業を開始した市外企業に対し、その賃借料 等の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 賃借型立地企業定着促進助成金 3,501,950円 (交付企業数 2社) (2) 対象経費 土地建物の賃借料 (操業開始月から起算して36月分) 操業開始月までに要した改装費用 (3) 助成率 50% (4) 限度額 1企業につき30,000千円 (操業開始月から起算して12月毎に10,000千円) (5) 雇用要件 本市に住所を有する雇用保険被保険者を5人以上雇用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地場所</th> <th>対象経費 (円)</th> <th>助成金額 (円)</th> <th>従業員増加数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋二丁目</td> <td>900,000</td> <td>450,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>中町二丁目</td> <td>6,103,900</td> <td>3,051,950</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					立地場所	対象経費 (円)	助成金額 (円)	従業員増加数 (人)	新橋二丁目	900,000	450,000	10	中町二丁目	6,103,900	3,051,950	5
立地場所	対象経費 (円)	助成金額 (円)	従業員増加数 (人)														
新橋二丁目	900,000	450,000	10														
中町二丁目	6,103,900	3,051,950	5														
備 考																	

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	4 目 企業開発費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課						
事 業 名	設備投資促進助成事業				【 継 続 事 業 】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	204,692,000	204,692,000	0	0	100.0%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	0	0	204,662,510	29,490						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	269,065,000	269,063,000	△64,371,000								
	目 的 ・ 趣 旨										
	市内企業の積極的な設備投資を促進するために必要な助成措置を講ずることにより、地域経済を牽引していく企業を育成し、産業の振興を図る。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業の内容 工場等を新設又は既存工場等を拡充もしくは移設した企業に対し、設備投資の内容等に応じて固定資産税の課税標準額を基準とした助成を行った。</p> <p>○事業実績・説明 工場等を新設、拡充、移設した企業に対し助成金を交付した。</p> <p>(1) 助成対象資産：令和3年1月1日から令和3年12月31日までに取得した取得総額20,000千円超の固定資産</p> <p>(2) 助成対象額：助成対象資産に係る初年度の固定資産税の課税標準額</p> <p>(3) 助成金額 ・新設・移設：助成対象額×助成率3% ・拡充：助成対象額×助成率1.8%（旧農工団地は3%） ・特例：助成対象額×助成率4.2%（市外企業で一定の要件を満たす場合）</p> <p>(4) 交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>交付件数 (件)</th> <th>助成金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度 (令和3年度適用指定分)</td> <td>13</td> <td>204,692</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	交付件数 (件)	助成金額 (千円)	令和4年度 (令和3年度適用指定分)	13	204,692
年 度	交付件数 (件)	助成金額 (千円)									
令和4年度 (令和3年度適用指定分)	13	204,692									
備 考	○主な特定財源 地域づくり基金繰入金 204,662,510円										

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	4 目 企業開発費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 —
事 業 名	サテライトオフィス等整備支援事業				【新規 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	22,000,000	15,545,000	0	6,455,000	70.7%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	15,545,000	0	0	0	0
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	新たにサテライトオフィス、シェアオフィス、コワーキングスペース等（以下「サテライトオフィス等」という。）を整備し、又は利用する事業者に対して補助又は支援を行うことにより、本市への新たな人の流れを創出する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○主な事業内容</p> <p>(1) サテライトオフィス等整備支援補助金 14,545千円</p> <p>①対象者 市内にサテライトオフィス等を新設し、賃貸及び管理・運営を行う事業者</p> <p>②補助対象事業 以下の要件を満たすサテライトオフィス等を市内に新設し運営を行う事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸付面積100㎡以上 ・ 机、椅子、パーテーションなどが設置されており、2社以上が同時に事業を行えるスペースを確保していること。 ・ 収容可能人数が20人以上であること。 ・ 本事業を活用し、市外企業の入居・利用の促進に積極的に取り組む事業であること。 <p>③補助率 1/2（限度額：20,000千円）</p> <p>(2) サテライトオフィス等進出支援金 1,000千円</p> <p>①対象者 以下の要件を満たす事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サテライトオフィス等整備支援補助金の交付を受けて整備した施設に新たに事業所を設置する事業者 ・ 市内に本社、支社、営業所、工場その他これらに類するものを設置していない事業者 ・ 交付申請の日から5年以上、当該施設を継続して利用すること（5年未満の間に当該施設の利用を終了した場合は返還制度あり） <p>②支援金額 1事業者につき1,000千円</p>				
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）7,772,500円</p> <p>デジタル田園都市国家構想推進交付金（国）7,772,500円</p>				

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	4 目 企業開発費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	未来投資促進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	16,000,000	16,000,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	16,000,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	67,200,000	62,160,000	△46,160,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	地域未来投資促進法に基づく企業支援型サービス分野における地域経済牽引事業者の事業の拡大、雇用の促進等の取り組みと市内企業のRPA等デジタル変革(DX)の取り組みを支援し、若者・女性等の雇用機会の創出と生産性向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 未来投資促進助成金 16,000千円</p> <p>地域未来投資促進法に基づく企業支援型サービス分野の地域経済牽引事業者の施設整備に対し、稼働した席数に応じて助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付企業 (株)プレステージ・インターナショナル ・ 助成内容 純増稼働席数1席当たり500千円 ・ 限度額 150,000千円 ・ 立地場所 酒田京田西工業団地 ・ 稼働席数 32席 ・ 助成金額 16,000千円 				
備 考					

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費	所 属	R4 地域創生部交流観光課 R3 地域創生部交流観光課												
事 業 名	観光戦略・インバウンド推進事業				【 継続 事業】												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	45,461,000	42,963,993	0	2,497,007	94.5%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	15,223,000	0	0	0	27,740,993												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	74,574,000	57,365,261	△14,401,268														
	目 的 ・ 趣 旨																
	インバウンド等の観光誘客に取り組む団体を支援することで、コロナ禍後の観光客の増加を目指す。また、観光地域づくり法人「酒田DMO（仮称）」を設立して新たな観光誘客を促進し、観光消費額の増加につながる取り組みを推進する。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 観光誘客支援</p> <p>(2) 英語版観光ウェブサイトの運営</p> <p>(3) 酒田DMO（仮称）出資金</p> <p>(4) 地域活性化起業人負担金</p> <p>(5) デジタル田園都市国家構想推進交付金活用事業</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田市観光誘客支援補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>対象事業</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市麺類食堂組合</td> <td>英文ホームページの作成</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>株式会社花鳥風月</td> <td>英文ホームページの作成</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>酒田菓子商工業組合</td> <td>英文ホームページの作成</td> <td>128,799円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 英語版観光ウェブサイト運営経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語版観光ウェブサイトSAKATAWALKを運営し情報発信を行った。 <p>(3) 酒田DMOに出資し、一般財団法人設立を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/26 一般財団法人酒田DMO設立 10/26 観光庁より「観光地域づくり候補法人（候補DMO）」に登録された。 <p>(4) 地域活性化起業人負担金（特別交付税）</p> <p>国の地域活性化起業人（企業人材派遣制度）を活用し、民間企業から2名を受入れ酒田DMOの業務に従事してもらったことに対する下記の経費を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣元企業に対する負担金 起業人が発案、提案した事業に要する経費 起業人の受入れに係る準備経費 <p>(5) デジタル田園都市国家構想推進交付金活用事業</p> <p>酒田DMOに対し「観光商品販売ポータル&CRMシステム活用事業費補助金」を交付し、観光商品の閲覧・予約・決裁を一元化できるポータルサービスの構築とCRM（顧客情報管理）を活用した観光マーケティング事業を支援した。</p> <p>(6) 日帰り温泉施設燃料価格高騰対策補助金</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、灯油価格の高騰が経営を圧迫するおそれのある日帰り温泉施設に対し、灯油価格高騰前と高騰後の差額に対して補助金を交付し、支援を行った。</p>					事業主体	対象事業	補助金額	酒田市麺類食堂組合	英文ホームページの作成	200,000円	株式会社花鳥風月	英文ホームページの作成	200,000円	酒田菓子商工業組合	英文ホームページの作成	128,799円
事業主体	対象事業	補助金額															
酒田市麺類食堂組合	英文ホームページの作成	200,000円															
株式会社花鳥風月	英文ホームページの作成	200,000円															
酒田菓子商工業組合	英文ホームページの作成	128,799円															
備 考	○主な特定財源		デジタル田園都市国家構想推進交付金（国）	9,865,000円													
			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	5,358,000円													

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費	所 属	R4 地域創生部交流観光課 R3 —
事 業 名	観光戦略推進協議会負担事業				【新規事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	112,173,000	96,933,224	0	15,239,776	86.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	32,307,904	0	0	2,500,000	62,125,320
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田DMO（仮称）の設立と自立のための支援を行うとともに、誘客を拡大するための各種観光イベント等の企画運営を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 地方創生推進交付金事業</p> <p>(2) 主要イベントの開催</p> <p>(3) 文化芸術振興費補助事業</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 地方創生推進交付金を活用して、酒田DMOへの支援及び観光誘客のためのプロモーション活動を行った。</p> <p>①酒田DMO発足及び活動支援</p> <p>②観光誘客の拡大に向けた事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エージェントへの営業及び企画提案の実施 ・ 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の実施 観光庁の補助事業を活用し、本市の資源である「鳥海山・飛鳥ジオパーク」と「日本遺産」を組み合わせることで、楽しみながら自然・歴史・文化を学べるコンテンツの造成を実施したほか、体験モニターツアーの実施、観光事業者向け学習会の開催等の事業を行った。 ・ 日和山周辺ライトアップの実施 ・ 台湾市場向けプロモーション強化事業の実施 ・ 湊・酒田の美酒美食ツーリズム推進事業の実施 ・ ANA SHONAI BLUE Ambassador酒田シティプロモーション事業の実施 <p>(2) イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日和山公園桜まつりの開催 入込数66,000人 期日：4月8日～20日 ・ 酒田まつりの開催 入込数210,000人 期日：5月19日～21日 ・ さかた夏の縁日祭り（旧甚句流し）の開催 入込数29,500人 期日：8月10日～11日 ・ 日和山クラフト・アートフェア2022 in酒田の開催 入込数約3,000人 期日：10月15日～16日 ・ 酒田雑街道の開催 入込数18,500人 期日：3月1日～4月2日 <p>(3) 文化芸術振興費補助事業の実施</p> <p>文化庁の補助事業を活用し、本間美術館が設置する鶴舞園のライトアップ展示に合わせ、市内ホテルや市内他のライトアップ施設と連携したモニターツアーを実施したほか、自転車利用者にも利用しやすいサイズ・デザインのパンフレットを作成した。</p>				
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>地方創生推進交付金（国） 24,082,704円</p> <p>観光庁事業費補助金（国） 7,104,200円</p> <p>文化芸術振興費補助金（国） 1,121,000円</p>				

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費	所 属	R4 地域創生部交流観光課 R3 地域創生部交流観光課
事 業 名	秋田・酒田交流事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,200,000	1,200,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,200,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	500,000	500,000	700,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	かつて北前船の寄港地であった秋田市と、市民交流を主眼において交流事業を行い、両市の魅力の再発見による両市の活性化を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田市と秋田市両市が負担金を拠出し、両市及び関係団体で構成する実行委員会により、市民参加型の事業を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 親子で秋田市訪問促進事業 ①内容 ・ 秋田・酒田の交流促進、親子で遊ぶ場を提供することによる子育て支援及びマイナンバーカードの取得促進を目的として、大森山動物園の年間パスポート券購入を支援した。 ・ 対象／酒田市在住の小学生以下の子どもがいる保護者で、マイナンバーカードを所持または申請中の方（1世帯につき2枚まで） ・ 期間／令和4年8月1日～令和5年2月26日 ②実績 ・ 申請件数／1,122件 ・ 申請件数のうちマイナンバーカード申請中と申告のあった件数／50件 ・ 引換実績／ 755件 (2) 北前船構成文化財カードを活用した周遊事業 ①内容 ・ 秋田市内と酒田市内の各施設に、施設を訪れると獲得できるカードを配置し、カードを獲得した参加者に対して抽選で両市の特産品が当たる事業を実施した。 ・ 対象／秋田市8施設8種類、酒田市8施設10種類 ・ 期間／令和4年7月1日～令和4年11月30日まで ・ 周遊事業のPRのため北前船パネル展を実施した。 (秋田市にぎわい交流館、道の駅あきた港ポートタワーセリオン、秋田市雄和観光交流館V i l l a ・ フローラの3施設で合計971名来場) ②実績 ・ 北前船構成文化財カード配布枚数／3,151枚 ・ 抽選応募総数／59人</p>				
備 考					

款 項 目	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費	所 属	R4 地域創生部交流観光課 R3 地域創生部交流観光課
事 業 名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	17,838,000	17,252,479		585,521	96.7%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	538,000	16,714,479
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	12,628,000	12,210,954	5,041,525		
	目 的 ・ 趣 旨				
	秋田県由利本荘市・にかほ市、山形県酒田市・遊佐町の3市1町で広域連携し、ジオツーリズムによる観光振興、住民のジオパーク活動の促進、防災及び自然教育活動を行うことで地域経済の活性化や人材育成を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会幹事会の開催 鳥海山と飛島をエリアとする3市1町が協議会事務局と連携し、足並みを揃えた事業推進を行うため、定期的に幹事会を開催し情報を共有した。</p> <p>(2) 市民へのジオパーク周知のための啓発活動や環境保全・教育活動との連携</p> <p>(3) ジオツーリズムの担い手となるガイドの養成</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会総会・幹事会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会 令和4年6月29日 ・幹事会 6回開催 <p>(2) 市民へのジオパーク周知のための啓発活動や環境保全・教育活動との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークポロシャツキャンペーンの実施：77着販売（1,200円/枚） ・ジオパークジャンパーキャンペーンの実施：45着販売（2,500円/枚） ・トビシマカンゾウ保全作業の実施： <ul style="list-style-type: none"> 6月25日～26日欠航により中止 参加予定者10人 10月9日～10日欠航により中止 参加予定者9人 ・クロマツの保全作業の実施：6月、7月、9月実施 延べ12名参加 ・出前講座による市民への周知活動：9回実施、延べ225名参加 ・山の日スペシャルイベント「ジオってもしえのん」 8月11日 97人参加 ・各種イベントへのブース出展・PR 4事業、延べ270人参加 ・観光庁看板商品モニターツアーの実施 全3回 延べ36人参加 <p>(3) ガイド養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田・飛島エリア研修会 1月22日 ジオガイド11人参加 ・酒田・飛島エリアジオガイドスキルアップ講座（飛島学習会） 3月11日～12日 ジオガイド14人参加 				
備 考	○主な特定財源 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会自治体支援事業助成金 538,000円				

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	1 目 都市計画総務費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課
事 業 名	花と緑のまちづくり事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,546,000	1,043,745	0	502,255	67.5%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	1,043,745	0
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	0	0	1,043,745		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市民、企業、行政の協働による花と緑があふれたまちづくりに取り組み、彩り豊かな花による市街地の美化を通じて、市民の美化に対する意識醸成を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 高校生との協働でスタンディングフラワーバスケットを制作・設置</p> <p>(2) 企業との協働でスタンディングフラワーバスケットを制作・設置</p> <p>(3) 商店街との協働で沿道のプランターを再整備</p> <p>※令和3年度はコロナ禍で事業を中止</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 高校生との協働活動</p> <p>ミライニのグランドオープンに合わせて、高校生との協働でスタンディングフラワーバスケットを6基制作し、ミライニ広場に設置した。約3か月の設置期間中の維持管理は高校生とミライニ広場を管理している指定管理者が行った。</p> <p>・実施日 令和4年7月30日</p> <p>・参加者 18名</p> <p>(2) 企業との協働活動</p> <p>市内4つの金融機関との協働（必要な資器材を市で提供、花苗代の半額を各企業で負担）でスタンディングフラワーバスケットを8基制作（2基×4社）し、各社の敷地に設置した。約3か月の設置中の維持管理は各社の従業員が行った。</p> <p>・実施日 令和4年8月2日～6日</p> <p>・参加者 延べ30名</p> <p>(3) 商店街との協働活動</p> <p>中町中和会商店街振興組合との協働（再整備に係る費用は市で負担、日常の維持管理を商店街が担当）で沿道沿いのプランターの再整備を行った。</p> <p>※令和5年度は本事業と「さかたらしい景観づくり事業」を「景観づくり事業」として統合した。</p>				
備 考	○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 1,043,745円				

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	1 目 都市計画総務費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課
事 業 名	さかたらしい景観づくり事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,837,000	2,416,067	0	420,933	85.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	1,050,000	0	277,130	1,088,937
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,946,000	2,259,467	156,600		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田市景観計画及び酒田市景観条例に基づき、市民、事業者、行政の協働による魅力的な景観づくりを推進することにより、良好な景観の保全・形成、景観に対する市民意識の醸成を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 良好な景観形成への推進・誘導</p> <p>(2) 「景観形成重点地域」の景観づくり推進 (山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区、日和山周辺地区)</p> <p>(3) 屋外広告物事務の円滑な実施</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 景観条例に基づく届出等の受理件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観条例第5条に基づく届出受理（民間） 計42件 （内訳） 重点地域内の行為における届出 12件 建築物 12件 重点地域外の行為における届出 30件 建築物 8件／工作物 7件／開発 0件／土石採取 7件 物件の堆積 7件／土地の形質の変更 1件 ・景観条例第9条に基づく通知受理（国等） 6件 <p>(2) 景観助成金交付実績 1件（日和山周辺地区） 交付額195,000円</p> <p>(3) 屋外広告物の許可申請受理 153件</p> <p>※令和5年度は本事業と「花と緑のまちづくり事業」を「景観づくり事業」として統合した。</p>				
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>市町村総合交付金（屋外広告物事務）（県） 1,050,000円</p> <p>屋外広告物許可申請手数料 277,130円</p>				

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	3 目 地域公共交通費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課																														
事 業 名	乗合バス運行事業				【 継 続 事 業 】																														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																														
	111,308,000	110,277,255	0	1,030,745	99.1%																														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																														
	0	3,628,000	0	22,948,756	83,700,499																														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																															
	125,215,000	123,893,096	△13,615,841																																
	目 的 ・ 趣 旨																																		
	乗合バスを運行することにより、公共交通の空白地帯を解消し、高齢者や障がい者、通勤・通学者等の交通手段となる地域公共交通を維持する。																																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) るんるんバス7路線を運行した。 このうち、酒田駅飯森山線は令和4年7月末まで運行した。 ・市内循環A線 ・市内循環B線 ・市内循環C線 ・市内循環D線 ・酒田駅大学線 ・古湊アイアイひらた線 ・酒田駅飯森山線</p> <p>(2) ぐるっとバス4路線を令和4年7月末まで運行した。 ・升田やまゆり荘線 ・青沢やまゆり荘線 ・一條循環線 ・観音寺循環線</p> <p>(3) 平田るんるんバス2路線を令和4年7月末まで運行した。 ・砂越海ヶ沢線 ・砂越小林線</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 乗車人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>乗合バス名</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>るんるんバス</td> <td>175,911人</td> <td>174,589人</td> <td>116,084人</td> <td>115,968人</td> <td>131,765人</td> </tr> <tr> <td>ぐるっとバス</td> <td>10,832人</td> <td>9,485人</td> <td>5,955人</td> <td>5,432人</td> <td>1,503人</td> </tr> <tr> <td>平田るんるんバス</td> <td>6,904人</td> <td>6,674人</td> <td>5,166人</td> <td>3,902人</td> <td>1,223人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>193,647人</td> <td>190,748人</td> <td>127,205人</td> <td>125,302人</td> <td>134,491人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度のぐるっとバス、平田るんるんバスの実績は4月～7月の期間</p> <p>(2) 公共交通の改編 令和4年8月から本市全体の公共交通を改編し、るんるんバスは運行経路や時間等の見直しにより7路線から6路線とした。また、ぐるっとバス及び平田るんるんバスは路線廃止したうえで、八幡地区、平田地区でデマンドタクシーの運行を開始した。</p>					乗合バス名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	るんるんバス	175,911人	174,589人	116,084人	115,968人	131,765人	ぐるっとバス	10,832人	9,485人	5,955人	5,432人	1,503人	平田るんるんバス	6,904人	6,674人	5,166人	3,902人	1,223人	計	193,647人	190,748人	127,205人	125,302人	134,491人
乗合バス名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																														
るんるんバス	175,911人	174,589人	116,084人	115,968人	131,765人																														
ぐるっとバス	10,832人	9,485人	5,955人	5,432人	1,503人																														
平田るんるんバス	6,904人	6,674人	5,166人	3,902人	1,223人																														
計	193,647人	190,748人	127,205人	125,302人	134,491人																														
備 考	○主な特定財源 市町村総合交付金（生活交通確保対策事業）（県）				3,628,000円																														
	乗合バス運賃収入				22,125,856円																														
	乗合バス広告収入				765,600円																														

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	3 目 地域公共交通費	所 属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課	
事 業 名	デマンドタクシー運行事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	47,209,000	42,348,674	0	4,860,326	89.7%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	884,000	0	4,098,000	37,366,674	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	21,643,000	20,486,147	21,862,527			
	目 的 ・ 趣 旨					
	旧公民館地区及び総合支所地域の定時定路線型バス交通に代わる地域公共交通として、自宅と指定乗降場所を結ぶ予約型公共交通のデマンドタクシーを運行することにより、同地区の交通手段となる地域公共交通を維持する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	登録した利用者からの予約に応じて運行する乗合タクシーであり、自宅と指定乗降場所を結ぶ予約型公共交通として運行した。					
	平成22年7月 新堀地区・広野地区で運行開始					
	平成23年12月 東平田地区・中平田地区・北平田地区・西荒瀬地区・南遊佐地区 松山地区で運行開始					
	平成26年10月 本楯地区・上田地区で運行開始					
	令和2年4月 松山庄内町間で運行開始					
	令和4年8月 浜中地区・黒森地区・十坂地区・八幡地区・平田地区で運行開始					
	○事業実績・説明					
	令和4年8月から本市全体の公共交通を改編し、デマンドタクシーの運行内容を変更した。					
	(1) 運行内容の変更					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行地区の拡大 ・ 運行時刻の変更 ・ 運行日の拡充 ・ 指定乗降場所の増設 ・ 運賃（使用料）割引対象者の拡充 						
(2) 地区別運行実績						
	地区名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	新堀・広野	621人	513人	447人	537人	762人
	東平田・中平田・北平田	1,573人	1,444人	1,187人	951人	947人
	西荒瀬・南遊佐	2,358人	2,019人	1,640人	1,782人	1,810人
	本楯・上田	703人	677人	684人	671人	655人
	浜中・黒森・十坂	-	-	-	-	1,242人
	八幡（市街地行）	-	-	-	-	824人
	松山（市街地行）	1,458人	1,337人	1,062人	1,031人	1,657人
	平田（市街地行）	-	-	-	-	744人
	八幡（総合支所管内）	-	-	-	-	555人
	松山（総合支所管内）	178人	140人	132人	222人	307人
	平田（総合支所管内）	-	-	-	-	908人
	松山（庄内町線）	-	-	89人	107人	97人
	合計	6,891人	6,130人	5,241人	5,301人	10,508人
備 考	○主な特定財源		市町村総合交付金（生活交通確保対策事業）（県）		884,000円	
			乗合タクシー運賃収入		4,098,000円	

款 項 目	8 款 土木費	4 項 港湾費	1 目 港湾振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	港湾整備事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	51,061,000	51,060,942	0	58	99.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	47,000,000	0	4,060,942
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	39,820,000	39,818,369	11,242,573		
	目 的 ・ 趣 旨				
	国土交通省及び山形県が実施する港湾整備事業に係る費用の一部を負担することによって港湾機能の強化を図り、酒田港の利用促進と地域経済の活性化につなげる。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 地方財政法第27条の規定に基づき事業費の一部を負担した。				
	○事業実績・説明				
	(1) 港湾整備事業（負担金対象事業費）				
		事業費	市負担金		
	国	1,548,469,414円	30,210,942円		
	県	387,000,000円	20,850,000円		
	計	1,935,469,414円	51,060,942円		
	(2) 国土交通省事業内訳				
	地区	施設名及び事業内容	事業費		
	北港	防波堤（北）（改良）改修	1,549,000,000円		
防波堤（北）（第二）延伸					
過年度事業精算金		△ 530,586円			
計		1,548,469,414円			
(3) 山形県事業内訳					
地区	施設名及び事業内容	事業費			
本港	石油基地航路護岸改良	310,393,000円			
	船場町緑地改良 等				
北港	宮海第5岸壁改良	76,607,000円			
計		387,000,000円			
備 考	○主な特定財源 公共事業等債（市債）		37,800,000円		
	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債（市債）		9,200,000円		

款 項 目	8 款 土木費	4 項 港湾費	1 目 港湾振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	重要港湾酒田港活性化推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	17,922,000	17,674,400	0	247,600	98.6%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	17,674,400
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	18,741,000	18,712,100	△1,037,700		
	目 的 ・ 趣 旨				
	ポートセールス活動、コンテナ貨物利用促進助成及びリサイクルポート推進施策等を実施し、酒田港の利用促進と地域経済の活性化につなげる。				
事 務 業 の 概 要	○事業内容				
	“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会と連携し、酒田港の利用促進のためのポートセールス活動及びコンテナ貨物利用促進助成を実施するとともに、リサイクルポート活性化の検討等を実施した。				
	○事業実績・説明				
	(1) ポートセールス活動				
	・ 荷主、商社等の訪問件数 186件 (庄内48件、内陸83件、県外55件)				
	(2) コンテナ貨物利用促進助成				
		申請	助成金額	対象コンテナ数	対象梱包容積
	新規荷主助成	12件	3,927,000円	185 T E U	—
	継続荷主助成	34件	24,025,000円	11,315 T E U	—
	特殊梱包貨物助成	2件	528,000円	—	176m ³
(3) コンテナ取扱貨物量 (単位：T E U)					
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
実入りコンテナのみ	25,321	25,329	21,879	18,613	13,763
空コンテナ含む	41,251	41,100	36,018	30,946	22,030
(4) 酒田港ポートセミナーin庄内					
酒田港の利用を促進するため、輸出入を行う商社・貿易会社・事業者等を対象としたセミナーを開催した。					
日時：令和5年3月14日					
会場：いろり火の里 なの花ホール					
参加者：57企業・団体142名 (人数には主催関係者を含む)					
備考					

款 項 目	8 款 土木費	4 項 港湾費	1 目 港湾振興費	所 属	R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
事 業 名	客船誘致事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	500,000	500,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	500,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	522,000	521,320	△21,320		
	目 的 ・ 趣 旨				
	酒田港にクルーズ船を誘致することによって本市への観光客を増やし、賑わいの創出と観光・購買消費による地域経済の活性化につなげる。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) クルーズ船社へのプロモーション活動、視察対応、セミナーの開催</p> <p>(2) クルーズ船の歓迎・出港イベント及び岸壁の一般開放等の実施</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) クルーズ船社へのプロモーション活動、視察対応、セミナーの開催</p> <p>①クルーズ船社等の視察対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポナン（クルーズ船社） 日時：令和4年6月28日～29日 被招請者：ポナン 視察先：飛島、玉簾の滝、その他市外観光地等 ・東武トップツアーズ（ランドオペレーター） 日時：令和4年10月14日 被招請者：東武トップツアーズ株式会社 視察先：酒田港、日和山公園、本間美術館、土門拳記念館、山居倉庫、相馬樓、山王くらぶ等 <p>②「クルーズセミナーin酒田」の開催</p> <p>クルーズ業界における国内外の動向や客船受入時の新型コロナウイルス感染対策などについて、関係者が理解を深めた。</p> <p>日時：令和4年10月13日</p> <p>講演者：国土交通省港湾局 東武トップツアーズ株式会社 シルバーシー・クルーズ</p> <p>(2) クルーズ船の歓迎・出港イベント及び岸壁の一般開放等の実施 (令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止)</p>				
備 考					

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	所 属	R4 建設部土木課 R3 建設部土木課																								
事 業 名	側溝整備事業				【 継 続 事 業 】																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																								
	262,134,000	261,567,260	0	566,740	99.8%																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																								
	102,227,000	0	148,700,000	0	10,640,260																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																									
	310,506,000	309,622,820	△48,055,560																										
	目 的 ・ 趣 旨																												
	老朽化や不同沈下により本来の機能を果たしていない側溝の改修を実施する。整備する側溝にはすべて蓋を設置することで、安全な通行の確保を図る。																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 老朽化や不同沈下により本来の機能を果たしていない側溝の改修を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 ・第8次側溝整備5箇年計画（R4～R8）の目標20.0kmに対し、1年目の令和4年度は3.5kmを整備。進捗率は0%→18%となった。</p> <p>【工事内訳】 (単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 区 (地区名)</th> <th>側溝整備延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1工区 (砂越地内外)</td><td>213.1</td></tr> <tr><td>第2工区 (住吉町地内)</td><td>412.2</td></tr> <tr><td>第3工区 (高砂一丁目地内外)</td><td>155.6</td></tr> <tr><td>第4工区 (北新橋二丁目地内)</td><td>357.5</td></tr> <tr><td>第5工区 (新橋四丁目地内)</td><td>444.5</td></tr> <tr><td>第6工区 (若竹町二丁目地内外)</td><td>333.5</td></tr> <tr><td>第7工区 (手蔵田地内)</td><td>367.2</td></tr> <tr><td>第8工区 (錦町四丁目地内外)</td><td>575.9</td></tr> <tr><td>第9工区 (黒森地内外)</td><td>283.5</td></tr> <tr><td>第10工区 (上安町二丁目地内)</td><td>346.5</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>3,489.5</td></tr> </tbody> </table>					工 区 (地区名)	側溝整備延長	第1工区 (砂越地内外)	213.1	第2工区 (住吉町地内)	412.2	第3工区 (高砂一丁目地内外)	155.6	第4工区 (北新橋二丁目地内)	357.5	第5工区 (新橋四丁目地内)	444.5	第6工区 (若竹町二丁目地内外)	333.5	第7工区 (手蔵田地内)	367.2	第8工区 (錦町四丁目地内外)	575.9	第9工区 (黒森地内外)	283.5	第10工区 (上安町二丁目地内)	346.5	合 計	3,489.5
工 区 (地区名)	側溝整備延長																												
第1工区 (砂越地内外)	213.1																												
第2工区 (住吉町地内)	412.2																												
第3工区 (高砂一丁目地内外)	155.6																												
第4工区 (北新橋二丁目地内)	357.5																												
第5工区 (新橋四丁目地内)	444.5																												
第6工区 (若竹町二丁目地内外)	333.5																												
第7工区 (手蔵田地内)	367.2																												
第8工区 (錦町四丁目地内外)	575.9																												
第9工区 (黒森地内外)	283.5																												
第10工区 (上安町二丁目地内)	346.5																												
合 計	3,489.5																												
備 考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 102,227,000円 公共事業等債（市債）92,000,000円、過疎対策事業債（市債）21,200,000円 緊急自然災害防止対策事業債（市債） 35,500,000円</p>																												

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	所 属	R4 建設部土木課 R3 建設部土木課	
事 業 名	橋りょう延命化事業（繰越明許費を含む）【継続事業】					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	177,091,000	123,676,810	52,923,000	491,190	69.8%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	67,752,000	0	32,900,000	0	23,024,810	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円) 前年度予算減額、前年度支出済額に繰越明許費を含む。		
	169,810,000	149,029,021	△25,352,211			
	目 的 ・ 趣 旨					
	点検、診断、補修のマネジメントサイクルによる橋りょうの管理を行い、将来にわたり、安全で快適な道路を維持する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 橋りょう法定点検を実施した。					
	(2) 早期に対処が必要と判断された橋りょうの補修設計及び補修工事を実施した。					
	○事業実績・説明					
	(1) 橋りょう法定点検 100橋					
	(2) 補修設計 11橋 繰越2橋（前山橋、東泉跨線橋） 現年9橋（下飛鳥橋、小屋淵橋、宮野浦橋、さくら橋、京田西工業団地6号橋、京田西工業団地8号橋、道屋敷2号橋、元田沢3号橋、駅前線橋）					
	(3) 補修工事 6橋 現年6橋（横町橋、駅前線橋、長面橋、道屋敷2号橋、東町二丁目1号橋、砂越跨線人道橋）					
			令和3年度 から繰越	令和4年度	合計	
		点検・診断	-	100	100	
		補修設計	2	9	11	
	工事	0	6	6		
備 考	○主な特定財源 道路メンテナンス事業補助金（国） 67,752,000円（うち繰越11,181,000円） 公共事業等債（市債） 4,700,000円（うち繰越2,500,000円） 過疎対策事業債（市債） 28,200,000円（うち繰越4,600,000円）					

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	5 目 排水施設整備事業費	所 属	R4 建設部土木課 R3 —															
事 業 名	排水施設改修事業				【 新規 事業】															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①															
	16,967,000	16,966,400	0	600	99.9%															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源															
	9,596,400	0	7,300,000	0	70,000															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																
	—	—	—																	
	目 的 ・ 趣 旨																			
	排水施設の老朽化による故障、不具合箇所を適切に改修し、浸水被害の軽減を図る。																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 排水ポンプ施設の改修、更新及び水位監視システムの導入した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 排水ポンプ施設の改修 ・経年劣化により修繕が必要な施設の改修を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>工事項目</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京田一丁目ポンプ場</td> <td>受電設備</td> <td>1 式</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 水位監視システムの導入 ・大雨の際に冠水頻度の高い地域（13箇所）に浸水センサを設置した。 ・大雨の際に越水の恐れがある水路（6箇所）に危機管理型水位計を設置した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>数量</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浸水センサ</td> <td>13台</td> <td>豊里、泉町、東泉町二丁目、富士見町一・二丁目、若浜町、末広町、東栄町、東中の口町、亀ヶ崎三・四丁目、千石町二丁目、錦町一丁目</td> </tr> <tr> <td>危機管理型水位計</td> <td>6台</td> <td>泉町地内排水路、家際排水路、札谷地排水路、本溝排水路、鶯川排水路、広野排水路</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	工事項目	数量	京田一丁目ポンプ場	受電設備	1 式	機器名	数量	設置箇所	浸水センサ	13台	豊里、泉町、東泉町二丁目、富士見町一・二丁目、若浜町、末広町、東栄町、東中の口町、亀ヶ崎三・四丁目、千石町二丁目、錦町一丁目	危機管理型水位計	6台	泉町地内排水路、家際排水路、札谷地排水路、本溝排水路、鶯川排水路、広野排水路
施設名	工事項目	数量																		
京田一丁目ポンプ場	受電設備	1 式																		
機器名	数量	設置箇所																		
浸水センサ	13台	豊里、泉町、東泉町二丁目、富士見町一・二丁目、若浜町、末広町、東栄町、東中の口町、亀ヶ崎三・四丁目、千石町二丁目、錦町一丁目																		
危機管理型水位計	6台	泉町地内排水路、家際排水路、札谷地排水路、本溝排水路、鶯川排水路、広野排水路																		
備 考	○主な特定財源		デジタル田園都市国家構想推進交付金（国） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国） 緊急自然災害防止対策事業債（市債）	4,798,200円 4,798,200円 7,300,000円																

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	6 目 除雪対策費	所 属	R4 建設部土木課 R3 建設部土木課																																																																			
事 業 名	除雪事業				【 継 続 事 業 】																																																																			
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																			
	484,090,000	413,831,181	0	70,258,819	85.5%																																																																			
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																							
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																			
	17,554,000	0	0	405,063	395,872,118																																																																			
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																				
	849,000,000	781,695,856	△367,864,675																																																																					
	目 的 ・ 趣 旨																																																																							
	冬期間における歩行者・車両通行の安全確保と交通渋滞緩和を図るため、計画的な道路除雪を行う。																																																																							
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 冬期間の歩行者・車両通行の安全確保を図るため、除雪事業計画に基づき生活道路の除雪を実施した。また、除雪機械運行管理システムを導入した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">内 容</th> <th colspan="3">内 容</th> </tr> <tr> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車道延長</td> <td>976.7km</td> <td>除雪車出動日数</td> <td>65日</td> <td>95日</td> <td>84日</td> </tr> <tr> <td>車道除雪延長</td> <td>833.4km</td> <td>総稼働台数</td> <td>3,668台</td> <td>6,346台</td> <td>2,113台</td> </tr> <tr> <td>車道除雪率</td> <td>85.3%</td> <td>総稼働時間</td> <td>21,087時間</td> <td>40,006時間</td> <td>11,125時間</td> </tr> <tr> <td>歩道延長</td> <td>198.4km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道除雪延長</td> <td>83.1km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道除雪率</td> <td>41.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">内 容</th> </tr> <tr> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>降雪深</td> <td>171cm</td> <td>246cm</td> <td>112cm</td> </tr> <tr> <td>一日最大降雪量</td> <td>39cm/1月 9日</td> <td>27cm/2月17日</td> <td>13cm/2月10日</td> </tr> <tr> <td>一日最深積雪</td> <td>58cm/1月 9日</td> <td>43cm/2月18日</td> <td>15cm/1月30日 15cm/2月 1日</td> </tr> <tr> <td>執行額</td> <td>513,272千円</td> <td>781,696千円</td> <td>413,832千円</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	内 容	内 容			R 2	R 3	R 4	車道延長	976.7km	除雪車出動日数	65日	95日	84日	車道除雪延長	833.4km	総稼働台数	3,668台	6,346台	2,113台	車道除雪率	85.3%	総稼働時間	21,087時間	40,006時間	11,125時間	歩道延長	198.4km					歩道除雪延長	83.1km					歩道除雪率	41.9%					区 分	内 容			R 2	R 3	R 4	降雪深	171cm	246cm	112cm	一日最大降雪量	39cm/1月 9日	27cm/2月17日	13cm/2月10日	一日最深積雪	58cm/1月 9日	43cm/2月18日	15cm/1月30日 15cm/2月 1日	執行額	513,272千円	781,696千円	413,832千円
区 分	内 容	内 容																																																																						
		R 2	R 3	R 4																																																																				
車道延長	976.7km	除雪車出動日数	65日	95日	84日																																																																			
車道除雪延長	833.4km	総稼働台数	3,668台	6,346台	2,113台																																																																			
車道除雪率	85.3%	総稼働時間	21,087時間	40,006時間	11,125時間																																																																			
歩道延長	198.4km																																																																							
歩道除雪延長	83.1km																																																																							
歩道除雪率	41.9%																																																																							
区 分	内 容																																																																							
	R 2	R 3	R 4																																																																					
降雪深	171cm	246cm	112cm																																																																					
一日最大降雪量	39cm/1月 9日	27cm/2月17日	13cm/2月10日																																																																					
一日最深積雪	58cm/1月 9日	43cm/2月18日	15cm/1月30日 15cm/2月 1日																																																																					
執行額	513,272千円	781,696千円	413,832千円																																																																					
備 考	<p>○主な特定財源 防災・安全交付金（国）13,264,000円 戸沢村除雪協力金 405,063円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）2,145,000円 デジタル田園都市国家構想推進交付金（国）2,145,000円</p>																																																																							

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	4 目 公園費	所 属	R4 建設部整備課 R3 建設部整備課																		
事 業 名	公園都市構想事業				【 継 続 事 業 】																		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	6,107,000	5,828,989	0	278,011	95.4%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	0	0	0	4,681,000	1,147,989																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	6,722,000	6,492,060	△663,071																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	酒田市全体を公園のようにきれいで快適なまちにするため、公園都市構想の啓発運動を行いながら、行政と市民の協働により、市民ボランティアの手による美化活動や緑化活動等の公園都市実現に関する各種施策を展開する。																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 美化サポーターへの活動資材の提供（ゴミ袋、花苗、球根、肥料等）</p> <p>(2) 美化サポーターへの草刈り機械の貸出し及び機械用燃料の支給</p> <p>(3) アダプトサインの設置（植栽ます等に管理団体を表示）</p> <p>(4) ボランティア保険への加入</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 美化サポーター一年度別登録実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>233</td> <td>243</td> <td>246</td> <td>250</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>登録人数</td> <td>11,859</td> <td>12,297</td> <td>12,441</td> <td>12,589</td> <td>12,690</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 光ヶ丘地区環境美化ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月25日実施 参加人数 268名 ・ 9月24日実施 参加人数 122名 <p>(3) アダプトサイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置件数 3件 ・ 設置団体 双葉自治会 緑町自治会 酒田電気工事協同組合 彩の会 						平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	団体数	233	243	246	250	258	登録人数	11,859	12,297	12,441	12,589	12,690
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																		
団体数	233	243	246	250	258																		
登録人数	11,859	12,297	12,441	12,589	12,690																		
備 考	○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 4,681,000円																						

款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	4 目 公園費	所 属	R4 建設部整備課 R3 建設部整備課				
事 業 名	公園施設再整備事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	59,574,000	59,555,100	0	18,900	99.9%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	0	0	0	49,453,800	10,101,300				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	18,268,000	18,266,600	41,288,500						
	目 的 ・ 趣 旨								
	都市公園等において、経年劣化した公園施設や機能、防犯面から早期に整備が必要な危険箇所の改修を行い、公園利用者の安全性や利便性の向上を図るもの。								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 閉鎖となった公園トイレの解体撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園閉鎖トイレ解体撤去 日和山公園 N=1基 <p>(2) 松くい虫被害拡大防止のための枯れ松伐採</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市公園松くい虫防除業務委託 (R3債務負担行為) 松くい虫被害木破砕処理数量 V=1,121.84m³ 光ヶ丘公園 N=641本 飯森山公園 N=53本 遊心の森 N=22本 九木原公園 N=1本 計 N=717本 都市公園松くい虫防除業務委託 (その1) 松くい虫被害木破砕処理数量 V=151.55m³ 光ヶ丘公園 N=113本 飯森山公園 N=25本 計 N=138本 都市公園松くい虫防除業務委託 (その2) 松くい虫被害木破砕処理数量 V=911.68m³ 光ヶ丘公園 N=520本 飯森山公園 N=70本 遊心の森 N=24本 九木原公園 N=1本 舞鶴公園 N=3本 日和山公園 N=2本 計 N=620本 <p>(3) 最上川下流緑地給水管付替に伴う詳細設計業務委託及び工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細設計業務委託 一式 給水管布設工 L=26.9m 								
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>風力発電事業地域未来創造基金繰入金</td> <td>26,015,000円</td> </tr> <tr> <td>さかた応援基金繰入金</td> <td>23,438,800円</td> </tr> </table>					風力発電事業地域未来創造基金繰入金	26,015,000円	さかた応援基金繰入金	23,438,800円
風力発電事業地域未来創造基金繰入金	26,015,000円								
さかた応援基金繰入金	23,438,800円								

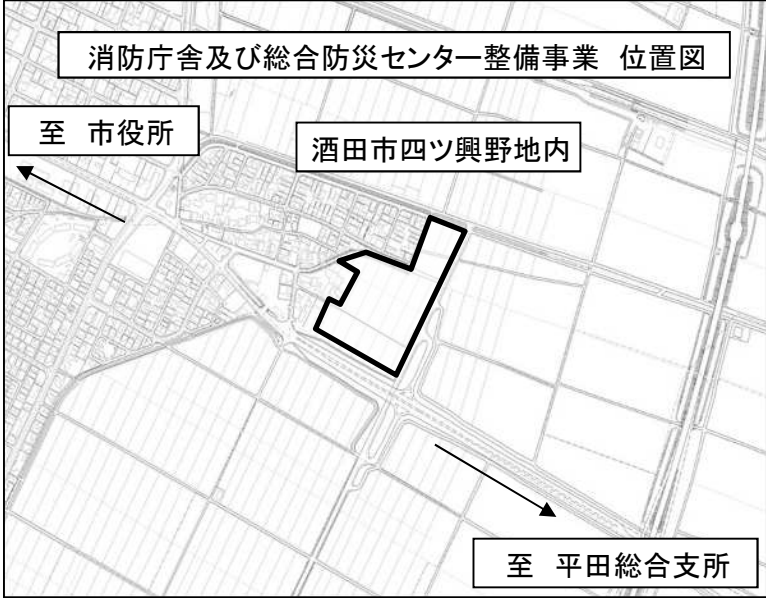
款 項 目	8 款 土木費	5 項 都市計画費	4 目 公園費	所 属	R4 建設部整備課 R3 建設部整備課																											
事 業 名	公園施設長寿命化等整備事業				【 継 続 事 業 】																											
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																											
	75,094,000	40,258,900	34,835,000	100	53.6%																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																											
	20,085,000	0	18,000,000	0	2,173,900																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																												
	50,935,000	50,933,300	△10,674,400																													
	目 的 ・ 趣 旨																															
	酒田市公園施設長寿命化計画に則って公園施設の更新や補修を行い、長寿命化及びバリアフリー化を図る。																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 公園施設の良い維持管理を図るため、公園施設長寿命化計画を策定し計画に基づいた施設の更新整備を行った。</p> <p>○事業実績・説明 ・事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費 (円)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>97,668,720</td> <td>飯森山公園 (測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度繰越</td> <td>34,119,360</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>61,309,900</td> <td>飯森山公園 (測量設計、トイレ改修工事、長寿命化整備工事)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度繰越</td> <td>27,475,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>41,130,100</td> <td>飯森山公園 (トイレ改修工事) 九木原公園 (測量設計、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度繰越</td> <td>15,086,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>50,933,300</td> <td>九木原公園 (資材等単価調査、トイレ改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>40,258,900</td> <td>光ヶ丘公園ほか8公園 (計画策定) 舞鶴公園 (測量設計) 北部公園 (測量設計、資材等単価調査、トイレ等改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 公園施設長寿命化計画策定業務委託 (光ヶ丘公園ほか8公園) 公園施設計画策定 一式 体育施設計画策定 一式</p> <p>(2) 公園施設長寿命化等実施設計業務委託 (北部公園、舞鶴公園) トイレ設計 N=1基 四阿設計 N=1基 複合遊具設計 N=1基 造形遊具設計 N=1基 シーソー設計 N=1基</p> <p>(3) 公園工事に資材等単価調査業務委託 (北部公園) 複合遊具単価調査 N=1基</p> <p>(4) トイレ等改修工事 (北部公園) 鉄筋コンクリート造平屋建て (ユニット式) トイレ新築 N=1基 四阿新築 N=1基 既設トイレ解体 一式 既設四阿解体 一式</p> <p>(5) 公園施設長寿命化等整備工事 (北部公園、日和山公園) 作業土工 一式 公園遊具撤去工 一式 複合遊具設置工 N=1基 照明灯設置工 N=2基 ポンプ設置工 N=2基</p>					年度	事業費 (円)	実施内容	平成30年度	97,668,720	飯森山公園 (測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事)	平成30年度繰越	34,119,360		令和元年度	61,309,900	飯森山公園 (測量設計、トイレ改修工事、長寿命化整備工事)	令和元年度繰越	27,475,800		令和2年度	41,130,100	飯森山公園 (トイレ改修工事) 九木原公園 (測量設計、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)	令和2年度繰越	15,086,500		令和3年度	50,933,300	九木原公園 (資材等単価調査、トイレ改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)	令和4年度	40,258,900	光ヶ丘公園ほか8公園 (計画策定) 舞鶴公園 (測量設計) 北部公園 (測量設計、資材等単価調査、トイレ等改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)
年度	事業費 (円)	実施内容																														
平成30年度	97,668,720	飯森山公園 (測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事)																														
平成30年度繰越	34,119,360																															
令和元年度	61,309,900	飯森山公園 (測量設計、トイレ改修工事、長寿命化整備工事)																														
令和元年度繰越	27,475,800																															
令和2年度	41,130,100	飯森山公園 (トイレ改修工事) 九木原公園 (測量設計、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)																														
令和2年度繰越	15,086,500																															
令和3年度	50,933,300	九木原公園 (資材等単価調査、トイレ改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)																														
令和4年度	40,258,900	光ヶ丘公園ほか8公園 (計画策定) 舞鶴公園 (測量設計) 北部公園 (測量設計、資材等単価調査、トイレ等改修工事、長寿命化整備工事) 日和山公園 (長寿命化整備工事)																														
備 考	<p>○主な特定財源 防災・安全交付金 (国) 20,085,000円 公共事業等債 (市債) 18,000,000円</p>																															

款 項 目	8 款 土木費	6 項 住宅費	1 目 住宅管理費	所 属	R4 建設部建築課 R3 建設部建築課
事 業 名	市営住宅ストック改善事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	93,128,000	92,897,250	0	230,750	99.8%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	24,803,000	0	53,800,000	0	14,294,250
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	87,745,000	87,663,840	5,233,410		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市営住宅の長寿命化を図り、良好な居住環境を提供するため、計画的な改修を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	(1) 市営住宅の居住環境の改善を図るため、給排水管等の改修工事を行った。				
	(2) 耐用年数の10年が経過した火災警報器の更新工事を行った。				
	(3) 川南団地一・二号棟の用途廃止に向けた入居者の移転に対し、補償を行った。				
	○事業実績・説明				
	(1) 大町第六アパートの給排水管改修工事				
	工事内容 ・ 屋上防水及び受水槽・高架水槽方式から直結増圧方式への改修				
	・ 老朽給排水管の更新、風呂釜及びユニットバスの更新				
	・ 工事期間中、入居者は同一団地内へ仮転居（R5年3月再転居完了）				
		年度	事 業 実 績		事業費(円)
	H30	・ 大町第二アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修）		66,365,352	
	R 1	・ 大町第四～第五アパートの給排水管改修工事（実施設計） ・ 大町第三アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修）		70,323,232	
	R 2	・ 大町第四アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修）		65,318,550	
	R 3	・ 大町第六～第七アパートの給排水管改修工事（実施設計） ・ 大町第五アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修）		81,243,140	
	R 4	・ 大町第六アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修）		80,675,250	
	(2) 光ヶ丘、大町、静ヶ台及び八幡・松山・平田地区の各団地の火災警報器更新工事				
	年度	事 業 実 績		事業費(円)	
	R 2	・ 松境、若宮、川南、富士見団地 火災警報器更新工事		5,874,000	
	R 3	・ 住吉、千日、新橋二丁目、新橋五丁目、港南、旭新町団地 火災警報器更新工事		6,420,700	
	R 4	・ 光ヶ丘、大町、静ヶ台及び八幡・松山・平田地区の各団地 火災警報器更新工事		5,742,000	
	※1住宅当たり3～4か所（居室＋台所）				
	(3) 第一・第二川南アパートから移転する方へ補償費支払い（240,000円×27世帯）				
備 考	○主な特定財源	社会資本整備総合交付金（国）	24,803,000円		
		公営住宅建設事業債（市債）	53,800,000円		

款 項 目	8 款 土木費	6 項 住宅費	2 目 建築指導費	所 属	R4 建設部建築課 R3 建設部建築課																												
事 業 名	住宅リフォーム総合支援事業				【 継 続 事 業 】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																												
	59,164,000	58,843,830	0	320,170	99.5%																												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																												
	4,050,000	29,240,000	0	0	25,553,830																												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																													
	68,266,000	68,033,467	△9,189,637																														
	目 的 ・ 趣 旨																																
	住宅のリフォームを推進し、住宅環境改善や適切な維持保全に支援することにより、地域経済の活性化及び酒田産木材の利用促進を図りながら、耐震化などの住宅の質の向上による減災を促進する。																																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 住宅リフォーム総合支援補助金</p> <p>○事業実績・説明 ・住宅の質の向上を図るリフォーム工事を行う方に対し、工事費の20%以内で240千円を上限に補助金を交付した（要件により上限額へ上乗せあり）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数 (件)</th> <th>補助金額 (千円)</th> <th>総工事費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>281</td> <td>105,810</td> <td>846,591</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>271</td> <td>100,950</td> <td>874,715</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>251</td> <td>70,880</td> <td>604,657</td> </tr> <tr> <td> コロナ 対策分※</td> <td>87</td> <td>13,027</td> <td>28,091</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>284</td> <td>67,770</td> <td>625,054</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>250</td> <td>58,680</td> <td>512,463</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症に対応した新生活様式へのリフォーム工事を行う方に対し、緊急に、工事費の1/2以内で200千円を上限に補助金を交付した。</p> <p>○周知及び募集等の状況 ・募集について、市広報3月16日号及びホームページに掲載し、パンフレット1,800部を各建設業団体、関係各課及び各総合支所に配布し周知した。 ・4月11日に受付を開始し、2月21日に受付を終了した。</p>						利用件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)	平成30年度	281	105,810	846,591	令和元年度	271	100,950	874,715	令和2年度	251	70,880	604,657	コロナ 対策分※	87	13,027	28,091	令和3年度	284	67,770	625,054	令和4年度	250	58,680	512,463
	利用件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)																														
平成30年度	281	105,810	846,591																														
令和元年度	271	100,950	874,715																														
令和2年度	251	70,880	604,657																														
コロナ 対策分※	87	13,027	28,091																														
令和3年度	284	67,770	625,054																														
令和4年度	250	58,680	512,463																														
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>社会資本整備総合交付金(国)</td> <td>4,050,000円</td> </tr> <tr> <td>住宅リフォーム総合支援事業費補助金(県)</td> <td>29,240,000円</td> </tr> </table>					社会資本整備総合交付金(国)	4,050,000円	住宅リフォーム総合支援事業費補助金(県)	29,240,000円																								
社会資本整備総合交付金(国)	4,050,000円																																
住宅リフォーム総合支援事業費補助金(県)	29,240,000円																																

款 項 目	8 款 土木費	6 項 住宅費	2 目 建築指導費	所 属	R4 建設部建築課 R3 建設部建築課	
事 業 名	新築住宅総合支援事業				【 継 続 事 業 】	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	13,185,000	13,180,750	0	4,250	99.9%	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	13,180,750	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	13,259,000	13,177,640	3,110			
	目 的 ・ 趣 旨					
	新築住宅工事において、地元企業の活用により酒田産木材の使用促進及び準防火地域内の住宅、移住・子育て・新婚世帯の住宅建設を支援する。また、昭和56年以前に建築された空き家の解体を支援することにより耐震化を促進する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容					
	(1) 新築住宅総合支援補助金 (新築住宅工事)					
	(2) 新築住宅総合支援補助金 (空き家の解体工事)					
	○事業実績・説明					
	(1) 新築住宅総合支援補助金 (新築住宅工事)					
	・ 酒田産木材を一定量使用し、市内業者の施工により住宅の新築工事を行う方に対し、1件当たり300千円の補助金を交付した (要件により上乘せあり※)。					
	※上乘せ要件 準防火地域内の住宅 200千円 移住・子育て・新婚世帯 100千円					
		年度	実施件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)	酒田産木材使用量 (㎡)
		R 3	22	9,000	561,110	318
		R 4	25	9,200	733,032	355
	(2) 新築住宅総合支援補助金 (空き家の解体工事)					
	・ 昭和56年以前に建築され、3年以上空き家となっている住宅を解体する方に対し、工事費の1/2以内で200千円を限度に補助金を交付した。					
	年度	実施件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)		
	R 3	20	4,000	39,388		
	R 4	19	3,800	45,093		
	○周知及び募集等の状況					
	・ 募集について、市広報3月16日号及びホームページに掲載し、パンフレット1,300部(新築)300部(空き家)を各建設業団体、関係各課及び各総合支所に配布し周知した。					
	・ (新築) 5月16日～5月20日まで49名受付。予算に達したため抽選を行った。					
	・ (空き家) 5月9日～5月13日までで予算に達しなかったため引き続き受付し、6月21日に予算額に達した。					
備 考						

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	3 目 消防施設費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課																																										
事 業 名	消防施設等整備事業				【 継 続 事 業 】																																										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																										
	112,488,000	103,798,521	0	8,689,479	92.3%																																										
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																										
	10,972,000	0	74,700,000	0	18,126,521																																										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																											
	57,177,000	50,796,842	53,001,679																																												
	目 的 ・ 趣 旨																																														
	災害時における出動体制（態勢）の確立と消防力の維持向上を図るため、老朽化した消防施設や車両・ポンプ等の更新、消防水利の整備等を行う。																																														
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 災害時における出動体制（態勢）の確立と消防力の維持向上を図るため、老朽化した消防施設や車両の更新、消防水利の整備等を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 消防団員活動服購入</td> <td></td> <td>5,349,740円</td> </tr> <tr> <td>・活動服（上衣・ズボン）</td> <td>計347着</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 消防機具庫建設</td> <td></td> <td>5,599,000円</td> </tr> <tr> <td>・赤剥</td> <td>計1棟</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 耐震性貯水槽建設及び撤去</td> <td></td> <td>59,837,800円</td> </tr> <tr> <td>・寺内、寺田、小見、成興野</td> <td>計4基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 軽積載車購入</td> <td></td> <td>5,503,470円</td> </tr> <tr> <td>・本町・中町</td> <td>計1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 資機材搬送車購入</td> <td></td> <td>5,019,020円</td> </tr> <tr> <td>・牧曾根、福山</td> <td>計2台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 小型動力ポンプ購入</td> <td></td> <td>3,850,000円</td> </tr> <tr> <td>・本町・中町、上黒川</td> <td>計2台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 消火栓更新</td> <td></td> <td>10,692,891円</td> </tr> <tr> <td>・市内</td> <td>計16本</td> <td></td> </tr> </table>					(1) 消防団員活動服購入		5,349,740円	・活動服（上衣・ズボン）	計347着		(2) 消防機具庫建設		5,599,000円	・赤剥	計1棟		(3) 耐震性貯水槽建設及び撤去		59,837,800円	・寺内、寺田、小見、成興野	計4基		(4) 軽積載車購入		5,503,470円	・本町・中町	計1台		(5) 資機材搬送車購入		5,019,020円	・牧曾根、福山	計2台		(6) 小型動力ポンプ購入		3,850,000円	・本町・中町、上黒川	計2台		(7) 消火栓更新		10,692,891円	・市内	計16本	
(1) 消防団員活動服購入		5,349,740円																																													
・活動服（上衣・ズボン）	計347着																																														
(2) 消防機具庫建設		5,599,000円																																													
・赤剥	計1棟																																														
(3) 耐震性貯水槽建設及び撤去		59,837,800円																																													
・寺内、寺田、小見、成興野	計4基																																														
(4) 軽積載車購入		5,503,470円																																													
・本町・中町	計1台																																														
(5) 資機材搬送車購入		5,019,020円																																													
・牧曾根、福山	計2台																																														
(6) 小型動力ポンプ購入		3,850,000円																																													
・本町・中町、上黒川	計2台																																														
(7) 消火栓更新		10,692,891円																																													
・市内	計16本																																														
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table border="0"> <tr> <td>消防防災施設整備費補助金（国）</td> <td>10,972,000円</td> </tr> <tr> <td>緊急防災・減災事業債（市債）</td> <td>9,500,000円</td> </tr> <tr> <td>過疎対策事業債（市債）</td> <td>45,600,000円</td> </tr> </table>					消防防災施設整備費補助金（国）	10,972,000円	緊急防災・減災事業債（市債）	9,500,000円	過疎対策事業債（市債）	45,600,000円																																				
消防防災施設整備費補助金（国）	10,972,000円																																														
緊急防災・減災事業債（市債）	9,500,000円																																														
過疎対策事業債（市債）	45,600,000円																																														

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	3 目 消防施設費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課	
事 業 名	消防庁舎及び総合防災センター整備事業（継続費・逡次繰越分を含む）【継続事業】					
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
	231,645,000	231,432,300	0	212,700	99.9%	
	支出済額②の財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	231,300,000	0	132,300	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
	—	—	—			
	目 的 ・ 趣 旨					
	消防本部及び本署の四ツ興野地区への移転改築に合わせて、同エリアに大規模災害への対応が可能で平時も市民が利用可能な総合防災センターを整備する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 消防庁舎（消防本部、本署）及び総合防災センター整備のため、調整池等の外構工事（継続費：令和2年度～4年度）を行った。					
	○事業実績・説明 消防庁舎及び総合防災センター整備事業に伴う外構工事 28,895,300円 消防庁舎及び総合防災センター整備事業に伴う外構工事（継続費・逡次繰越） 202,537,000円					
	 <p>消防庁舎及び総合防災センター整備事業 位置図</p> <p>至 市役所</p> <p>酒田市四ツ興野地内</p> <p>至 平田総合支所</p>					
	○継続費					
	年度	全体計画 (年割額)	支出済額	支出済額の財源内訳		年割額と 支出済額の差
				市債	一般財源	
	R 2	81,015,000円	0円	0円	0円	△81,015,000円
	R 3	121,522,000円	0円	0円	0円	△121,522,000円
	R 4	29,108,000円	231,432,300円	231,300,000円	132,300円	202,324,300円
	計	231,645,000円	231,432,300円	231,300,000円	132,300円	△212,700円
備 考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債（市債） 28,800,000円 緊急防災・減災事業債（市債） 202,500,000円（継続費・逡次繰越）					

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	4 目 災害対策費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課				
事 業 名	(繰越明許費) 防災対策強化事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	90,783,000	89,773,530	0	1,009,470	98.9%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	0	0	84,500,000	0	5,273,530				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	—	—	—						
	目 的 ・ 趣 旨								
	防災体制（態勢）の充実強化を図るため、多様な情報伝達手段の整備として防災ラジオの頒布拡大と、全市エリア化に向けたコミュニティFMの中継局整備工事を行う。								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 情報伝達体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ラジオによる防災情報の伝達を全市に展開するため、コミュニティFM（ハーバーラジオ）中継局整備工事（令和3～4年度）を実施した。 ・ 市民への災害時の情報伝達手段としてハーバーラジオを活用した防災ラジオの有償頒布を行った。 <p>○事業実績・説明</p> <table> <tr> <td>(1) コミュニティFM中継局整備工事</td> <td>85,470,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 防災ラジオの購入及び頒布</td> <td>4,303,530円</td> </tr> </table>					(1) コミュニティFM中継局整備工事	85,470,000円	(2) 防災ラジオの購入及び頒布	4,303,530円
(1) コミュニティFM中継局整備工事	85,470,000円								
(2) 防災ラジオの購入及び頒布	4,303,530円								
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債）		84,500,000円						

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	4 目 災害対策費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課																		
事 業 名	防災対策強化事業				【 継 続 事 業 】																		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	76,018,000	49,130,067	24,563,000	2,324,933	64.6%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	0	0	14,000,000	25,089,595	10,040,472																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	130,081,000	38,188,776	10,941,291																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	防災体制（態勢）の充実強化を図るため、避難所となる小中学校への食料等の備蓄、地域の女性防災リーダーの育成、防災行政無線の改修や防災ラジオの頒布拡大を図る。また、B & G財団の防災拠点整備事業を活用し、避難所への資機材導入や研修を実施する。																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 避難所の態勢強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各避難所に備蓄している食料と飲料水の入替（賞味期限を迎える分）等を行った。 避難所となる学校やコミュニティセンターへ停電時に電源を供給するため、LPガス発電機の計画的配備を進めた（令和元年度から5年度までの計画）。 <p>(2) 情報伝達体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災ラジオによる防災情報の伝達を全市に展開するため、コミュニティFM（ハーバーラジオ）中継局整備工事（令和3～4年度）を実施した。 市民への災害時の情報伝達手段としてハーバーラジオを活用した防災ラジオの有償頒布を行った。 同報系防災行政無線の親局操作卓を改修し、緊急災害情報を複数メディアへ斉配信できる情報配信システムを導入するため、実施設計を行った。改修工事は令和4年度から5年度の2か年で行う（継続費事業）。 <p>(3) B & G財団の防災拠点整備事業による避難所資機材の充実及び防災研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄庫の建設と、避難所用テント等の購入により防災資機材の充実を図った。 女性の視点に立った防災体制構築及び自主防災体制強化のため、女性防災リーダー育成講座（38名参加）を6月～7月に3回開催した。11月にはフォローアップ研修会を開催し、座学と共にダンボールベッドや簡易テントなど、避難所資機材の組み立て訓練を行った。 小型車両系建設機械の運転業務と避難所運営等の研修を実施した。 <p>(4) 要配慮者のホテル及び旅館への自主避難・早期避難支援制度を活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風14号に伴う要配慮者（高齢者、障がい者等）の避難経費に補助金を交付した。補助率：宿泊費と移動に要する経費の2/3（限度額10千円） <p>○事業実績・説明</p> <table> <tr> <td>(1) 備蓄用食料、飲料水、粉ミルク、生理用品等</td> <td>3,331,676円</td> </tr> <tr> <td>LPガス発電機借上料</td> <td>6,141,432円</td> </tr> <tr> <td>(2) コミュニティFM中継局整備工事</td> <td>12,595,000円</td> </tr> <tr> <td>同報系防災行政無線操作卓更新工事</td> <td>1,542,200円</td> </tr> <tr> <td>防災ラジオの購入及び頒布</td> <td>3,866,280円</td> </tr> <tr> <td>(3) B & G財団防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機材配備支援事業（防災備蓄庫の建設、防災資機材の購入）</td> <td>18,462,392円</td> </tr> <tr> <td>研修支援事業（女性防災リーダー育成講座、避難所運営研修等）</td> <td>3,147,187円</td> </tr> <tr> <td>(4) 自主避難者ホテル受入事業補助金</td> <td>43,900円</td> </tr> </table>					(1) 備蓄用食料、飲料水、粉ミルク、生理用品等	3,331,676円	LPガス発電機借上料	6,141,432円	(2) コミュニティFM中継局整備工事	12,595,000円	同報系防災行政無線操作卓更新工事	1,542,200円	防災ラジオの購入及び頒布	3,866,280円	(3) B & G財団防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業		機材配備支援事業（防災備蓄庫の建設、防災資機材の購入）	18,462,392円	研修支援事業（女性防災リーダー育成講座、避難所運営研修等）	3,147,187円	(4) 自主避難者ホテル受入事業補助金	43,900円
(1) 備蓄用食料、飲料水、粉ミルク、生理用品等	3,331,676円																						
LPガス発電機借上料	6,141,432円																						
(2) コミュニティFM中継局整備工事	12,595,000円																						
同報系防災行政無線操作卓更新工事	1,542,200円																						
防災ラジオの購入及び頒布	3,866,280円																						
(3) B & G財団防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業																							
機材配備支援事業（防災備蓄庫の建設、防災資機材の購入）	18,462,392円																						
研修支援事業（女性防災リーダー育成講座、避難所運営研修等）	3,147,187円																						
(4) 自主避難者ホテル受入事業補助金	43,900円																						
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>過疎対策事業債（市債）</td> <td>12,500,000円</td> </tr> <tr> <td>緊急防災・減災事業債（市債）</td> <td>1,500,000円</td> </tr> <tr> <td>B & G財団防災拠点整備事業機材配備・研修支援金</td> <td>21,349,195円</td> </tr> </table>					過疎対策事業債（市債）	12,500,000円	緊急防災・減災事業債（市債）	1,500,000円	B & G財団防災拠点整備事業機材配備・研修支援金	21,349,195円												
過疎対策事業債（市債）	12,500,000円																						
緊急防災・減災事業債（市債）	1,500,000円																						
B & G財団防災拠点整備事業機材配備・研修支援金	21,349,195円																						

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	4 目 災害対策費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課
事 業 名	水防活動事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,691,000	1,698,880	0	992,120	63.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,698,880
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,414,000	1,283,934	414,946		
	目 的 ・ 趣 旨				
	水防体制（態勢）の充実強化を図るため、土のうや山砂など水防活動に必要な資機材の整備と水防技術向上のための訓練を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 水防体制（態勢）の充実強化を図るため、土のうや山砂など水防活動に必要な資機材の整備と水防技術向上のための訓練を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）水防技術向上のため、水防訓練等を実施した。 ①水防工法指導員実技研修会（年1回） ・6月実施 23人参加 ②水防基礎研修会（年1回） ・6～11月実施 272人参加（支団毎に実施） ③酒田市水防訓練（年1回） ・6月実施 241人参加 （2）水防活動に必要な資機材等を整備した。 ①救命胴衣、土のう袋等の購入 360,360円 ・救命胴衣 計20着 ・砂入り土のう 計600袋 ②排水ポンプ車の維持管理 825,000円 ・排水ポンプ車（1台）維持管理業務委託 計1式</p>				
備 考					

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	4 目 災害対策費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課																																																																						
事 業 名	自主防災組織等活動支援事業				【 継 続 事 業 】																																																																						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																						
	2,116,000	2,083,000	0	33,000	98.4%																																																																						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																						
	0	0	0	0	2,083,000																																																																						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																							
	2,240,000	1,566,710	516,290																																																																								
	目 的 ・ 趣 旨																																																																										
	自主防災組織の育成とその活動の推進を図るため、防災資機材等を整備する自主防災組織に対し整備費を補助し、活動の支援を行う。																																																																										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 自主防災組織の育成とその活動の推進を図るため、防災資機材等を整備する自主防災組織を支援した。 補助率：整備費の1/2（限度額500千円）</p> <p>(2) 「みんなで高める地域防災力」をテーマに、跡見学園女子大学コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授の鍵屋一氏を講師に迎え、防災講演会を開催した。 開催日：令和4年12月2日</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>自主防災組織率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>自治会数</th> <th>自主防災組織数</th> <th>組織率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成26年度</td><td>460 団体</td><td>423 団体</td><td>92.0%</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>460 団体</td><td>423 団体</td><td>92.0%</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>460 団体</td><td>437 団体</td><td>95.0%</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>460 団体</td><td>442 団体</td><td>96.1%</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>461 団体</td><td>441 団体</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>460 団体</td><td>440 団体</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>460 団体</td><td>440 団体</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>460 団体</td><td>440 団体</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>460 団体</td><td>440 団体</td><td>95.7%</td></tr> </tbody> </table> <p>自主防災組織資機材等整備補助金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成26年度</td><td>36 件</td><td>2,183,011 円</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>42 件</td><td>3,582,000 円</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>39 件</td><td>3,159,000 円</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>27 件</td><td>1,748,000 円</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>23 件</td><td>2,151,000 円</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>23 件</td><td>2,007,000 円</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>29 件</td><td>1,924,000 円</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>22 件</td><td>1,451,000 円</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>18 件</td><td>2,048,000 円</td></tr> </tbody> </table>					年度	自治会数	自主防災組織数	組織率	平成26年度	460 団体	423 団体	92.0%	平成27年度	460 団体	423 団体	92.0%	平成28年度	460 団体	437 団体	95.0%	平成29年度	460 団体	442 団体	96.1%	平成30年度	461 団体	441 団体	95.7%	令和元年度	460 団体	440 団体	95.7%	令和2年度	460 団体	440 団体	95.7%	令和3年度	460 団体	440 団体	95.7%	令和4年度	460 団体	440 団体	95.7%	年度	交付件数	補助金額	平成26年度	36 件	2,183,011 円	平成27年度	42 件	3,582,000 円	平成28年度	39 件	3,159,000 円	平成29年度	27 件	1,748,000 円	平成30年度	23 件	2,151,000 円	令和元年度	23 件	2,007,000 円	令和2年度	29 件	1,924,000 円	令和3年度	22 件	1,451,000 円	令和4年度	18 件	2,048,000 円
年度	自治会数	自主防災組織数	組織率																																																																								
平成26年度	460 団体	423 団体	92.0%																																																																								
平成27年度	460 団体	423 団体	92.0%																																																																								
平成28年度	460 団体	437 団体	95.0%																																																																								
平成29年度	460 団体	442 団体	96.1%																																																																								
平成30年度	461 団体	441 団体	95.7%																																																																								
令和元年度	460 団体	440 団体	95.7%																																																																								
令和2年度	460 団体	440 団体	95.7%																																																																								
令和3年度	460 団体	440 団体	95.7%																																																																								
令和4年度	460 団体	440 団体	95.7%																																																																								
年度	交付件数	補助金額																																																																									
平成26年度	36 件	2,183,011 円																																																																									
平成27年度	42 件	3,582,000 円																																																																									
平成28年度	39 件	3,159,000 円																																																																									
平成29年度	27 件	1,748,000 円																																																																									
平成30年度	23 件	2,151,000 円																																																																									
令和元年度	23 件	2,007,000 円																																																																									
令和2年度	29 件	1,924,000 円																																																																									
令和3年度	22 件	1,451,000 円																																																																									
令和4年度	18 件	2,048,000 円																																																																									
備 考																																																																											

款 項 目	9 款 消防費	1 項 消防費	4 目 災害対策費	所 属	R4 総務部危機管理課 R3 総務部危機管理課
事 業 名	防災訓練事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	645,000	638,124	0	6,876	98.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	638,124
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	458,000	233,309	404,815		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市と防災関係機関及び市民が一体となった防災訓練を実施し、災害時における防災活動の円滑化と協力体制の強化及び防災意識の高揚を図る。また避難所運営における各活動の動画を作成し、統一した要領を全市的に共有すると共に地域の避難所運営能力の底上げを図る。				
事 務 の 概 要	<p>○事業内容 防災関係機関及び地域住民と連携し、より実践に即した総合防災訓練を実施した。 また、避難所運営動画を作成・配信して、住民の避難所運営の理解や災害時の避難運営能力の向上を図り、地域の防災力強化を図った。</p> <p>○事業実績・説明 内閣府の令和4年度地震・津波防災訓練事業により、酒田市・内閣府主催による令和4年度酒田市一斉総合防災訓練を実施した。 本市としては初となる市全域を対象とした総合防災訓練で、市を中心とし、市民と自主防災組織（避難所）、消防、警察、及び自衛隊等の防災関係機関が組織的な連携を發揮できるようにすることを目的に実施した。 また、防災訓練用の資機材を購入し、避難所運営動画を作成した。 (1) 実施日 令和4年10月29日（土） (2) 主催 酒田市、内閣府 (3) 参加者数 4,650人 ①市民 3,382人 ②防災関係機関（自衛隊、警察、消防等） 1,030人 ③市職員 238人 (4) 防災訓練等に係る資機材の配備 ・ 電話用ヘッドフォンセット等 44,124円 (5) 避難所運営動画作成 ・ 避難所運営動画制作業務委託料 594,000円 ・ 避難所の利用マナーやルールを市民に分かりやすい内容で、避難所運営動画を作成した。 ・ 動画では、本市の避難所で実際に備蓄してる備蓄資機材や食料で分かりやすく説明した。 ・ 動画は、市内の小中学校とコミュニティ振興会にDVDを配布するとともに、酒田市公式Youtubeで配信して、市民の防災力向上に生かしてもらっている。 ・ 令和5年3月31日時点のYoutube動画の再生回数は約850回になっている。</p>				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	1目 学校管理費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 教育委員会企画管理課
事 業 名	施設整備事業（小学校）				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	35,784,000	35,058,100	0	725,900	98.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	27,200,000	0	7,858,100
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	5,682,000	5,338,300	29,719,800		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市内小学校の中規模的な施設・設備の修繕が必要となるものについて、安全で快適な教育環境を維持するため、計画的に更新・改修する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市内小学校の中規模な施設・設備等の改修・修繕</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 給食運搬用小荷物昇降機（ダムウェーター）改修（泉小学校） 7,260,000円 ・老朽化したダムウェーター1機の更新と、これに伴う屋内 消火栓1台の移設</p> <p>(2) 電話設備改修（南平田小学校） 6,490,000円 ・老朽化した電話設備の更新 主装置1台、多機能電話機6台、PHS25台</p> <p>(3) 給水ポンプ改修（南平田小学校） 2,750,000円 ・老朽化した給水用ポンプ2台の更新</p> <p>(4) 高圧受変電設備改修（若浜小学校、平田小学校、南平田小学校） 4,097,500円 ・低濃度PCBを含有する恐れのある機器の更新 若浜小学校：コンデンサ1台、平田小学校：変圧器2台 南平田小学校：コンデンサ10台 ※試験の結果、全ての機器にPCBは含有していないことを確認</p> <p>(5) バリアフリー対策修繕（琢成小学校、泉小学校） 6,083,000円 ・屋内運動場玄関へのスロープの整備（児童用玄関及び職員玄関には 整備済）</p> <p>(6) 学校安全対策修繕（琢成小学校、松陵小学校、泉小学校） 6,688,000円 ・職員玄関へのインターホン及び遠隔施錠装置の設置</p> <p>(7) 相撲場撤去修繕（泉小学校） 1,298,000円 ・老朽化した相撲場の撤去</p> <p>(8) 煙突内断熱材劣化度等定期調査（広野小学校、十坂小学校） 391,600円 ・カメラを利用した目視調査とアスベスト飛散量測定調査 （煙突周囲及び敷地内でのアスベスト飛散量を測定し、自然界の飛 散量と比較することで劣化の有無、アスベスト飛散の有無を確認） ※測定の結果、異常がないことを確認</p>				
備 考	○主な特定財源	過疎対策事業債（市債）	9,200,000円		
		学校教育施設等整備事業債（市債）	18,000,000円		

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校保健費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 教育委員会企画管理課																												
事 業 名	小学校給食事業				【 継 続 事 業 】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																												
	401,060,000	387,461,847	0	13,598,153	96.6%																												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																												
	11,237,712	825,115	0	236,049,100	139,349,920																												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																													
	399,206,000	384,863,821	2,598,026																														
	目 的 ・ 趣 旨																																
	安全安心でおいしい学校給食を提供することにより、児童に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。																																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 栄養教諭・学校栄養士による巡回指導(88回)</p> <p>(2) 調理室内、調理器具の消毒や、調理従事者、食材の細菌検査の実施 ・保存食細菌検査(20件)・表面付着菌検査(20件)・食材微生物検査(1回) ・食材についての理化学検査(残留農薬200項目)(1回)</p> <p>(3) 給食調理業務委託 ・琢成小学校、浜田小学校、若浜小学校、富士見小学校、亀ヶ崎小学校、 松原小学校、松陵小学校、泉小学校、宮野浦小学校、平田小学校(新規)、 鳥海小学校(新規)</p> <p>(4) 給食調理器具等備品購入 ・食器洗浄機、牛乳保冷庫、冷凍冷蔵庫、保存食用冷凍庫、冷蔵庫、 移動作業台、移動シンク、防水型デジタルはかり、残留塩素チェッカー</p> <p>○事業実績・説明 全小学校(21校)において給食を実施し、1日当たり4,510食を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり給食数(児童)</td> <td>4,400食</td> <td>4,266食</td> <td>4,124食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数(教職員)</td> <td>400食</td> <td>415食</td> <td>386食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数 計</td> <td>4,800食</td> <td>4,681食</td> <td>4,510食</td> </tr> <tr> <td>食材購入実績</td> <td>242,358,404円</td> <td>248,363,454円</td> <td>250,182,110円</td> </tr> <tr> <td>給食調理業務委託実績</td> <td>85,404,000円</td> <td>96,899,000円</td> <td>118,525,000円</td> </tr> <tr> <td>保護者負担給食費(1食分)</td> <td>260円</td> <td>260円</td> <td>260円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日あたり給食数は、各年度5月1日の数値 ※令和4年7月以降は給食食材の物価高騰分を市負担とし保護者負担の給食費は据え置いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育だより、ジオ給食通信を各10回、給食だよりを12回発行した。 ・学校給食を広く市民に紹介するため、市広報へ給食のレシピ掲載を2回行った。 ・酒田の郷土料理や旬の食材を伝えるため、食育の日献立を実施した。 ・庄内産100%の米を利用した米飯学校給食のうち、つや姫給食を年3回、雪若丸給食を年4回実施した。 ・酒田産米を100%使用した米粉パン給食を年2回実施した。 ・バレーボールチーム「アランマーレ山形」による食育活動を4校で実施した。 ・JA庄内みどりによる食育活動を3校で実施し、生産者による講話や、地元産農作物(庄内砂丘メロン、刈屋梨、庄内柿)の無償提供を受け給食で提供した。 ・コロナ禍における生産者支援の県事業を受け、イカリングフライを提供した。 					区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	1日あたり給食数(児童)	4,400食	4,266食	4,124食	1日あたり給食数(教職員)	400食	415食	386食	1日あたり給食数 計	4,800食	4,681食	4,510食	食材購入実績	242,358,404円	248,363,454円	250,182,110円	給食調理業務委託実績	85,404,000円	96,899,000円	118,525,000円	保護者負担給食費(1食分)	260円	260円	260円
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																														
1日あたり給食数(児童)	4,400食	4,266食	4,124食																														
1日あたり給食数(教職員)	400食	415食	386食																														
1日あたり給食数 計	4,800食	4,681食	4,510食																														
食材購入実績	242,358,404円	248,363,454円	250,182,110円																														
給食調理業務委託実績	85,404,000円	96,899,000円	118,525,000円																														
保護者負担給食費(1食分)	260円	260円	260円																														
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)</td> <td>11,237,712円</td> </tr> <tr> <td>学校給食における地産地消促進事業費補助金(県)</td> <td>825,115円</td> </tr> <tr> <td>小学校給食費物資収入</td> <td>236,049,100円</td> </tr> </table>					新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	11,237,712円	学校給食における地産地消促進事業費補助金(県)	825,115円	小学校給食費物資収入	236,049,100円																						
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	11,237,712円																																
学校給食における地産地消促進事業費補助金(県)	825,115円																																
小学校給食費物資収入	236,049,100円																																

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校保健費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 —										
事 業 名	平田地区給食施設整備事業				【新規事業】										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①										
	14,767,000	14,223,000	0	544,000	96.3%										
	支出済額②の財源内訳														
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源										
	0	0	14,200,000	0	23,000										
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)											
	—	—	—												
	目 的 ・ 趣 旨														
	平田地区小中学校に給食を提供している酒田市学校給食共同調理場の老朽化に伴い、南平田小学校に自校分の給食調理を行う給食室を増築することで安全で快適な教育環境整備を推進する。														
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 南平田小学校に給食室を増築するための地盤調査と設計業務を行った。</p> <p>○事業実績・説明 南平田小学校給食室増築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査業務委託 2,871,000円 ・設計業務委託 11,352,000円 <p>実施経過及び工事予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>地盤調査業務委託、設計業務委託</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>工事発注、契約、建築工事</td> </tr> <tr> <td>令和6年度(予定)</td> <td>建築工事、備品等購入</td> </tr> <tr> <td>令和7年度(予定)</td> <td>給食室供用開始、共同調理場解体 東部中学校給食搬入口改修</td> </tr> </tbody> </table>					年度	内容	令和4年度	地盤調査業務委託、設計業務委託	令和5年度	工事発注、契約、建築工事	令和6年度(予定)	建築工事、備品等購入	令和7年度(予定)	給食室供用開始、共同調理場解体 東部中学校給食搬入口改修
年度	内容														
令和4年度	地盤調査業務委託、設計業務委託														
令和5年度	工事発注、契約、建築工事														
令和6年度(予定)	建築工事、備品等購入														
令和7年度(予定)	給食室供用開始、共同調理場解体 東部中学校給食搬入口改修														
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債(市債) 14,200,000円														

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 —						
事 業 名	学校施設長寿命化事業（小学校）				【新規事業】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	289,683,000	9,350,000	280,333,000	0	3.2%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	0	7,000,000	0	2,350,000						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	—	—	—								
	目 的 ・ 趣 旨										
	学校施設の長寿命化を図り、市民ニーズの多様化や社会状況の変化等に配慮した安全で良好な教育環境を整備する。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田市学校施設整備方針（令和2年度策定）に基づく長寿命化改良事業を実施した。 令和4年度は平田小学校屋内運動場予防改修工事に係る実施設計を行った。 ※工事については、令和4年度国第2次補正予算での補助事業採択を受け、令和5年度に繰越して行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>改修工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度繰越事業</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 平田小学校屋内運動場予防改修工事（実施設計） 9,350,000円 屋根の防水、サッシ改修、内部劣化箇所を改修するための実施設計 平田小学校屋内運動場予防改修工事 ※令和4年度繰越事業 280,333,000円 屋根の防水、サッシ改修、内部劣化箇所の改修 					年度	内容	令和4年度	実施設計	令和5年度	改修工事
年度	内容										
令和4年度	実施設計										
令和5年度	改修工事										
備 考	○主な特定財源 学校教育施設等整備事業債（市債） 7,000,000円										

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 —						
事 業 名	学校空調設備整備事業（小学校）				【新規 事業】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	96,241,000	7,192,900	89,048,000	100	7.5%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	0	5,800,000	0	1,392,900						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	—	—	—								
	目 的 ・ 趣 旨										
	市内小学校の管理諸室の空調設備の更新及び特別教室への設置を計画的に行うことで、安全で快適な教育環境を整備する。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 管理諸室の空調設備の更新及び特別教室への設置を実施した。 令和4年度は泉小学校、平田小学校及び八幡小学校の工事に係る実施設計を行った。 ※工事については、令和4年度国第2次補正予算での補助事業採択を受け、令和5年度に繰越して行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>改修工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度繰越事業</p> <p>○事業実績・説明 (1) エアコン設置更新工事にかかる実施設計（泉小学校、平田小学校、八幡小学校） 7,192,900円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した管理諸室の既設エアコンの更新 ・理科室等の特別教室へのエアコン設置 <p>(2) エアコン設置更新工事（泉小学校、平田小学校） ※令和4年度繰越事業 89,048,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した管理諸室の既設エアコンの更新 ・理科室等の特別教室への設置 <p>※八幡小学校は令和5年度予算で実施</p>					年度	内容	令和4年度	実施設計	令和5年度	改修工事
年度	内容										
令和4年度	実施設計										
令和5年度	改修工事										
備 考	○主な特定財源		過疎対策事業債（市債）	2,100,000円							
			学校教育施設等整備事業債（市債）	3,700,000円							

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	1目 学校管理費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 —
事 業 名	施設整備事業（中学校）				【新規事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	15,142,000	14,701,500	0	440,500	97.1%
	支出済額②の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	12,000,000	0	2,701,500
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	市内中学校の中規模的な施設・設備の修繕が必要となるものについて、安全で快適な教育環境を維持するため、計画的に更新・改修する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市内中学校の中規模な施設・設備等の改修・修繕</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) バリアフリー対策修繕（第三中学校） 4,566,100円 ・生徒用昇降口及び屋内運動場玄関へのスロープの整備</p> <p>(2) 学校安全対策修繕（第一中学校、第三中学校） 5,421,900円 ・職員玄関へのインターホン及び遠隔施錠装置の設置</p> <p>(3) 高圧受変電設備改修（第一中学校） 478,500円 ・低濃度PCBを含有する恐れのあるコンデンサ1台の更新 ※試験の結果、PCBは含有していないことを確認</p> <p>(4) 旧パソコン教室内部改修（東部中学校） 4,235,000円 ・旧パソコン室を登校困難生徒支援教室とするための内装及び設備改修 内装改修：床をカーペットに改修 設備改修：エアコン2台を設置</p>				
備 考	○主な特定財源	過疎対策事業債（市債）	4,200,000円		
		学校教育施設等整備事業債（市債）	7,800,000円		

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校保健費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 教育委員会企画管理課																												
事 業 名	中学校給食事業				【 継 続 事 業 】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																												
	376,841,000	364,106,109	0	12,734,891	96.6%																												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																												
	8,368,500	474,763	5,000,000	154,072,069	196,190,777																												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																													
	365,507,000	355,622,699	8,483,410																														
	目 的 ・ 趣 旨																																
	安全安心でおいしい学校給食を提供することにより、生徒に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。																																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 給食調理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aグループ（第一中学校、第二中学校、第六中学校） ・ Bグループ（第三中学校、第四中学校） ・ 鳥海八幡中学校 <p>(2) 調理室内、調理器具の消毒、調理従事者及び食材の細菌検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存食細菌検査（1件） ・ 表面付着菌検査（1件） <p>(3) 給食調理器具等備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食器洗浄機 <p>○事業実績・説明</p> <p>全中学校（7校）において給食を実施し、1日当たり2,611食を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり給食数（生徒）</td> <td>2,425食</td> <td>2,416食</td> <td>2,398食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数（教職員）</td> <td>213食</td> <td>219食</td> <td>213食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数 計</td> <td>2,638食</td> <td>2,635食</td> <td>2,611食</td> </tr> <tr> <td>食材購入実績</td> <td>14,024,358円</td> <td>17,268,857円</td> <td>15,903,950円</td> </tr> <tr> <td>給食調理業務委託実績</td> <td>314,820,093円</td> <td>320,087,412円</td> <td>340,536,957円</td> </tr> <tr> <td>保護者負担給食費（1食分）</td> <td>305円</td> <td>305円</td> <td>305円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日あたり給食数は、各年度5月1日の数値</p> <p>※令和4年7月以降は給食食材の物価高騰分を市負担とし保護者負担の給食費は据え置いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育だより、ジオ給食通信を各10回、給食だよりを12回発行した。 ・ 学校給食を広く市民に紹介するため、市広報へ給食のレシピ掲載を2回行った。 ・ 酒田の郷土料理や旬の食材を伝えるため、食育の日献立を実施した。 ・ 庄内産100%の米を利用した米飯学校給食のうち、つや姫給食を年3回、雪若丸給食を年4回実施した。 ・ 酒田産米を100%使用した米粉パン給食を年2回実施した。 ・ コロナ禍における生産者支援の県事業を受け、イカリングフライを提供した。 					区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	1日あたり給食数（生徒）	2,425食	2,416食	2,398食	1日あたり給食数（教職員）	213食	219食	213食	1日あたり給食数 計	2,638食	2,635食	2,611食	食材購入実績	14,024,358円	17,268,857円	15,903,950円	給食調理業務委託実績	314,820,093円	320,087,412円	340,536,957円	保護者負担給食費（1食分）	305円	305円	305円
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																														
1日あたり給食数（生徒）	2,425食	2,416食	2,398食																														
1日あたり給食数（教職員）	213食	219食	213食																														
1日あたり給食数 計	2,638食	2,635食	2,611食																														
食材購入実績	14,024,358円	17,268,857円	15,903,950円																														
給食調理業務委託実績	314,820,093円	320,087,412円	340,536,957円																														
保護者負担給食費（1食分）	305円	305円	305円																														
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) 8,368,500円</p> <p>学校給食における地産地消促進事業費補助金(県) 474,763円</p> <p>中学校給食費物資収入 154,072,069円</p>																																

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	4目 学校建設費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 —						
事 業 名	学校空調設備整備事業（中学校）				【新規 事業】						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	86,243,000	2,707,100	83,535,000	900	3.1%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	0	2,000,000	0	707,100						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	—	—	—								
	目 的 ・ 趣 旨										
	市内中学校の管理諸室の空調設備の更新及び特別教室への設置を計画的に行うことで、安全で快適な教育環境を整備する。										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 管理諸室の空調設備の更新及び特別教室への設置を実施した。 令和4年度は第三中学校の工事に係る実施設計を行った。 ※工事については、令和4年度国第2次補正予算での補助事業採択を受け、令和5年度に繰越して行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>改修工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度繰越事業</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) エアコン設置更新工事にかかる実施設計（第三中学校） 2,707,100円 ・老朽化した管理諸室の既設エアコンの更新 ・理科室等の特別教室へのエアコン設置</p> <p>(2) エアコン設置更新工事（第三中学校） ※令和4年度繰越事業 83,535,000円 ・老朽化した管理諸室の既設エアコンの更新 ・理科室等の特別教室への設置</p>					年度	内容	令和4年度	実施設計	令和5年度	改修工事
年度	内容										
令和4年度	実施設計										
令和5年度	改修工事										
備 考	○主な特定財源 学校教育施設等整備事業債（市債） 2,000,000円										

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	4目 学校建設費	所 属	R4 教育委員会企画管理課 R3 教育委員会企画管理課												
事 業 名	(繰越明許費) 学校トイレ改修事業 (中学校) 【 継続 事業】																
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①												
	46,828,000	46,094,780	0	733,220	98.4%												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源												
	7,428,000	0	38,500,000	0	166,780												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)													
	—	—	—														
	目 的 ・ 趣 旨																
	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの多くが洋式となっていることから、生徒の学習・生活環境の改善のため、学校トイレの洋式化を進める。																
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 トイレの洋式化と床のドライ化、多目的トイレの整備を実施した。 令和4年度は、第六中学校の二期工事を行った。令和3年度国第1次補正予算での補助事業採択を受け、令和4年度に繰越して行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> <th>工事場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>実施設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>改修一期工事</td> <td>生徒用</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>改修二期工事</td> <td>職員用、屋内運動場、外部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度繰越事業 ※令和3年度繰越事業 ※中学校は、受験時期への配慮のため、工事を2か年に分けて行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第六中学校トイレ改修二期工事（建築工事） 26,059,000円 ブースの再配置、床のドライ化、設備改修に伴う壁・天井内装改修 職員用トイレ1か所、屋内運動場トイレ1か所、外部トイレ1か所 多目的トイレ2か所（校舎1、屋内運動場1） ・第六中学校トイレ改修二期工事（設備工事） 19,976,000円 衛生機器設置（大便器14台、小便器4台）、関係給排水管の改修及び 照明ほか電気配線の改修 職員用トイレ1か所、屋内運動場トイレ1か所、外部トイレ1か所 多目的トイレ2か所（校舎1、屋内運動場1） ・事務消耗品費 59,780円 					年度	内容	工事場所	令和2年度	実施設計		令和3年度	改修一期工事	生徒用	令和4年度	改修二期工事	職員用、屋内運動場、外部
年度	内容	工事場所															
令和2年度	実施設計																
令和3年度	改修一期工事	生徒用															
令和4年度	改修二期工事	職員用、屋内運動場、外部															
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>学校施設環境改善交付金（国）</td> <td>7,428,000円</td> </tr> <tr> <td>防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債（市債）</td> <td>14,700,000円</td> </tr> <tr> <td>学校教育施設等整備事業債（市債）</td> <td>23,800,000円</td> </tr> </table>					学校施設環境改善交付金（国）	7,428,000円	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債（市債）	14,700,000円	学校教育施設等整備事業債（市債）	23,800,000円						
学校施設環境改善交付金（国）	7,428,000円																
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債（市債）	14,700,000円																
学校教育施設等整備事業債（市債）	23,800,000円																

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課																																	
事 業 名	教育相談事業				【 継 続 事 業 】																																	
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																	
	19,554,000	18,777,283	0	776,717	96.0%																																	
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																	
	0	0	0	0	18,777,283																																	
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																		
	19,803,000	18,756,336	20,947																																			
	目 的 ・ 趣 旨																																					
	児童生徒の心の問題に関わり、専門的に相談を受けることができるスクールカウンセラー等を配置し、生徒指導と教育相談の充実を図る。適応指導教室に通級する児童生徒に対して個々の状態に応じた指導をすることにより集団への適応能力を育成し社会的自立を目指す。																																					
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) スクールカウンセラー、教育相談専門員、家庭訪問相談員の配置 スクールカウンセラーを6名配置し、児童生徒や保護者、教職員の面談を行った。相談専門員を教育相談室（総合文化センター内）に3名、適応指導教室（浜田コミセン内）に2名配置し、児童生徒や保護者からの電話・来室相談に対応することで、不登校やいじめ等の悩みや問題の解決に努めた。土曜日にも相談対応できる体制とメールでの相談予約ができる体制を整えた。</p> <p>(2) 教職員等への研修の実施 各小中学校の教育相談体制を充実させ、教職員の教育相談に関する資質向上のため、事例研修会への訪問や教育相談研修会等を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・主訴別相談件数（電話・来室）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性格・行動</td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>進路</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>・適応指導教室通級状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教育相談研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>期日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>5月26日</td> <td>教育相談の連携と外部機関との接続、性格診断テストの作成方法</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7月12日</td> <td>不登校児童生徒の支援と教育相談</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>9月6日</td> <td>特別支援と教育相談</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>11月10日</td> <td>教育相談の効果的な実践</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象：生徒指導・教育相談担当者等</p>					内容	件数	性格・行動	524	学校	45	家庭	2	進路	1	その他	12		人数	小学生	12	中学生	13	回	期日	内容	第1回	5月26日	教育相談の連携と外部機関との接続、性格診断テストの作成方法	第2回	7月12日	不登校児童生徒の支援と教育相談	第3回	9月6日	特別支援と教育相談	第4回	11月10日	教育相談の効果的な実践
内容	件数																																					
性格・行動	524																																					
学校	45																																					
家庭	2																																					
進路	1																																					
その他	12																																					
	人数																																					
小学生	12																																					
中学生	13																																					
回	期日	内容																																				
第1回	5月26日	教育相談の連携と外部機関との接続、性格診断テストの作成方法																																				
第2回	7月12日	不登校児童生徒の支援と教育相談																																				
第3回	9月6日	特別支援と教育相談																																				
第4回	11月10日	教育相談の効果的な実践																																				
備 考																																						

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	子どもの命を守る安全対策事業				【 継続 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	2,179,000	2,120,913	0	58,087	97.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	732,700	0	0	1,388,213
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,232,000	2,139,106	△18,193		
	目 的 ・ 趣 旨				
	各校の防災管理体制の見直しを図り、防災教育を含めた安全教育に携わる教職員の資質の向上を目指す。また、災害時における児童生徒の危機回避能力を育成する。AED操作や心肺蘇生、海難事故及びアレルギー対応等、子どもの命を守る安全教育を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 子どもの命を守る安全教育推進会議の開催（2回）</p> <p>(2) 児童生徒への安全教育及び教職員への安全指導研修（防災アドバイザー派遣）</p> <p>(3) 電子版防災ハンドブック内容検討会議</p> <p>(4) 教職員への防災管理研修（防災教育研修会）</p> <p>(5) 救命救急講習会の開催</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 子どもの命を守る安全教育推進会議 ・ 5月10日、1月23日実施</p> <p>(2) 児童生徒への安全教育及び教職員への安全指導研修 ・ 防災アドバイザーの派遣（危機管理研修及び児童生徒への講話） 9月7日 第六中 10月12日 鳥海八幡中 11月2日 南平田小 11月11日 一條小 11月21日 松陵小</p> <p>(3) 電子版防災ハンドブック内容検討会議（年2回（8月、11月）各中学校区代表） ・ 防災アドバイザーと消防本部救急課長による助言を得ながらのハンドブックの更新作業</p> <p>(4) 教職員への防災教育研修会（年1回 参加者：各学校安全担当） ・ 8月2日実施 ・ 各校の安全担当者（防災担当者）が集まり、電子版防災ハンドブックを活用した授業づくりの検討 ・ 防災ハンドブックの活用と主体的な防災教育の在り方についての検討 ・ 各校の学校防災マニュアルの見直し</p> <p>(5) 救命救急講習会 ・ 第二中学校区の教職員を対象として8月2日に実施 ・ 小学生を対象としたジュニア救命救急講習会を実施 7月1日 八幡小 7月4日 富士見小</p>				
備 考	○主な特定財源		地域ぐるみの学校安全体制整備事業費補助金（県）	732,700円	

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	教育支援員配置事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	83,669,000	80,293,086	0	3,375,914	96.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	16,000,000	64,293,086
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	84,725,000	80,964,074	△670,988		
	目 的 ・ 趣 旨				
	教育支援員を配置することで、通常学級や特別支援学級において個別の支援を必要とする児童生徒への学級担任等の指導を補助したり、要支援児童生徒の介助にあたる。また、研修会を実施し、教育支援員による支援の質的向上を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 50名の教育支援員を各小中学校に配置し、次の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常学級における個別に支援を要する児童生徒への学習支援と生活支援 ・ 特別支援学級における児童生徒への学習支援と生活支援 <p>(2) 教育支援員の資質向上を図るための研修会の実施（年3回）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 対応した児童生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常学級 のべ 2,256名 ・ 特別支援学級 のべ192名 <p>(2) 教育支援員を対象に研修会を開催（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回教育支援員等研修会（5月） 内容：①教育支援員の服務・役割について（共通） ②教育支援員配置事業実施に係る効果検証並びに活用について ※教頭対象（講師：学校教育課指導主幹） ③学級での児童生徒のサポート、連携について ※教育支援員対象（講師：教育支援員コーディネーター 土門雅子 氏） ・ 第2回教育支援員等研修会（兼特別支援教育研修会）（9月） 内容：教育相談の効果的な実践～特別支援と教育相談～ 講師：FR教育臨床研究所 所長 花輪敏男 氏 ・ 第3回教育支援員等研修会（10月） 内容：グループ研修「児童・生徒へのかかわり、効果的な支援の在り方等」 コーディネーター：酒田市教育委員会担当指導主事 				
備 考	○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 16,000,000円				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 —
事 業 名	教育活動充実事業				【新規事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	14,376,000	14,194,630	0	181,370	98.7%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	14,194,630
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	児童生徒の能力・学力を把握し、教師の授業改善や読書活動の充実を図る取り組みを通して、児童生徒の学力向上に資する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 標準学力検査・知能検査の実施と分析</p> <p>(2) WEBQUアンケートの実施と分析</p> <p>(3) 単元研究委嘱</p> <p>(4) 小中授業力向上研修</p> <p>(5) 教育参与の招聘による学力向上策の検討</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 標準学力検査・知能検査の実施と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準学力検査実施学年 小4～中3 ・知能検査実施学年 小4及び中1 <p>(2) WEBQUアンケートの実施と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBQU研修会 校内研修会への講師派遣 ・市内全小中学校において小3～中3を対象に楽しい学校生活を送るためのアンケートを実施・分析し、学び合う集団づくりの育成を図った。 <p>(3) 単元研究委嘱</p> <p>市内の小中学校に外部講師の指導を受けながら児童生徒の主体的な学習と活用力向上を目的とし指導過程の委嘱研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学大学院教育実践研究科 教授 大澤 弘典 氏 南平田小 ・山形大学大学院教育実践研究科 准教授 森田 智幸 氏 浜田小、浜中小、一條小、南平田小 <p>(4) 小中授業力向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数・数学小中授業力向上研修会実施（7月） 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官（学力調査官）笠井 健一 氏 ・外国語授業力向上研修会実施（8月） 講師：東京家政大学人文学部 教授 太田 洋 氏 文教大学国際学部国際理解学科 教授 阿野 幸一 氏 <p>(5) 教育参与の助言による学力向上策の検討</p> <p>講師：大阪大学大学院人間科学研究科 教授 志水 宏吉 氏 7月と11月の2回開催した。</p>				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課																									
事 業 名	外国語指導助手招致事業				【 継 続 事 業 】																									
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																									
	5,189,000	4,736,230	0	452,770	91.3%																									
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																													
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																									
	0	0	0	2,754,525	1,981,705																									
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																										
	4,754,000	4,145,472	590,758																											
	目 的 ・ 趣 旨																													
	市内各小学校の外国語活動と中学校の英語の授業に外国語指導助手（ALT）を派遣して、児童生徒の学習意欲とコミュニケーション能力の向上を図ることで、外国の人々の生活や文化について理解を深め、国際理解の基礎を涵養する。																													
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>JETプログラムを通して招致した外国語指導助手5名と地域人材英語講師2名を雇用した。外国語活動や英語の授業において、児童生徒の英語力やコミュニケーション能力を高める支援をした。英語の授業以外でも、学校生活をALTとともに過ごすことで、異文化交流や国際理解の機会となった。</p> <p>また、ALTが講師となり、授業中に使える活動などを紹介する研修会を開催したり、ALTが授業用に作成したワークシートや活動をまとめて教職員ポータルサイトに保存し、英語担当教員が使えるようにした。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ALTの配置人数 (単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置人数</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7※</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 中途退職があり5月より6名</p> <p>(2) ALTの活動状況 (単位：日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>572</td> <td>528</td> <td>626</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>841</td> <td>840</td> <td>803</td> <td>821</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ人数 1人のALTが同日に複数校を訪問する場合がある。</p> <p>(3) 英語教育コーディネーター（1名）の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校を訪問し外国語教育の支援を行った。 ・ALTの市内小中学校への派遣計画を作成するとともに、ALTの生活面のサポートにも尽力した。 						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	配置人数	7	7	7※	7		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	中学校	572	528	626	588	小学校	841	840	803	821
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																										
配置人数	7	7	7※	7																										
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																										
中学校	572	528	626	588																										
小学校	841	840	803	821																										
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table> <tr> <td>外国語指導助手アパート賃貸料</td> <td>2,718,225円</td> </tr> <tr> <td>外国語指導助手アパート火災保険料</td> <td>36,300円</td> </tr> </table>					外国語指導助手アパート賃貸料	2,718,225円	外国語指導助手アパート火災保険料	36,300円																					
外国語指導助手アパート賃貸料	2,718,225円																													
外国語指導助手アパート火災保険料	36,300円																													

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課																																																											
事 業 名	理科教育推進事業				【 継 続 事 業 】																																																											
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																											
	671,000	607,764	0	63,236	90.6%																																																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																											
	0	0	0	0	607,764																																																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																												
	1,193,000	1,017,478	△409,714																																																													
	目 的 ・ 趣 旨																																																															
	小・中学校教職員の理学的分野の指導力向上のための適切な研修を行うとともに、市内小・中学校長等から推薦を受けた科学的研究について表彰することにより、児童生徒の知的好奇心や探究心を高める。																																																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 理科教育研修会 (2) 野外観察会 (3) 実験器具等の貸し出し (4) 理科薬品及び廃液簿の処理作業 (5) 理科自由研究相談会 (6) 夏休みに児童生徒が取り組んだ理科自由研究のPR (7) 酒田市教育委員会科学賞</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 理科教育研修会(9/27) 参加者数21名 (2) 野外観察会 ・親子星空観察会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (3) 実験器具等の貸し出し 貸し出し56点 (4) 理科薬品及び廃液簿の処理作業 総重量75kg (5) 理科自由研究相談会 親子13組参加 (6) 夏休みに児童生徒が取り組んだ理科自由研究のPR ・児童生徒が取り組んだ理科自由研究 取組数479点 (7) 科学賞審査会の開催(12月1日、1月11日、1月17日) ・応募状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">小学生</th> <th rowspan="2">中学生</th> <th rowspan="2">高校一般</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9点</td> <td>6点</td> <td>24点</td> <td>9点</td> <td>13点</td> <td>13点</td> <td>15点</td> <td>1点</td> <td>90点</td> </tr> </tbody> </table> <p>・入賞の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生・一般</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募点数</td> <td>74点</td> <td>15点</td> <td>1点</td> <td>90点</td> </tr> <tr> <td>栄誉賞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>科学賞</td> <td>1点</td> <td></td> <td></td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>2点</td> <td>1点</td> <td></td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>努力賞</td> <td>11点</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>13点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14点</td> <td>2点</td> <td>1点</td> <td>17点</td> </tr> </tbody> </table> <p>・科学賞表彰式の開催(2月21日、会場：東北公益文科大学 公益ホール)</p>					小学生						中学生	高校一般	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	9点	6点	24点	9点	13点	13点	15点	1点	90点		小学生	中学生	高校生・一般	合計	応募点数	74点	15点	1点	90点	栄誉賞					科学賞	1点			1点	奨励賞	2点	1点		3点	努力賞	11点	1点	1点	13点	合計	14点	2点	1点	17点
小学生						中学生	高校一般	合計																																																								
1年	2年	3年	4年	5年	6年																																																											
9点	6点	24点	9点	13点	13点	15点	1点	90点																																																								
	小学生	中学生	高校生・一般	合計																																																												
応募点数	74点	15点	1点	90点																																																												
栄誉賞																																																																
科学賞	1点			1点																																																												
奨励賞	2点	1点		3点																																																												
努力賞	11点	1点	1点	13点																																																												
合計	14点	2点	1点	17点																																																												
備 考																																																																

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	小中一貫教育推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	646,000	571,313	0	74,687	88.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	571,313
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,165,000	884,213	△312,900		
	目 的 ・ 趣 旨				
	小中一貫教育について推進委員会を設置し、調査・検討を行うことにより、各中学校区の実態に即した、特色ある小中一貫教育を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 小中一貫教育推進会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区代表校長、教職員による推進会議を実施した。 ・酒田市における小中一貫教育の方向性を示し共有することに加え、各中学校区で独自のランドデザインをもとに小中一貫教育を本格的に実施した。 ・各中学校区の取り組みを共有し、「根の力」の効果検証を図るとともに、取り組みの改善につなげた。 <p>(2) 小中一貫教育研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育参与の大阪大学大学院の志水宏吉教授を迎え、各校の学力向上担当者を対象に研修会を3回実施し、各校の小中一貫教育の推進を図った。 <p>(3) 中学校区ごとの取組み検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣、系統的分野の授業交流、生徒指導の方針、継続的な特別支援教育など、小中連携の取組みを整理・統合し、中学校区ごとにランドデザインとして示し、実践した。 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 小中一貫教育推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回 5/23 ・第二回 2/9 <p>(2) 小中一貫教育研修会（酒田市教育参与・大阪大学大学院人間科学研究科 教授 志水宏吉氏による講演会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回 7/7 ・第二回 11/24 ・第三回 2/9 <p>(3) 中学校区ごとの合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一中学区：コロナ禍により中止 ・第二中学区：6/1（場所：第二中） ・第三中学区：6/1（場所：亀ヶ崎小） ・第四中学区：11/16（場所：第四中） ・第六中学区：5/12（場所：第六中） ・鳥海八幡中学区：5/16（場所：鳥海八幡中） ・東部中学区：5/23・11/28（場所：東部中） 				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	学校 I C T 環境整備事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	13,878,450	13,849,000	0	29,450	99.8%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	8,316,000	5,533,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	6,094,000	6,094,000	7,755,000		
	目 的 ・ 趣 旨				
	学校用各種サーバの更新及び統合、学校用ネットワークのセキュリティ強化、校務支援システムの整備を図り、安全かつ快適な学校 I C T 環境を構築する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 教職員の異動に伴う校務用パソコンの再配置（毎年度）</p> <p>(2) 校務支援システムの成績処理機能追加整備</p> <p>(3) 学校系ネットワークのセキュリティ機器の更新</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 教職員の異動に伴って生じる各校の教職員の増減に対応して、校務用パソコンの再配置と動作不良のパソコンのメンテナンスを行うことで、教職員が校務用パソコンを安定的・継続的に使用して業務ができる環境を整えた。</p> <p>(2) 令和2・3年度に整備した校務支援システムに成績処理機能を追加することで教員の負担軽減を図り、働き方改革に繋がった。 事業費：8,316,000円</p> <p>(3) 平成29年度に行政系から分離した際に新規導入した学校系ネットワークのメールセキュリティ機器を更新するとともに、ファイアウォール機器の保守ライセンスを更新し、安全かつ快適な I C T 環境を構築した。 事業費：5,533,000円</p>				
備 考	○主な特定財源 教育振興基金繰入金 8,316,000円				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	G I G Aスクール推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	43,695,000	40,267,655	0	3,427,345	92.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	1,700,000	38,567,655
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	51,616,000	48,442,195	△8,174,540		
	目 的 ・ 趣 旨				
	児童生徒一人一人に整備されたG I G Aスクール用端末を快適に使用できる校内ネットワークの保守・運用を行うとともに、セキュリティや協働学習支援ソフトの更新、学習ドリルの導入により、児童生徒の確かな学力の向上を図ること。				
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) タブレット端末及び無線ネットワークの保守管理</p> <p>(2) タブレット端末用の各種ソフトウェアのライセンスを購入・更新</p> <p>(3) 授業目的公衆送信補償金の支払い</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) タブレット端末や校内無線ネットワークの運用保守及びインターネット回線使用料を支出し、快適なネットワーク環境を維持した。 事業費：6,156,920円</p> <p>(2) 児童生徒が授業や家庭学習で使用する教育用ソフトライセンスの新規購入や、それらを安全・快適に利用するためのセキュリティソフトライセンスを更新することで、児童生徒の個別最適化された学習が出来る環境の整備及び快適なネットワーク環境の維持を図った。 事業費：33,176,935円</p> <p>(3) タブレット端末を利用した遠隔授業などオンライン教育において、著作物を円滑に利用できる授業目的公衆送信補償金の支払いを行った。 事業費：933,800円</p>				
備 考	○主な特定財源 企業版ふるさと納税寄附金 1,700,000円				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	スポーツ活動等支援事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	3,398,000	2,794,450	0	603,550	82.2%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	1,398,000	0	0	1,396,450
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	4,230,000	3,089,917	△295,467		
	目 的 ・ 趣 旨				
	陸上サポーターを派遣し、小学校教員の指導力向上を図ることで児童の体力・運動能力の向上を目指す。中学校において部活動の指導、大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減及び部活動の質的向上を目指す。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市内全小学校の参加による水泳競技記録会を開催した。 (陸上競技記録会はコロナ禍により中止)</p> <p>(2) 小学校1年生から6年生の体育の授業に陸上指導サポーターを派遣し、指導法の紹介と授業の支援を行った。</p> <p>(3) 学校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を中学校に配置した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 第41回陸上競技記録会 ※令和4年5月15日に光ヶ丘陸上競技場で開催予定だったが、コロナ禍により中止 第41回水泳競技記録会 ・期 日 令和4年7月30日 ・場 所 光ヶ丘プール 男子個人74名、女子個人67名出場 男子フリーリレー、メドレーリレーは各7校出場 女子フリーリレー、メドレーリレーは各8校出場</p> <p>(2) 陸上サポーター派遣事業 ・陸上指導サポーターを小学校20校に年1～2回、計60時間派遣した。 主に中学年の授業で実施した。</p> <p>(3) 部活動指導員配置事業 ・部活動指導員を各校1名ずつ、全7校に配置し、計1,470時間勤務した。</p>				
備 考	○主な特定財源 運動部部活動指導員配置促進事業費補助金(県) 1,398,000円				


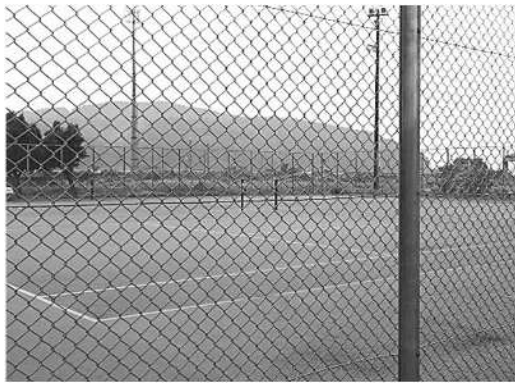
款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	キャリア教育推進事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,270,000	889,927	0	380,073	70.1%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	889,927
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,072,000	745,588	144,339		
	目 的 ・ 趣 旨				
	各小中学校が独自の視点から企画実施するキャリア教育活動を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 キャリア教育の推進を柱に据えて学校提案型のキャリア教育活動を実施するための活動費を各小中学校に支援した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 実施校 18校 琢成小、浜田小、富士見小、亀ヶ崎小、松原小、泉小、西荒瀬小、新堀小、広野小、浜中小、十坂小、宮野浦小、平田小、一條小、松山小、南平田小、鳥海八幡中、東部中</p> <p>(2) 事業内容 ・ 様々な職業に就いている方を講師に迎え、仕事内容や働くことへの思い、故郷で働く理由、働く喜び、職業選択について大切なこと等の講話 講師：主に庄内地域で就労している方 酒田エス・エー・エス株式会社、酒田海陸運送株式会社、 合同会社とびしま ほか 講師の職業：弁護士、助産師、客室乗務員、レストラン経営者、調理師、 機械部品加工エンジニア、ダンス講師、医師、看護師、 運送事業従事者、消防士、保育士 実施校：琢成小、浜田小、富士見小、松原小、泉小、十坂小、宮野浦小、 平田小、一條小、南平田小、鳥海八幡中学校、東部中 ・ 農業・林業等の一次産業に携わる喜びややりがいについての講話及び体験 講師：地域の一次産業従事者（農業、林業）、ひらた里山の会 実施校：浜田小、泉小、西荒瀬小、新堀小、広野小、浜中小、十坂小、東部中 ・ アスリートや芸術家などの特別な技術者を招き、夢を叶えた体験談などの講話 講師：石垣雅海氏（プロ野球選手）、小林真人氏（音楽家） 実施校：亀ヶ崎小、宮野浦小、松山小 ・ 地域の伝統文化や自然などに触れて、地域の良さを再発見する体験活動 講師：地域指導者等 実施校：浜田小、泉小、西荒瀬小、広野小 ・ 大学院生や高校生との関わりを通して、学ぶ意義や将来の夢について考える講話 講師：山形大学大学院生、酒田光陵高等学校生徒 実施校：一條小 ・ ボランティアや共生社会の実現について、気づき、考えるための体験又は講話 講師：読み聞かせサークルなど 実施校：富士見小、十坂小</p>				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課																																				
事 業 名	自然体験学習事業				【 継 続 事 業 】																																				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																				
	2,027,000	2,018,363	0	8,637	99.6%																																				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																				
	0	0	0	0	2,018,363																																				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																					
	2,376,000	2,105,869	△87,506																																						
	目 的 ・ 趣 旨																																								
	県内唯一の離島である飛島を活用した「飛島いきいき体験スクール」や、鳥海高原家族旅行村を基点とした「自然体験学習」を実施することで、酒田の自然を体験する。																																								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 飛島いきいき体験スクール</p> <p>①活動拠点となる飛島小中学校に、必要備品の整備・維持管理を行った。</p> <p>②安全で充実した活動となるよう、事前踏査を行った。</p> <p>③体験スクール実施に当たり、必要となる経費について保護者負担を軽減するため、負担金を交付した。</p> <p>④飛島いきいき体験スクール実行委員会を組織して、活動の調整を行った。</p> <p>⑤主な体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物観察 ・標本づくり ・動植物の観察 ・星空の観察 ・地層観察 ・飛島の昔話を聞く ・漁業体験（イカ釣りなど） ・島のつくりの学習 ・島めぐり体験（巨木の森、テキ穴等） ・ゴミ拾い ・クラフト活動 <p>(2) 自然体験学習</p> <p>①活動拠点となる鳥海高原家族旅行村に、必要備品の整備・維持管理を行った。</p> <p>②安全で充実した活動となるよう、利用者団体セミナーを実施した。</p> <p>③体験学習実行委員会を組織して、活動の調整・下見を行った。</p> <p>④主な体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山 ・ネイチャーゲーム ・野外炊飯 ・高原学習 ・猛禽類保護センター見学 ・木工クラフトなど <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 飛島いきいき体験スクール（2校）</p> <table border="0"> <tr> <td>浜田小学校</td> <td>5年生</td> <td>34名</td> <td>6月9日～6月10日（1泊2日）</td> </tr> <tr> <td>宮野浦小学校</td> <td>5年生</td> <td>64名</td> <td>6月17日～6月18日（1泊2日）</td> </tr> </table> <p>(2) 自然体験学習（7校）</p> <table border="0"> <tr> <td>八幡小学校</td> <td>5年生</td> <td>20名</td> <td>6月2日、3日（2日に分けて日帰り）</td> </tr> <tr> <td>十坂小学校</td> <td>4・5年生</td> <td>66名</td> <td>6月9日、10日（2日に分けて日帰り）</td> </tr> <tr> <td>琢成小学校</td> <td>4・5年生</td> <td>47名</td> <td>6月15～17日（3日に分けて日帰り）</td> </tr> <tr> <td>一條小学校</td> <td>4・5年生</td> <td>15名</td> <td>6月22～24日（3日に分けて日帰り）</td> </tr> <tr> <td>宮野浦小学校</td> <td>4年生</td> <td>62名</td> <td>7月7日、8日（1泊2日）</td> </tr> <tr> <td>浜田小学校</td> <td>4年生</td> <td>35名</td> <td>7月14日、15日（1泊2日）</td> </tr> <tr> <td>亀ヶ崎小学校</td> <td>3年生</td> <td>76名</td> <td>9月22日（日帰り）</td> </tr> </table>					浜田小学校	5年生	34名	6月9日～6月10日（1泊2日）	宮野浦小学校	5年生	64名	6月17日～6月18日（1泊2日）	八幡小学校	5年生	20名	6月2日、3日（2日に分けて日帰り）	十坂小学校	4・5年生	66名	6月9日、10日（2日に分けて日帰り）	琢成小学校	4・5年生	47名	6月15～17日（3日に分けて日帰り）	一條小学校	4・5年生	15名	6月22～24日（3日に分けて日帰り）	宮野浦小学校	4年生	62名	7月7日、8日（1泊2日）	浜田小学校	4年生	35名	7月14日、15日（1泊2日）	亀ヶ崎小学校	3年生	76名	9月22日（日帰り）
浜田小学校	5年生	34名	6月9日～6月10日（1泊2日）																																						
宮野浦小学校	5年生	64名	6月17日～6月18日（1泊2日）																																						
八幡小学校	5年生	20名	6月2日、3日（2日に分けて日帰り）																																						
十坂小学校	4・5年生	66名	6月9日、10日（2日に分けて日帰り）																																						
琢成小学校	4・5年生	47名	6月15～17日（3日に分けて日帰り）																																						
一條小学校	4・5年生	15名	6月22～24日（3日に分けて日帰り）																																						
宮野浦小学校	4年生	62名	7月7日、8日（1泊2日）																																						
浜田小学校	4年生	35名	7月14日、15日（1泊2日）																																						
亀ヶ崎小学校	3年生	76名	9月22日（日帰り）																																						
備考																																									

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R4 教育委員会学校教育課 R3 教育委員会学校教育課
事 業 名	中村ものづくり事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	1,805,000	1,596,384	0	208,616	88.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	1,594,496	1,888
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	2,008,000	2,007,294	△410,910		
	目 的 ・ 趣 旨				
	科学的な原理を応用した「科学・工学系ものづくり」の楽しさを子ども達に体験させることで科学的・技術的な資質の育成を図り、本市のものづくりに関する教育を推進する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) チャレンジものづくり塾</p> <p>(2) サイエンス発明教室</p> <p>(3) ものづくり出前授業</p> <p>(4) ものづくり塾DX</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) チャレンジものづくり塾 ものづくりに興味・関心を持つ児童生徒を対象に年間5回の講座を開催した。活動を通して、ものづくりの原理やしぐみを学びその資質を引き出した。 ・開催日 7月2日 8月27日 9月17日 9月25日 10月2日 (いずれも総合文化センター体育室で開催)</p> <p>・活動内容及び参加人数 Aコース：プログラミングロボットの制作 19名 Bコース：3モーターリモコンロボットの製作 13名</p> <p>(2) サイエンス発明教室 科学の不思議さ・ものづくりの楽しさを親子で感じて欲しいとの願いから設定し多くの児童及び保護者に、体験活動を通して科学的な興味・関心の高揚を図った。 ・開催日 6月25日 総合文化センター体育室 ・参加人数 小学生親子(54組) Aコース：カラフル試験管 Bコース：スーパーボールロケット ・途中でAコース、Bコースの入れ替えを行なうことで、参加者全員が2つのコースを体験できるようにした。</p> <p>(3) ものづくり出前授業 鶴岡工業高等専門学校と酒田光陵高等学校へ講師を依頼し、希望する小中学校へ派遣して、ものづくりに関係する特別な授業を実施した。 ・開催回数 17校43回 ・受講者数 小学生976名、中学生72名</p> <p>(4) ものづくり塾DX 酒田光陵高等学校を会場に、中学生を対象としてAIの活用や電池の作製など、よりハイレベルなものづくりを実施した。 ・参加者数 中学生8名</p>				
備 考	○主な特定財源 中村ものづくり基金繰入金		1,589,608円		
	利子及び配当金		4,888円		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課																																																																																																																																																							
事 業 名	成人式開催事業				【 継 続 事 業 】																																																																																																																																																							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																																																																																																							
	3,385,000	2,720,844	0	664,156	80.4%																																																																																																																																																							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																																																																																											
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																																																																																																							
	0	0	0	0	2,720,844																																																																																																																																																							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																																																																																																								
	2,018,000	1,890,558	830,286																																																																																																																																																									
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																																																																																											
	社会人としての自覚を促し、新社会人として祝い励ます成人式（令和5年からは、二十歳（はたち）を祝う成人の集い）を実施する。																																																																																																																																																											
概 要	○事業内容																																																																																																																																																											
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年（3年度）成人式は当初の令和4年1月9日から4月30日に延期して実施した。また、令和5年（4年度）成人式は、名称を「二十歳を祝う成人の集い」に変更し、令和5年1月8日に実施した（令和4年度中に2か年分実施）。令和6年（5年度）は、令和6年5月4日（みどりの日）に実施を予定している。</p> <p>（1）実行委員会 成人式、二十歳を祝う成人の集いの実施にあたっては、対象者たちによる自主的な運営を図るべく、市内企業や地域からの推薦によって実行委員を募り実行委員会を立ち上げた。実行委員会では、司会、所感発表等の式典時の役割、ステージ上での所作の確認などについて話し合い、式の実施に向けて交流・協力した。</p> <p>（2）成人の集い支援補助金 式典が中止となった令和3年（2年度）成人式対象者に対し、成人式の意義に則った上で友人との再会の場の創出を支援するため、各中学校単位で集いを企画した際、1回に限り会場使用料を最大5万円まで補助する（記念品等とともに案内を送付した）。</p>																																																																																																																																																											
概 要	○事業実績・説明																																																																																																																																																											
	<p>（1）実行委員会開催の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>一中</th> <th>二中</th> <th>三中</th> <th>四中</th> <th>六中</th> <th>東部中</th> <th>鳥海八幡中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）成人の集い支援補助金 対象者からの問い合わせが1件あったが、県の警戒レベルが2以上（補助対象外）の期間が続いたため、実現には至らなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">市内在住者（人）</th> <th rowspan="2">参加率（%）</th> <th colspan="4">市外在住者（人）</th> <th rowspan="2">参加率（%）</th> <th colspan="4">合計（人）</th> <th rowspan="2">参加率（%）</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>他未</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>他未</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>他未</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>329</td> <td>374</td> <td>0</td> <td>703</td> <td rowspan="2">71.8</td> <td>204</td> <td>186</td> <td>0</td> <td>390</td> <td rowspan="2">80.3</td> <td>533</td> <td>560</td> <td>0</td> <td>1,093</td> <td rowspan="2">74.8</td> </tr> <tr> <td>224</td> <td>281</td> <td>0</td> <td>505</td> <td>167</td> <td>146</td> <td>0</td> <td>313</td> <td>391</td> <td>427</td> <td>0</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>373</td> <td>424</td> <td>0</td> <td>797</td> <td rowspan="2">47.7</td> <td>201</td> <td>178</td> <td>0</td> <td>379</td> <td rowspan="2">93.9</td> <td>574</td> <td>602</td> <td>0</td> <td>1,176</td> <td rowspan="2">62.6</td> </tr> <tr> <td>195</td> <td>183</td> <td>2</td> <td>380</td> <td>163</td> <td>192</td> <td>1</td> <td>356</td> <td>358</td> <td>375</td> <td>3</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>395</td> <td>347</td> <td>0</td> <td>742</td> <td rowspan="2">43.5</td> <td>221</td> <td>175</td> <td>0</td> <td>396</td> <td rowspan="2">95.5</td> <td>616</td> <td>522</td> <td>0</td> <td>1,138</td> <td rowspan="2">61.6</td> </tr> <tr> <td>194</td> <td>125</td> <td>4</td> <td>323</td> <td>189</td> <td>189</td> <td>0</td> <td>378</td> <td>383</td> <td>314</td> <td>4</td> <td>701</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考：酒田市成人式対象者数（上段）と参加者数（下段）及び参加率</p>					年度	回数	人数	一中	二中	三中	四中	六中	東部中	鳥海八幡中	R2	6	8	1	0	0	2	2	3	0	R3	5	8	1	1	3	2	1	0	0	R4	4	12	2	3	1	2	1	1	2	年度	市内在住者（人）				参加率（%）	市外在住者（人）				参加率（%）	合計（人）				参加率（%）	男	女	他未	計	男	女	他未	計	男	女	他未	計	R1	329	374	0	703	71.8	204	186	0	390	80.3	533	560	0	1,093	74.8	224	281	0	505	167	146	0	313	391	427	0	818	R3	373	424	0	797	47.7	201	178	0	379	93.9	574	602	0	1,176	62.6	195	183	2	380	163	192	1	356	358	375	3	736	R4	395	347	0	742	43.5	221	175	0	396	95.5	616	522	0	1,138	61.6	194	125	4	323	189	189	0	378	383	314	4
年度	回数	人数	一中	二中	三中	四中	六中	東部中	鳥海八幡中																																																																																																																																																			
R2	6	8	1	0	0	2	2	3	0																																																																																																																																																			
R3	5	8	1	1	3	2	1	0	0																																																																																																																																																			
R4	4	12	2	3	1	2	1	1	2																																																																																																																																																			
年度	市内在住者（人）				参加率（%）	市外在住者（人）				参加率（%）	合計（人）				参加率（%）																																																																																																																																													
	男	女	他未	計		男	女	他未	計		男	女	他未	計																																																																																																																																														
R1	329	374	0	703	71.8	204	186	0	390	80.3	533	560	0	1,093	74.8																																																																																																																																													
	224	281	0	505		167	146	0	313		391	427	0	818																																																																																																																																														
R3	373	424	0	797	47.7	201	178	0	379	93.9	574	602	0	1,176	62.6																																																																																																																																													
	195	183	2	380		163	192	1	356		358	375	3	736																																																																																																																																														
R4	395	347	0	742	43.5	221	175	0	396	95.5	616	522	0	1,138	61.6																																																																																																																																													
	194	125	4	323		189	189	0	378		383	314	4	701																																																																																																																																														
備 考																																																																																																																																																												

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課																																																														
事 業 名	生涯学習推進講座開催事業				【 継 続 事 業 】																																																														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																														
	2,549,000	2,242,498	0	306,502	88.0%																																																														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																														
	0	132,000	0	36,000	2,074,498																																																														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																															
	2,115,000	1,772,484	470,014																																																																
	目 的 ・ 趣 旨																																																																		
	自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催し、様々な事業において地域人材の活躍の場を創出することによって、地域の行事等に関心をもつ市民を増やし、地域づくりの実践につなげていく。																																																																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 各種講座の実施</p> <p>①全世代型対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥海山・飛島ジオパーク講座 子ども向けジオ見学バスツアー（現地学習） 1回 7名参加 初めて学ぶ方向けジオ講座（座学＋現地学習） 3回 24名参加 中級者向けジオ講座（座学＋現地学習） 3回 43名参加 ・ 学び直し講座 4回 32名参加 ゆざ・酒田歴史日めくりカレンダーの作成を目指し、地元の歴史を調べ小学校総合学習を学び直した。 <p>②乳幼児期対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児すてっぷ出前講座 17園 619名参加 保育園、こども園と連携し、「遊び」を通じた幼児教育を実践した。（楽しくチアダンス、よねさんの紙芝居、積み木のワークショップ、絵本の世界を楽しもう） <p>③高齢期対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアのためのおかね講座～人生100年時代のシニアライフとおかね～ 講義（シニア期を楽しく過ごすためのリスク管理ほか） 2回 35名参加 <p>④課題解決ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田っ子はぐくみ事業 11回 588名参加 小中学校と連携し、職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上等を図った。 <p>(2) 学習成果の発表の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習まつり2022の実施 参加39団体 入場者総数1,326名 市内の生涯学習サークル・団体などが、日ごろの活動の成果を発表した。 <p>○事業実績・説明</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座区分</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>講座数</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全世代</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>118</td> <td>5</td> <td>26</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>630</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>高齢期</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>課題解決ほか</td> <td>15</td> <td>345</td> <td>6,011</td> <td>11</td> <td>361</td> <td>14,180</td> </tr> <tr> <td>催し</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>926</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1,326</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23</td> <td>374</td> <td>7,685</td> <td>19</td> <td>407</td> <td>16,449</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td colspan="3">96%</td> <td colspan="3">99%</td> </tr> </tbody> </table>					講座区分	令和3年度			令和4年度			講座数	実施回数	延べ参加者数	講座数	実施回数	延べ参加者数	全世代	5	16	118	5	26	289	乳幼児	1	11	630	1	17	619	高齢期	0	0	0	1	2	35	課題解決ほか	15	345	6,011	11	361	14,180	催し	2	2	926	1	1	1,326	合計	23	374	7,685	19	407	16,449	満足度	96%			99%		
講座区分	令和3年度			令和4年度																																																															
	講座数	実施回数	延べ参加者数	講座数	実施回数	延べ参加者数																																																													
全世代	5	16	118	5	26	289																																																													
乳幼児	1	11	630	1	17	619																																																													
高齢期	0	0	0	1	2	35																																																													
課題解決ほか	15	345	6,011	11	361	14,180																																																													
催し	2	2	926	1	1	1,326																																																													
合計	23	374	7,685	19	407	16,449																																																													
満足度	96%			99%																																																															
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">家庭教育推進事業費補助金（県）</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">132,000円</td> </tr> <tr> <td>生涯学習講座受講料</td> <td style="text-align: right;">36,000円</td> </tr> </table>					家庭教育推進事業費補助金（県）	132,000円	生涯学習講座受講料	36,000円																																																										
家庭教育推進事業費補助金（県）	132,000円																																																																		
生涯学習講座受講料	36,000円																																																																		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	生涯学習施設整備事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	23,435,000	16,775,000	6,050,000	610,000	71.6%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	7,500,000	0	9,275,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	5,315,000	5,309,381	11,465,619		
	目 的 ・ 趣 旨				
	生涯学習施設の整備を行うことで、利用者の安全と利便性を確保し、生涯学習の推進を図る。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 生涯学習施設の修繕及び設備更新工事を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ひらた生涯学習センター多目的ホール軒天修繕 3,190,000円 ・経年劣化により破損していた軒天の修繕を実施した。</p> <p>(2) ひらた生涯学習センター高圧受変電設備更新工事 6,050,000円 ・交換推奨目安を経過した高圧受変電設備の更新工事を実施した。 ※機器の納期により、令和4年度内に完成せず、令和5年度に繰越</p> <p>(3) ひらた生涯学習センターテニスコート等フェンス更新工事 7,590,000円 ・老朽化のため全体に腐食が進んで、傾きや歪み、亀裂が生じていたテニスコートフェンスの更新及び歩道フェンスの撤去を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>更新前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>更新後</p> </div> </div> <p>(4) 出羽遊心館屋内消火栓設備改修工事 5,995,000円 ・出羽遊心館館内4か所に設置してある屋内消火栓設備に水を供給するための自家発電設備が故障したため、屋内消火栓設備の代替設備であるパッケージ型消化設備を設置した。</p>				
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債）		7,500,000円		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 —
事 業 名	市民会館施設整備事業				【新規 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	22,429,000	4,829,000	17,600,000	0	21.5%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,829,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	予防修繕的な視点による対策を行い、将来の修繕費用を抑制するとともに、機能の維持及び建物や設備を原因とする事故防止に努める。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 舞台吊物機構改修工事 舞台吊物機構の経年劣化により、吊物が適正に動作しない不具合が生じる可能性が高くなっており、舞台運営に支障をきたす恐れがあるため改修を行った。</p> <p>(2) 非常用照明LED化改修工事 非常用照明機器の経年劣化により、災害発生時に正常に点灯しない恐れがあるため改修を行った。また、照明器具をLED照明に交換し省エネルギー対策を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 舞台吊物機構改修工事（繰越明許） 工事費：17,600,000円 電子部品の納品遅れにより年度内の完成が困難となったため、繰越明許費を設定し変更契約を行った（工期を令和5年1月31日から令和5年10月13日に延長）。</p> <p>(2) 非常用照明LED化改修工事 工事費：4,829,000円 工期：令和4年6月13日～令和4年11月18日 完成年月日：令和4年11月7日 検査年月日：令和4年11月14日</p>				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課													
事 業 名	土門拳文化賞顕彰事業				【 継 続 事 業 】													
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①													
	1,397,000	1,394,832	0	2,168	99.8%													
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源													
	0	0	0	0	1,394,832													
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)														
	1,353,000	1,330,828	64,004															
	目 的 ・ 趣 旨																	
	土門拳氏の功績を記念した顕彰を行い、酒田市と土門拳記念館の魅力を全国にPRすることで、全国から注目を集めるとともに、市民の文化芸術への関心を高める。																	
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 土門拳氏の偉大な功績を記念し、写真文化、写真芸術の振興に寄与することを目的に、国内の写真愛好家を対象に写真を公募した。全国各地から106人、116点の応募があり、選考の結果、土門拳文化賞（1名）と同奨励賞（3名）を授与した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 第28回選考会 日時：令和4年6月3日 会場：出羽遊心館</p> <p>(2) 第28回授賞式 日時：令和4年9月4日 会場：土門拳記念館</p> <p>(3) 第28回酒田市土門拳文化賞及び奨励賞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>受賞者</th> <th>受賞作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化賞</td> <td>大角 勝（静岡県静岡市）</td> <td>立ち止まる情景</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">奨励賞</td> <td>若林 茂（静岡県三島市）</td> <td>母 卒寿</td> </tr> <tr> <td>井上 宏（群馬県安中市）</td> <td>一瞬</td> </tr> <tr> <td>宮崎 豊（大阪府大阪市）</td> <td>なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代 (敬称略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 第28回受賞作品展 会場：土門拳記念館 期間：令和4年9月3日～10月16日</p>					賞	受賞者	受賞作品	文化賞	大角 勝（静岡県静岡市）	立ち止まる情景	奨励賞	若林 茂（静岡県三島市）	母 卒寿	井上 宏（群馬県安中市）	一瞬	宮崎 豊（大阪府大阪市）	なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代 (敬称略)
賞	受賞者	受賞作品																
文化賞	大角 勝（静岡県静岡市）	立ち止まる情景																
奨励賞	若林 茂（静岡県三島市）	母 卒寿																
	井上 宏（群馬県安中市）	一瞬																
	宮崎 豊（大阪府大阪市）	なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代 (敬称略)																
備 考																		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課																																																																														
事 業 名	文化芸術推進事業				【 継 続 事 業 】																																																																														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																														
	33,799,000	32,879,002	0	919,998	97.3%																																																																														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																														
	259,589	766,383	0	5,623,650	26,229,380																																																																														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																															
	24,448,000	23,836,161	9,042,841																																																																																
	目 的 ・ 趣 旨																																																																																		
	酒田市文化芸術基本条例及び酒田市文化芸術推進計画に掲げる「社会包摂と育成」の方針のもと、文化芸術全般にわたる多様な事業を実施することにより、総合的に文化芸術を推進する。																																																																																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 多くの市民が文化芸術にふれる機会を得ることができるよう、国内アーティストによる小学校等へのアウトリーチや地域ワンコインコンサートを展開するとともに、障がい者アート展などの事業を実施した。 また、文化芸術基本条例第20条に基づき文化芸術に関する施策の推進を図るため、文化芸術推進審議会を開催した（10月、3月の2回開催）。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業内容</th> <th>実施回数 (回)</th> <th>参加者数 (人)</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">音楽</td> <td>アウトリーチ</td> <td>29</td> <td>695</td> <td>市内小学校5年生等</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td>4</td> <td>118</td> <td>チケット購入者</td> </tr> <tr> <td>地域ワンコインコンサート</td> <td>4</td> <td>593</td> <td>チケット購入者</td> </tr> <tr> <td>リサイタル</td> <td>4</td> <td>1,047</td> <td>チケット購入者</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ダンス</td> <td>アウトリーチ</td> <td>11</td> <td>261</td> <td>特別支援学校等</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td>2</td> <td>25</td> <td>応募者</td> </tr> <tr> <td>舞踏市民参加型公演</td> <td>1</td> <td>155</td> <td>チケット購入者</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人材育成</td> <td>レセプション育成講座</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>応募者</td> </tr> <tr> <td>さかた・アートアカデミー</td> <td>6</td> <td>27</td> <td>応募者</td> </tr> <tr> <td>ピアノ公開レッスン</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>応募者</td> </tr> <tr> <td>市原多朗</td> <td>マスターコース 公開レッスン</td> <td>2</td> <td>63</td> <td>応募者</td> </tr> <tr> <td>市原多朗</td> <td>マスターコース</td> <td>1</td> <td>271</td> <td>チケット購入者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ニッセイ名作シリーズ2022 NHKみんなのうたミュージカル 「リトル・ゾンビガール」</td> <td>2</td> <td>1,302</td> <td>市内小学校3、4年生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>演劇ワークショップ</td> <td>5</td> <td>60</td> <td>高等学校演劇部等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おんがくとえほんのおへや</td> <td>2</td> <td>22</td> <td>未就学児親子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>いろいろな展（障がい者アート展）</td> <td>1</td> <td>716</td> <td>入場者（無料）</td> </tr> </tbody> </table>					事業内容		実施回数 (回)	参加者数 (人)	参加者	音楽	アウトリーチ	29	695	市内小学校5年生等	ワークショップ	4	118	チケット購入者	地域ワンコインコンサート	4	593	チケット購入者	リサイタル	4	1,047	チケット購入者	ダンス	アウトリーチ	11	261	特別支援学校等	ワークショップ	2	25	応募者	舞踏市民参加型公演	1	155	チケット購入者	人材育成	レセプション育成講座	5	14	応募者	さかた・アートアカデミー	6	27	応募者	ピアノ公開レッスン	1	6	応募者	市原多朗	マスターコース 公開レッスン	2	63	応募者	市原多朗	マスターコース	1	271	チケット購入者		ニッセイ名作シリーズ2022 NHKみんなのうたミュージカル 「リトル・ゾンビガール」	2	1,302	市内小学校3、4年生		演劇ワークショップ	5	60	高等学校演劇部等		おんがくとえほんのおへや	2	22	未就学児親子		いろいろな展（障がい者アート展）	1	716	入場者（無料）
事業内容		実施回数 (回)	参加者数 (人)	参加者																																																																															
音楽	アウトリーチ	29	695	市内小学校5年生等																																																																															
	ワークショップ	4	118	チケット購入者																																																																															
	地域ワンコインコンサート	4	593	チケット購入者																																																																															
	リサイタル	4	1,047	チケット購入者																																																																															
ダンス	アウトリーチ	11	261	特別支援学校等																																																																															
	ワークショップ	2	25	応募者																																																																															
	舞踏市民参加型公演	1	155	チケット購入者																																																																															
人材育成	レセプション育成講座	5	14	応募者																																																																															
	さかた・アートアカデミー	6	27	応募者																																																																															
	ピアノ公開レッスン	1	6	応募者																																																																															
市原多朗	マスターコース 公開レッスン	2	63	応募者																																																																															
市原多朗	マスターコース	1	271	チケット購入者																																																																															
	ニッセイ名作シリーズ2022 NHKみんなのうたミュージカル 「リトル・ゾンビガール」	2	1,302	市内小学校3、4年生																																																																															
	演劇ワークショップ	5	60	高等学校演劇部等																																																																															
	おんがくとえほんのおへや	2	22	未就学児親子																																																																															
	いろいろな展（障がい者アート展）	1	716	入場者（無料）																																																																															
備 考	<p>○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 259,589円 音楽団体活用事業費補助金（県） 630,000円 利子及び配当金 3,303,650円 希望ホール振興基金繰入金 2,320,000円</p>																																																																																		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課																																								
事 業 名	スクールプログラム実施事業				【 継 続 事 業 】																																								
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																								
	128,000	115,389	0	12,611	90.1%																																								
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																												
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																								
	0	0	0	0	115,389																																								
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																									
	248,000	108,101	7,288																																										
	目 的 ・ 趣 旨																																												
	酒田市文化芸術基本条例及び酒田市文化芸術推進計画に掲げる「社会包摂と育成」の方針のもと、土門拳記念館及び酒田市美術館におけるスクールプログラムを構築し、授業の一環として取り組み、多様性に対応した人材の育成を目指す。																																												
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 学校教育における文化芸術活動の充実と文化芸術による社会包摂を目的に、市内の小中学校の授業の一環として土門拳記念館や酒田市美術館での鑑賞活動を取り入れる「スクールプログラム」を実施した。 プログラムは、目的とする人材の育成を念頭に、両館学芸員、市内教員、庄内教育事務所及び元美術教師をメンバーに検討を重ね作成した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名 (ねらい)</th> <th>会場</th> <th>参加校数 (延べ校)</th> <th>実施回数 (回)</th> <th>参加人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リサとガスパールのおもいで展 (対話型鑑賞による思考能力の向上)</td> <td>酒田市美術館</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>772</td> </tr> <tr> <td>2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)</td> <td>酒田市美術館</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>渡辺おさむ -お菓子の美術館- (対話型鑑賞による思考能力の向上)</td> <td>酒田市美術館</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>The Hands -土門が撮った手- (土門拳を通じた郷土愛の醸成)</td> <td>土門拳記念館</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)</td> <td>土門拳記念館</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>Japanese Faces -日本の貌- ほか (土門拳を通じた郷土愛の醸成)</td> <td>土門拳記念館</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>24</td> <td>40</td> <td>1,195</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※参加校数の実数は16校</p> <p>両館を訪問し、本物の芸術作品に出会い対話型鑑賞（※）によって鑑賞することで、自己肯定感を高め、多様性を認める柔軟な考え方を養うことに繋がった。また、土門拳を通じ郷土愛の醸成を育むことが出来た。</p> <p>(※) 対話型鑑賞とは、専門的な『知識や情報』を持って作品を観るのではなく、一つの作品をみんなで囲み「みる・考える・話す・聴く」を繰り返すことで、思考能力、対話能力の向上を図る手法。</p>					展覧会名 (ねらい)	会場	参加校数 (延べ校)	実施回数 (回)	参加人数 (人)	リサとガスパールのおもいで展 (対話型鑑賞による思考能力の向上)	酒田市美術館	13	25	772	2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)	酒田市美術館	2	2	53	渡辺おさむ -お菓子の美術館- (対話型鑑賞による思考能力の向上)	酒田市美術館	4	7	204	The Hands -土門が撮った手- (土門拳を通じた郷土愛の醸成)	土門拳記念館	2	2	51	2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)	土門拳記念館	2	3	97	Japanese Faces -日本の貌- ほか (土門拳を通じた郷土愛の醸成)	土門拳記念館	1	1	18	合 計	—	24	40	1,195
展覧会名 (ねらい)	会場	参加校数 (延べ校)	実施回数 (回)	参加人数 (人)																																									
リサとガスパールのおもいで展 (対話型鑑賞による思考能力の向上)	酒田市美術館	13	25	772																																									
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)	酒田市美術館	2	2	53																																									
渡辺おさむ -お菓子の美術館- (対話型鑑賞による思考能力の向上)	酒田市美術館	4	7	204																																									
The Hands -土門が撮った手- (土門拳を通じた郷土愛の醸成)	土門拳記念館	2	2	51																																									
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 (原爆や戦争を考える平和学習)	土門拳記念館	2	3	97																																									
Japanese Faces -日本の貌- ほか (土門拳を通じた郷土愛の醸成)	土門拳記念館	1	1	18																																									
合 計	—	24	40	1,195																																									
備 考																																													

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3 目 文化財保護費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 —
事 業 名	文化資料館（仮称）整備事業				【新規事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	5,940,000	5,940,000	0	0	100.0%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,970,000	0	2,600,000	0	370,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	中央図書館移転後の跡地に資料館・光丘文庫・公文書館・市史編纂の機能を持つ「過去にあった酒田の出来事（行政を含む）や文化を未来に伝えるための総合施設」を整備することにより、貴重な史資料を次世代に伝承するとともに郷土愛にあふれた人材を育成する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 令和6年度の開館に向けて、中央図書館跡地に以下の施設改修及び消防設備工事を行うため、設計業務委託を行った。</p> <p>【整備予定内容】</p> <p>≪1階≫ 常設展示室、企画展示室、資料保管庫、調査員室、事務室、閲覧室</p> <p>≪3階及び4階≫ 資料保管庫</p>				
備 考	○主な特定財源	都市構造再編集中支援事業補助金（国）	2,970,000円		
		公共事業等債（市債）	2,600,000円		

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3 目 文化財保護費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	史跡旧燈屋修復事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	41,317,000	41,033,000	0	284,000	99.3%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	19,970,000	1,238,000	15,100,000	1,849,000	2,876,000
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	69,894,000	69,787,012	△28,754,012		
	目 的 ・ 趣 旨				
	国指定史跡「旧燈屋」は、前回の修理工事から20年が経過したことから、経年のため屋根などに腐食が生じ、雨漏りをしている箇所もあるほか、耐震性がなく地震で倒壊の恐れもあるため、修復工事（屋根の大規模修繕及び耐震補強工事）を実施する。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 文化庁の指導を受けながら、屋根葺替工事及び耐震補強工事を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 平成27年度 39,240円 ・ 事前調査</p> <p>(2) 平成28年度 9,023,080円 ・ 耐震診断等資料作成 ・ 耐震診断業務（耐震解析）</p> <p>(3) 平成29年度 11,538,173円 ・ 耐震補強案の作成 ・ 土壁調査 ・ 屋根修理等実施設計</p> <p>(4) 平成30年度 5,934,006円 ・ 構造補強実施設計 ・ 遺構調査実施</p> <p>(5) 令和元年度 6,842,000円 ・ 設備設計 ・ 実施設計積算 ・ 遺構調査実施</p> <p>(6) 令和2年度 19,178,906円 ・ 既存樹移転 ・ 東側板塀解体 ・ 仮設屋根設置</p> <p>(7) 令和3年度 69,787,012円 ・ 仮設屋根設置 ・ 調査解体工事 ・ 木工事 ・ 耐震補強工事</p> <p>(8) 令和4年度 41,033,000円 ・ 屋根葺替工事 ・ 耐震補強工事</p> <p>※令和2年10月1日から令和8年3月31日（予定）まで修復工事のために休館</p>				
備 考	<p>○主な特定財源 文化財保存事業費補助金（国）19,970千円 文化財保存事業費補助金（県）1,238千円 旧燈屋修復事業支援寄附金（ガバメントクラウドファンディング）1,849千円 一般補助施設整備等事業債（市債）15,100千円</p>				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3 目 文化財保護費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会社会教育文化課																												
事 業 名	山居倉庫保存活用計画策定事業				【 継 続 事 業 】																												
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																												
	4,264,000	4,081,318	0	182,682	95.7%																												
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																												
	2,040,000	0	0	0	2,041,318																												
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																													
	3,510,000	3,168,664	912,654																														
	目 的 ・ 趣 旨																																
	山居倉庫を後世に伝えていくための基本的な計画である「山居倉庫保存活用計画」を令和3年度からの2か年で策定し、保存活用していく。																																
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 史跡整備、歴史などの分野の学識経験者で構成される策定委員会を組織し、「山居倉庫」の史跡等の本質的価値と構成要素を明確化し、それらを適切に保存活用していくための基本方針、方法、現状変更等の取扱基準の策定等を目的として保存活用計画を策定した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 策定委員会の開催 ①第3回策定委員会（令和4年7月28日） 内 容 第1・2回委員会協議結果に対する事務局検討内容について 保存管理(案)、周辺環境の保全(案)について ②第4回策定委員会（令和4年10月25日） 内 容 第3回委員会協議結果に対する事務局検討内容について 活用(案)、整備(案)、運営・体制の整備(案)、施策の実施計画(案) 経過観察(案)について ③第5回策定委員会（令和5年1月27日） 内 容 市民ワークショップの実施結果について 第4回委員会協議結果に対する事務局検討内容について 保存活用計画最終案について</p> <p>(2) 市民ワークショップの開催 ①第1回市民ワークショップ（令和4年11月26日） 内 容 山居倉庫内見学、ワークショップ（山居倉庫の現状と課題の共有） 参加者</p> <table border="1"> <tr> <td>10代</td> <td>20代</td> <td>30代</td> <td>40代</td> <td>50代</td> <td>60代以上</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>10人</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>12人</td> <td>40人</td> </tr> </table> <p>②第2回市民ワークショップ（令和4年12月10日） 内 容 文化財などの保存と活用に関する講話 ワークショップ（山居倉庫の保存と活用に関する意見交換） 参加者</p> <table border="1"> <tr> <td>10代</td> <td>20代</td> <td>30代</td> <td>40代</td> <td>50代</td> <td>60代以上</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>15人</td> <td>39人</td> </tr> </table> <p>(3) 報告書 「史跡山居倉庫保存活用計画」（令和5年3月31日策定）</p>					10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	10人	2人	7人	3人	6人	12人	40人	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	6人	0人	8人	5人	5人	15人	39人
10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計																											
10人	2人	7人	3人	6人	12人	40人																											
10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計																											
6人	0人	8人	5人	5人	15人	39人																											
備 考	○主な特定財源 文化財保存事業費補助金（国） 2,040,000円																																

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3 目 文化財保護費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会図書館
事 業 名	光丘文庫デジタルアーカイブ事業				【 継 続 事 業 】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	594,000	593,967	0	33	99.9%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	593,967
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	1,465,000	1,464,628	△870,661		
	目 的 ・ 趣 旨				
	光丘文庫が所蔵する資料等を最大限に活用し、酒田の歴史を学ぶためのコンテンツを追加することによって市民の郷土史への関心を高めるとともに、光丘文庫所蔵資料の価値をわかりやすく全国に発信するもの。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>光丘文庫が所蔵する資料を中心に、酒田の歴史資料を紹介する「光丘文庫デジタルアーカイブ」をインターネット上（デジタルアーカイブのサイト「ADEAC」内）で公開し、内容が伝わりにくかった絵図、古写真等の資料のほか、酒田の歴史資料や精細画像を掲載し、広く光丘文庫の所蔵資料を公開した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 新規コンテンツの追加</p> <p>平成30年度に構築したデジタルアーカイブに以下のコンテンツを追加、拡充した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画館グリーンハウスの小冊子「グリーンイヤーズ」（昭和27年発行） 柳小路で昭和24年から昭和51年まで営業していた洋画専門館「グリーンハウス」が発行していたリーフレット「グリーンイヤーズ」の総数1,029点から18点を抜粋し掲載した。 <p>(2) サーバー容量の増強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー容量をこれまでの10GB（目録データ件数：1万件）から20GB（目録データ件数：5万件）に変更した。 ・所有する史資料が膨大であることから、資料のデジタル化を進めるうえで、サーバー容量に課題があったため、容量を増加することで当面の掲載可能数を確保した。 				
備 考					

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	4 目 図書館費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 —
事 業 名	ミライニ管理運営事業				【新規 事業】
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	307,105,000	293,043,522	0	14,061,478	95.4%
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	216,738,276	76,305,246
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	—	—	—		
	目 的 ・ 趣 旨				
	本事業により、市民の多様な活動及び学習機会を創出し、交流促進と中心市街地の活性化を図るもの。				
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 対象施設の管理運営</p> <p>①酒田駅前交流拠点施設ミライニ (中央図書館、観光案内所、駐車場、広場、バスベイ)</p> <p>②酒田市立図書館 (中央図書館、八幡分館、松山分館、ひらた図書センター)</p> <p>(2) 複合施設棟共用部の管理組合運営(共用部)への参画等</p> <p>①酒田駅前光の湊A棟管理組合(A棟：ミライニ、ホテル、レストラン)</p> <p>②ミライニパークビル管理組合(B棟：駐車場、バス運行)</p> <p>③酒田駅前地区管理協議会(A・B・C(マンション)棟)</p> <p>(3) ミライニ運営評価審議会の開催</p> <p>(4) 指定管理者との調整等</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>令和4年5月5日に新中央図書館が移転オープンし、7月31日には広場とバスベイを含む光の湊エリアのグランドオープンを迎えた。また、令和5年1月14日には年間目標数値の入館者数40万人を達成した。</p> <p>(1) 対象施設の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月1日より指定管理者による管理運営開始 <p>(2) 複合施設棟共用部の管理組合運営(共用部)への参画等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～③すべての管理組合が設立、運営に参画した。 <p>(3) ミライニ運営評価審議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体運営開始後および次年度計画策定後の2回開催した。 <p>(4) 指定管理者との調整等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会議(月例)のほか、随時連絡、協議を行った。 				
備 考	○主な特定財源	ミライニ使用料(駐車場使用料、研修室使用料等) 地域づくり基金繰入金		10,458,780円 206,000,000円	

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	4 目 図書館費	所 属	R4 教育委員会社会教育文化課 R3 教育委員会図書館						
事 業 名	(繰越明許費) 酒田コミュニケーションポート (仮称) 整備事業 【 継続 事業】										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①						
	460,357,000	400,042,696	0	60,314,304	86.9%						
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源						
	0	0	336,500,000	0	63,542,696						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)							
	—	—	—								
	目 的 ・ 趣 旨										
	酒田駅前再開発において図書館を中核とした公共施設（酒田駅前交流拠点施設ミライニ（旧（仮称）酒田市コミュニケーションポート））を整備し、市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、交流促進及び中心市街地の活性化を図る。										
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の工期延長により、令和4年度中に完成した公共施設（駐車場、広場等）については、各施設の完成時期に合わせ、その都度、光の湊株式会社より購入した。</p> <p>○事業実績・説明 公有財産購入費</p> <table border="0"> <tr> <td>① 酒田駅前駐車場等購入費</td> <td>228,298,160 円</td> </tr> <tr> <td>② 酒田駅前バス停留所及びミライニ広場等購入費</td> <td>101,500,840 円</td> </tr> <tr> <td>③ 酒田駅前交流拠点施設ミライニ購入清算額</td> <td>70,243,696 円</td> </tr> </table>					① 酒田駅前駐車場等購入費	228,298,160 円	② 酒田駅前バス停留所及びミライニ広場等購入費	101,500,840 円	③ 酒田駅前交流拠点施設ミライニ購入清算額	70,243,696 円
① 酒田駅前駐車場等購入費	228,298,160 円										
② 酒田駅前バス停留所及びミライニ広場等購入費	101,500,840 円										
③ 酒田駅前交流拠点施設ミライニ購入清算額	70,243,696 円										
備 考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 336,500,000円										

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 教育委員会スポーツ振興課																																															
事 業 名	白崎資金スポーツ振興事業				【 継 続 事 業 】																																															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																															
	2,257,000	2,028,378	0	228,622	89.9%																																															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																															
	0	0	0	0	2,028,378																																															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																
	933,000	466,444	1,561,934																																																	
	目 的 ・ 趣 旨																																																			
	白崎資金を活用して、全国大会等に出場する団体及び個人に対し激励金等を交付するとともに、優秀な成績を収めた選手を表彰することにより、市民のスポーツへの関心を高める。また、指導者を対象とした講習会等を実施し、一貫指導体制の確立と資質向上を目指す。																																																			
事	○事業内容																																																			
務	全国大会等上位大会へ出場する市民へ激励金等を交付するとともに、全国大会等で優秀な成績を収めた市民を表彰した。また、小中高・一般の一貫した指導体制の確立と指導者の資質向上を目的に、実技講習や講演会を開催し指導者のレベルアップを図った。																																																			
事	○事業実績・説明																																																			
業	(1) スポーツ振興激励金・奨励金の交付																																																			
の	令和4年度交付実績 激励金：1,215,000円(208名)																																																			
概	奨励金：実績なし (名)																																																			
要	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">東北大会</th> <th colspan="4">全国大会</th> <th rowspan="2">世界大会</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>小計</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生以上</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>61</td> <td>52</td> <td>1</td> <td>114</td> <td>0</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>60</td> <td>36</td> <td>95</td> <td>191</td> <td>1</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table>					年度	東北大会			全国大会				世界大会	合計	小学生	中学生	小計	小学生	中学生	高校生以上	小計	令和2年度	0	1	1	3	16	0	19	0	20	令和3年度	4	19	23	61	52	1	114	0	137	令和4年度	15	1	16	60	36	95	191	1	208
年度	東北大会			全国大会				世界大会	合計																																											
	小学生	中学生	小計	小学生	中学生	高校生以上	小計																																													
令和2年度	0	1	1	3	16	0	19	0	20																																											
令和3年度	4	19	23	61	52	1	114	0	137																																											
令和4年度	15	1	16	60	36	95	191	1	208																																											
	(2) スポーツ優秀選手表彰																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>表彰(個人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>76名</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>97名</td> </tr> </tbody> </table>					年度	表彰(個人)	令和2年度	19名	令和3年度	76名	令和4年度	97名																																							
年度	表彰(個人)																																																			
令和2年度	19名																																																			
令和3年度	76名																																																			
令和4年度	97名																																																			
	(3) スポーツ指導者養成事業(競技スポーツ指導者養成研修)																																																			
	① 日 時 令和4年12月10日																																																			
	参加者 70名																																																			
	講 師 東京2020パラリンピック(肢体部門)卓球競技日本代表特命監督 伊藤誠																																																			
	内 容 アスリートの育成・支援する環境と指導者の姿勢について																																																			
	② 日 時 令和5年2月4日																																																			
	参加者 32名																																																			
	講 師 整体/コンディショニングサロン主宰 伊藤徳明																																																			
	内 容 運動時におけるテーピング・救急処置について																																																			
	(4) 表敬に係る歓迎・顕彰等																																																			
	・ 夏季デフリンピック競技大会水泳競技金メダル獲得(齋藤京香選手)を祝う懸垂幕の設置等																																																			
備考																																																				

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 —																											
事 業 名	子どものスポーツチャレンジ支援事業 【新規 事業】																															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																											
	5,238,000	4,927,500	0	310,500	94.1%																											
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																															
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																											
	248,000	0	0	4,679,500	0																											
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																												
	—	—	—																													
	目 的 ・ 趣 旨																															
	子どもたちがスポーツに出会いチャレンジするきっかけを創出し、身近な場所でスポーツに取り組むことができる環境を整備するとともに、運動習慣を身に付けさせ、子どもの体力向上を図る。																															
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容</p> <p>子どもたちの基礎体力向上を図るため、東北公益文科大学と連携して、鬼ごっこによる体力向上事業を実施するとともに、自分に適したスポーツに出会い、スポーツ・運動をする子どもたちを増やすきっかけを創出するために、スポーツ能力測定会を実施した。また、地域で子どもたちがスポーツに取り組む環境を整備するため、酒田市スポーツ少年団本部の活動に対し負担金を支出した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 鬼ごっこによる体力向上事業</p> <p>東北公益文科大学の体育系クラブに所属する学生の協力を得て、市内3つの小学校において体育の授業の一部分で事業を実施した。授業の最終回に体力テスト、授業終了後には運動意識に関するアンケートを実施し、事業の効果を検証した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">小学校</th> <th rowspan="2">担当クラブ名</th> <th colspan="3">実施回数内訳 (回)</th> <th rowspan="2">実施回数合計 (回)</th> </tr> <tr> <th>4年生</th> <th>5年生</th> <th>6年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>琢成小学校</td> <td>女子バレーボール部</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>浜田小学校</td> <td>男子バレーボール部</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>十坂小学校</td> <td>女子サッカー部</td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) スポーツ能力測定会</p> <p>日 時 令和4年11月27日</p> <p>申込者 小中学生169名 (当日参加者数143名)</p> <p>内 容 スポーツ能力を測定する機器 (モーションキャプチャ) を用いて子どもたち一人ひとりの運動能力を測定した。</p> <p>(3) 酒田市スポーツ少年団本部活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会の開催 (6競技、904名参加) ・酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部交流大会 (22名参加) ・運動適正テスト (383名実施、実施率29.62%) ・指導者講習会・技術指導講習会 (専門部会主催) (294名参加) ・スタートコーチ養成講習会 (18名参加) ・酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会 (18名参加) ・令和4年度 団員数1,293人 (内小学生1,254人)、加入率 (小学生) : 30.99% 					小学校	担当クラブ名	実施回数内訳 (回)			実施回数合計 (回)	4年生	5年生	6年生	琢成小学校	女子バレーボール部	8	6	6	20	浜田小学校	男子バレーボール部	6	7	7	20	十坂小学校	女子サッカー部		10	10	20
小学校	担当クラブ名	実施回数内訳 (回)			実施回数合計 (回)																											
		4年生	5年生	6年生																												
琢成小学校	女子バレーボール部	8	6	6	20																											
浜田小学校	男子バレーボール部	6	7	7	20																											
十坂小学校	女子サッカー部		10	10	20																											
備 考	<p>○主な特定財源</p> <p>地方創生推進交付金 (国) 248,000円</p> <p>さかた応援基金繰入金 4,679,500円</p>																															


款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 —																							
事 業 名	トップアスリート育成支援事業				【新規 事業】																							
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																							
	12,886,000	10,181,965	0	2,704,035	79.0%																							
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																											
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																							
	0	0	0	0	10,181,965																							
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																								
	—	—	—																									
	目 的 ・ 趣 旨																											
	(公財)酒田市スポーツ協会加盟団体等と連携し、競技力向上とトップアスリートの育成を支援する。国際大会や全国大会で活躍する選手を育成することにより、市民へ感動と活力を届け、スポーツへの関心を高める。																											
事 務 業 の 概 要	<p>○事業内容 (公財)酒田市スポーツ協会の活動に対して補助金を交付し、国民体育大会や各種全国大会等に出場可能なトップアスリートの育成を支援した。また、山形県縦断駅伝競走大会や山形県女子駅伝競走大会の実行委員会等に対し負担金または補助金を支出した。</p> <p>○事業実績・説明 (公財)酒田市スポーツ協会実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成事業(競技スポーツ指導者養成研修) ・競技力向上対策事業(各競技団体へ育成強化費の交付) ・市民スポーツ振興事業 (スポーツ教室の開設、市体育大会の開催、総合型地域スポーツクラブの運営) ・広報誌発行(「スポーツ酒田」年2回(10月・3月発行)) ・顕彰事業 功労章4名、感謝状1名、優秀指導者章1名、優秀選手勲功章9名、優秀団体勲功章1団体(4名)、優秀選手章13名、優秀団体章2団体(32名) <p>大会開催期日及び参加者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">大会名</th> <th rowspan="2">開催期日</th> <th colspan="3">参加者数等</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山形県縦断駅伝競走大会</td> <td>4月27日 ～4月29日</td> <td>中止</td> <td>総合2位 37名参加</td> <td>総合3位 37名参加</td> </tr> <tr> <td>山形県女子駅伝競走大会</td> <td>11月20日</td> <td>中止</td> <td>4位 12名参加</td> <td>4位 11名参加</td> </tr> <tr> <td>全庄内スキー選手権大会</td> <td>2月5日</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>62名参加</td> </tr> </tbody> </table>					大会名	開催期日	参加者数等			令和2年度	令和3年度	令和4年度	山形県縦断駅伝競走大会	4月27日 ～4月29日	中止	総合2位 37名参加	総合3位 37名参加	山形県女子駅伝競走大会	11月20日	中止	4位 12名参加	4位 11名参加	全庄内スキー選手権大会	2月5日	中止	中止	62名参加
大会名	開催期日	参加者数等																										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																								
山形県縦断駅伝競走大会	4月27日 ～4月29日	中止	総合2位 37名参加	総合3位 37名参加																								
山形県女子駅伝競走大会	11月20日	中止	4位 12名参加	4位 11名参加																								
全庄内スキー選手権大会	2月5日	中止	中止	62名参加																								
備 考																												

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 —																															
事 業 名	生涯スポーツ推進事業				【新規 事業】																															
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																															
	7,097,000	6,530,002	0	566,998	92.0%																															
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																															
	0	0	0	6,530,002	0																															
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																
	—	—	—																																	
	目 的 ・ 趣 旨																																			
	年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民が誰でも気軽にスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動を楽しむことで、心身の健康の保持促進と健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指す。																																			
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 市民が参加しやすいスポーツイベントを開催するとともに、地域のコーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員の各種研修への参加を充実させることで、地域のスポーツ行事の企画・立案に向けたスキルアップを図り、多世代が運動しやすい環境を整えた。</p> <p>○事業実績・説明 (1) イベント開催期日及び参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">大会名</th> <th rowspan="2">開催期日</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市体育大会</td> <td>4月～5月</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>2,353名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ラン&ウオーキングイベント ・5月「さつきラン&ウオーク（企業対抗）」 市独自にウオーキングの部の上位3チームに副賞（モルック等）を贈呈 ・10月「オクトーバーラン&ウオーク（自治体対抗）」 市独自にウオーキングの部の上位40名と、ランニングの部の上位10名に副賞（市内日帰り温泉施設無料入浴券等）を贈呈</p> <p>(3) スポーツ推進委員会活動 ・各種研修会等参加実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会名</th> <th>開催地</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国スポーツ推進委員研究協議会</td> <td>滋賀県草津市</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>東北地区スポーツ推進委員研修会</td> <td>青森県八戸市</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>山形県スポーツ推進委員研究大会</td> <td>オンライン開催</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>庄内地区スポーツ推進委員協議会総会・研修会</td> <td>鶴岡市</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>酒田市スポーツ推進委員研究協議会</td> <td>酒田市</td> <td>45名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・PR活動 酒田まつり山車行列（19名参加）、酒田湊甚句流し（22名参加） ・スポーツ推進委員報酬（理事48,000円×29名、一般42,000円×52名） ・主催事業等 第5回ニュースポーツ大会（21チーム、68名参加） 第1回酒田市モルック大会（24チーム、123名（うちスポーツ推進委員31名）参加） ニュースポーツ（ポッチャ、モルック）体験会をミライニにて開催</p>					大会名	開催期日	参加者数			令和2年度	令和3年度	令和4年度	酒田市体育大会	4月～5月	中止	中止	2,353名	研修会名	開催地	参加者数	全国スポーツ推進委員研究協議会	滋賀県草津市	2名	東北地区スポーツ推進委員研修会	青森県八戸市	中止	山形県スポーツ推進委員研究大会	オンライン開催	22名	庄内地区スポーツ推進委員協議会総会・研修会	鶴岡市	31名	酒田市スポーツ推進委員研究協議会	酒田市	45名
大会名	開催期日	参加者数																																		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																																
酒田市体育大会	4月～5月	中止	中止	2,353名																																
研修会名	開催地	参加者数																																		
全国スポーツ推進委員研究協議会	滋賀県草津市	2名																																		
東北地区スポーツ推進委員研修会	青森県八戸市	中止																																		
山形県スポーツ推進委員研究大会	オンライン開催	22名																																		
庄内地区スポーツ推進委員協議会総会・研修会	鶴岡市	31名																																		
酒田市スポーツ推進委員研究協議会	酒田市	45名																																		
備 考	○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 6,530,002円																																			

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 —																		
事 業 名	スポーツツーリズム推進事業				【新規 事業】																		
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	13,020,000	12,930,972	0	89,028	99.3%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	0	0	0	8,000,000	4,930,972																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	—	—	—																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	スポーツの持つ力を最大限に活かし、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、スポーツによる賑わいとまちづくりを推進する。																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会に対し負担金を支出した。また、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会をはじめとした、市内で開催される競技大会等のスポーツイベントをサポートする酒田市スポーツボランティア会を新たに設立し、会への登録を促すとともにボランティア人材を育成してスポーツ活動の充実を図った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 負担金交付大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">大会名等</th> <th rowspan="2">開催期日</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みなと酒田トライアスロンおしんレース</td> <td>—</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>湊酒田つや姫ハーフマラソン大会</td> <td>10月16日</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>1,065名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 酒田市スポーツボランティア会 会員数 21名 活動実績 第11回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会で給水所運営に従事（7名）</p>					大会名等	開催期日	参加者数			令和2年度	令和3年度	令和4年度	みなと酒田トライアスロンおしんレース	—	中止	中止	中止	湊酒田つや姫ハーフマラソン大会	10月16日	中止	中止	1,065名
大会名等	開催期日	参加者数																					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																			
みなと酒田トライアスロンおしんレース	—	中止	中止	中止																			
湊酒田つや姫ハーフマラソン大会	10月16日	中止	中止	1,065名																			
備 考	○主な特定財源 日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 8,000,000円																						

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 —																		
事 業 名	スポーツによる地域コミュニティ活性化事業【新規事業】																						
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																		
	300,000	300,000	0	0	100.0%																		
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																		
	0	0	0	0	300,000																		
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																			
	—	—	—																				
	目 的 ・ 趣 旨																						
	子どもから大人まで幅広い年齢層の多くの市民等が参加できるスポーツ大会を行い、スポーツを通じて世代間交流や地域の一体感の醸成、災害時にも支え合う地域コミュニティの維持・再生を図る。																						
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 スポーツ活動を通じて市民による地域コミュニティ活性化を図るため、市民参加型のスポーツイベントとして酒田市巡回駅伝競走大会を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 スポーツイベント開催期日及び参加者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">大会名等</th> <th rowspan="2">開催期日</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市民体育祭</td> <td>—</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>酒田市巡回駅伝競走大会</td> <td>11月13日</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>122名</td> </tr> </tbody> </table>					大会名等	開催期日	参加者数			令和2年度	令和3年度	令和4年度	酒田市民体育祭	—	中止	中止	中止	酒田市巡回駅伝競走大会	11月13日	中止	中止	122名
大会名等	開催期日	参加者数																					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																			
酒田市民体育祭	—	中止	中止	中止																			
酒田市巡回駅伝競走大会	11月13日	中止	中止	122名																			
備 考																							

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 教育委員会スポーツ振興課																						
事 業 名	体育施設整備事業（継続費・逡次繰越分を含む）【継続事業】																										
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																						
	9,908,000	9,873,688	0	34,312	99.7%																						
	支出済額②の財源内訳																										
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																						
	0	0	0	500,000	9,373,688																						
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																							
	29,075,000	26,818,264	△16,944,576																								
	目 的 ・ 趣 旨																										
	体育施設の修繕や競技用備品を整備し、安全で快適なスポーツ環境の提供や大会誘致等による交流人口の拡大により、生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図る。																										
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 体育施設の改修及び備品整備等を実施した。</p> <p>(1) 主な改修等 ・ 武道館会議室エアコン更新工事（継続費：令和3年度～4年度）</p> <p>(2) 備品整備 ・ スポーツトラック（グラウンド整備・芝刈用） 1台 ・ 陸上競技用ハードル（光ヶ丘陸上競技場） 16台</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>武道館会議室エアコン更新工事</td> <td>3,553,000</td> </tr> <tr> <td>（令和4年度）</td> <td>2,029,000</td> </tr> <tr> <td>（令和3年度からの逡次繰越額）</td> <td>1,524,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツトラック（グラウンド整備・芝刈用）1台</td> <td>3,694,328</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘陸上競技場 陸上競技用ハードル16台</td> <td>1,119,360</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修道館アスベスト調査業務委託</td> <td>605,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 手数料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘球技場人工芝メンテナンス業務</td> <td>902,000</td> </tr> </tbody> </table>					工事内容	金額（円）	武道館会議室エアコン更新工事	3,553,000	（令和4年度）	2,029,000	（令和3年度からの逡次繰越額）	1,524,000	整備内容	金額（円）	スポーツトラック（グラウンド整備・芝刈用）1台	3,694,328	光ヶ丘陸上競技場 陸上競技用ハードル16台	1,119,360	委託内容	金額（円）	修道館アスベスト調査業務委託	605,000	業務内容	金額（円）	光ヶ丘球技場人工芝メンテナンス業務	902,000
工事内容	金額（円）																										
武道館会議室エアコン更新工事	3,553,000																										
（令和4年度）	2,029,000																										
（令和3年度からの逡次繰越額）	1,524,000																										
整備内容	金額（円）																										
スポーツトラック（グラウンド整備・芝刈用）1台	3,694,328																										
光ヶ丘陸上競技場 陸上競技用ハードル16台	1,119,360																										
委託内容	金額（円）																										
修道館アスベスト調査業務委託	605,000																										
業務内容	金額（円）																										
光ヶ丘球技場人工芝メンテナンス業務	902,000																										
備 考	○主な特定財源 教育総務費寄附金 500,000円																										

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 教育委員会スポーツ振興課				
事 業 名	体育施設照明設備改修事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	42,163,000	42,163,000	0	0	100.0%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	0	0	19,900,000	20,000,000	2,263,000				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	3,388,000	3,344,000	38,819,000						
	目 的 ・ 趣 旨								
	体育施設の老朽化した照明設備を整備し、安全で快適なスポーツ環境を提供する。								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 設置から30年が経過し、経年劣化がみられる国体記念テニスコートの屋外照明施設について、LED器具への更新工事を行った。</p> <p>○事業実績・説明 工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国体記念テニスコート照明設備更新工事</td> <td>42,163,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【国体記念テニスコート】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>					工事内容	金額（円）	国体記念テニスコート照明設備更新工事	42,163,000
工事内容	金額（円）								
国体記念テニスコート照明設備更新工事	42,163,000								
備 考	○主な特定財源		地域活性化事業債（市債）	19,900,000円					
			日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	20,000,000円					

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 教育委員会スポーツ振興課														
事 業 名	国体記念体育館改修事業				【 継 続 事 業 】														
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①														
	829,918,000	459,404,000	370,300,000	214,000	55.4%														
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源														
	0	0	413,400,000	0	46,004,000														
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)															
	71,500,000	71,500,000	387,904,000																
	目 的 ・ 趣 旨																		
	国体記念体育館の改修を行い、将来にわたり安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツに親しむようになり、スポーツ行事への参加者の増加につなげる。																		
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 建築からおよそ30年が経過した国体記念体育館について、令和元年度に実施した長寿命化計画用簡易調査の結果に基づき、大規模改修工事を実施した。 (継続費：令和4年度～5年度)</p> <p>○事業実績・説明 工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国体記念体育館大規模改修工事</td> <td>459,404,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※継続費を設定 (令和4年度～5年度)</p> <p>実施経過及び工事予定</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>長寿命化計画用簡易調査業務委託</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>改修工事の時期、改修方法の検討</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>設計業務委託</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>工事発注、契約、外部改修工事</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>外部・内部改修工事 (施設の休館を伴う)</td> </tr> </tbody> </table>					工事内容	金額 (円)	国体記念体育館大規模改修工事	459,404,000	令和元年度	長寿命化計画用簡易調査業務委託	令和2年度	改修工事の時期、改修方法の検討	令和3年度	設計業務委託	令和4年度	工事発注、契約、外部改修工事	令和5年度	外部・内部改修工事 (施設の休館を伴う)
工事内容	金額 (円)																		
国体記念体育館大規模改修工事	459,404,000																		
令和元年度	長寿命化計画用簡易調査業務委託																		
令和2年度	改修工事の時期、改修方法の検討																		
令和3年度	設計業務委託																		
令和4年度	工事発注、契約、外部改修工事																		
令和5年度	外部・内部改修工事 (施設の休館を伴う)																		
備 考	○主な特定財源 公共施設等適正管理推進事業債 (市債)		413,400,000円																

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	所 属	R4 教育委員会スポーツ振興課 R3 教育委員会スポーツ振興課				
事 業 名	(繰越明許費) 体育施設耐震改修事業				【 継 続 事 業 】				
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①				
	18,504,000	18,483,300	0	20,700	99.9%				
	支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳								
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
	0	0	0	0	18,483,300				
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)					
	—	—	—						
	目 的 ・ 趣 旨								
	耐震診断の結果、耐震改修が必要な体育施設について改修を実施し、安全で快適なスポーツ環境を提供する。								
事 務 事 業 の 概 要	<p>○事業内容 旧耐震基準で建築され、耐震診断を実施した結果、耐震改修工事が必要と判断された八幡体育館について、耐震改修並びに機能向上を図るための改修工事設計業務委託を行った。</p> <p>○事業実績・説明 設計業務委託料</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八幡体育館改修工事 (設計業務委託)</td> <td>18,483,300</td> </tr> </tbody> </table>					内容	金額 (円)	八幡体育館改修工事 (設計業務委託)	18,483,300
内容	金額 (円)								
八幡体育館改修工事 (設計業務委託)	18,483,300								
備 考									

会 計 名		定期航路事業特別会計			所 属
					R4 市民部定期航路事業所 R3 市民部定期航路事業所
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①	
273,573,000	262,094,663	0	11,478,337	95.8%	
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
78,069,041	20,080,000	0	163,945,622	0	
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)		
285,066,000	269,617,286	△7,522,623			
目 的 ・ 趣 旨					
酒田と飛島間の安全な海上航路を確保し、島民生活の維持向上と観光交流の促進を図るため、定期船運航及び不定期航路事業を実施する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容				
	(1) 定期船運航事業 109,118,942円				
	定期船は、通常期に1日1往復、繁忙期に1日2～3往復とする運航計画において、運航基準に基づく適切な出欠航判断を行い、安全管理体制の維持と安全対策の徹底に取り組み、安全・安心の航路事業実施に努めた。				
	・ 会計年度任用職員報酬（船員の報酬等）	33,391,374 円			
	・ 燃料費及び光熱水費（船舶燃料費等）	45,908,036 円			
	・ 施設管理委託料（船舶及び事業所の警備等）	3,046,325 円			
	・ その他委託料（代船運航業務委託料）	8,818,944 円			
	・ その他経費（駐車場借上料等）	17,954,263 円			
	(2) 誘客宣伝・利用促進事業 2,241,278円				
	情報誌等への広告掲載、飛島パンフレットの印刷の他、船内において鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドによるミニ飛島講座の開催や保護者同伴の小学生を対象にした子ども無料キャンペーンを実施した。				
・ 報償金（ミニ飛島講座）	142,000 円				
・ 食糧費（野鳥観察ツアー講師昼食代）	800 円				
・ 消耗品及び印刷製本費（飛島パンフレット）	1,143,078 円				
・ 手数料（チラシデザイン料）	33,000 円				
・ 広告料（広告掲載）	237,600 円				
・ 使用料（小学生乗船料）	684,800 円				
(3) 船舶検査事業 30,750,500円					
船舶安全法に基づく年1回の法定検査（中間検査）を実施し、安全設備並びに機関（エンジン、減速機等）をはじめとした機械設備等の点検整備を実施した。					
・ 修繕料（船舶検査修繕）	30,750,500 円				
(4) 酒田港クルーズ開催事業 47,256円					
定期船の利用拡大を図るため、日本海に沈む夕日の時刻に合わせた酒田港クルーズを実施した。					
・ 燃料費及び光熱水費（船舶燃料費等）	47,256 円				
(5) その他 119,936,687円					
・ 職員給与費	74,524,041 円				
・ 公債費	45,412,646 円				

○事業実績・説明

(1) 定期船運航実績

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	対R3年度比較
乗 客 数	11,682.0 人	17,250.0 人	16,861.5 人	△ 388.5 人
貨 物 航 送 量	1,416.0 t	1,854.0 t	1,647.0 t	△ 207.0 t
計 画 航 海 数	409 回	425 回	427 回	+ 2 回
実 績 航 海 数	245 回	254 回	272 回	+ 18 回
出 航 率	59.9 %	59.8 %	63.7 %	+3.9 %

乗客数については、コロナ禍の影響により大きく落ち込んだR2年度からは回復傾向にあるものの、乗船定員を8割に削減しての運航や、夏季2航海時に天候不順が続いたことによる大幅な観光利用客の落ち込み、冬季間の悪天候による連続欠航の増加により、前年度比388.5人減となった。

(2) 誘客宣伝・利用促進事業実績

①子ども無料キャンペーン実績

期 間		利用者数			
		大人	子ども	幼児	計
ゴールデンウィーク月間	4月29日～5月31日	62人	48人	15人	125人
海の日月間	7月1日～8月31日 (8/9～15を除く)	433人	272人	56人	761人
計		495人	320人	71人	886人

②ミニ飛鳥講座実績

開催月	開催回数	参加人数
4月	1回	20人
5月	9回	158人
6月	3回	125人
7月	8回	250人
8月	8回	197人
9月	4回	84人

計 33回開催 834人参加

③野鳥観察ツアー実績

	開催日	参加人数
1回目	5月8日(日)	4組 12名(大人7名、小人5名)
2回目	10月9日(日)	低気圧接近のため企画中止

子ども連れの家族等の誘客を図るため、①保護者同伴の子ども料金を無料にする「子ども無料キャンペーン」、②飛鳥の魅力を伝えるため鳥海山・飛鳥ジオパークガイドによる船上での「ミニ飛鳥講座」、③日本野鳥の会山形県支部の講師による「野鳥観察ツアー」を実施した。

(3) 酒田港クルーズ実績

開催日	参加人数 (報道関係招待者含む)	参加料金 (収入計)
7月18日(月・祝)	146人	104,000円

- ・コロナ過で実施を見送ってきた酒田港クルーズを3年ぶりに復活し、海の日記念事業として開催した。
- ・ANA SHONAI BLUE Ambassadorの参加協力を得て、船上アテンダント他、各種船内企画を実施した。

備考

○主な特定財源 離島航路運営費等補助金(国) 77,869,041円
山形県離島航路補助金(県) 20,080,000円
使用料 48,353,756円、繰入金 114,772,182円

会 計 名		国民健康保険特別会計			所 属	R4 健康福祉部国保年金課																																																																			
					R3 健康福祉部国保年金課																																																																				
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①																																																																					
10,454,180,000	10,176,172,327	0	278,007,673	97.3%																																																																					
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳																																																																									
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源																																																																					
236,000	7,435,776,000	0	1,156,710,187	1,583,450,140																																																																					
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)																																																																						
10,671,771,000	10,533,556,410	△357,384,083																																																																							
目 的 ・ 趣 旨																																																																									
県と共同で国民健康保険事業の安定的な運営を行うとともに、各種保健事業の実施により市民の健康保持・増進に努め、健康寿命の延伸につなげる。																																																																									
事 務	○事業内容																																																																								
	国民健康保険法に基づく国民健康保険の保険者として、被保険者の疾病、負傷、出産または死亡に関して必要な保険給付を行うとともに、被保険者の健康の保持及び増進を図るため、保健事業を実施した。																																																																								
事 業	○事業実績・説明																																																																								
	<p>令和4年度の保険給付費等は、402,796件 7,226,535,021円で、令和3年度と比べて、件数は5,259件の減、給付費は297,420,544円、4.0%の減となった。</p> <p>令和4年度の平均被保険者数は20,512人、平均世帯数は13,685世帯と、令和3年度に比べて813人、3.8%の減、世帯数は289世帯、2.1%の減となった。</p>																																																																								
の 概 要	(1) 保険給付費及び国保事業費納付金の状況																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">令和3年度(A)</th> <th colspan="2">令和4年度(B)</th> <th rowspan="2">増減額 (B)-(A) (給付費：円)</th> <th rowspan="2">増減率 (%)</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>給付費 (円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>給付費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養諸費給付費</td> <td>389,584</td> <td>6,486,311,898</td> <td>384,594</td> <td>6,249,839,790</td> <td>△ 236,472,108</td> <td>△ 3.6</td> </tr> <tr> <td>高額療養費等</td> <td>18,270</td> <td>995,775,530</td> <td>17,967</td> <td>938,092,706</td> <td>△ 57,682,824</td> <td>△ 5.8</td> </tr> <tr> <td>審査支払手数料</td> <td>—</td> <td>20,650,267</td> <td>—</td> <td>20,840,494</td> <td>190,227</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金</td> <td>29</td> <td>12,584,870</td> <td>18</td> <td>7,530,400</td> <td>△ 5,054,470</td> <td>△ 40.2</td> </tr> <tr> <td>葬祭費</td> <td>171</td> <td>8,550,000</td> <td>190</td> <td>9,500,000</td> <td>950,000</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>傷病手当金</td> <td>1</td> <td>83,000</td> <td>27</td> <td>731,631</td> <td>648,631</td> <td>781.5</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>408,055</td> <td>7,523,955,565</td> <td>402,796</td> <td>7,226,535,021</td> <td>△ 297,420,544</td> <td>△ 4.0</td> </tr> <tr> <td>国保事業費納付金</td> <td>—</td> <td>2,496,261,777</td> <td>—</td> <td>2,426,162,254</td> <td>△ 70,099,523</td> <td>△ 2.8</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	令和3年度(A)		令和4年度(B)		増減額 (B)-(A) (給付費：円)	増減率 (%)	件数 (件)	給付費 (円)	件数 (件)	給付費 (円)	療養諸費給付費	389,584	6,486,311,898	384,594	6,249,839,790	△ 236,472,108	△ 3.6	高額療養費等	18,270	995,775,530	17,967	938,092,706	△ 57,682,824	△ 5.8	審査支払手数料	—	20,650,267	—	20,840,494	190,227	0.9	出産育児一時金	29	12,584,870	18	7,530,400	△ 5,054,470	△ 40.2	葬祭費	171	8,550,000	190	9,500,000	950,000	11.1	傷病手当金	1	83,000	27	731,631	648,631	781.5	小計	408,055	7,523,955,565	402,796	7,226,535,021	△ 297,420,544	△ 4.0	国保事業費納付金	—	2,496,261,777	—	2,426,162,254	△ 70,099,523
区 分	令和3年度(A)		令和4年度(B)		増減額 (B)-(A) (給付費：円)	増減率 (%)																																																																			
	件数 (件)	給付費 (円)	件数 (件)	給付費 (円)																																																																					
療養諸費給付費	389,584	6,486,311,898	384,594	6,249,839,790	△ 236,472,108	△ 3.6																																																																			
高額療養費等	18,270	995,775,530	17,967	938,092,706	△ 57,682,824	△ 5.8																																																																			
審査支払手数料	—	20,650,267	—	20,840,494	190,227	0.9																																																																			
出産育児一時金	29	12,584,870	18	7,530,400	△ 5,054,470	△ 40.2																																																																			
葬祭費	171	8,550,000	190	9,500,000	950,000	11.1																																																																			
傷病手当金	1	83,000	27	731,631	648,631	781.5																																																																			
小計	408,055	7,523,955,565	402,796	7,226,535,021	△ 297,420,544	△ 4.0																																																																			
国保事業費納付金	—	2,496,261,777	—	2,426,162,254	△ 70,099,523	△ 2.8																																																																			
	(2) 国民健康保険の加入状況(年間平均)																																																																								
	世帯の状況(世帯、%)				被保険者の状況(人、%)																																																																				
年度	①全世帯	②国保世帯	加入率 ②/①	対前年度比		③全人口	④被保険者	加入率 ④/③	対前年度比																																																																
				差	増減率				差	増減率																																																															
H30	42,045	14,562	34.6	△ 357	△ 2.4	103,112	22,871	22.2	△ 889	△ 3.7																																																															
R 1	42,134	14,222	33.8	△ 340	△ 2.3	101,633	22,114	21.8	△ 757	△ 3.3																																																															
R 2	42,338	14,069	33.2	△ 153	△ 1.1	100,429	21,665	21.6	△ 449	△ 2.0																																																															
R 3	42,493	13,974	32.9	△ 95	△ 0.7	99,086	21,325	21.5	△ 340	△ 1.6																																																															
R 4	42,644	13,685	32.1	△ 289	△ 2.1	97,704	20,512	21.0	△ 813	△ 3.8																																																															

(3) 国民健康保険税収納状況

(単位：円、%)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	収納率
現年課税分	1,519,256,000	1,468,662,963	0	53,674,257	3,081,220	96.47
一般	1,519,256,000	1,468,662,963	0	53,674,257	3,081,220	96.47
退職	0	0	0	0	0	0.00
滞納繰越分	301,824,633	81,809,932	19,743,674	200,513,308	242,281	27.02
一般	298,860,305	81,253,967	19,008,437	198,840,182	242,281	27.11
退職	2,964,328	555,965	735,237	1,673,126	0	18.76
合計	1,821,080,633	1,550,472,895	19,743,674	254,187,565	3,323,501	84.96

※収入済額には、未還付額を含む。

※収納率は、未還付額控除後及び不納欠損額控除前の数値。

(4) 保健事業（特定健診・特定保健指導の状況）

高齢者の医療の確保に関する法律により、各保険者に義務付けられたメタボリックシンドロームに着目した特定健診及び特定保健指導を行った。

①特定健診

年度	対象者 A	受診者 B	受診率 B/A	目標受診率
H30	17,301人	8,599人	49.7%	50%
R1	16,916人	8,600人	50.8%	52%
R2	16,833人	8,338人	49.5%	54%
R3	16,363人	8,370人	51.2%	56%
R4	15,797人	8,035人	50.9%	58%

※対象者…40歳～74歳の国民健康保険被保険者

※令和4年度分については、速報値を使用。

②特定保健指導

年度	対象者 A	実施者 B	実施率 B/A	目標実施率
H30	972人	589人	60.6%	46%
R1	991人	594人	59.9%	49%
R2	934人	618人	66.2%	52%
R3	874人	581人	66.5%	55%
R4	794人	550人	69.3%	58%

- ・対象者…健診の結果により、「積極的支援」及び「動機付け支援」に区分された方

- ・内容…生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保健師、管理栄養士等による計画的サポートを行った。

- ・目標実施率…平成29年度は特定健診等実施計画（第2期）、平成30～令和5年度までは同計画（第3期）で定めている。

※令和4年度分については、速報値を使用。

備考

○主な特定財源 災害臨時特例補助金（国） 28,000円
 保険給付費等交付金（県） 7,435,776,000円
 繰入金 1,155,972,662円

会計名	後期高齢者医療事業特別会計				所 属	R4 健康福祉部国保年金課 R3 健康福祉部介護保険課	
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①			
1,449,880,000	1,447,867,009	0	2,012,991	99.9%			
支出済額②の財源内訳							
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源			
0	0	0	1,447,867,009	0			
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)				
1,394,497,000	1,383,023,237	64,843,772					
目的・趣旨							
保険料の収納確保や制度趣旨の普及に努め、保険財政の健全化・安定化を図ることにより、制度の安定した運営が行われ、地域医療の確保につなげる。							
事業概要	○事業内容						
	本事業の運営主体は山形県後期高齢者医療広域連合であり、同連合は財政運営、医療費の給付、保険料の賦課等を行っている。市町村は保険料の徴収業務、各種届出の受付業務、制度の啓発等を担い、業務分担しながら事業を運営している。						
	○事業実績・説明						
	(1) 後期高齢者医療制度に係る各種申請等受付業務の状況						
	・医療給付関係受付件数						
	年度	葬祭費	療養費	高額療養費	高額介護 合算療養費	第三者行為	合計
	H30	1,233 件	314 件	2,392 件	1,099 件	27 件	5,065 件
	R 1	1,248 件	313 件	2,456 件	1,131 件	27 件	5,175 件
	R 2	1,229 件	324 件	2,312 件	1,181 件	19 件	5,065 件
	R 3	1,246 件	272 件	2,358 件	1,095 件	19 件	4,990 件
R 4	1,297 件	263 件	2,432 件	1,107 件	19 件	5,118 件	
・資格関係受付件数							
年度	得喪	保険証 再交付	限度額・ 減額認定	基準収入 額認定	保険料納 付額証明	その他	合計
H30	107 件	678 件	768 件	27 件	85 件	509 件	2,174 件
R 1	149 件	723 件	815 件	41 件	120 件	670 件	2,518 件
R 2	107 件	692 件	1,444 件	30 件	146 件	722 件	3,141 件
R 3	95 件	717 件	1,791 件	35 件	118 件	649 件	3,405 件
R 4	104 件	761 件	※332 件	52 件	147 件	544 件	1,940 件
※令和4年度から、日本海病院と本間病院において広域連合とのオンライン連携の開始により、限度額等を確認できるようになったため、申請件数が減少した。							
(2) 後期高齢者医療保険料収納状況						(単位：円、%)	
区分	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入未済額	未還付額	収納率	
現年分	1,034,893,500	1,032,905,910	0	3,700,290	1,712,700	99.64	
特別徴収	735,805,700	737,231,300	0	2,200	1,427,800	99.99	
普通徴収	299,087,800	295,674,610	0	3,698,090	284,900	98.76	
滞納繰越分	6,078,618	3,638,138	191,900	2,277,530	28,950	59.38	
合計	1,040,972,118	1,036,544,048	191,900	5,977,820	1,741,650	99.41	
※収入済額には未還付額を含む							
※収納率は未還付額控除後及び不納欠損控除前の数値							

(3) 制度周知に関する取り組み

- ・市広報によるお知らせ
保険料の納入、保険証の更新、保険料率の変更等についてお知らせを行った。
- ・市ホームページでのお知らせ
制度の概要等を掲載した。
- ・その他
被保険者への送付物にリーフレット等を同封し、制度周知に取り組んだ。

備考

○主な特定財源	後期高齢者医療保険料	1,036,544,048円
	一般会計繰入金	397,676,000円

会計名		介護保険特別会計			所 属	R4 健康福祉部高齢者支援課 R3 健康福祉部介護保険課
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①		
13,495,108,000	13,034,029,888	0	461,078,112	96.6%		
支出済額②の財源内訳						
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,378,662,494	1,765,789,783	0	5,765,977,601	2,123,600,010		
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)			
13,392,328,000	12,982,972,592	51,057,296				
目的・趣旨						
介護保険事業の安定的な運営を行うとともに、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう、地域包括ケアの推進を図る。また、介護予防の取り組みを行うことで重度化防止を図り、高齢者の健康寿命の延伸につなげる。						
○事業内容						
項目	概要		金額（円）			
総務費	職員給与、一般事務費等		204,516,883			
保険給付費	介護サービス費用の7～9割を給付		11,996,156,287			
地域支援事業費	介護予防事業、地域包括支援センターの運営		409,238,121			
基金積立金	剰余金を介護給付費準備基金へ積立		157,152,233			
諸支出金	前年度国庫支出金、支払基金交付金の返還等		243,595,994			
市町村特別給付費	在宅紙おむつ券の交付		23,370,370			
合計			13,034,029,888			
○事業実績・説明						
(1) 保険給付費関係						
・保険給付費（対前年比 0.23%減） (単位：円)						
サービス種別		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
介護給付 (要介護1～5)	居宅サービス	4,637,842,563	4,600,304,060	4,625,802,994		
	地域密着型サービス	2,215,778,034	2,358,928,636	2,372,245,760		
	施設サービス	3,572,914,383	3,544,276,684	3,521,468,725		
	その他福祉用具等	627,305,819	633,163,574	645,908,043		
予防給付 (要支援1・2)	居宅サービス	112,851,263	119,884,919	110,512,982		
	地域密着型サービス	30,354,611	36,701,293	36,398,721		
	その他福祉用具等	34,963,136	36,189,014	38,406,456		
審査支払手数料・高額介護サービス費他		747,392,979	694,716,644	645,412,606		
合計		11,979,402,788	12,024,164,824	11,996,156,287		
・介護サービス利用人数 6,039人（対前年(6,081人)比 0.69%減） ※厚生労働省介護保険事業状況報告書（暫定値）令和5年4月分より						
(2) 認定審査関係						
・認定審査件数 4,867件（前年比 2.1%減、審査会開催件数165回）						
・認定率※の推移（対前年比 増減なし）						
要介護度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		審査判定状況	
			認定者数	割合	新規申請	1,670件
要支援1	531人	558人	541人	7.6%	更新申請	2,562件
要支援2	895人	919人	896人	12.6%	区分変更申請	635件
要介護1	1,325人	1,304人	1,250人	17.6%	合計	4,867件
要介護2	1,482人	1,459人	1,481人	20.9%		
要介護3	1,147人	1,145人	1,181人	16.7%		
要介護4	999人	966人	988人	13.9%		
要介護5	730人	734人	763人	10.7%		
合計	7,109人	7,085人	7,100人	100.0%		
認定率	19.3%	19.3%	19.3%	-		
※認定率は65歳以上の第1号被保険者（令和4年度 36,039人）のうち、要介護（要支援）認定を受けた方（令和4年度 6,963人）の割合						

(3) 保険料賦課徴収関係

・ 収納状況 ※収入済額には未還付額を含む。

(単位：円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額
現年度分	2,634,349,944	2,626,816,174	0	10,027,271	2,493,501
特別徴収	2,471,448,414	2,473,585,143	0	0	2,136,729
普通徴収	162,901,530	153,231,031	0	10,027,271	356,772
滞納繰越分	25,750,907	6,827,925	5,558,576	13,431,286	66,880
合計	2,660,100,851	2,633,644,099	5,558,576	23,458,557	2,560,381

・ 収納率 現年度分 99.62% 滞納繰越分 26.26% 合計 98.91%

(対前年比 0.22ポイント増)

・ 不納欠損額 件数 1,061件 (実人数126人)、金額 5,558,576円

(4) 地域支援事業関係

・ 介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業

訪問・通所型サービス	サービスA (緩和した基準) 実施事業所数 52事業所 訪問型サービスB (住民主体) 設立・実施地区数 2地区 通所型サービスB (住民主体) 設立・実施地区数 16地区
しゃんしゃん元気づくり事業	実施団体56箇所、延べ回数2,113回、延べ参加者数27,013人
栄養口腔講座	実施10地区、回数22回、延べ参加者数276人
口腔機能向上普及啓発事業	回数17回、延べ参加者数222人
すこやかマスターズ事業 (アクティビティ等のサービスを提供)	委託事業所数17箇所、登録人数254人、延べ参加者数387人
いきいき百歳体操 (住民主体の通いの場の立上げ支援事業)	説明・体験会実施3回 実施拠点数延べ112箇所 (B型移行分は除く) 専門職支援実施14回、217人

・ 包括的支援事業・任意事業

総合相談事業	地域包括支援センターに委託：総合相談16,339件、権利擁護 394件、包括的・継続的ケアマネジメント 2,157件、介護予防ケアマネジメント 5,380件
家族介護者支援事業	家族介護者交流会：回数22回、延べ参加者数132人 介護家族への訪問健康相談：実件数162件 延べ216件
地域包括ケア推進事業	地域ケア会議：回数80回、延べ参加者数1,122人
認知症総合支援事業	認知症ケア-た-養成講座：回数19回、参加者数284人、認知症ケア：回数12回、参加者数91人、安心おかえり登録者数：累計361人、見守りシール登録者数：27人、さかた声かけ隊登録者数：累計2,881人、認知症初期集中支援事業：新規3人、継続2人

(5) 市町村特別給付関係

・ 所得や要介護度に応じて在宅紙おむつ券を交付 (交付者数：522人)

・ 交付状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付者数	543人	527人	522人
交付額	28,987,000円	29,253,000円	29,675,500円
使用額	22,031,000円	22,104,000円	22,703,000円

備考

○主な特定財源 国庫支出金 3,378,662,494円 準備基金繰入金 24,398,000円
県支出金 1,765,789,783円 一般会計繰入金 1,920,520,334円
支払基金交付金 3,406,815,000円

会 計 名		風力発電事業特別会計			所 属
					R4 地域創生部商工港湾課 R3 地域創生部商工港湾課
	予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①
	659,209,000	651,878,066	0	7,330,934	98.9%
支 出 済 額 ② の 財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	680,977,540	△29,099,474
	前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)	
	584,019,000	560,540,232	91,337,834		
目 的 ・ 趣 旨					
風力発電事業適地としての役割を果たし、国が目指す「2050年カーボンニュートラル」の実現及び「卒原発社会」の実現を目指す山形県エネルギー戦略の推進に貢献するとともに、事業によって得られる利益を広く市民に還元する。					
事 務 事 業 の 概 要	○事業内容 再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）を活用して売電事業を行った。				
	十里塚風力発電所の概要				
	(1) 発電出力 2,300 kW×3基=6,900 kW				
	(2) 事業実施区域 十里塚地内ほか				
	(3) 供用開始日 令和3年4月1日				
	○事業実績・説明				
	(1) 歳入				
	① 売電収入 483,987,790円 ・年間売電量 19,909,000 kWh				
	② 前年度繰越金 116,317,081円				
	③ 消費税還付金及び地方消費税還付金 75,712,918円 令和2年度に完成した発電所建設工事に伴い、消費税等の還付を受けた。				
④ 風力発電施設損害保険受取金 4,623,818円 大規模落雷による損傷箇所の修繕を行ったため、損害保険金を受け取った。					
⑤ その他 335,933円 変電所用地貸付収入、管理施設維持費自治会負担金ほか					
(2) 歳出					
① 風力発電施設管理事業 183,916,049円 風力発電施設の管理運営に係る経費					
② 風力発電施設管理基金積立金 233,180,000円 将来の大規模メンテナンスや解体撤去等の資金に充てるため、基金に積み立てた。					
③ 公債費元金・公債費利子 77,315,017円 ・借入総額 2,939,800 千円 ・借入年度 平成30年度～令和2年度 ・償還期間 17年間（うち元金据置期間3年間）					
④ 一般会計繰出金 157,467,000円 本事業によって得られる利益を広く市民に還元するために設置した風力発電事業地域未来創造基金への積み立て等を行うため、一般会計に繰り出した。					
備 考	○主な特定財源 売電収入 483,987,790円 消費税還付金及び地方消費税還付金 75,712,918円				

会計名	駐車場事業特別会計				所属	R4 企画部都市デザイン課 R3 企画部都市デザイン課	
予算現額①	支出済額②	翌年度繰越額③	不用額①-②-③	執行率②/①			
172,710,000	170,861,082	0	1,848,918	98.9%			
支出済額②の財源内訳							
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源			
0	0	0	173,127,491	△2,266,409			
前年度予算現額	前年度支出済額④	差額②-④	(単位：円)				
115,737,000	107,441,888	63,419,194					
目的・趣旨							
中央地下駐車場及び中町にぎわい健康プラザ駐車場を管理運営し、中心市街地への自家用車等による移動利便性を確保する。 また、空港レンタカー駐車場を維持管理し、空港利用者の移動利便性を確保する。							
事業概要	○事業内容						
	(1) 駐車場管理運営事業 15,632,082円 市営駐車場の管理運営と空港レンタカー駐車場の運営費用を支出した。						
	(2) 駐車場改修事業 141,108,000円(継続費逐次繰越5,480,000円を含む) 中町にぎわい健康プラザ駐車場の大規模改修における工事請負費を支出した。						
	(3) 駐車場整備基金積立金 14,121,000円 駐車場整備等の資金に充てるため、基金積立てを行った。 令和4年度末残高 12,750,000円						
	○事業実績・説明						
	(1) 駐車場使用料						
	・中央地下駐車場/収容台数99台/営業時間7:30~21:30						
	年度	一般車		月極車		合計	
		利用台数 (台)	収入 (円)	利用台数 (台)	収入 (円)	利用台数 (台)	収入 (円)
	R2	19,462	4,115,930	15,726	5,082,000	35,188	9,197,930
R3	18,102	2,481,690	15,980	5,109,500	34,082	7,591,190	
R4	16,611	2,516,820	16,733	5,401,000	33,344	7,917,820	
※使用料：1時間220円、1時間超分は30分毎に110円加算 月極め 月額11,000円(全日)または5,500円(日・祝日除く場合)							
※月極め契約台数：76台(令和4年度末現在)							
・中町にぎわい健康プラザ駐車場/収容台数115台/24時間営業							
年度	一般利用車		健康プラザ利用車		合計		
	利用台数 (台)	収入 (円)	利用台数 (台)	収入 (円)	利用台数 (台)	収入 (円)	
R2	3,894	1,113,963	17,100	7,502,850	20,994	8,616,813	
R3	9,172	2,151,910	18,234	8,124,960	27,406	10,276,870	
R4	8,348	2,014,810	18,917	8,295,210	27,265	10,310,020	
※使用料：1時間220円、1時間超分は30分毎に110円加算							
・空港レンタカー駐車場使用料 4,196,268円(月額349,689円×12月)							
・中央地下駐車場占用使用料 52,100円							

(2) 財産貸付収入
 空港レンタカー駐車場 472,956円

(3) 中町にぎわい健康プラザ駐車場改修工事（継続費）

①工事内容

- ・屋上防水改修
- ・外壁改修（北面、南面、西面、エレベーターホール）
- ・腐食部分の改修、耐火被覆材の脱落箇所等の改修
- ・手すり交換
- ・天井材及び手すりの塗装

②工期

令和4年3月7日から令和4年10月31日まで

③改修工事費

工事請負費総額 226,248,000円

※財源内訳 駐車場整備基金で不足する財源は、一般会計から繰入を行った。

年度	工事請負費 (円)	財源 (円)	
		駐車場整備基金繰入金	一般会計繰入金
R3	85,140,000	85,140,000	
R4継続費通次繰越	5,480,000	5,480,000	
R4	135,628,000	45,474,000	90,154,000
合計	226,248,000	136,094,000	90,154,000

備考

○主な特定財源 駐車場使用料 22,476,208円 財産貸付収入 472,956円
 基金繰入金 45,474,000円 基金繰入金（繰越分）5,480,000円
 一般会計繰入金 90,154,000円

第 2 部

決 算 の 概 要

1 令和4年度 普通会計決算の概要

(1) 決算規模（第2表財政指標参照）

令和4年度の酒田市普通会計の純計決算額は、

歳入	618億4,794万6千円	（前年度	671億3,811万4千円）
歳出	601億2,814万1千円	（前年度	649億1,640万3千円）

となっており、前年度に比べ、歳入では52億9,016万8千円（△7.9%）、歳出では47億8,826万2千円（△7.4%）がそれぞれ減額となっています。

決算規模が減となった大きな要因は、令和2年度から令和3年度へ繰越した飛島情報通信基盤整備事業19億2,088万5千円皆減、新型コロナウイルス感染症対応の子育て世帯への臨時特別給付金給付事業12億7,717万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業9億2,409万円が減額となったことが挙げられます。

また、畜産クラスター事業（7億7,990万8千円）、新産業会館整備支援事業（7億162万8千円）、酒田商業高校跡地整備事業（4億3,308万6千円）等の大型事業が終了したことも減少の要因となっています。

一方で、電気料金の値上げや燃料・食料品価格の高騰に係る対策として、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業（5億2,059万4千円）、さかた子育て応援臨時給付金事業（2億3,275万8千円）等を実施しました。

決算規模は、新型コロナウイルス感染症対策のために国から多額の交付金が交付された令和2年度と令和3年度は膨らんでいましたが、令和4年度は徐々に経済状況が回復してきたことを受けて減少しました。また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことにより、今後は従来の決算規模に戻っていくと見込んでいます。

(2) 決算収支（第2表財政指標参照）

形式収支	17億1,980万5千円
実質収支	16億1,086万9千円
単年度収支	△ 3億2,510万 円
実質単年度収支	5億 230万3千円

令和4年度決算における形式収支（歳入歳出差引額）は、17億1,980万5千円の黒字となり、形式収支から繰越明許費等に係る翌年度へ繰り越すべき財源1億893万6千円を控除した実質収支は、16億1,086万9千円の黒字（前年度19億3,59

6万9千円)となっています。

また、実質収支の標準財政規模に対する割合である実質収支比率は、5.5となり、前年度から0.9減少しましたが、令和元年度や令和2年度と同水準となっています。

(3) 当初予算と決算の比較(性質別)

(第3表令和4年度性質別決算の内容(普通会計)参照)

令和4年度決算額の性質別内容は、「第3表 令和4年度性質別決算の内容(普通会計)」のとおりです。当初予算額と比較して、歳入合計は58億7,071万円(+10.5%)の増額、歳出合計は41億5,090万5千円(+7.4%)の増額となっています。

2 財政資料

(1) 歳入の状況(第4表歳入年度別決算状況参照)

令和4年度の歳入決算額は、618億4,794万6千円で前年度に比べ52億9,016万8千円(△7.9%)の減額となっています。主な内訳は、地方交付税146億4,063万5千円(構成比23.7%、前年度比△2.4%)、市税133億2,852万1千円(構成比21.6%、前年度比+1.3%)、国庫支出金92億2,584万8千円(構成比14.9%、前年度比△25.3%)、県支出金38億8,438万円(構成比6.3%、前年度比△15.4%)等となっています。

主な増減理由と前年度との比較は、次のとおりです。

市税は、法人市民税が減となったものの、固定資産税が増となっており、市税全体として1.3%の増加となっています。地方消費税交付金は、コロナ禍からの経済の回復や物価の上昇等により2.3%の増加、地方特例交付金は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減により73.4%の減少となっています。

分担金及び負担金は、県の保育料無償化に向けた段階的負担軽減等による保育所入所負担金の減により23.5%の減少、使用料はグランドオープンしたミライニ使用料の増により7.5%の増加となっています。

財産収入は、令和3年度の京田西工業団地分譲地の売買が大きかったことから、61.2%の減少となっています。

寄附金は、ふるさと納税寄附金、企業版ふるさと納税寄附金等の増により2.0%の増加、繰入金は、土地開発基金の廃止による一般会計への繰入により14.9%の増加となっています。

国庫支出金は、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金、飛鳥情報通信基盤整備事業に係る高度無線環境整備推進事業費補助金の皆減、酒田商業高校跡地整備事業に係る都市構造再編集中支援事業補助金等の減により25.3%の減少となっています。

県支出金は、畜産クラスター事業に係る畜産酪農収益力強化整備等特別対策交付金等の減により15.4%の減少となっています。

地方交付税は、普通交付税が2.1%の減少、特別交付税が5.0%の減少で、交付税全体でも2.4%の減少となっています。

(2) 歳出の状況

令和4年度の歳出決算額は、601億2,814万1千円で前年度に比べ47億8,826万2千円(△7.4%)の減額となっています。

主な増減理由と前年度との比較は、次のとおりです。

① 目的別歳出の状況(第5表目的別歳出年度別決算状況参照)

目的別歳出では、議会費は、議員定数の減等により8.7%の減少となっています。

総務費は、駅周辺整備事業、退職手当基金積立金への積立による人事総務管理事業が増となったものの、飛島情報通信基盤整備事業の皆減等により21.4%の減少となっています。

民生費は、新型コロナウイルス感染症対応で実施した電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業、さかた子育て応援臨時給付金事業が皆増したものの、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業等の減により3.8%の減少となっています。

衛生費は、酒田地区広域行政組合分賦金の増、出産・子育て応援交付金給付事業の皆増等により1.8%の増加となっています。

労働費は、酒田市雇用創造協議会活動負担事業の皆減等により3.6%の減少となっています。

農林水産業費は、農業経営緊急対策支援事業、畜産飼料生産基盤農地耕作条件改善事業が皆増したものの、畜産クラスター事業の皆減等により22.3%の減少となっています。

商工費は、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業が増となったものの、飲食店等消費喚起事業、中小企業融資資金貸付事業等の減により25.2%の減少となっています。

土木費は、除雪事業等が減となったものの、駅周辺整備事業、舗装改修事業等の増により0.5%の増加となっています。

消防費は、消防庁舎及び総合防災センター整備事業、FM中継基地局整備を行った防災対策強化事業等の増により2.5%の増加となっています。

教育費は、酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業、国体記念体育館改修事業等の増により9.4%の増加となっています。

災害復旧費は、大きな災害がなかったため皆減となっています。

公債費は、令和3年度に行った繰上償還額が大きかったため1.6%の減少となっています。

諸支出金は、定期航路事業特別会計繰出金の増により19.0%の増加となっています。構成比では、民生費28.7%（前年度27.6%）、総務費16.6%（前年度19.6%）、公債費13.3%（前年度12.5%）、土木費11.3%（前年度10.4%）、教育費8.5%（前年度7.2%）、衛生費7.9%（前年度7.2%）、の順となっています。

② 性質別歳出の状況（第6表性質別歳出年度別決算状況参照）

性質別歳出では、人件費は、職員の新陳代謝や新型コロナウイルスワクチン接種対応に係る時間外勤務手当が減になったこと等により2.6%の減少となっています。

扶助費は、子育て世帯への臨時特別給付金、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等の減により16.2%の減少となっています。

公債費は、令和3年度に行った繰上償還の額が大きかったため1.6%減少となっています。

物件費は、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン業務委託料、新型コロナウイルスワクチン接種委託料が減となったものの、グランドオープンしたミライニの施設管理委託料、イントラネット設備等整備事業に係る電算業務委託料、市民マイページ構築委託料等の増により3.8%の増加となっています。

補助費等は、酒田地区広域行政組合分賦金、下水道事業運営費負担金等が減となったものの、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業における各種補助金の増により9.8%の増加となっています。

積立金は、公共施設等整備基金積立金、退職手当基金積立金が増となったものの、財政調整基金積立金、市債管理基金積立金、社会福祉基金積立金等の減により23.3%の減少となっています。

投資出資貸付金は、産業立地促進資金貸付金、地方独立行政法人病院事業長期貸付金等の減により13.3%の減少となっています。

③ 義務的経費と投資的経費（第6表性質別歳出年度別決算状況参照）

義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）は、21億9,105万9千円（△8.1%）の減額となっています。

投資的経費（普通建設事業費及び災害復旧事業費）は、大規模な普通建設事業が終了した影響により21億5,311万4千円（△27.7%）の減額となっています。

第1表 令和4年度会計別決算の状況

(単位：円)

区 分	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出差引額 (形式収支) (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実 質 収 支 (C)-(D)
1. 一 般 会 計	61,771,886,982	60,054,346,768	1,717,540,214	108,936,337	1,608,603,877
2. 定期航路事業特別会計	262,094,663	262,094,663			
3. 国民健康保険特別会計	10,186,593,557	10,176,172,327	10,421,230		10,421,230
4. 後期高齢者医療事業特別会計	1,450,857,757	1,447,867,009	2,990,748		2,990,748
5. 介護保険特別会計	13,545,198,003	13,034,029,888	511,168,115		511,168,115
6. 風力発電事業特別会計	680,977,540	651,878,066	29,099,474		29,099,474
7. 駐車場事業特別会計	173,127,491	170,861,082	2,266,409		2,266,409
合 計	88,070,735,993	85,797,249,803	2,273,486,190	108,936,337	2,164,549,853

区 分		収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	税込収支額 (A) - (B)	純損益及び資本的 収支不足額	翌年度繰越額
8. 水道事業会計	収益的収支	2,828,186,430	2,537,101,013	291,085,417	238,322,074	
	資本的収支	18,808,814	1,113,641,540	△1,094,832,726	△1,094,832,726	
9. 下水道事業会計	収益的収支	4,778,143,383	4,668,293,231	109,850,152	103,631,368	
	資本的収支	293,912,203	2,527,832,639	△2,233,920,436	△2,233,920,436	

第2表 財政指標

① 財政統計指標（普通会計）

（単位：千円、％）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入総額 (A)	53,783,672	56,648,886	75,505,695	67,138,114	61,847,946
歳出総額 (B)	52,579,622	55,128,173	73,706,009	64,916,403	60,128,141
形式収支 (A) - (B) = (C)	1,204,050	1,520,713	1,799,686	2,221,711	1,719,805
翌年度へ繰り 越すべき財源(D)	116,955	35,982	152,287	285,742	108,936
実質収支 (C) - (D) = (E)	1,087,095	1,484,731	1,647,399	1,935,969	1,610,869
単年度収支 (F)	△ 9,719	397,636	162,668	288,570	△ 325,100
積立金 (G)	385,785	1,064,292	1,579,219	1,642,688	1,150,954
繰上償還金 (H)	28,300	62,533	10,417	606,893	432,200
積立金取り崩し額 (I)	696,723	861,207	1,948,169	1,239,062	755,751
実質単年度収支 (F) + (G) + (H) - (I) = (J)	△ 292,357	663,254	△ 195,865	1,299,089	502,303
基準財政需要額	24,618,306	24,521,063	24,904,414	25,499,631	25,701,561
基準財政収入額	11,719,089	11,988,858	12,423,441	11,947,357	12,353,320
標準財政規模 (K)	29,337,757	28,927,471	29,328,704	30,209,492	29,316,484
実質収支比率 (E) / (K) × 100	3.7	5.1	5.6	6.4	5.5
財政力指数 (3か年平均)	0.481	0.488	0.494	0.489	0.484
経常収支比率	95.8 ※101.0	97.0 ※101.0	93.8 ※97.7	90.2 ※95.0	98.2 ※98.2
基金現在高	9,717,490	8,608,594	8,845,022	10,155,271	10,730,263
うち財政調整基金 現在高	3,029,808	3,232,893	2,863,943	3,267,569	3,662,772
地方債現在高	61,429,845	60,433,147	59,376,281	56,533,395	52,297,008

(注) 1 財政力指数は、新市一本算定で算出した基準財政需要額と基準財政収入額を使用した数値である。

2 経常収支比率欄中※印は、臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた場合の数値である。

② 健全化判断比率

（単位：％）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率 (3か年平均)	10.6	10.1	10.0	10.1	10.0
将来負担比率	34.3	37.6	38.5	28.8	16.8

(注) 1 実質公債費比率は、他会計等を含めた公債費等に充当された一般財源額の標準財政規模等に占める割合の指標である。

2 将来負担比率は、他会計等を含めた地方債残高のほか将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模等に占める割合の指標である。

第3表 令和4年度性質別決算の内容（普通会計）

（歳入）

（単位：千円、％）

区 分	当初予算額	決算額	伸 率
1. 市 税	13,042,467	13,328,521	2.2
2. 地 方 譲 与 税	467,912	475,156	1.5
3. 利 子 割 交 付 金	8,100	4,004	△ 50.6
4. 配 当 割 交 付 金	24,700	34,787	40.8
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	20,000	24,432	22.2
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	2,430,200	2,626,967	8.1
7. ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	5,500	5,819	5.8
8. 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金 ※	36,500	35,693	△ 2.2
9. 法 人 事 業 税 交 付 金	163,000	190,915	17.1
10. 地 方 特 例 交 付 金 等	73,687	83,491	13.3
11. 地 方 交 付 税	14,590,000	14,640,635	0.3
12. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	16,752	15,012	△ 10.4
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	164,544	113,951	△ 30.7
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	471,265	467,099	△ 0.9
15. 国 庫 支 出 金	6,275,555	9,225,848	47.0
16. 県 支 出 金	3,978,395	3,884,380	△ 2.4
17. 財 産 収 入	106,621	165,297	55.0
18. 寄 附 金	3,003,010	3,572,343	19.0
19. 繰 入 金	2,699,575	3,733,926	38.3
20. 繰 越 金	400,001	2,221,711	455.4
21. 諸 収 入	3,530,752	3,509,059	△ 0.6
22. 市 債	4,468,700	3,488,900	△ 21.9
歳 入 合 計	55,977,236	61,847,946	10.5

※決算額には、自動車取得税交付金を含む。

（歳出）

（単位：千円、％）

区 分	当初予算額	決算額	伸 率
1. 人 件 費	7,629,592	7,085,405	△ 7.1
2. 扶 助 費	9,495,696	9,651,543	1.6
3. 公 債 費	7,581,299	7,980,752	5.3
4. 物 件 費	7,751,006	8,100,561	4.5
5. 維 持 補 修 費	805,002	893,085	10.9
6. 補 助 費 等	9,798,568	10,844,391	10.7
7. 積 立 金	917,456	3,329,549	262.9
8. 投 資 及 び 貸 付 金	9,583	10,681	11.5
9. 貸 付 金	3,048,331	2,173,680	△ 28.7
10. 繰 出 金	4,650,822	4,447,511	△ 4.4
11. 普 通 建 設 事 業 費	4,255,881	5,610,983	31.8
12. 災 害 復 旧 費	3,000	0	△ 100.0
13. 予 備 費	31,000	0	△ 100.0
歳 出 合 計	55,977,236	60,128,141	7.4

※当初予算額には、継続費通次繰越額、繰越明許費繰越額は含まない。

第4表 歳入年度別決算状況

(単位：千円、%)

区 分		平成 30 年度			令和 元 年度			令和 2 年度			令和 3 年度			令和 4 年度		
		決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
自 主 財 源	市 税	13,244,049	24.6	△ 0.4	13,665,925	24.1	3.2	13,575,152	18.0	△ 0.7	13,163,508	19.6	△ 3.0	13,328,521	21.6	1.3
	分 担 金 ・ 負 担 金	339,084	0.6	0.1	253,909	0.5	△ 25.1	182,618	0.2	△ 28.1	149,028	0.2	△ 18.4	113,951	0.2	△ 23.5
	使 用 料	493,782	0.9	3.8	455,162	0.8	△ 7.8	351,276	0.5	△ 22.8	363,325	0.6	3.4	390,533	0.6	7.5
	手 数 料	78,031	0.2	△ 2.7	77,920	0.1	△ 0.1	73,927	0.1	△ 5.1	73,180	0.1	△ 1.0	76,566	0.1	4.6
	財 産 収 入	120,930	0.2	△ 34.8	224,911	0.4	86.0	163,554	0.2	△ 27.3	425,822	0.6	160.4	165,297	0.3	△ 61.2
	寄 附 金	1,288,945	2.4	△ 19.7	1,904,789	3.4	47.8	2,991,582	4.0	57.1	3,502,829	5.2	17.1	3,572,343	5.8	2.0
	繰 入 金	2,283,571	4.3	18.8	3,269,260	5.8	43.2	3,793,998	5.0	16.1	3,248,608	4.8	△ 14.4	3,733,926	6.0	14.9
	繰 越 金	1,165,061	2.2	△ 33.3	1,204,050	2.1	3.3	1,520,713	2.0	26.3	1,799,686	2.7	18.3	2,221,711	3.6	23.4
	諸 収 入	3,129,659	5.8	△ 0.3	2,973,162	5.3	△ 5.0	3,703,995	4.9	24.6	3,815,881	5.7	3.0	3,509,059	5.7	△ 8.0
	計	22,143,112	41.2	△ 2.8	24,029,088	42.5	8.5	26,356,815	34.9	9.7	26,541,867	39.5	0.7	27,111,907	43.9	2.1
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	433,098	0.8	0.6	446,088	0.8	3.0	453,239	0.6	1.6	468,571	0.7	3.4	475,156	0.8	1.4
	利 子 割 交 付 金	20,766		△ 15.0	10,645		△ 48.7	10,728		0.8	7,908		△ 26.3	4,004		△ 49.4
	配 当 割 交 付 金	25,016	0.1	△ 21.8	30,008	0.1	20.0	24,904		△ 17.0	38,463	0.1	54.4	34,787	0.1	△ 9.6
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	22,299		△ 31.7	16,699		△ 25.1	36,870	0.1	120.8	50,041	0.1	35.7	24,432		△ 51.2
	地 方 消 費 税 交 付 金	2,079,890	3.9	7.9	1,953,019	3.5	△ 6.1	2,374,705	3.2	21.6	2,567,741	3.8	8.1	2,626,967	4.2	2.3
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	5,751		△ 1.6	5,624		△ 2.2	5,994		6.6	6,397		6.7	5,819		△ 9.0
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	111,228	0.2	△ 0.4	56,121	0.1	△ 49.5	—		—	—		—	594		皆増
	環 境 性 能 割 交 付 金	—		—	14,115		皆増	28,903		104.8	29,445	0.1	1.9	35,099	0.1	19.2
	法 人 事 業 税 交 付 金	—		—	—		—	97,160	0.1	皆増	180,350	0.3	85.6	190,915	0.3	5.9
	地 方 特 例 交 付 金 等	53,974	0.1	23.0	202,743	0.4	275.6	86,956	0.1	△ 57.1	314,116	0.5	261.2	83,491	0.1	△ 73.4
	地 方 交 付 税	14,162,490	26.3	△ 3.3	13,776,046	24.3	△ 2.7	13,730,935	18.2	△ 0.3	14,994,539	22.3	9.2	14,640,635	23.7	△ 2.4
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,128		△ 8.7	16,376		△ 4.4	17,543		7.1	16,860		△ 3.9	15,012		△ 11.0
	国 庫 支 出 金	5,783,711	10.8	△ 4.0	6,418,508	11.3	11.0	20,689,471	27.4	222.3	12,349,854	18.4	△ 40.3	9,225,848	14.9	△ 25.3
	県 支 出 金	3,486,209	6.5	△ 10.1	3,702,906	6.5	6.2	5,593,472	7.4	51.1	4,589,162	6.8	△ 18.0	3,884,380	6.3	△ 15.4
地 方 債	5,439,000	10.1	△ 29.2	5,970,900	10.5	9.8	5,998,000	8.0	0.5	4,982,800	7.4	△ 16.9	3,488,900	5.6	△ 30.0	
計	31,640,560	58.8	△ 9.2	32,619,798	57.5	3.1	49,148,880	65.1	50.7	40,596,247	60.5	△ 17.4	34,736,039	56.1	△ 14.4	
歳 入 合 計		53,783,672	100.0	△ 6.7	56,648,886	100.0	5.3	75,505,695	100.0	33.3	67,138,114	100.0	△ 11.1	61,847,946	100.0	△ 7.9

第5表 目的別歳出年度別決算状況

(単位：千円、%)

区 分	平成 30 年度			令和 元 年度			令和 2 年度			令和 3 年度			令和 4 年度		
	決 算 額	構成比	増減率	決 算 額	構成比	増減率	決 算 額	構成比	増減率	決 算 額	構成比	増減率	決 算 額	構成比	増減率
議 会 費	367,651	0.7	△ 16.3	353,087	0.6	△ 4.0	354,280	0.5	0.3	343,540	0.5	△ 3.0	313,763	0.5	△ 8.7
総 務 費	6,786,886	12.9	△ 27.9	8,100,620	14.7	19.4	19,799,923	26.9	144.4	12,695,882	19.6	△ 35.9	9,981,725	16.6	△ 21.4
民 生 費	15,304,353	29.1	△ 0.7	16,345,314	29.6	6.8	16,974,514	23.0	3.8	17,924,408	27.6	5.6	17,241,030	28.7	△ 3.8
衛 生 費	4,206,570	8.0	△ 13.9	4,285,530	7.8	1.9	4,051,517	5.5	△ 5.5	4,669,079	7.2	15.2	4,751,532	7.9	1.8
労 働 費	132,884	0.3	△ 8.1	124,075	0.2	△ 6.6	151,922	0.2	22.4	111,581	0.2	△ 26.6	107,613	0.2	△ 3.6
農 林 水 産 業 費	1,993,690	3.8	△ 22.2	1,993,019	3.6	0.0	3,499,044	4.7	75.6	2,901,724	4.5	△ 17.1	2,253,216	3.8	△ 22.3
商 工 費	2,515,702	4.8	△ 12.1	2,407,764	4.4	△ 4.3	5,314,114	7.2	120.7	4,696,308	7.2	△ 11.6	3,511,825	5.8	△ 25.2
土 木 費	5,945,279	11.3	4.1	6,303,384	11.4	6.0	6,704,428	9.1	6.4	6,769,902	10.4	1.0	6,804,546	11.3	0.5
消 防 費	2,011,172	3.8	2.1	1,794,523	3.3	△ 10.8	1,818,485	2.5	1.3	1,883,340	2.9	3.6	1,930,605	3.2	2.5
教 育 費	5,581,951	10.6	4.5	5,739,000	10.4	2.8	7,576,908	10.3	32.0	4,688,908	7.2	△ 38.1	5,129,396	8.5	9.4
災 害 復 旧 費	54,376	0.1	△ 12.4	38,613	0.1	△ 29.0	4,682	0.0	△ 87.9	18,520	0.0	295.6			皆減
公 債 費	7,539,943	14.3	0.0	7,325,272	13.3	△ 2.8	7,370,793	10.0	0.6	8,110,606	12.5	10.0	7,980,752	13.3	△ 1.6
諸 支 出 金	139,165	0.3	0.8	317,972	0.6	128.5	85,399	0.1	△ 73.1	102,605	0.2	20.1	122,138	0.2	19.0
歳出合計	52,579,622	100.0	△ 6.9	55,128,173	100.0	4.8	73,706,009	100.0	33.7	64,916,403	100.0	△ 11.9	60,128,141	100.0	△ 7.4

第6表 性質別歳出年度別決算状況

(単位：千円、%)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
人件費	7,651,872	14.6	15.0	7,703,030	14.0	0.7	7,216,563	9.8	△ 6.3	7,274,105	11.2	0.8	7,085,405	11.8	△ 2.6
物件費	6,020,648	11.4	△ 13.3	6,141,495	11.1	2.0	7,405,275	10.1	20.6	7,802,643	12.0	5.4	8,100,561	13.5	3.8
維持補修費	799,000	1.5	△ 11.4	655,691	1.2	△ 17.9	917,106	1.2	39.9	1,285,657	2.0	40.2	893,085	1.5	△ 30.5
扶助費	9,092,923	17.3	△ 0.9	9,385,771	17.0	3.2	9,688,725	13.1	3.2	11,524,048	17.7	18.9	9,651,543	16.1	△ 16.2
補助費等	9,189,715	17.5	△ 4.1	9,131,318	16.6	△ 0.6	20,253,069	27.5	121.8	9,878,151	15.2	△ 51.2	10,844,391	18.0	9.8
公債費	7,539,943	14.3	0.0	7,325,272	13.3	△ 2.8	7,370,793	10.0	0.6	8,110,606	12.5	10.0	7,980,752	13.3	△ 1.6
積立金	774,231	1.5	△ 47.5	1,957,393	3.5	152.8	3,659,163	5.0	86.9	4,340,041	6.7	18.6	3,329,549	5.5	△ 23.3
投資出資貸付金	2,235,421	4.3	△ 10.2	2,199,595	4.0	△ 1.6	2,734,221	3.7	24.3	2,520,347	3.9	△ 7.8	2,184,361	3.6	△ 13.3
繰出金	4,372,001	8.3	△ 1.1	4,616,391	8.4	5.6	4,446,251	6.0	△ 3.7	4,416,708	6.8	△ 0.7	4,447,511	7.4	0.7
前年度繰上充用金															
普通建設事業費	4,849,492	9.2	△ 33.0	5,973,604	10.8	23.2	10,010,161	13.6	67.6	7,745,577	12.0	△ 22.6	5,610,983	9.3	△ 27.6
災害復旧事業費	54,376	0.1	△ 12.4	38,613	0.1	△ 29.0	4,682		△ 87.9	18,520		295.6			皆減
失業対策事業費															
歳出合計	52,579,622	100.0	△ 6.9	55,128,173	100.0	4.8	73,706,009	100.0	33.7	64,916,403	100.0	△ 11.9	60,128,141	100.0	△ 7.4
義務的経費	24,284,738	46.2	3.9	24,414,073	44.3	0.5	24,276,081	32.9	△ 0.6	26,908,759	41.5	10.8	24,717,700	41.1	△ 8.1
投資的経費	4,903,868	9.3	△ 32.8	6,012,217	10.9	22.6	10,014,843	13.6	66.6	7,764,097	12.0	△ 22.5	5,610,983	9.3	△ 27.7

(3) 公債費の状況（第7表及び第8表参照）

第7表 借入先別及び利率別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度末 現在高	令和4年度 発行額	令和4年度 償還元金額	令和4年度末 現在高	(D) の 利 率 別 内 訳													
	(A)	(B)	(C)	(A)+(B)-(C) =(D)	1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.5% 以下	6.0% 以下	6.5% 以下	7.0% 以下	7.0% 超	
1. 財政融資資金	10,463,470	1,576,600	1,169,978	10,870,092	9,568,932	943,711	288,857	28,486	24,829	13,801	1,476							
2. 旧郵便貯金資金	449,745		145,198	304,547	304,547													
3. 旧簡易生命 保険資金	49,723		20,048	29,675	29,675													
4. 地方公共団体 金融機構資金	7,899,285	979,500	615,358	8,263,427	5,416,778	1,853,008	956,622	23,409	13,610									
うち旧公営企業 金融公庫資金	643,304		184,957	458,347		334,166	87,162	23,409	13,610									
5. 国の予算貸付・政 府関係機関貸付	281		185	96							96							
6. 市中銀行等	34,206,369	789,000	5,509,242	29,486,127	29,486,127													
7. 共 済 等	3,309,939	143,800	235,537	3,218,202	3,218,202													
8. 県 貸 付 金	154,583		29,741	124,842	124,842													
合 計	56,533,395	3,488,900	7,725,287	52,297,008	48,149,103	2,796,719	1,245,479	51,895	38,439	13,801	1,572							

第8表 令和4年度借入状況（事業別）

（単位：％、千円）

目				借入額
節	事業名	借入先	利率	
一般会計				3,488,900
1. 総務債				815,800
1. 総務管理債				815,800
	駅周辺整備事業	地方公共団体金融機構	0.400	222,000
	（繰越明許費）駅周辺整備事業	財政融資	0.800	485,200
	コミュニティ（防災）センター改修事業	地方公共団体金融機構	0.400	1,700
		財政融資	0.400	12,000
	飛島地区公衆無線LAN整備事業	財政融資	0.300	1,300
	コミュニティ振興事業	財政融資	0.400	43,800
	コミュニティセンター管理運営事業	財政融資	0.400	49,800
2. 民生債				30,300
1. 社会福祉債				30,300
	社会福祉協議会運営費補助事業	財政融資	0.400	30,300
3. 衛生債				316,400
1. 保健衛生債				316,400
	独立行政法人病院事業運営費負担事業	地方公共団体金融機構	0.400	106,400
		鶴岡信用金庫	0.350	210,000
4. 労働債				6,800
1. 労働費				6,800
	勤労者福祉センター改修事業	地方公共団体金融機構	0.400	6,800
5. 農林水産業債				331,200
1. 農業債				274,400
	（繰越明許）農業基盤整備事業	財政融資	0.600	1,900
	土地改良負担事業	財政融資	0.400	64,200
		財政融資	0.600	150,000
		荘内銀行	0.484	58,300
2. 林業債				56,800
	林道整備事業	財政融資	0.400	56,800
6. 商工債				60,200
1. 商工債				60,200
	観光物産施設管理運営事業	財政融資	0.300	7,300
		財政融資	0.400	42,900
	観光物産施設改修事業	財政融資	0.400	10,000

(単位：％、千円)

目				借入額	
	節	事業名	借入先		利率
7.	土木債			570,000	
	1.	土木管理債		14,400	
		整備総務管理事業	財政融資	0.600	500
			地方公共団体金融機構	0.400	13,900
	2.	道路橋りょう債		344,900	
		舗装改良事業 (繰越明許費) 舗装改修事業	地方公共団体金融機構	0.300	14,300
			財政融資	0.600	32,200
		側溝整備事業	荘内銀行	0.484	2,700
			財政融資	0.400	21,200
		橋りょう延命化事業	財政融資	0.600	92,000
			地方公共団体金融機構	0.400	35,500
		(繰越明許費) 橋りょう延命化事業	財政融資	0.600	2,200
			財政融資	0.400	23,600
		道路改良事業	財政融資	0.800	2,500
			財政融資	0.600	4,600
		除雪機械整備事業	財政融資	0.600	11,700
			財政融資	0.300	11,600
		排水施設改修事業	財政融資	0.400	7,900
			地方公共団体金融機構	0.400	7,300
		道路橋りょう新設改良事業	財政融資	0.400	17,300
			財政融資	0.400	39,600
		(繰越明許費) 道路橋りょう新設改良事業	財政融資	0.600	11,900
			財政融資	0.600	4,600
		県施行道路整備事業	荘内銀行	0.484	6,800
	3.	港湾債		47,000	
		港湾整備事業	財政融資	0.400	9,200
			財政融資	0.600	37,800
	4.	都市計画債		109,900	
		県施行街路整備事業	荘内銀行	0.484	1,900
			財政融資	0.600	4,400
		公園施設長寿命化等整備事業	財政融資	0.600	18,000
		駐車場事業特別会計繰出金	市町村振興協会	0.300	85,600
	5.	住宅債		53,800	
		市営住宅ストック改善事業	荘内銀行	0.484	53,800
8.	消防債			435,000	
	1.	消防債		435,000	
		酒田地区広域行政組合分賦金	財政融資	0.400	30,500
			消防施設等整備事業	荘内銀行	0.484
		消防庁舎及び総合防災センター整備事業	地方公共団体金融機構	0.400	8,000
			市有物件災害共済会	0.300	9,500
			財政融資	0.400	45,600
		消防庁舎及び総合防災センター整備事業	市有物件災害共済会	0.300	28,800
		(繰越明許費) 消防庁舎及び総合防災センター整備事業	地方公共団体金融機構	0.400	148,700
			荘内銀行	0.484	53,800
		防災対策強化事業	地方公共団体金融機構	0.400	1,500
			財政融資	0.400	12,500
		(繰越明許費) 防災対策強化事業	財政融資	0.600	84,500

(単位：%、千円)

目				借入額	
	節	事業名	借入先		利率
9. 教育債				923,200	
1. 教育総務債				5,600	
		学習バス・スクールバス整備事業	財政融資	0.400	5,600
2. 小学校債				54,200	
		施設整備事業	荘内銀行	0.484	18,000
			財政融資	0.400	9,200
		学校施設長寿命化事業	荘内銀行	0.484	7,000
		学校空調設備整備事業	荘内銀行	0.484	3,700
			財政融資	0.400	2,100
		平田地区給食施設整備事業	財政融資	0.400	14,200
3. 中学校債				57,500	
		施設整備事業	荘内銀行	0.484	7,800
			財政融資	0.400	4,200
		学校空調設備整備事業	荘内銀行	0.484	2,000
		中学校給食事業	財政融資	0.400	5,000
		(繰越明許費) 学校トイレ改修事業	財政融資	0.600	14,700
			財政融資	0.800	23,800
4. 生涯学習債				361,700	
		生涯学習施設整備事業	財政融資	0.400	7,500
		史跡旧鑑屋修復事業	荘内銀行	0.484	15,100
		文化資料館(仮称)整備事業	財政融資	0.600	2,600
		(繰越明許費) 酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業	荘内銀行	0.484	336,500
5. 保健体育債				444,200	
		体育施設管理事業	財政融資	0.400	10,900
		国体記念体育館改修事業	地方公共団体金融機構	0.400	413,400
		体育施設照明設備改修事業	市町村振興協会	0.300	19,900
		合計			3,488,900

(4) 入湯税充当事業一覧

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	財源内訳		
			国県支出金	その他特定財源	一般財源
環境衛生施設		103,263		4,131	99,132
	下水道事業運営費負担金(施設整備分)	103,263		4,131	99,132
消防施設整備		103,799	10,972	55,100	37,727
	消防施設等整備事業	103,799	10,972	55,100	37,727
観光振興等		199,199	47,561	2,500	149,138
	交流観光推進事業	27,915	30		27,885
	観光物産施設管理運営事業(修繕料)	23,706			23,706
	観光戦略・インバウンド推進事業	42,964	15,223		27,741
	増やそう酒田ファン観光PR事業	7,681			7,681
	観光戦略推進協議会負担事業	96,933	32,308	2,500	62,125
	合計	406,261	58,533	61,731	285,997

(注) 令和4年度の入湯税19,687千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(5) 都市計画税充当事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳		
		国県支出金	その他特定財源	一般財源
都市計画費	242,642		228,300	14,342
駅周辺整備事業	234,953		222,000	12,953
果施行街路整備事業	7,689		6,300	1,389
公債費	2,419,967		890,480	1,529,487
都市計画事業元利償還金	200,631			200,631
公共下水道事業元利償還金	2,219,336		890,480	1,328,856
合計	2,662,609		1,118,780	1,543,829

(注) 令和4年度の都市計画税843,811千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(6) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳		
		国県支出金	その他特定財源	一般財源
3 民生費	16,506,930	8,491,709	933,187	7,082,034
1 社会福祉費	8,443,128	3,533,727	93,392	4,816,009
2 児童福祉費	6,574,417	3,843,321	839,795	1,891,301
3 生活保護費	1,489,385	1,114,661		374,724
4 衛生費	2,960,874	668,552	450,286	1,842,036
1 保健衛生費	2,960,874	668,552	450,286	1,842,036
合計	19,467,805	9,160,261	1,383,473	8,924,071

(注) 令和4年度の地方消費税交付金(社会保障財源分)1,418,578千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(7) 目的別性質別歳出内訳

(単位：千円、%)

目的別	性質別	人件費	扶助費	公債費	物件費	維持補修費	補助費等	繰出金	積立金	投資出資貸付金	普通建設事業費	災害復旧事業費	計	構成比	対前年度増減率
議会費		287,124			22,111		4,528						313,763	0.5	△ 8.7
総務費		2,636,594			2,660,786	12,975	1,447,695	24	3,094,586		129,065		9,981,725	16.6	△ 21.4
民生費		1,482,021	9,594,209		423,908	5,023	1,247,278	4,270,724	200		217,667		17,241,030	28.7	△ 3.8
衛生費		420,780	1,542		1,534,603	1,491	2,396,392	42,736		325,081	28,907		4,751,532	7.9	1.8
労働費		15,951			26,461		14,554			40,000	10,647		107,613	0.2	△ 3.6
農林水産業費		378,931			242,062	7,683	1,111,209		57,445		455,886		2,253,216	3.8	△ 22.3
商工費		201,907			369,380		650,895	11,889	157,610	1,819,280	300,864		3,511,825	5.8	△ 25.2
土木費		499,023			216,264	805,696	2,475,071		14,671		2,793,821		6,804,546	11.3	0.5
消防費		46,135			82,317	2,315	1,343,462				456,376		1,930,605	3.2	2.5
教育費		1,116,939	55,792		2,522,669	57,902	153,307		5,037		1,217,750		5,129,396	8.5	9.4
災害復旧費															△ 100.0
公債費				7,980,752									7,980,752	13.3	△ 1.6
諸支出金								122,138					122,138	0.2	19.0
計		7,085,405	9,651,543	7,980,752	8,100,561	893,085	10,844,391	4,447,511	3,329,549	2,184,361	5,610,983		60,128,141	100.0	△ 7.4
構成比		11.8	16.1	13.3	13.5	1.5	18.0	7.4	5.5	3.6	9.3		100.0		
対前年度増減率		△ 2.6	△ 16.2	△ 1.6	3.8	△ 30.5	9.8	0.7	△ 23.3	△ 13.3	△ 27.6	△ 100.0	△ 18.4		

(8) 人件費の推移

(単位：千円、%)

(単位：千円、%)

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度		区 分	令和2年度		令和3年度		区 分	令和4年度	
	決算額	前年度比		決算額	前年度比	決算額	前年度比		決算額	前年度比
人件費合計(1～10)	7,703,030	0.7	人件費合計(1～12)	7,216,563	△ 6.3	7,274,142	0.8	人件費合計(1～13)	7,085,405	△ 2.6
1 議員報酬手当	197,961	△ 2.3	1 議員報酬手当	205,093	3.6	198,911	△ 3.0	1 議員報酬手当	180,154	△ 9.4
2 委員等報酬	914,654	△ 0.6	2 委員等報酬	1,036,063	13.3	1,022,743	△ 1.3	2 委員等報酬	970,235	△ 5.1
3 市長等特別職の給与	35,962	△ 3.3	3 市長等特別職の給与	35,962		35,109	△ 2.4	3 市長等特別職の給与	35,961	2.4
4 職員給与	4,368,888	△ 0.3	4 任期の定めのない常勤職員	3,936,131		3,984,710	1.2	4 任期の定めのない常勤職員	3,925,247	△ 1.5
(1) 基本給	2,957,860	△ 1.5	(1) 基本給	2,647,581		2,636,536	△ 0.4	(1) 基本給	2,593,125	△ 1.6
(ア) 給料	2,886,229	△ 1.5	(2) その他の手当	1,288,550		1,348,174	4.6	(2) その他の手当	1,332,122	△ 1.2
(イ) 扶養手当	70,042	△ 3.6	(ア) 時間外勤務手当	145,815		172,594	18.4	(ア) 時間外勤務手当	161,919	△ 6.2
(ウ) 地域手当	1,589	△ 5.6	(イ) 期末手当	603,006		610,330	1.2	(イ) 期末手当	597,747	△ 2.1
(2) その他の手当	1,411,028	2.2	(ウ) 勤勉手当	440,327		462,138	5.0	(ウ) 勤勉手当	473,106	2.4
(ア) 住居手当	26,217	13.6	(エ) その他	99,402		103,112	3.7	(エ) その他	99,350	△ 3.6
(イ) 通勤手当	40,090	△ 1.8	5 任期付職員	8,687		12,164	40.0	5 任期付職員	12,410	2.0
(ウ) 単身赴任手当	1,176		(1) 基本給	7,095		7,808	10.0	(1) 基本給	7,901	1.2
(エ) 特殊勤務手当	1,513	9.2	(2) その他の手当	1,592		4,356	173.6	(2) その他の手当	4,509	3.5
(オ) 時間外勤務手当	173,395	27.1	(ア) 時間外勤務手当			158	皆増	(ア) 時間外勤務手当	207	31.0
(カ) 宿日直手当	22	皆増	(イ) 期末手当	719		1,693	135.5	(イ) 期末手当	1,712	1.1
(キ) 管理職員特別勤務手当	239	△ 10.8	(ウ) 勤勉手当	538		1,305	142.6	(ウ) 勤勉手当	1,390	6.5
(ク) 休日勤務手当	3,517	73.8	(エ) その他	335		1,200	258.2	(エ) その他	1,200	
(ケ) 管理職手当	34,851	4.2	6 再任用職員	195,931		240,756	22.9	6 再任用職員	251,727	4.6
(コ) 期末勤勉手当	1,128,487	△ 0.9	(1) 基本給	158,821		193,928	22.1	(1) 基本給	204,231	5.3
(サ) 寒冷地手当	51		(2) その他の手当	37,110		46,828	26.2	(2) その他の手当	47,496	1.4
(シ) 児童手当			(ア) 時間外勤務手当	2,684		5,508	105.2	(ア) 時間外勤務手当	4,177	△ 24.2
(ス) その他	1,470	△ 48.0	(イ) 期末手当	18,621		22,177	19.1	(イ) 期末手当	23,149	4.4
(3) 臨時職員給与			(ウ) 勤勉手当	11,767		14,530	23.5	(ウ) 勤勉手当	16,080	10.7
5 地方公務員共済組合等負担金	943,936	△ 2.0	(エ) その他	4,038		4,613	14.2	(エ) その他	4,090	△ 11.3
6 退職金	1,116,851	10.0	7 地方公務員共済組合等負担金	913,269	△ 3.2	961,896	5.3	7 会計年度任用職員(フルタイム)	9,112	
7 恩給及び退職年金	1,507		8 退職金	746,164	△ 33.2	670,444	△ 10.1	(1) 基本給	7,661	
8 災害補償費	6,409	△ 13.5	9 恩給及び退職年金	1,508	0.1	1,508		(2) その他の手当	1,451	
9 職員互助会補助金	5,882	△ 1.5	10 災害補償費	5,162	△ 19.5	4,995	△ 3.2	(ア) 時間外勤務手当	23	
10 その他の他	110,980	△ 2.4	11 職員互助会補助金	5,528	△ 6.0	6,062	9.7	(イ) 期末手当	1,133	
職員に係る児童手当(又は子ども手当)	38,180	△ 3.8	12 その他の他	127,065	14.5	134,844	6.1	(ウ) その他	295	
職員数(一般職員) (人)	785	△ 0.4	職員に係る児童手当	31,880	△ 16.5	34,465	8.1	8 地方公務員共済組合等負担金	940,101	△ 2.3
			職員数(一般職員) (人)	794	1.1	781	△ 1.6	9 退職金	621,058	△ 7.4
								10 恩給及び退職年金	1,507	△ 0.1
								11 災害補償費	5,675	13.6
								12 職員互助会補助金	5,926	△ 2.2
								13 その他の他	126,292	△ 6.3
								職員に係る児童手当	31,515	△ 8.6
								職員数(一般職員) (人)	770	△ 1.4
備考	改正要点 1 給料表の改正 2 期末手当及び勤勉手当の改正		備考	改正要点 1 通勤手当の改正 2 期末手当の改正 3 会計年度任用職員の制度化		備考	改正要点 1 住居手当の改正 2 期末手当の改正	備考	改正要点 1 給料表の改正 2 期末手当及び勤勉手当の改正	

(注) 1 職員数は、翌年度4月1日現在のものである。
2 決算額は、地方財政状況調査のものである。
3 地方財政状況調査の様式変更に伴い、区分を令和2年度から変更した。

(9) 健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの健全化判断比率と、公営企業会計ごとの資金不足比率の議会への報告及び公表が義務付けられています。

連結実質赤字比率は、一般会計だけでなく、公営企業会計など地方公共団体の全会計を対象とする指標であり、将来負担比率は、地方公社や第三セクター等を含めた実質的な将来負担等に係る指標で、後年度負担も含め全体を捉えた指標です。

また、これらの指標が一定水準以上である場合は、議会の議決を経て財政健全化計画等を策定し、外部監査を求めることなどの義務付けや起債の制限がなされます。

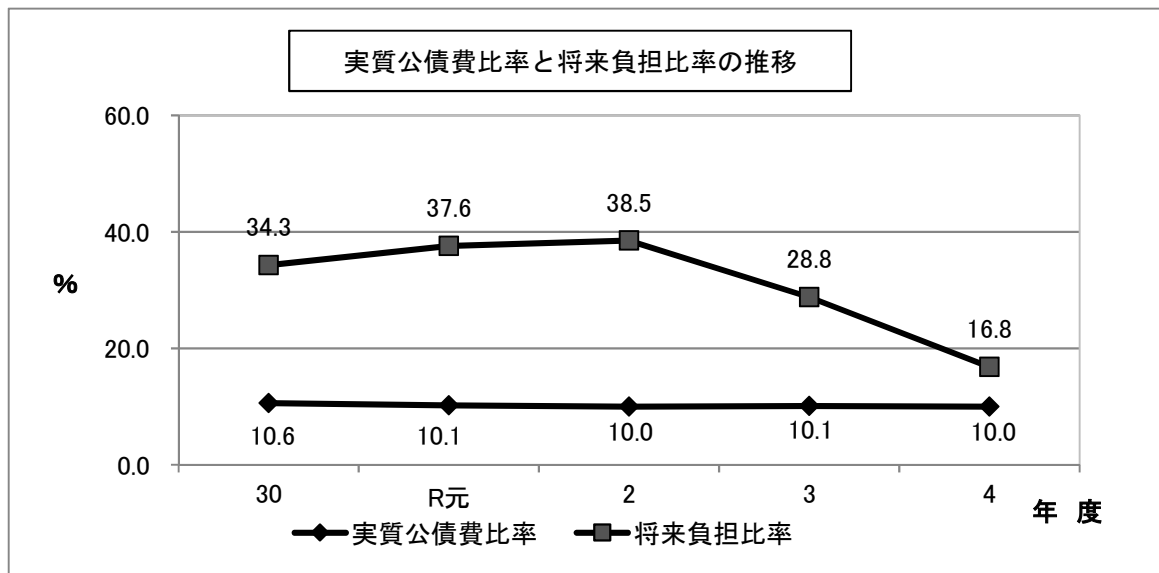
本市の令和4年度決算における健全化判断比率、資金不足比率は下記のとおりですが、いずれも適正な状況にあると言えます。

① 健全化判断比率の状況

(単位：%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(参考) 早期健全化基準	(参考) 財政再生基準	備考
実質赤字比率	—	—	—	11.84	20.00	実質赤字なし
連結実質赤字比率	—	—	—	16.84	30.00	連結実質赤字なし
実質公債費比率	10.0	10.1	10.0	25.0	35.0	
将来負担比率	38.5	28.8	16.8	350.0		

- (注) 1 早期健全化基準 基準以上である場合には、財政健全化計画の策定、外部監査の義務付け。実施状況を毎年度議会に報告し公表。早期健全化が著しく困難と認められる場合は、総務大臣又は県知事が必要な勧告をすることができる。
- 2 財政再生基準 基準以上である場合には、財政再生計画の策定、外部監査の義務付け。財政再生計画は、総務大臣に協議し、同意を求める。財政運営が計画に適合しないと認められる場合においては、予算の変更等の勧告を受ける。



令和4年度の実質公債費比率は、昨年度よりも元利償還金が増となったものの、公営企業公債費繰入金が減となったため、単年で指数が改善した。これにより3か年平均も若干だが改善した。

将来負担比率は、新規借入の減少等による地方債残高の減少、充当可能基金残高の増加により、前年度と比較して指数が大きく改善した。

② 資金不足比率の状況

(単位：%)

会 計 名	資金不足比率	(参考) 経営健全化基準	備 考
水道事業会計	—	20.0	資金不足なし
下水道事業会計	—		資金不足なし
風力発電事業特別会計	—		資金不足なし
定期航路事業特別会計	—		資金不足なし

- (注) 1 資金不足比率 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すもの。資金不足額が発生しない限り比率がないものとされ「—」と表示する。
2 経営健全化基準 基準以上である場合には、法に基づく財政再建を行わなければ建設地方債を発行できない。

(財政健全化指標作成に関する留意事項)

【実質赤字比率】

使途が自由な地方税や地方交付税等を主な財源とし、福祉、教育、まちづくり等の一般的な行政サービスを行う一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を表すものである。

財政運営においては、本来、赤字が生じないようにすべきであり、赤字が生じた場合には、十分にその原因を明らかにする必要があるとともに、早期解消を図る必要がある。この比率が高くなるほど、赤字の解消が難しくなるので、多くの歳出削減策や歳入の増加策を講じなければならない。さらに、解消の期間も長期間にわたる可能性が高く、より深刻な事態を招いてしまう。

【連結実質赤字比率】

地方税や地方交付税等を主な財源とし、福祉、教育、まちづくり等の中心的な行政サービスを行う一般会計等のほかに、料金収入等を主な財源として、事業を実施している公営企業会計など複数の会計に分かれている。

会計が分かれていても、地方公共団体としては一つであることから、全体の状況を把握することが重要である。全ての会計の当該年度の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を表すものである。

連結の赤字は本来生じるべきでなく、赤字が生じた場合は、十分にその原因を明らかにし、早期解消に努めなければならない。この比率が高くなるほど、多くの歳出削減策や歳入の増加策を講じる必要があり、また、その解消期間も長期間にわたる可能性が高くなってしまう。

【実質公債費比率】

長期の借入金を地方債といい、この元金及び利息の支払いを公債費という。

一般会計の公債費は、義務的な負担になるが、公営企業、一部事務組合等他の会計の公債費に対して一般会計から繰り出す経費もある。こうした借入金の返済額及びこれに準じる経費の大きさ、資金繰りの危険度を示す指標となっている。

公債費や公債費に準ずる経費は、削減したり、先送りしたりすることができない経費であり、また、一度この経費が増大すると数年間にわたって同程度の額を支払わなければならない、短期間で削減することが困難となる。この比率が高まるほど、財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと赤字団体に転落する可能性が高い。

【将来負担比率】

将来支払っていく負債には、一般会計の地方債残高のほか、借入金ではないものの契約等で将来の支払いを約束したもの（債務負担行為）、公営企業等の他会計の地方債残高のうち一般会計が負担することとなっているものなどがある。

一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標である。この比率が高い場合、将来こうした負担額を実際に支払っていかなければならず、今後の財政運営の圧迫などの問題が生じる可能性が高い。

3 市税等資料

(1) 税目別収納状況

① 市税歳入決算

(単位:円、%)

款	項	目	予 算 現 額			節		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	前年度調定額	対前年度 増減率	前年度収入済額	対前年度 増減率	
			当初予算額	補正予算額	計	区 分	金 額										
1 市税			13,042,467,000	272,210,000	13,314,677,000			13,630,536,378	13,328,520,915	40,034,626	277,970,789	15,989,952	13,484,158,134	1.09	13,163,508,028	1.25	
	1 市 民 税		5,301,623,000	2,320,000	5,303,943,000			5,387,592,311	5,308,194,457	3,531,982	87,428,784	11,562,912	5,461,927,355	△ 1.36	5,371,140,241	△ 1.17	
		1 個 人		4,276,658,000	72,520,000	4,349,178,000			4,449,827,882	4,373,276,561	2,613,682	77,001,593	3,063,954	4,451,152,718	△ 0.03	4,364,824,239	0.19
			1 現年課税分					4,324,490,000	4,368,887,793	4,348,133,613		23,781,324	3,027,144	4,363,006,286	0.13	4,335,621,705	0.29
		2 滞納繰越分					24,688,000	80,940,089	25,142,948	2,613,682	53,220,269	36,810	88,146,432	△ 8.18	29,202,534	△ 13.90	
		2 法 人		1,024,965,000	△ 70,200,000	954,765,000			937,764,429	934,917,896	918,300	10,427,191	8,498,958	1,010,774,637	△ 7.22	1,006,316,002	△ 7.09
			1 現年課税分					953,280,000	930,440,100	932,443,180		6,495,878	8,498,958	988,843,100	△ 5.91	989,437,700	△ 5.76
	2 滞納繰越分						1,485,000	7,324,329	2,474,716	918,300	3,931,313	21,931,537	△ 66.60	16,878,302	△ 85.34		
	2 固定資産税			5,897,890,000	192,770,000	6,090,660,000			6,272,339,408	6,089,213,909	31,202,168	155,736,226	3,812,895	6,143,101,501	2.10	5,951,255,420	2.32
		1 固定資産税		5,839,401,000	192,770,000	6,032,171,000			6,213,850,408	6,030,724,909	31,202,168	155,736,226	3,812,895	6,083,812,201	2.14	5,891,966,120	2.36
			1 現年課税分					5,997,090,000	6,042,956,500	5,989,781,908	3,596,138	53,391,349	3,812,895	5,874,464,900	2.87	5,828,331,020	2.77
		2 滞納繰越分					35,081,000	170,893,908	40,943,001	27,606,030	102,344,877		209,347,301	△ 18.37	63,635,100	△ 35.66	
		2 国有資産等 所在市町村 交 付 金		58,489,000		58,489,000			58,489,000	58,489,000				59,289,300	△ 1.35	59,289,300	△ 1.35
			1 市交付金					58,489,000	58,489,000	58,489,000				59,289,300	△ 1.35	59,289,300	△ 1.35
	3 軽自動車税			378,142,000	4,740,000	382,882,000			390,361,561	384,834,763	6,000	5,598,908	78,110	368,011,481	6.07	363,805,520	5.78
		1 環境性能割		22,100,000	2,170,000	24,270,000			24,079,500	24,079,500				14,116,600	70.58	14,116,600	70.58
			1 現年課税分					24,270,000	24,079,500	24,079,500				14,116,600	70.58	14,116,600	70.58
		2 種 別 割		356,042,000	2,570,000	358,612,000			366,282,061	360,755,263	6,000	5,598,908	78,110	353,894,881	3.50	349,688,920	3.16
			1 現年課税分					357,550,000	362,041,500	359,181,990		2,924,720	65,210	351,250,300	3.07	348,561,090	3.05
		2 滞納繰越分						1,062,000	4,240,561	1,573,273	6,000	2,674,188	12,900	2,644,581		1,127,830	
	4 市たばこ税			628,000,000	41,690,000	669,690,000			681,443,340	681,443,340				646,018,976	5.48	646,018,976	5.48
		1 市たばこ税		628,000,000	41,690,000	669,690,000			681,443,340	681,443,340				646,018,976	5.48	646,018,976	5.48
			1 現年課税分					669,690,000	681,443,340	681,443,340				646,018,976	5.48	646,018,976	5.48
	5 鉱 産 税			90,000		90,000			123,800	123,800				89,900		89,900	
1 鉱 産 税			90,000		90,000			123,800	123,800				89,900		89,900		
		1 現年課税分					90,000	123,800	123,800				89,900		89,900		
6 入 湯 税			19,200,000		19,200,000			19,687,650	19,687,650				18,987,375	3.69	18,987,375	3.69	
	1 入 湯 税		19,200,000		19,200,000			19,687,650	19,687,650				18,987,375	3.69	18,987,375	3.69	
		1 現年課税分					19,200,000	19,687,650	19,687,650				18,987,375	3.69	18,987,375	3.69	
		2 滞納繰越分															
7 都市計画税			816,287,000	30,690,000	846,977,000			873,591,937	843,811,276	4,389,676	25,927,020	536,035	837,392,060	4.32	810,375,481	4.13	
	1 都市計画税		816,287,000	30,690,000	846,977,000			873,591,937	843,811,276	4,389,676	25,927,020	536,035	837,392,060	4.32	810,375,481	4.13	
		1 現年課税分					842,000,000	849,547,500	838,050,677	505,562	11,527,296	536,035	807,690,000	5.18	801,346,975	4.58	
		2 滞納繰越分					4,977,000	24,044,437	5,760,599	3,884,114	14,399,724		29,702,060	△ 19.05	9,028,506	△ 36.20	
8 旧法による 税			1,235,000		1,235,000			5,396,371	1,211,720	904,800	3,279,851		8,629,486	△ 37.47	1,835,115	△ 33.97	
	1 軽自動車税		1,235,000		1,235,000			5,396,371	1,211,720	904,800	3,279,851		8,629,486	△ 37.47	1,835,115	△ 33.97	
		1 現年課税分					1,000						2,000	△ 100.00	2,000	△ 100.00	
2 滞納繰越分						1,234,000	5,396,371	1,211,720	904,800	3,279,851	8,627,486	△ 37.45	1,833,115	△ 33.90			

② 国民健康保険税歳入決算

(単位:円、%)

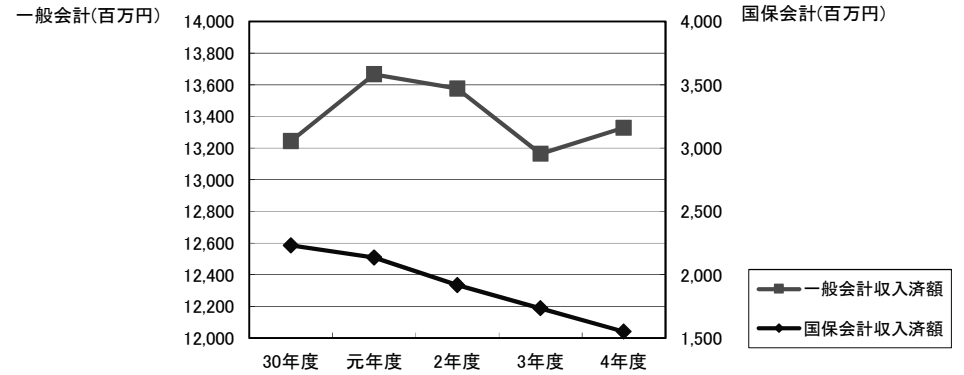
款	項	目	予 算 現 額			節		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	前年度調定額	対前年度 増減率	前年度収入済額	対前年度 増減率		
			当初予算額	補正予算額	計	区 分	金 額											
1 国民健康 保険 税			1,554,703,000	△ 22,617,000	1,532,086,000			1,821,080,633	1,550,472,895	19,743,674	254,187,565	3,323,501	2,056,216,171	△ 11.44	1,733,409,537	△ 10.55		
	1	国民健康 保険 税	1,554,703,000	△ 22,617,000	1,532,086,000			1,821,080,633	1,550,472,895	19,743,674	254,187,565	3,323,501	2,056,216,171	△ 11.44	1,733,409,537	△ 10.55		
	1	一 般 被 保 険 者 国民健康 保 險 税	1,554,000,000	△ 22,617,000	1,531,383,000			1,818,116,305	1,549,916,930	19,008,437	252,514,439	3,323,501	2,052,057,947	△ 11.40	1,732,722,811	△ 10.55		
		1	医 療 給 付 費 分 現 年 課 税 分	936,707,000	973,981,879	944,591,919						32,000,281	2,610,321	1,084,626,518	△ 10.20	1,046,256,209	△ 9.72	
		2	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 現 年 課 税 分	385,321,000	400,612,952	387,527,794						13,419,404	334,246	463,018,061	△ 13.48	446,556,307	△ 13.22	
		3	介 護 納 付 金 分 現 年 課 税 分	135,555,000	144,661,169	136,543,250						8,254,572	136,653	160,126,921	△ 9.66	151,775,252	△ 10.04	
		4	医 療 給 付 費 分 滞 納 繰 越 分	48,400,000	193,541,727	52,982,639						12,506,858	128,273,274	221,044	227,243,028	△ 14.83	58,770,957	△ 9.85
		5	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 滞 納 繰 越 分	16,700,000	65,770,806	18,128,640						4,056,493	43,597,255	11,582	73,297,133	△ 10.27	19,422,103	△ 6.66
		6	介 護 納 付 金 分 滞 納 繰 越 分	8,700,000	39,547,772	10,142,688						2,445,086	26,969,653	9,655	43,746,286	△ 9.60	9,941,983	2.02
		2	退 職 被 保 険 者 等 国民健康 保 險 税	703,000		703,000			2,964,328	555,965	735,237	1,673,126		4,158,224	△ 28.71	686,726	△ 19.04	
			1	医 療 給 付 費 分 現 年 課 税 分	1,000													
			2	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 現 年 課 税 分	1,000													
			3	介 護 納 付 金 分 現 年 課 税 分	1,000													
			4	医 療 給 付 費 分 滞 納 繰 越 分	500,000	2,009,255	347,375							2,768,028	△ 27.41	417,501	△ 16.80	
			5	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 滞 納 繰 越 分	100,000	471,862	108,627							670,345	△ 29.61	132,771	△ 18.18	
			6	介 護 納 付 金 分 滞 納 繰 越 分	100,000	483,211	99,963							719,851	△ 32.87	136,454	△ 26.74	

(2) 年度別収納状況（第9表及び第3図参照）

第3図 年度別 税の収納状況

令和4年度の現年課税分、滞納繰越分合計の収入済額は、市税が133億2,852万円で、現年課税分収納率は99.35、滞納繰越分収納率は26.33となっています。

国民健康保険税は15億5,047万2千円で、現年課税分収納率は、96.67、滞納繰越分は、27.11となっています。



第9表 会計別・年度別収納状況

① 一般会計

(単位: 円、%)

市 税	年度	予 算 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額	予算過不足額 (C)-(A)	予算計上率 (A)/(B)	予 算 比 (C)/(A)	収 納 率					
										(C)/(B)			(C)/{(B)-(D)}		
										現 年 課税分	滞 納 繰越分	総 合	現 年 課税分	滞 納 繰越分	総 合
30	13,225,217,000	13,774,604,433	13,244,048,505	100,955,928	455,303,534	18,831,505	96.01	100.14	99.36	21.14	96.15	99.36	25.73	96.86	
元	13,568,248,000	14,112,602,253	13,665,925,442	70,333,521	386,782,870	97,677,442	96.14	100.72	99.29	23.00	96.83	99.29	27.22	97.32	
2	13,502,944,000	13,997,155,610	13,575,152,132	58,993,988	368,754,798	72,208,132	96.47	100.53	99.02	24.39	96.99	99.02	28.80	97.40	
3	13,156,844,000	13,484,158,134	13,163,508,028	29,896,196	295,347,655	6,664,028	97.57	100.05	99.38	33.77	97.62	99.38	36.82	97.84	
4	13,314,677,000	13,630,536,378	13,328,520,915	40,034,626	277,970,789	13,843,915	97.68	100.10	99.35	26.33	97.78	99.38	30.01	98.07	

② 国民健康保険特別会計

(単位: 円、%)

国民 健康 保険 税	年度	予 算 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額	予算過不足額 (C)-(A)	予算計上率 (A)/(B)	予 算 比 (C)/(A)	収 納 率					
										(C)/(B)			(C)/{(B)-(D)}		
										現 年 課税分	滞 納 繰越分	総 合	現 年 課税分	滞 納 繰越分	総 合
30	2,061,700,000	2,797,874,629	2,231,996,233	94,455,258	474,372,962	170,296,233	73.69	108.26	95.04	22.80	79.77	95.04	27.13	82.56	
元	2,046,800,000	2,597,176,035	2,135,504,982	45,643,235	418,553,313	88,704,982	78.81	104.33	95.10	23.67	82.22	95.10	26.23	83.69	
2	1,812,600,000	2,299,303,148	1,918,108,920	29,133,925	354,933,163	105,508,920	78.83	105.82	96.12	25.58	83.42	96.12	27.52	84.49	
3	1,634,103,000	2,056,216,171	1,733,409,537	18,872,066	305,900,649	99,306,537	79.47	106.08	96.11	25.60	84.30	96.13	27.04	85.08	
4	1,532,086,000	1,821,080,633	1,550,472,895	19,743,674	254,187,565	18,386,895	84.13	101.20	96.67	27.11	85.14	96.67	29.00	86.07	

(注) 収入未済額は、未還付額を含んだ数値である。

4 土地開発基金の状況

(1) 令和4年度土地取得の状況

なし

(2) 土地の保有・売渡状況

① 土地開発基金による取得分

No.	用地名	面積 (㎡)				金額 (円)							備考
		取得面積	3年度末までの 売渡面積	4年度 売渡面積	4年度末 保有面積	取得額	償還年数 (年)	売渡金額	3年度末までの 売渡額	4年度売渡額	4年度末残	左のうち元金	
1	駅前広場用地	1,220.25	0.00	1,220.25	0.00	183,981,973	1年	183,981,973	0	183,981,973	0	0	
	合計	1,220.25	0.00	1,220.25	0.00	183,981,973		183,981,973	0	183,981,973	0	0	

5 職員配置の状況

令和4年4月1日現在

区 分 所 属		定 数 内 職 員				定数外職員		合 計
		性 別		一般職	うち技能 労務職員	再任用 短時間	会計年度 任用職員	
		男	女					
総務部	市長公室 (部長含む)	6	4	10	0	0	3	13
	総務課	12	3	15	2	0	3	18
	人事課	12	10	22	0	0	0	22
	財政課	7	1	8	0	0	0	8
	危機管理課 (危機管理監含む)	9	1	10	0	0	1	11
	税務課	22	21	43	0	0	3	46
	納税課	19	3	22	0	0	4	26
	契約検査課	5	3	8	1	0	2	10
	小 計	92	46	138	3	0	16	154
企画部	企画調整課 (部長含む)	7	3	10	0	0	0	10
	都市デザイン課	10	3	13	0	0	2	15
	情報企画課 (調整監含む)	12	3	15	0	0	0	15
	小 計	29	9	38	0	0	2	40
地域創生部	商工港湾課 (部長及び調整監含む)	15	5	20	0	0	7	27
	交流観光課	10	6	16	0	1	10	27
	地域共生課	4	3	7	0	0	7	14
	小 計	29	14	43	0	1	24	68
市民部	まちづくり推進課 (部長含む)	9	4	13	0	0	10	23
	とびしま総合センター	4	0	4	0	0	0	4
	市民課	12	11	23	0	0	16	39
	環境衛生課	14	2	16	4	0	2	18
	定期航路事業所	10	1	11	1	0	6	17
	小 計	49	18	67	5	0	34	101
健康福祉部	福祉企画課 (部長含む)	26	12	38	0	0	12	50
	子育て支援課	11	16	27	0	2	19	48
	松陵保育園	0	11	11	1	1	18	30
	みなと保育園	1	17	18	1	1	44	63
	八幡保育園	0	14	14	1	0	20	34
	松山保育園	0	10	10	0	0	15	25
	平田保育園	0	14	14	1	0	34	48
	はまなし学園	0	14	14	2	0	23	37
	健康課	8	29	37	0	0	24	61
	高齢者支援課	11	12	23	0	1	18	42
	国保年金課	10	6	16	0	0	8	24
	看護専門学校事務局	0	2	2	0	0	2	4
小 計	67	157	224	6	5	237	466	
建設部	土木課 (部長含む)	27	1	28	8	0	2	30
	整備課	17	2	19	6	0	2	21
	建築課	10	4	14	0	0	2	16
	小 計	54	7	61	14	0	6	67
水産部	農政課 (部長含む)	15	6	21	0	0	2	23
	農林水産課	12	2	14	0	0	3	17
	小 計	27	8	35	0	0	5	40
	八幡総合支所	15	8	23	0	0	8	31
	松山総合支所	16	8	24	0	2	2	28
	平田総合支所	12	12	24	0	1	6	31
	出納課	5	4	9	0	0	1	10
	市長の事務部局 計 (743)	395	291	686	28	9	341	1,036

水道部	管 理 課 (部長含む)	13	5	18	0	0	2	20
	工 務 課	28	2	30	0	0	1	31
	小 計 (70)	41	7	48	0	0	3	51
	議 会 事 務 局 (10)	5	3	8	0	0	1	9
	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 (4)	2	1	3	0	0	0	3
	監 査 委 員 事 務 局 (5)	4	1	5	0	0	0	5
	農 業 委 員 会 事 務 局 (10)	4	3	7	0	0	3	10
教育委員会	企 画 管 理 課 (次長含む)	12	8	20	1	0	9	29
	学 校 教 育 課	13	5	18	0	0	20	38
	社 会 教 育 文 化 課	18	9	27	0	0	27	54
	ス ポ ー ツ 振 興 課	8	2	10	0	0	2	12
	学 校 給 食 共 同 調 理 場	1	2	3	3	0	0	3
	小 学 校	22	8	30	30	0	77	107
	中 学 校	7	0	7	7	0	49	56
	小 計 (130)	81	34	115	41	0	184	299
合 計 (972)	532	340	872	69	9	532	1,413	

(注) ()内の数値は、酒田市職員定数条例による定数である。